



ページプリンタ

LS-6800

## 安全に正しくお使いいただくために

**絵表示について** この取扱い説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本書をお読みください。



**警告**

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



**注意**

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

### 絵表示の例



△ 記号は注意(警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図中または近傍に具体的な注意内容(左図の場合は「感電注意」)が表示されています。




⊘ 記号は特定しない一般的な禁止行為であることを告げるものです。近傍に具体的な禁止内容の説明が表示されています。



⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図中または近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は「分解禁止」)が表示されています。



● 記号は行為を規制したり指示する内容を告げるものです。図中または近傍に具体的な指示内容(左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜く」)が表示されています。

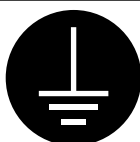
また上記以外にも、印字品質に関する注意や、本機の操作上の注意等であることを示す「 お知らせ」の表示もしています。

## 警告

## 電源/アース接続に関する警告



電源コードは電圧100V(ボルト)、電源容量は15A(アンペア)以上のコンセントへ直接差し込んでください。



電源コードを接続する前にアース接続してください。アース接続がされないで万一、漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。なお、アース接続できない場合は、京セラコミュニケーションシステム株式会社正規販売会社(特約店)、またはサービス実施店にご相談ください。



- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災、感電のおそれがあります。
- 本機に付属している電源コード以外は使用しないでください。火災、感電のおそれがあります。
- タコ足配線をしないでください。火災、感電のおそれがあります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、引っ張ったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災、感電のおそれがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。
- ガス管、電話専用アース線、避雷針、また途中からプラスチックになっている水道管や水道蛇口には、絶対にアース接続しないでください。引火、感電のおそれがあります。

## 注意

## 電源/アース接続に関する注意



電源プラグを抜く際は、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

## 警告

## 設置/移動に関する警告



- 本機の上に金属物または花瓶、植木鉢、コップなど水の入った容器を置かないでください。中に入ったり、こぼれた場合は感電、火災のおそれがあります。
- 本機にある通気孔は、通気のために設けてありますのでふさがないでください。ふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
- 直射日光のあたる場所やカーテンに近い場所、またストーブやヒーターなどの発熱器具に近い場所には設置しないでください。発火の原因になることがあります。
- 本機は揮発性ガス（アルコール、シンナー、ガソリン等）や、可燃性ガスが発生する場所に設置しないでください。引火のおそれがあります。
- プリンタ本体および本機に接続しているコード類には、子供が手を触れないよう十分ご注意ください。感電、けがのおそれがあります。

## 注意

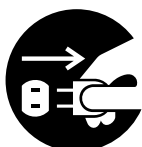
## 設置/移動に関する注意



- ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電の原因になることがあります。



狭い部屋で長時間使用するときは、換気にご注意ください。



本機を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。コードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。

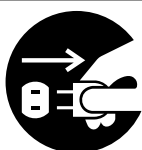


## 警告

## 使用に関する警告



- 外装カバーの固定されている部分は外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。
- 本機を改造しないでください。火災、感電のおそれがあります。
- お客様ご自身では、内部の点検・調整・修理をおこなわないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。内部の点検・調整・修理は京セラコミュニケーションシステム株式会社正規販売会社(特約店)、またはサービス実施店にご依頼ください。



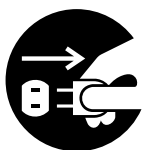
- 万一、異常に発熱していたり、煙が出ている、へんな臭いをするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐに電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いてください。そして京セラコミュニケーションシステム株式会社正規販売会社(特約店)、またはサービス実施店にご連絡ください。
- 万一、異物(金属片や液体等)が本機の内部に入った場合は、まず本体の電源を切り、その後電源プラグをコンセントから抜いてください。そして京セラコミュニケーションシステム株式会社正規販売会社(特約店)、またはサービス実施店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。

## 注意

## 使用に関する注意



- 本機のカバーやカセット等の開閉時には、あやまって手をはさまないようにご注意ください。けがの原因になることがあります。
- 本機の排紙ローラ部に、髪の毛や衣服等を近づけないようご注意ください。巻き込まれるおそれがあります。



連休等で長期間本機を使用しない場合は、安全のため必ず電源プラグを抜いてください。

**ラベル表示** 製品を正しく安全にお使いいただくために、プリンタには以下のラベル表示をおこなっています。

**KYOCERA LS-6800**

入力 AC100V  
50/60Hz  
9.2 A (最大)

消費電力 最大時 934 W  
通常使用時 525 W  
待機時 155 W

京セラ株式会社  
Made in Japan

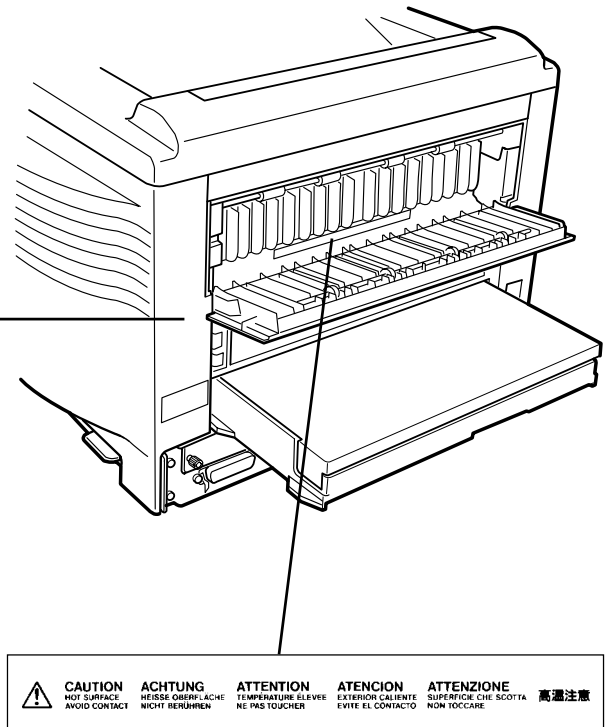
  


**注意**

- 修理は、すべてサービスマンにおまかせください。
- 機械の補修の前に、必ず電源コードを抜いてください。
- 外装カバーの固定されている部分は、外さないでください。

**CAUTION**

- Refer all servicing in the compartment to qualified service personnel.
- Disconnect main power cord before servicing.
- Do not remove covering panel.



後部カバー内部のラベル表示

プリンタ後面のラベル表示

**ご注意** 本書の内容の一部または全部を、無断転載することは禁止します。本書の内容は、改良などのために予告なしに変更することがあります。

本機を使用した結果の影響については、本説明書の内容にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

本機器は社団法人日本事務機械工業会が定めた情報機器及びその周辺機器の高調波対策ガイドライン(家電・汎用品高調波抑制ガイドラインに準拠)に適合しています。

本機は、クラス1レーザー機器です。

コンピュータとプリンタとの接続は、シールドされたケーブルをお使いください。

## お問い合わせ先

本プリンタの使用方法や技術的なお問合せ、および修理については、お買い上げの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、またはお客様相談窓口にてうけたまわります。



**0570-046562**

受付時間  
● 9:00~12:00 ● 13:00~17:00  
(但し、土曜日、日曜日及び祝日は除く)

市内通話料金でご利用いただけます。

## 商標について

- プリスクライブ、PRESCRIBE、エコシスおよびECOSYSは、京セラ株式会社の登録商標です。プリスクライブ2e、PRESCRIBE 2e、KPD L およびKIRは、京セラ株式会社の商標です。
- PC-PR201/65A、N5200、N5263-26、N5273-17 およびPC-9801は日本電気株式会社の製品です。
- FMPR-359F1、F9450、およびFM-Rは富士通株式会社の製品です。
- VP-1000はセイコーエプソン株式会社の製品です。ESC/Pはセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
- IBM PC/AT、IBM PS/55、およびIBM Proprinter X24Eは、米国IBM(International Business Machines)社の製品です。
- Power PCはIBM社の米国、その他の国における商標です。
- LaserJet 5Siは、米国ヒューレット・パカード社の製品です。PCLは米国ヒューレット・パカード社の登録商標です。
- Microsoft、MS-DOS、Windowsは、Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。Windows NTは米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における商標です。
- Dutch801、およびSwiss742は、Bitstream Inc.の商標です。
- DFHSGOTHIC-W5とDFHSMINCHO-W3は平成書体です。これらの書体は(財)日本規格協会と京セラ株式会社がフォント使用契約を締結して使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。
- 平成書体は(財)日本規格協会文字フォント開発普及センターの知的財産であり、京セラ株式会社が使用契約を締結しDynaLab Inc.が開発したものです。
- TypeBankG-B、TypeBankM-MおよびTypeBank-OCRはタイプバンクの商標です。
- 本プリンタがエミュレートしているHP LaserJet 5Siの制御言語であるPCL5は、米国Peerless Groupが開発した互換システムPeerlessPrint5を使用しています。PeerlessPrint5は米国Peerless Group(Redondo Beach, CA90278, U.S.A.)の商標です。
- TrueTypeは、米国Apple Computer, Inc.の登録商標です。
- PostScriptはAdobe Systems, Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。
- 本製品はウインドリバーシステムズ社のリアルタイムOS統合環境Tornado™を用いて開発されました。

## IBM PROGRAM LICENSE AGREEMENT

THE DEVICE YOU HAVE PURCHASED CONTAINS ONE OR MORE SOFTWARE PROGRAMS ("PROGRAMS") WHICH BELONG TO INTERNATIONAL BUSINESS MACHINES CORPORATION ("IBM"). THIS DOCUMENT DEFINES THE TERMS AND CONDITIONS UNDER WHICH THE SOFTWARE IS BEING LICENSED TO YOU BY IBM. IF YOU DO NOT AGREE WITH THE TERMS AND CONDITIONS OF THIS LICENSE, THEN WITHIN 14 DAYS AFTER YOUR ACQUISITION OF THE DEVICE YOU MAY RETURN THE DEVICE FOR A FULL REFUND. IF YOU DO NOT SO RETURN THE DEVICE WITHIN THE 14 DAYS, THEN YOU WILL BE ASSUMED TO HAVE AGREED TO THESE TERMS AND CONDITIONS.

The Programs are licensed not sold. IBM, or the applicable IBM country organization, grants you a license for the Programs only in the country where you acquired the Programs. You obtain no rights other than those granted you under this license.

The term "Programs" means the original and all whole or partial copies of it, including modified copies or portions merged into other programs. IBM retains title to the Programs. IBM owns, or has licensed from the owner, copyrights in the Programs.

## 1. License

Under this license, you may use the Programs only with the device on which they are installed and transfer possession of the Programs and the device to another party.

If you transfer the Programs, you must transfer a copy of this license and any other documentation to the other party. Your license is then terminated. The other party agrees to these terms and conditions by its first use of the Program.

You may not:

- 1) use, copy, modify, merge, or transfer copies of the Program except as provided in this license;
- 2) reverse assemble or reverse compile the Program; or
- 3) sublicense, rent, lease, or assign the Program.

## 2. Limited Warranty

The Programs are provided "AS IS".

THERE ARE NO OTHER WARRANTIES COVERING THE PROGRAMS (OR CONDITIONS), EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

Some jurisdictions do not allow the exclusion of implied warranties, so the above exclusion may not apply to you.

## SUPPLEMENT TO AGREEMENT FOR SOFTWARE BUNDLING AND DISTRIBUTION FOR ALDC

## 3. Limitation of Remedies

IBM's entire liability under this license is the following:

- 1) For any claim (including fundamental breach), in any form, related in any way to this license, IBM's liability will be for actual damages only and will be limited to the greater of:
  - a) the equivalent of U.S.\$25,000 in your local currency; or
  - b) IBM's then generally available license fee for the Program

This limitation will not apply to claims for bodily injury or damages to real or tangible personal property for which IBM is legally liable.

IBM will not be liable for any lost profits, lost savings, or any incidental damages or other economic consequential damages, even if IBM, or its authorized supplier, has been advised of the possibility of such damages. IBM will not be liable for any damages claimed by you based on any third party claim. This limitation of remedies also applies to any developer of Programs supplied to IBM. IBM's and the developer's limitations of remedies are not cumulative. Such developer is an intended beneficiary of this Section. Some jurisdictions do not allow these limitations or exclusions, so they may not apply to you.

## 4. General

You may terminate your license at any time. IBM may terminate your license if you fail to comply with the terms and conditions of this license. In either event, you must destroy all your copies of the Program. You are responsible for payment of any taxes, including personal property taxes, resulting from this license. Neither party may bring an action, regardless of form, more than two years after the cause of action arose. If you acquired the Program in the United States, this license is governed by the laws of the State of New York. If you acquired the Program in Canada, this license is governed by the laws of the Province of Ontario. Otherwise, this license is governed by the laws of the country in which you acquired the Program.

## Bitstreamサブ ライセンス契約

Bitstream Inc. が開発した FONTWARE/TrueDoc は、ライセンスに基づき、京セラ株式会社 (以下、弊社) により、このプリンタの一部として提供されます。お客様が次の事項をご理解し、同意する場合、Bitstream の契約者として弊社は、準契約者となるお客様に、このプリンタに設定された FONTWARE/TrueDoc の使用を下記条項に基づき、許諾します。

1. 所有権
2. 複製の制限
3. 使用制限
4. 条件

お客様は、FONTWARE/TrueDoc が設定されているプリンタを所有しますが、FONTWARE/TrueDoc のソフトウェア・プログラムのタイトルと所有権は Bitstream が保持します。サブライセンスは、FONTWARE/TrueDoc のオリジナルのソフトウェア・プログラム、またはこれの一部、またはこれのコピーの販売ではありません。

FONTWARE/TrueDoc には著作権があります。変更されたり、マージされたり、または他のソフトウェアに組み込まれたものであっても、FONTWARE/TrueDoc の無許可の複製は明示的に禁止されます。お客様は、著作権の侵犯について法律的な責任を負います。

FONTWARE/TrueDoc は、弊社あるいは Bitstream の書面による事前の承認なしに、第三者に移動、開示、および移転することはできません。また、お客様は、FONTWARE/TrueDoc を変更、修正、変換、逆変換、逆コンパイルしてはなりません。また、FONTWARE/TrueDoc に基づいてこれの派生物を作成してはなりません。

この契約は恒久的に効力を持ちます。したがって、お客様は前述の2または3の条項に違反しない限り、FONTWARE/TrueDoc を恒久的に使用できます。ただし、お客様がいずれかの条項に違反された場合は、弊社はいつでも通知なしに使用権を終了させることができます。終了時には、FONTWARE/TrueDoc、および(部分的でも全体的でも)これらのすべての複製物、およびこれらにかかわる一切の物を廃棄するものとします。

## はじめに

このたびは京セラ・ページプリンタをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本プリンタをご使用になる前に、この取扱い説明書をよくお読みいただき、正しい操作方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。また製品に注意警告等の表示がある場合は、それにしたがってください。

この取扱い説明書は、いつでも見られるところに必ず保管してください。ご使用中にわからないことや、不具合が生じた際に便利です。

本プリンタは仕様の範囲内でご使用いただくとともに、保守契約を結ばれることをおすすめします。

本プリンタでの総印字ページ数が30万ページに達した場合は、ドラム等を含むメンテナンス・キットの交換が必要です。京セラコミュニケーションシステム株式会社正規販売会社(特約店)、またはサービス実施店までご連絡ください。

## 本機の特長

本機は以下のような主な特長を備えています。

### 驚異的な長寿命部品

ドラム、現像ユニット、定着ユニットなど、従来のプリンタでは消耗品であった主要部品は長寿命化設計されており、定期的な交換は不要になりました。ドラムは環境に優しいアモルファス・シリコン製です。このため、定期的に必要なメンテナンスはトナー・コンテナの交換(TK-20は約1万ページ印字毎/TK-20Gは約1.5万ページ印字毎、いずれもA4横送り、印字率約5%)と、プリンタ内部を清掃することだけです。

### アモルファス シリコン・ドラム

本機には京セラ独自のセラミック技術により開発された、アモルファスシリコン・ドラムが採用されています。アモルファスシリコン・ドラムは、従来の感光材料に比べて硬く丈夫で長寿命です。また耐熱性に優れ、溶剤にも強い耐性があります。この結果解像度が高く、鮮明な印字が得られます。

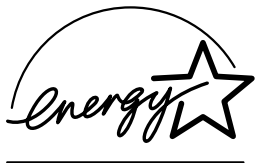
### 高速印字

A3サイズで1分間に13.5ページ、B4サイズで15.5ページ、A4サイズ(横送り)で25ページの印字が可能です。(実際の印字時間は、印字の内容によって変化します。)

### 大容量給紙カセット

給紙カセットには約250枚の用紙(75 g/m<sup>2</sup>[0.1 mm厚])を収納できます。排紙先には、フェイスダウン排紙トレイまたはオプションのフェイスアップトレイが使用できます。

多彩なフォントを内蔵	ビットマップとスケーラブル・フォントを内蔵しています。ビットマップ・フォントは欧文80種類、スケーラブル・フォントは和文2種類と欧文45種類を内蔵しています。スケーラブル・フォントは999.75ポイントまで、0.25ポイントごとに指定することができます。
高度な図形処理能力	さまざまな図形処理が可能です。任意のパターンによる塗りつぶしや図形の回転など、よりイメージに近い結果を印字することができます。
プリスクライプ2e コマンド	グラフィック機能がより強化された、ページプリンタ制御言語プリスクライプ2eを内蔵しています。マージン設定や文字間隔、行間隔の変更、またアウトライン・フォントや図形に対しての回転、塗りつぶしなどを簡単なコマンドで実現することができます。
メモ리카ード・ スロット装備	JEIDA Ver.4.2準拠の京セラ推奨のメモリ・カードが使用できます。データの読み込みや書き込みなどが可能です。
大容量メモリ	LS-6800は、標準で16MBのメモリを実装しており、オプションのメモリ・チップを増設することにより最大64MBに拡張することができます。
2つの拡張スロットを 装備	プリンタの拡張スロットには、オプションのネットワークインタフェースボードや、ハードディスクユニットを装着することができます。ネットワークインタフェースボードは、同時に2つのボードが装着可能です。
多彩なネットワーク 環境に対応	同時に2つのネットワークボードを装着することが可能ですので、ネットワーク環境に幅広く対応させることができます。標準装備のIEEE1284準拠の双方向パラレルインタフェースも含めて、自動的に入力データが発生したインタフェースへ切り替わって印字を行います。
京セラ・プリント モニタ(KPM)	京セラ・プリントモニタ(KPM)は、ネットワーク・マネジメントツールです。付属のCD-ROMに添付されています。



京セラ株式会社は国際エネルギースター・プログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースター・プログラムの基準に適合していると判断します。

国際エネルギースター・プログラムは、その基準に適合した機器の製造・販売を促進させることにより、効率的なエネルギー活用を促進し、エネルギーの消費にともなう環境汚染を低減させることを基本目的としています。

本プリンタは国際エネルギースター・プログラムの基準に適合した、スリープ・タイマ機能を搭載しています。この機能を使用することにより、プリンタの電力消費を抑えることができます。またプリンタを長時間使用しない場合は、プリンタの電源を切ってください。

スリープ・タイマ機能および電力消費量については、本書の第2章および付録Aをご覧ください。

工場出荷時のスリープ・モードの設定時間と、その電力消費量は以下表のようになっています。

スリープ・モードの 初期設定時間	スリープモード時の 電力消費量
30分(60分)	16 W(45W)

( )はエネルギースター・プログラムの基準値です。



#### 財団法人日本環境協会エコマーク事務局認定エコマーク商品

認定理由:廃棄物の少ない事務機器用プリンタ

(交換部品を少なくし、消耗品のみを補給できるようにした製品。部品の長期使用、廃棄物の減量になる。)



このマークは、京セラ株式会社が推奨する地球環境負荷の軽減に貢献する当社製品に表示しています。本機はノンカートリッジ方式のページプリンタです。感光体ドラムや現像器などを長寿命化したことにより、ドラムカートリッジなどの廃棄物を減らすことができます。

## オプションについて

本プリンタには以下のオプションが用意されています。これらのオプション機器についてのお問い合わせは京セラコミュニケーションシステム株式会社正規販売会社(特約店)、またはサービス実施店までご連絡ください。

DU-25	両面印刷反転装置
HD-1/HD-2	ハードディスクユニット(1 GB/2 GB)
PM-400	拡張メモリ・チップ(4 MB)
PM-800	拡張メモリ・チップ(8 MB)
PM-1600	拡張メモリ・チップ(16 MB)
PM-3200	拡張メモリ・チップ(32 MB)
PA-25	ペーパー・パス・アダプタ (オプション機器用アクセサリ)
PF-26	ペーパー・フィーダ(B5～レジャー)
PK-5	KPDL2アップグレード・キット(PostScript Level 2互換)
PT-3	フェイスアップ・トレイ



# 目次

## 第1章 ページ・プリンタの設置

1.1. ページ・プリンタの環境条件 .....	1-2
1.2. 開梱の手順と付属品の確認 .....	1-5
1.3. 長期間プリンタを使用しない場合 .....	1-6
1.4. プリンタの移動 .....	1-6
1.5. 各部の名称 .....	1-7
1.6. 組立と接続 .....	1-9
1.7. MPトレイ .....	1-26
1.8. メモリ・カード .....	1-30
1.9. メモリの増設 .....	1-32

## 第2章 ページ・プリンタの使いかた

2.1. コントロール・パネル .....	2-2
2.2. プリンタの操作 .....	2-7
2.3. モード選択メニュー .....	2-16
2.4. インタフェースの各種設定 .....	2-19
2.5. エミュレーションの選択 .....	2-20
2.6. 縮小印字のしかた(ページセット) .....	2-21
2.7. RAM ディスクの設定 .....	2-23
2.8. 仮想メールボックス(VMB) .....	2-25
2.9. 自動カセット切り替えの設定 .....	2-29
2.10. 用紙サイズエラー制御の設定 .....	2-30
2.11. スリープ・タイマの設定 .....	2-32
2.12. 受信データのダンプ .....	2-33
2.13. KIRモードの設定 .....	2-34
2.14. エコプリントの設定 .....	2-36
2.15. リソースの保護 .....	2-37
2.16. 印字濃度の設定 .....	2-38
2.17. ブザーの設定 .....	2-39
2.18. 印字範囲の補正 .....	2-41
2.19. メモリ・カード .....	2-42

---

## 第3章 フォント

---

- 3.1. 内蔵フォント ..... 3-2
- 3.2. 内蔵フォント一覧 ..... 3-3

## 第4章 メンテナンス

---

- 4.1. トナー・キットの交換 ..... 4-2
- 4.2. 清掃 ..... 4-7

## 第5章 印字問題の処理

---

- 5.1. 一般的な問題について ..... 5-2
- 5.2. 印字品質の問題 ..... 5-3
- 5.3. インジケータとメッセージ表示 ..... 5-5
- 5.4. 紙詰まりの処置 ..... 5-12

## 第6章 プリスクライブ 2e コマンド

---

## 第7章 ファームウェア・パラメータ

---

- 7.1. ファームウェア設定 ..... 7-2
- 7.2. 各インタフェース独立FRPOパラメータ ..... 7-2
- 7.3. インタフェース共有FRPOパラメータ ..... 7-6

## 付録A プリンタの仕様

---

プリンタの仕様 .....	A-2
---------------	-----

## 付録B 用紙について

---

B.1. 用紙の基本仕様 .....	B-2
B.2. 適正紙の選択 .....	B-3
B.3. 特殊な用紙 .....	B-6

## 付録C インタフェース

---

C.1. パラレル・インタフェース .....	C-2
C.2. シリアル・インタフェース .....	C-6
C.3. シリアル・インタフェースのプロトコル .....	C-8

## 付録D 文字コード表

---

JIS漢字コード表 .....	D-2
IBM (シフトJIS) 漢字コード表 .....	D-12
OCRキャラクタ・コード表 .....	D-21
新/旧JISコード対応表 .....	D-23
PCL-Jコード表 .....	D-25

## 索引

---

## <巻末付録> メニューの階層構造

---

# 第 1 章

## ページ・プリンタの設置

---

この章では本プリンタの各部の名称や使いかた、環境条件、設置の方法などについてイラストを使用して説明します。

- 1.1. ページ・プリンタの環境条件……1-2
- 1.2. 開梱の手順と付属品の確認……1-5
- 1.3. 長期間プリンタを使用しない場合……1-6
  - 1.4. プリンタの移動……1-6
  - 1.5. 各部の名称……1-7
  - 1.6. 組立と接続……1-9
  - 1.7. MPトレイ……1-26
- 1.8. メモリ・カード……1-30
- 1.9. メモリの増設……1-32

## 1.1. ページ・プリンタの環境条件


使用上の安全のために、また本プリンタの性能を十分に発揮させるために、本プリンタは下記の条件を満たすように設置してください。

- 温度と湿度**
- 温度: 10-C ~ 32.5-C の範囲。
  - 湿度: 20% ~ 80% の範囲。

温度や湿度が上記の範囲外の場合には、紙詰りが起こりやすくなり、また印字品質が低下することがあります。

**設置場所** プリンタの設置場所は、以下のことに注意して設置してください。また、本書のiからiiiページもよくお読みください。

- コンピュータの近くに設置してください。パラレル・インタフェースを使用する場合は、コンピュータとの接続ケーブルが3メートルを超えないようにしてください。

 **お知らせ** 以下の場所には設置しないでください。

- ☐ 建物外部との出入口やドア周辺など、気温や湿度が急激に変わる場所。結露によって印字品質が低下する原因になります。
- ☐ アンモニアなどの有害なガスの発生する場所。印字品質が低下する原因になります。
- ☐ 防虫剤を使用するときは、印字品質が低下する原因になりますので、プリンタを室外に出してください。
- ☐ 振動のある場所。振動によって印字品質が低下したり、故障の原因になります。
- ☐ 温室のような部屋。内部のトナーが固まり、故障の原因になります。
- ☐ 喫煙室および空調の届かない遮蔽された場所。ホコリなどのために、印字品質が低下する原因になります。
- ☐ 海拔2000mを越えるような気圧の低い場所。印字品質が低下する原因になります。
- ☐ 工作・作業現場等の粉塵の多い場所。印字品質が低下する原因になります。

**電源について** プリンタを接続する電源については以下のとおりです。また、本書のiからiiiページもよくお読みください。

電圧: 100V ± 10%

周波数: 50Hz/60Hz ± 2%

🔔 お知らせ

❑ プリンタの電源コードは抜き差しが簡単におこなえるよう、設置場所に近いコンセントへ直接差し込んでください。

❑ 電源コードは本機に添付しているものをお使いください。

❑ 延長コードを使わなければならない場合には、本体のコードとの合計の長さが5メートルを越えないようにしてください。

❑ 本プリンタの電源は空調機、蛍光灯、複写機、シュレッダーなどとは独立して供給してください。これらの機器から発生するノイズが電源を通じてプリンタに入り込み、プリンタの誤動作の原因となることがあります。やむをえず電源を共有しなければならないときは、あらかじめ電気工事店にご相談になり高周波ノイズ・フィルタまたはトランスをつけてください。

❑ 電源が不安定な場合は電気工事店にご相談になり、電圧レギュレータを使用するなどしてください。

**アースについて**

プリンタの電源側のアース線はコンセントのアース端子、銅棒を65 cm以上埋めたもの、水道局がアース対象物として承認した水道管に接続してください。



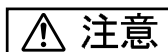
**警告**



ガス管には絶対にアースを接続しないでください。爆発、火災の原因になることがあります。

**周囲空間**

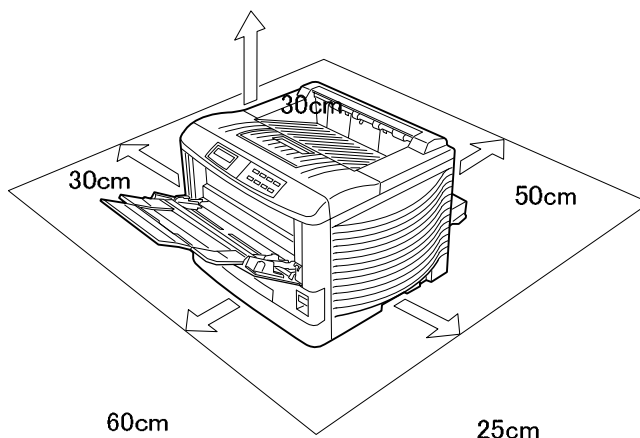
プリンタを設置する場所の周囲には、通気やメンテナンスのためにおよそ下記の空間が必要です。



**注意**




プリンタの周囲には十分な空間を確保してください。十分な空間を確保しないで使用を続けた場合には、プリンタ内部に熱がこもって火災の原因になることがあります。



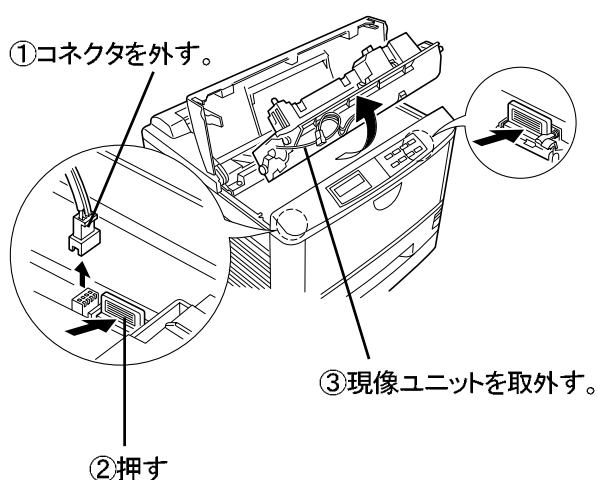
### 基本的な取扱上のご注意

消耗部品以外の部品の取り外し・変更は禁止されています。修理などについては、お買い求めの京セラコミュニケーションシステム株式会社正規販売会社(特約店)へご相談ください。

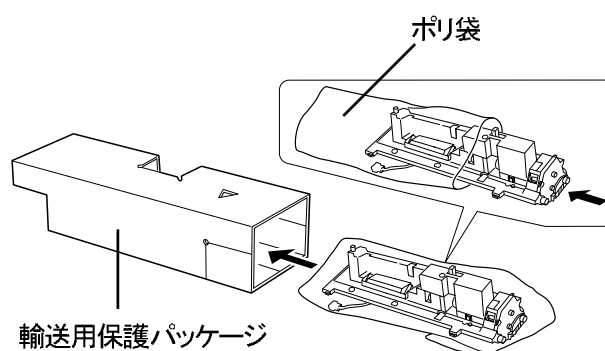
転居などによるプリンタの移動の際は、トナー・コンテナおよび現像ユニットを取り外し、現像ユニットは付属の輸送用保護パッケージへ入れてください(下図)。

 **お知らせ** 現像ユニットのマグネット・ローラは、強力な磁気を帯びています。腕時計およびフロッピー・ディスクや、クレジットカードなどの磁気カードは近づけないようご注意ください。

#### 1. 現像ユニットを取外してください。



#### 2. 現像ユニットを輸送用保護パッケージへ入れてください。



※トナー・コンテナと廃棄トナー・ボトルは、トナー・キットに付属しているポリ袋に入れてください。

詳細はお買い求めの京セラコミュニケーションシステム株式会社正規販売会社(特約店)へご相談ください。

本機を日本国外に移動した場合は、保守・サービスはいたしかねますのでご了承ください。

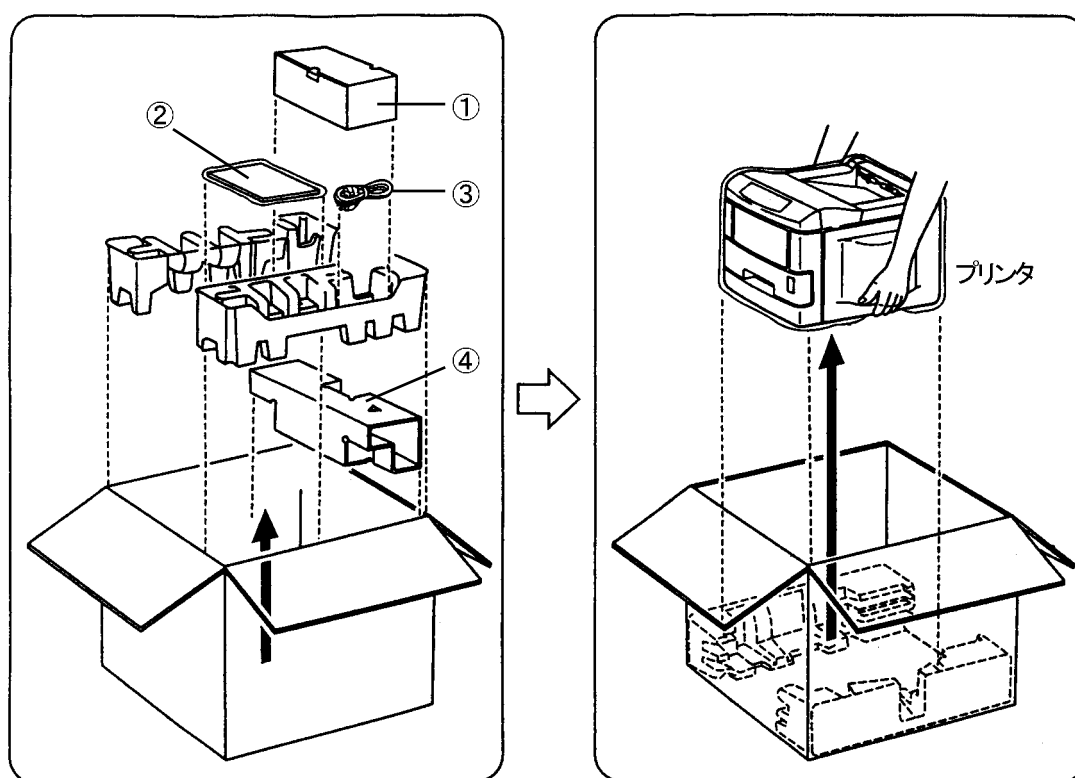
本機を利用する有価証券や紙幣の印字は違法です。

## 1.2. 開梱の手順と付属品の確認

プリンタは必ず下図のようにパッケージより取り出してください。プリンタを取り出したら下のリストに照らし、内容物に不足がないかお調べください。

1. プリンタの梱包箱を水平な安定した場所に置いてください。
2. マニュアルを取り出し、箱内のスペーサを取り除いてください。
3. プリンタを注意しながら取り出してください。

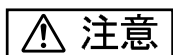
- 梱包内容のリスト**
- ① トナー・キット (トナー・コンテナ、クリーニング用布、廃棄トナー・ボトル)
  - ② 取扱い説明書、CD-ROM (Kyocera Digital Library)、清掃ブラシ
  - ③ 電源コード
  - ④ 現像ユニット輸送用保護パッケージ





## 1.3. 長期間プリンタを使用しない場合

プリンタを長期間使用しない場合の注意について説明します。

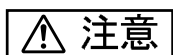


長期間プリンタを使用しないときには、プリンタの電源コードを抜いておいてください。また、ホコリがつかないように、カバーをかけておいてください。

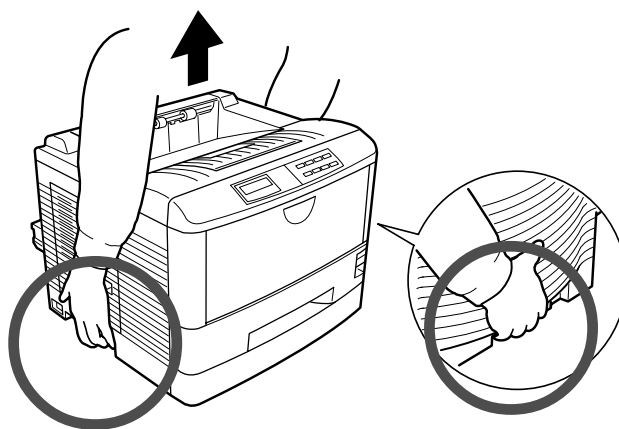
2ヶ月以上プリンタを使用しなかった場合は、あらためてお使いになる前に京セラコミュニケーションシステム株式会社正規販売会社(特約店)にご相談の上、メンテナンスを受けることをおすすめします。

## 1.4. プリンタの移動

プリンタを移動させる際の注意について説明します。



プリンタを持ち上げる際は、左図のように所定の場所に手をかけ、腰を痛めないように十分に注意して持ち上げてください。必要に応じて二人で持ち運んでください。



右側のメモリカード・スロットにメモリ・カードが差し込まれている場合は、誤ってメモリカード・スロットに手をかけないでください。メモリ・カードが破損する原因になります。

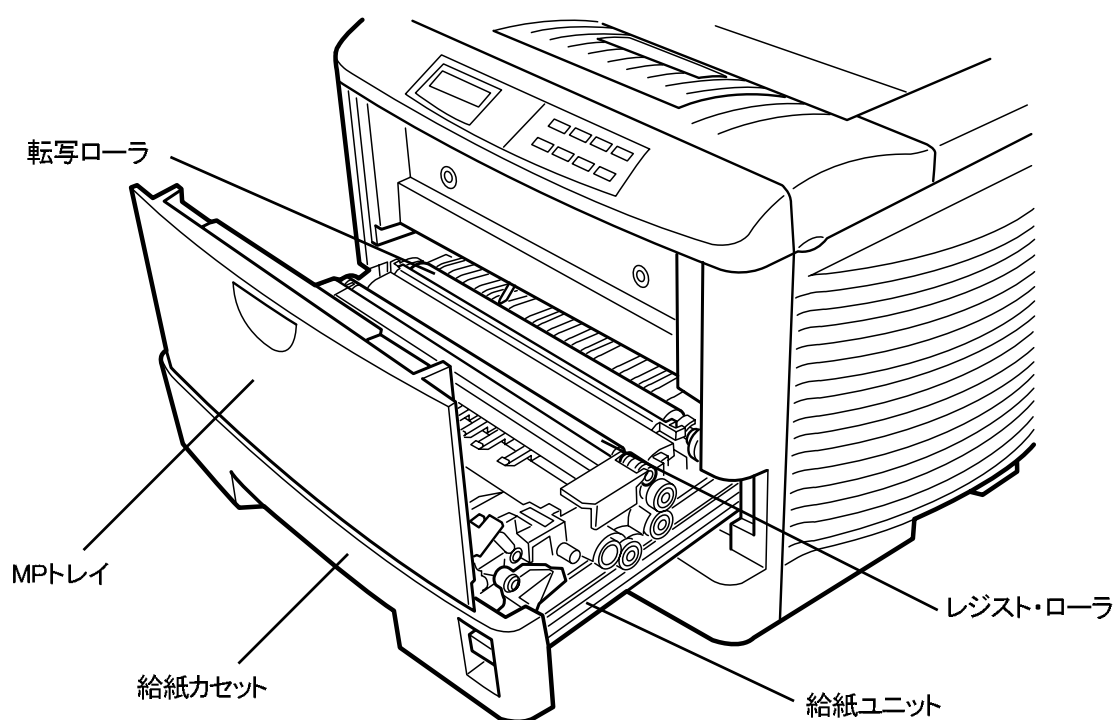
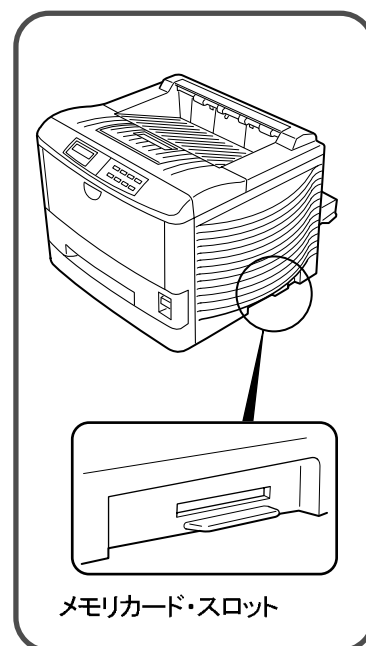
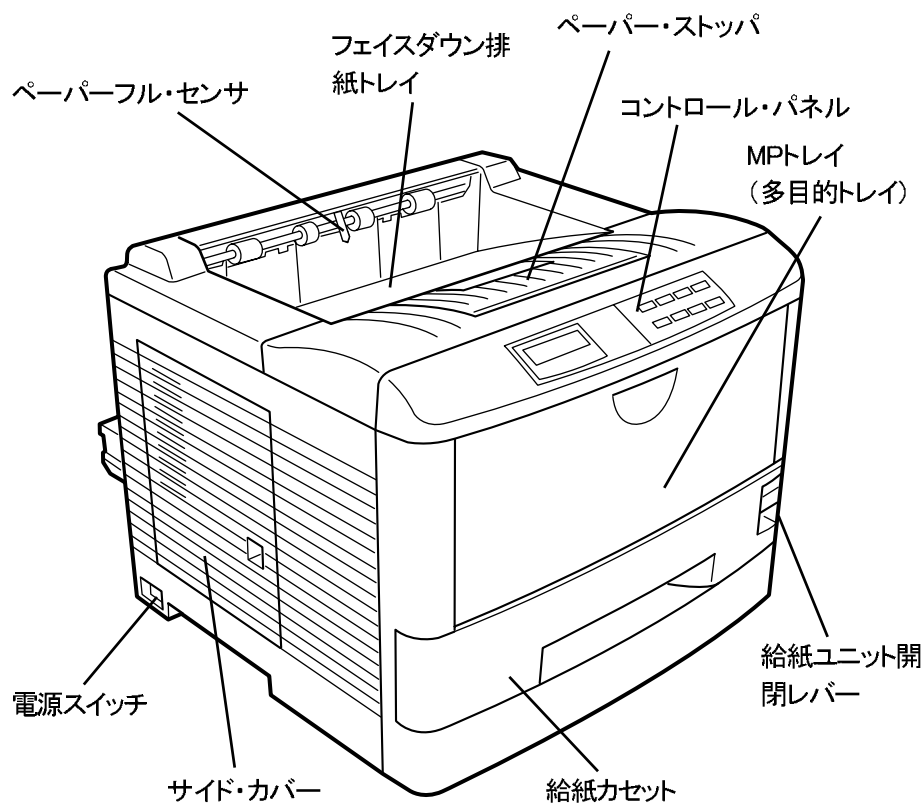
移動の際にはトナーなどによるプリンタ内の汚損を防ぐために、水平を保って静かに移動してください。

プリンタを長距離にわたって移動させる場合には、お買い求めの京セラコミュニケーションシステム株式会社正規販売会社(特約店)にご相談ください。

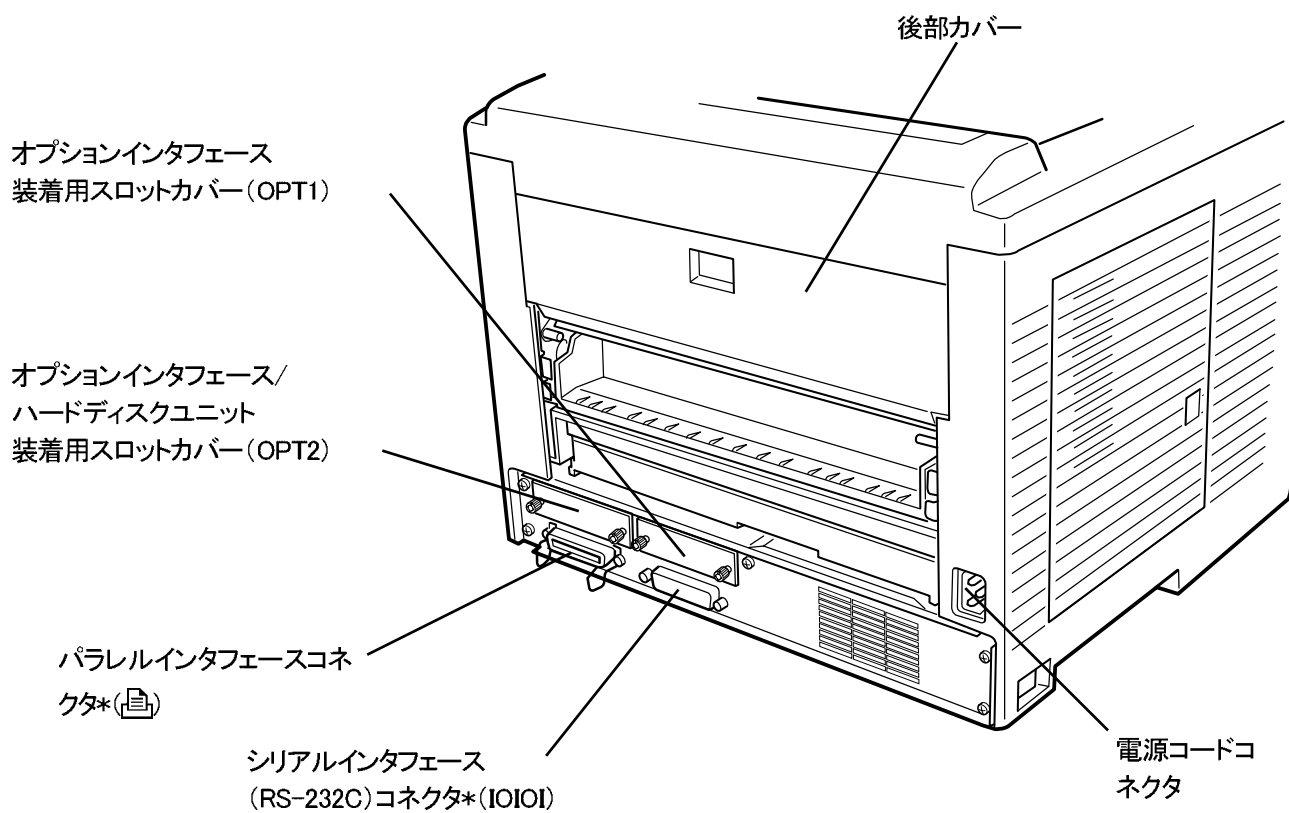
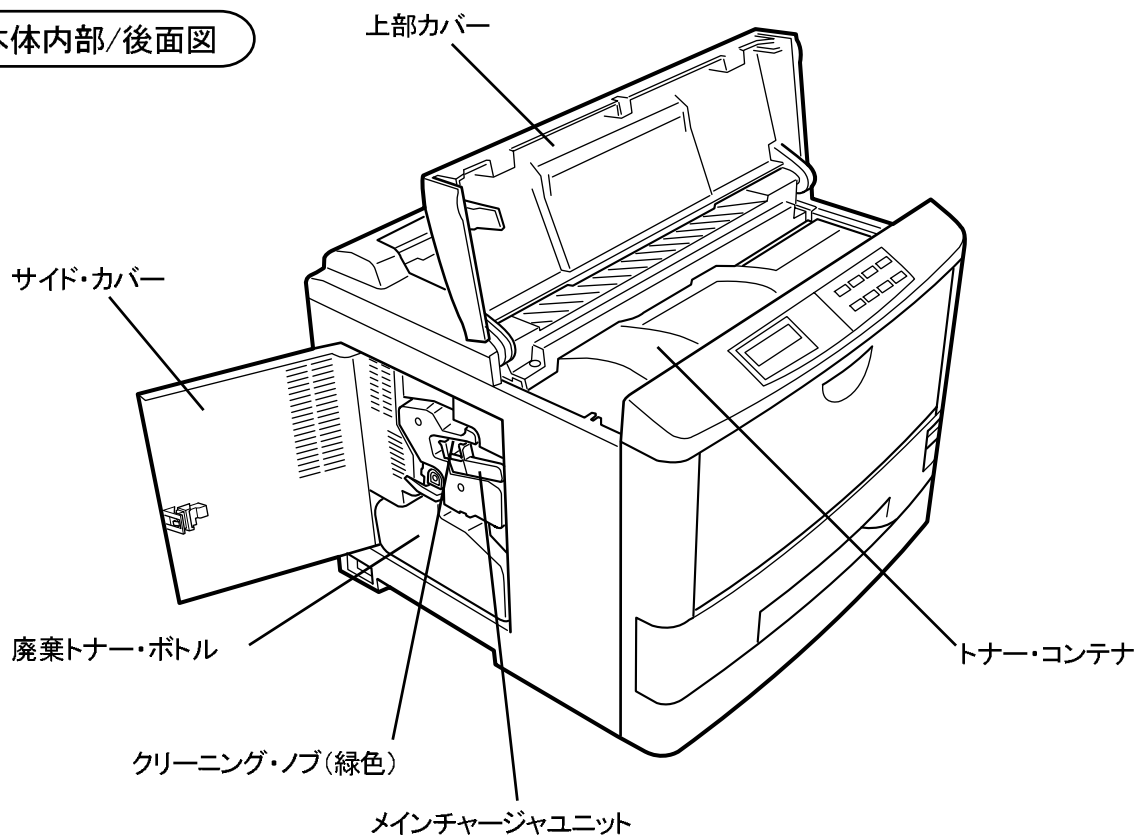
## 1.5. 各部の名称

プリンタの各部の名称を示します。

本体全面/側面図



本体内部/後面図



\*: 静電気対策のため、使用しないコネクタにはプリンタ付属の保護キャップを付けてください。

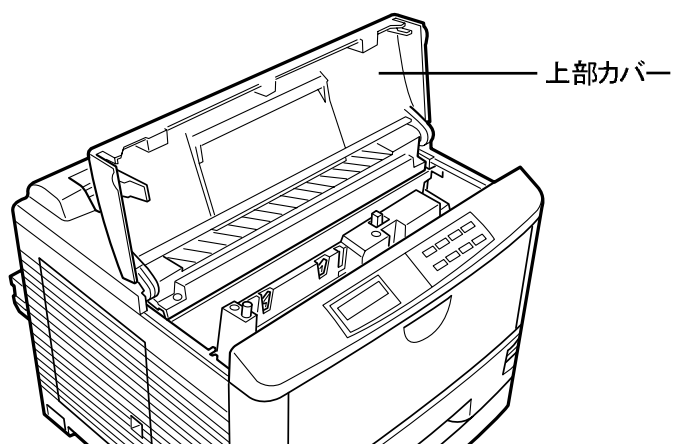
## 1.6. 組立と接続

プリンタの組立は次の手順にしたがってください。

1. 上部カバーを開きます。【図 1-9ページ】
2. トナー・コンテナを装着します。【図 1-10ページ】
3. 上部カバーを閉めます。【図 1-11ページ】
4. 廃棄トナー・ボトルを装着します。【図 1-11ページ】
5. 給紙カセットの用紙ガイドを調節します。【図 1-13ページ】
6. 用紙をセットします。【図 1-15ページ】
7. ペーパーストップを開きます。(必要に応じて) 【図 1-17ページ】
8. フェイスアップ排紙トレイを取り付けます。(別売) 【図 1-18ページ】
9. プリンタとコンピュータを接続します。【図 1-18ページ】
10. 電源コードを取り付けます。【図 1-19ページ】
11. プリンタのテストをおこないます。【図 1-20ページ】
12. コンピュータとの接続をテストします。【図 1-20ページ】
13. プリンタ・ドライバをインストールします。【図 1-21ページ】

### 1. 上部カバーを開きます。

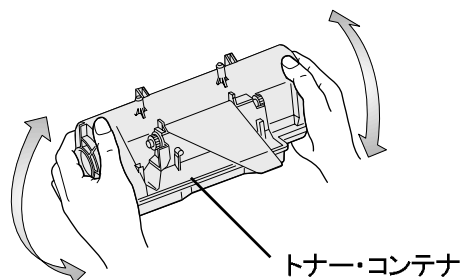
1. プリンタに貼られているパッキング・テープを取り除いてください。
2. 上部カバーを止まるまで開いてください。



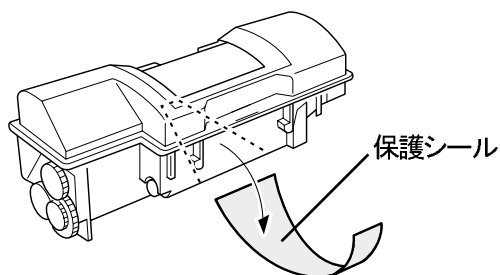
## 2. トナー・コンテナを装着します。

---

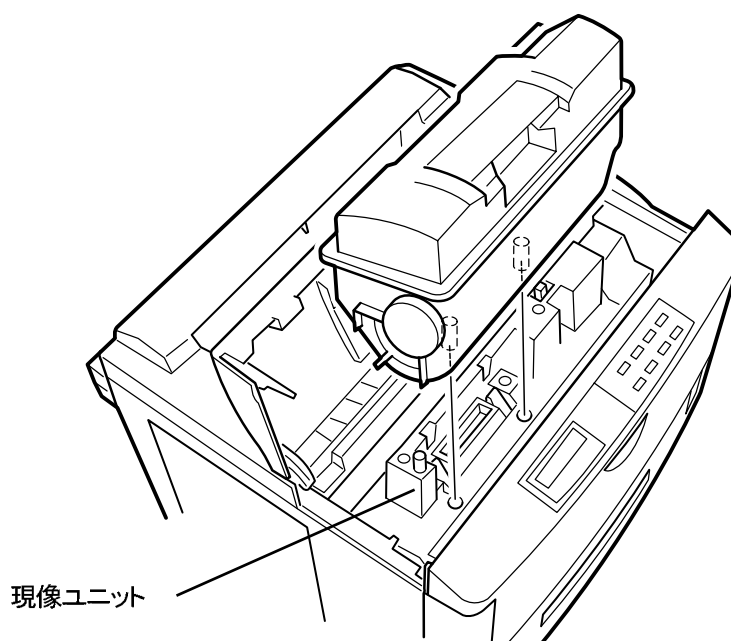
1. トナー・キットからトナー・コンテナを取り出します。内部のトナーをほぐすため、図のように矢印方向に10回以上振ってください。



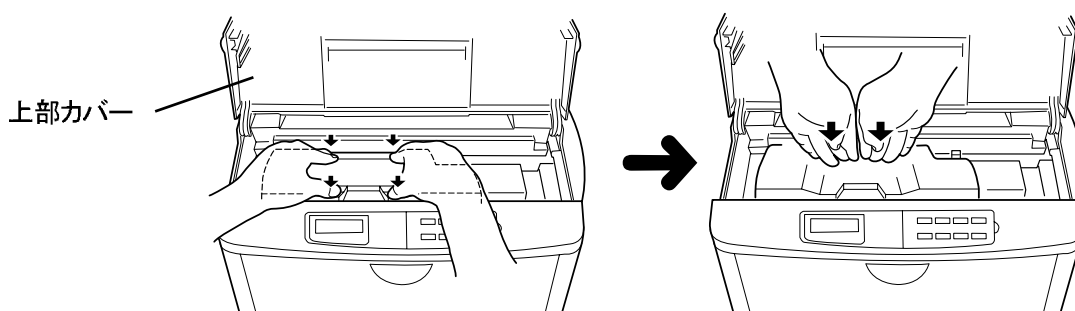
2. 図のように保護シールを静かに取り除いてください。



3. 図のようにトナー・コンテナを現像ユニットの上に装着してください。



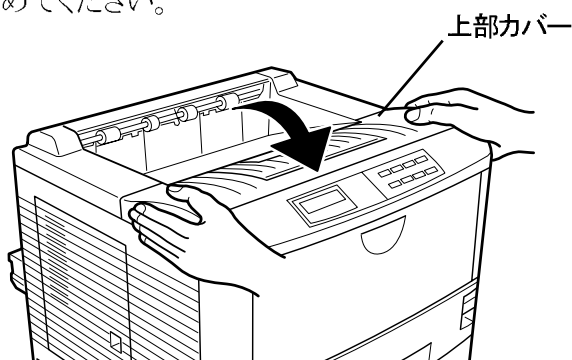
4. トナー・コンテナが正しい位置に装着されていることを確認し、図のようにトナー・コンテナ上部の[ここを押す]の部分を、カチッと手応えがあるまで、強く押し入れてください。



🔔 お知らせ トナー・コンテナが正しく装着されたかを確認してください。

### 3. 上部カバーを閉めます。

上部カバーを閉めてください。

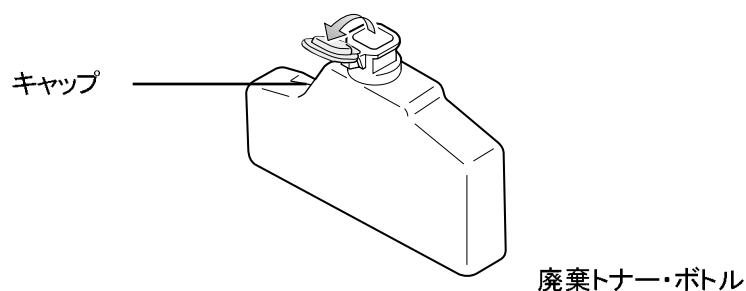


### 4. 廃棄トナー・ボトルを装着します。

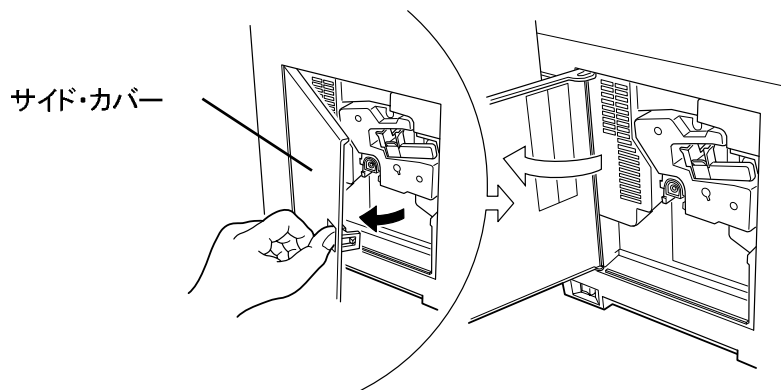
廃棄トナー・ボトルはトナー・キットに付属しています。

1. 廃棄トナー・ボトルをプリンタ付属のトナー・キットから取り出してください。

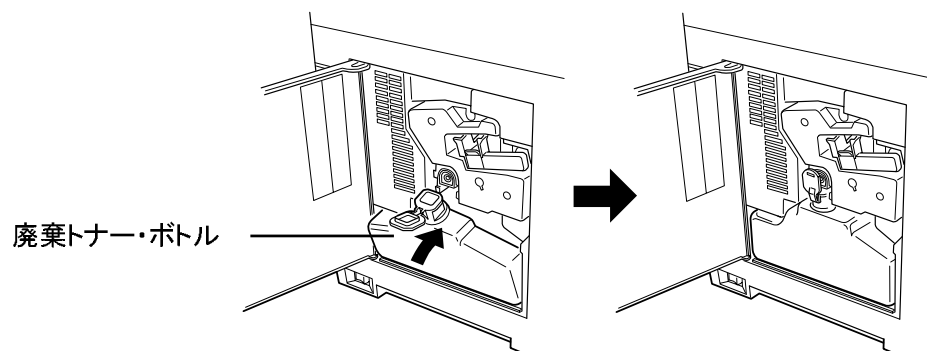
🔔 お知らせ キャップは閉めないでください。




2. プリンタ左側にあるサイド・カバーを開けてください。

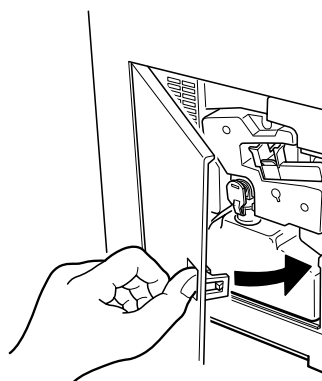


3. 図のように廃棄トナー・ボトルを少し手前に傾けながら装着してください。



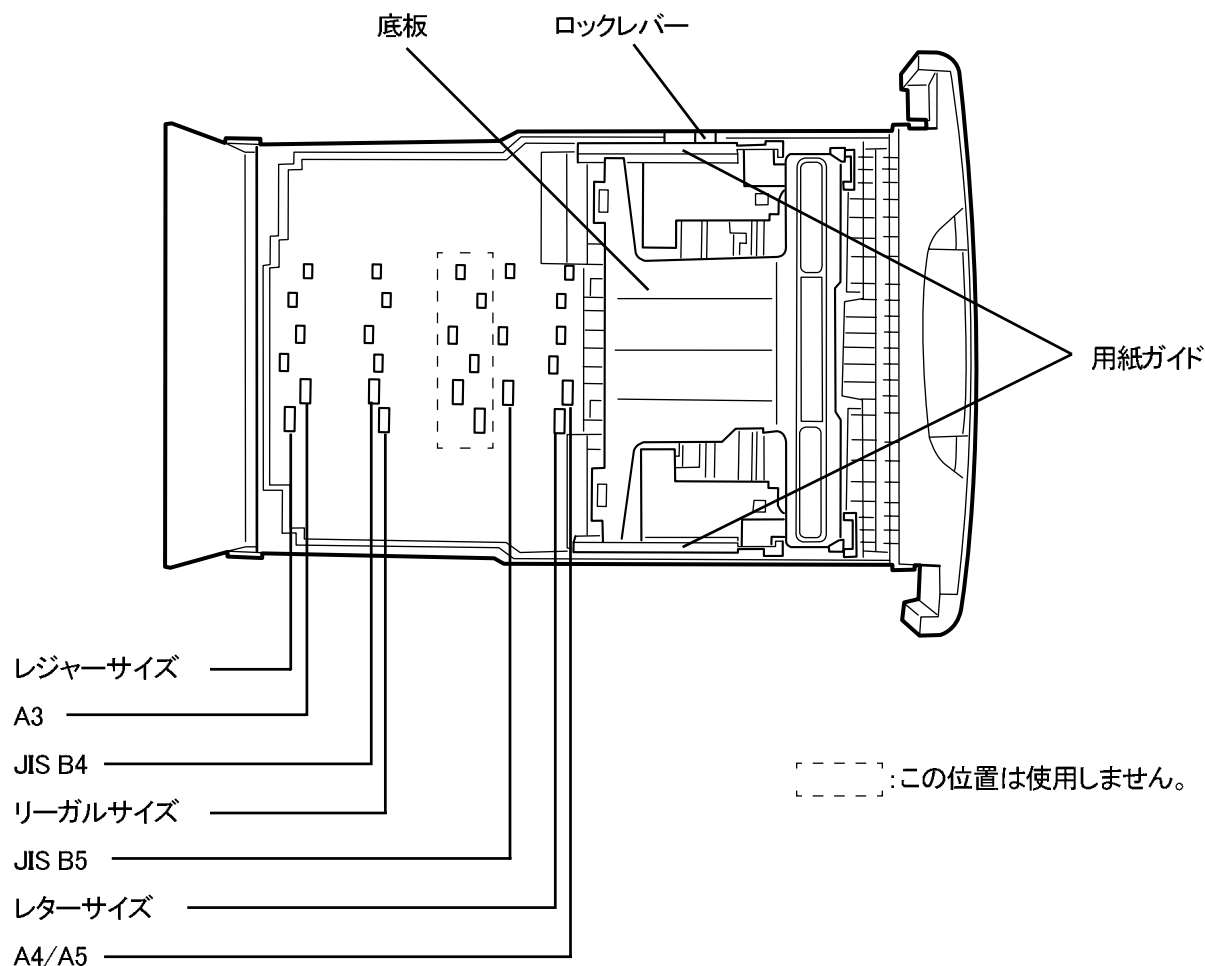
4. 廃棄トナー・ボトルが正しく装着されたことを確認して、サイド・カバーを閉めてください。

 お知らせ 廃棄トナー・ボトルは多少手前に傾いた状態になりますが、サイド・カバーを閉めると正しくプリンタに装着されます。



## 5. 給紙カセットの用紙ガイドを調節します。

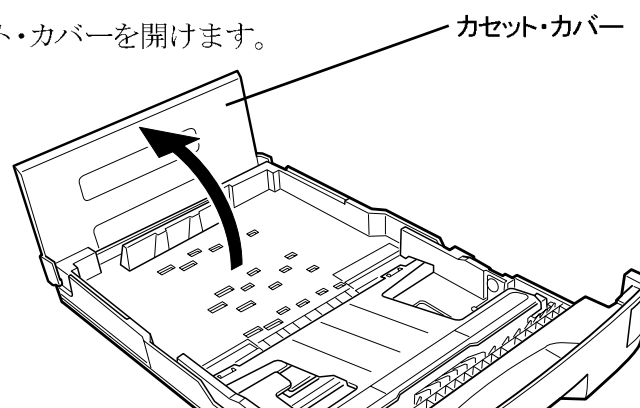
本プリンタに付属している給紙カセットは、用紙ガイドおよびペーパー・ストップの位置を調節することによってA5サイズからレジャーサイズまでの規格紙を給紙することができます。工場出荷時はA4に設定されています。



ペーパーストップの位置

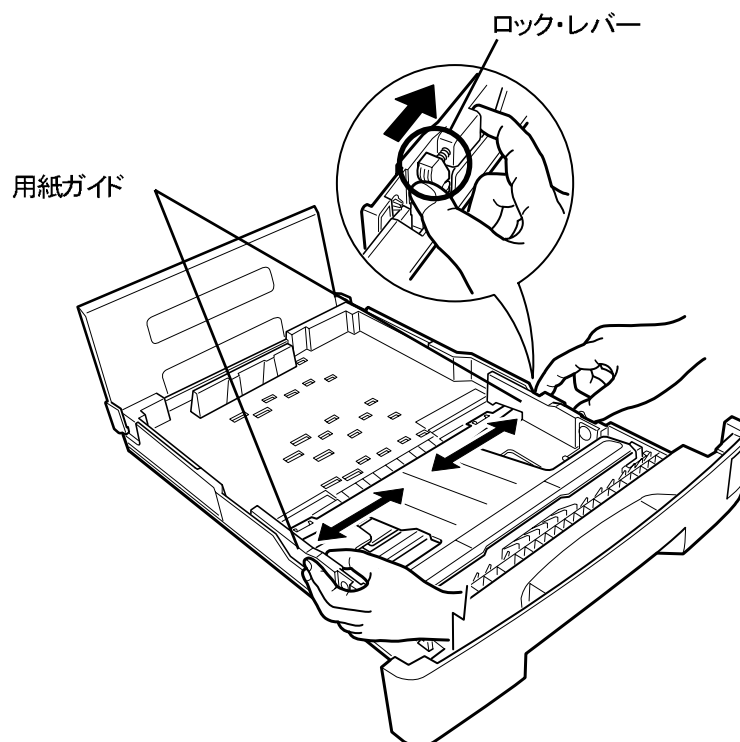
給紙カセット内には、各固定位置に用紙サイズの表示があります。

1. カセット・カバーを開けます。

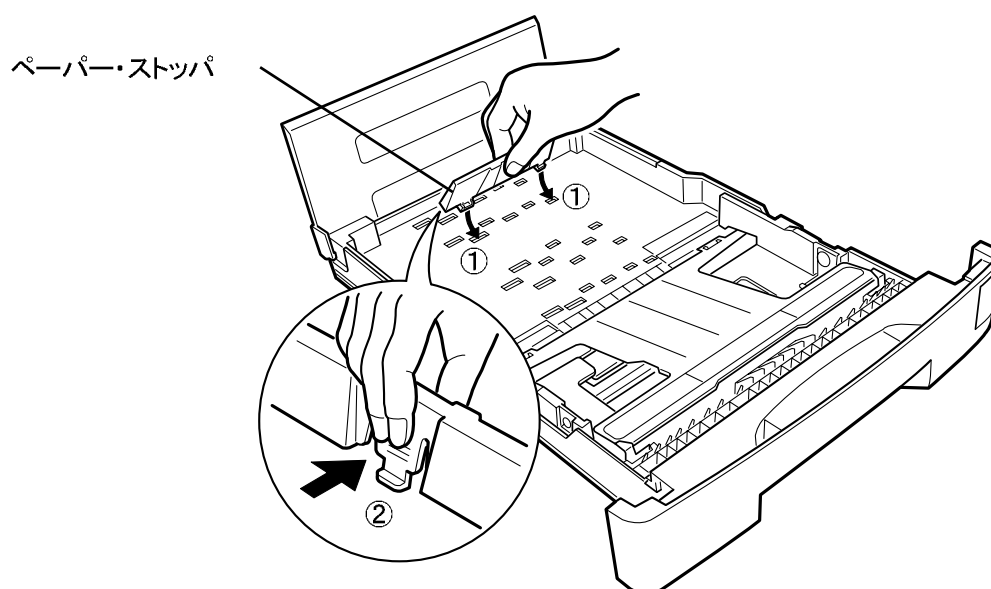




2. 用紙ガイドを調節します。図のようにロック・レバーを押しながら、用紙ガイドを使用する用紙に合わせて調節します。



3. 用紙ガイドの位置を確認し、ロック・レバーを離してください。
4. 使用する用紙の位置に合わせ、ペーパー・ストップを①②の順に押し込んで確実に固定してください。



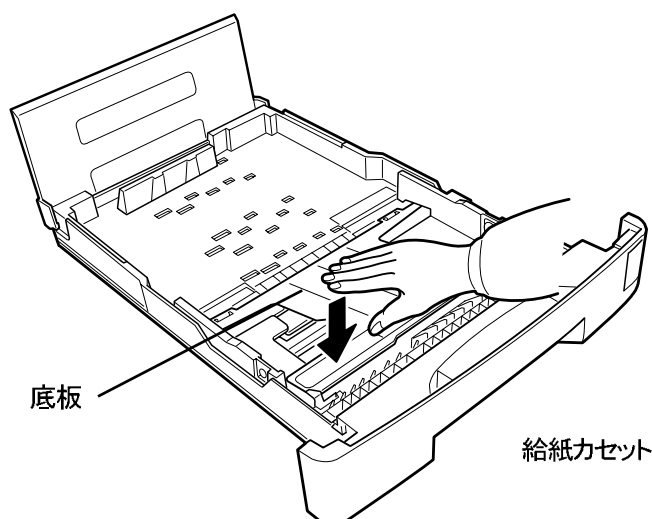
## 6. 用紙をセットします。

用紙はなるべく新しく開封された物を使用してください。長い間放置された用紙は湿気を含んでおり、数枚が重なって一度に給紙されたりして紙詰まりの原因になります。本プリンタに使用できる用紙の仕様については付録B 用紙についてを参照してください。

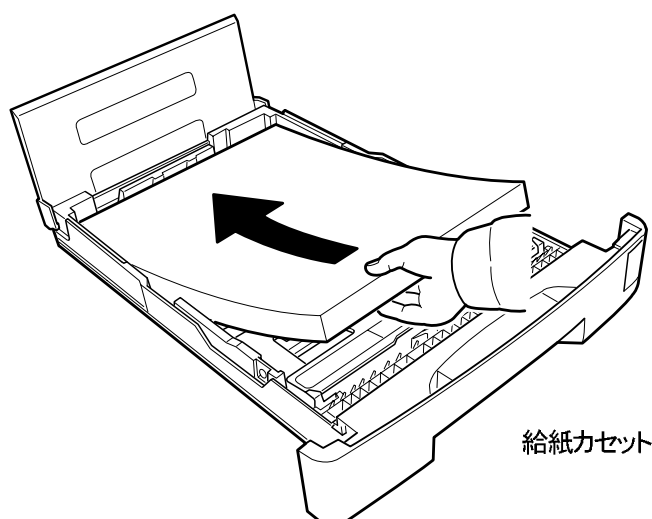
### 🔔 お知らせ

- 用紙の給紙は、給紙カセットをプリンタから外してからおこなってください。
- 用紙を補給する場合は、給紙カセット内の用紙がすべてなくなってから行ってください。なくならないうちに補給すると、紙詰まりの原因になることがあります。

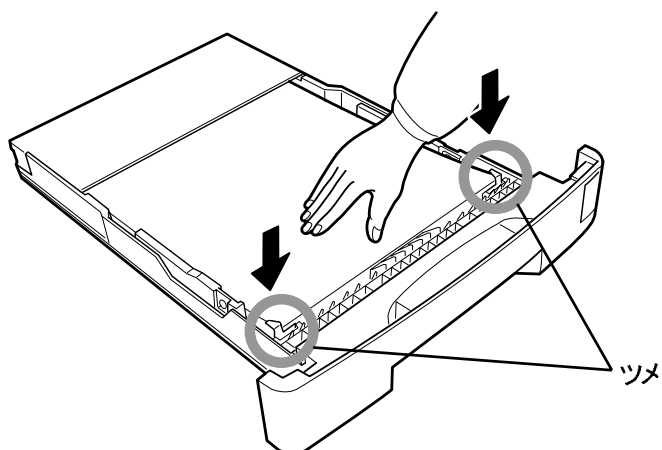
1. 給紙カセット内の底板を、固定されるまで押し下げてください。




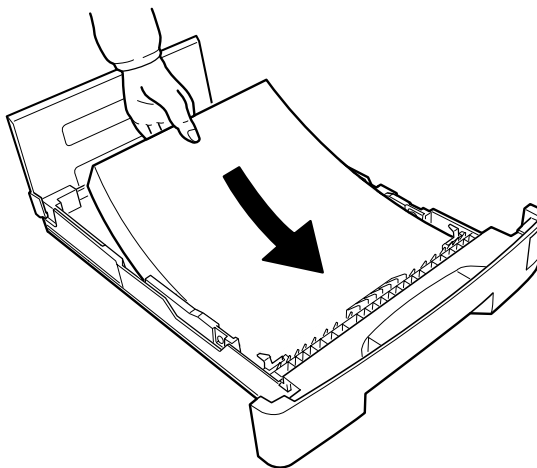
2. 用紙の先端をよくそろえて奥側を先に入れてください。一度にセットする用紙は、左右の用紙ガイドに表示されている上限表示以下になるようにしてください。厚さ0.1 mm/枚で最大約250枚収容できます。セットした用紙の下面に印字されます。



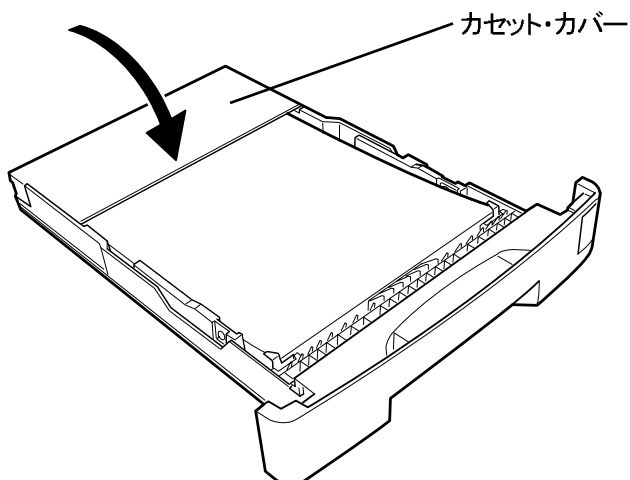
3. 用紙の両端を給紙カセットのツメの下に入れてください。



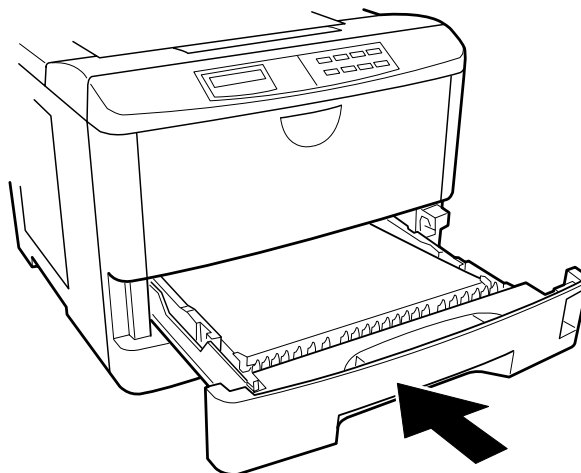
-  お知らせ 用紙によっては(厚紙等)、この方法では用紙をセットしにくい場合があります。その場合は図のようにカセットの手前側より用紙を入れてください。



4. 給紙カセット・カバーを閉めます。

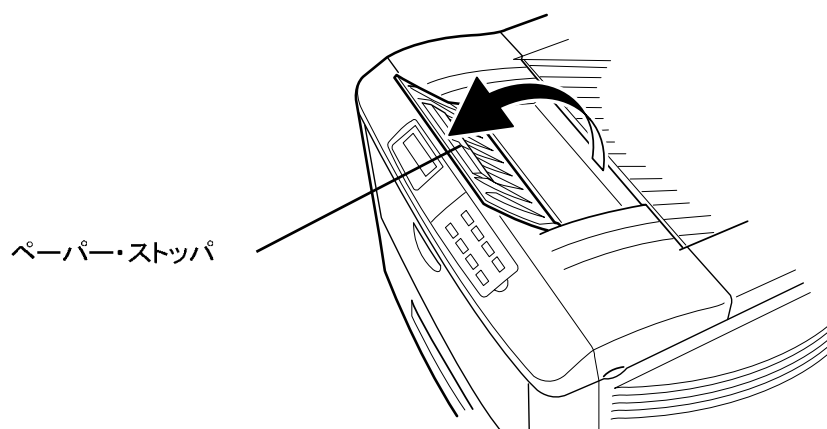



5. 給紙カセットをプリンタの奥まで確実に装着してください。



## 7. ペーパーストップを開きます。(必要に応じて)

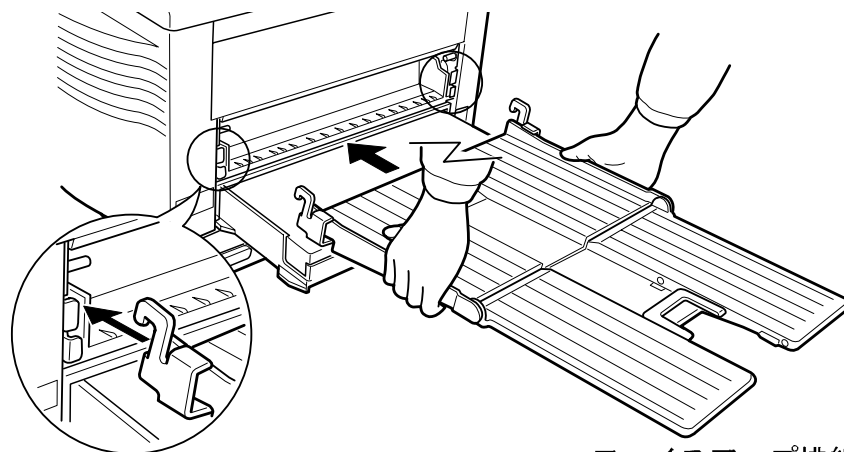
図のように、フェイスダウン・トレイのペーパー・ストップを開いてください。



-  **お知らせ** 用紙によってはペーパーストップを開かずに印字した方が、排紙状態がきれいに揃うものがあります。ペーパーストップは、用紙の排紙状態を確認した上で使用してください。

## 8. フェイスアップ排紙トレイを取り付けます。(別売)

用紙を印字面が上(逆順)になるように重ねたい場合は、別売のフェイスアップ排紙トレイ(PT-3)を使用します。図のようにフェイスアップ排紙トレイを取り付けてください。




フェイスアップ排紙トレイ (PT-3)

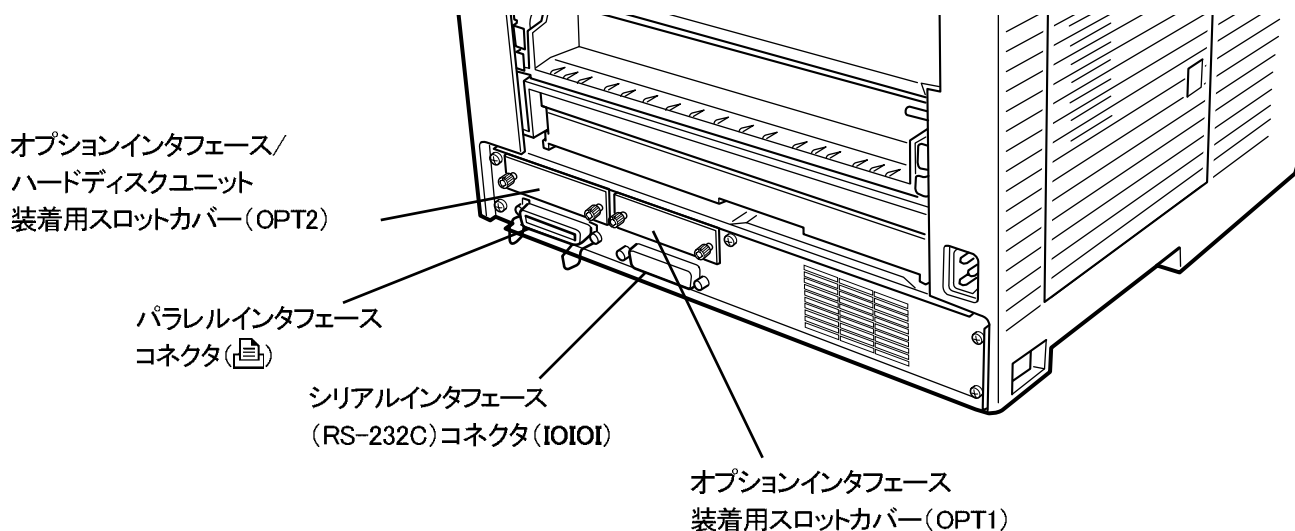
## 9. プリンタとコンピュータを接続します。

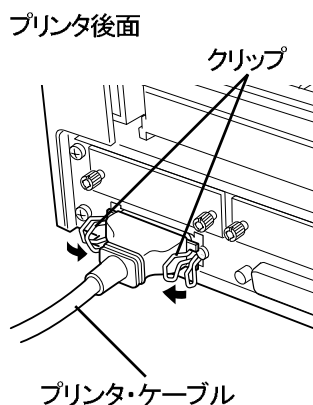
### ⚠ 注意




プリンタの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた状態でおこなってください。感電するおそれがあります。

プリンタ後面には標準セントロニクス仕様のパラレルインタフェース・コネクタ(  )と、RS-232C仕様のシリアルインタフェース・コネクタ( **IOIOI** )があります。それぞれのピン接続表は付録Cをご覧ください。






### パラレル・インタフェースの接続

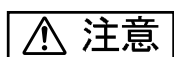
1. プリンタの  と表示のあるコネクタに、プリンタ・ケーブルの一方を差し込みます。
2. 両側のクリップではさみ、固定してください。
3. プリンタ・ケーブルのもう一方をコンピュータのパラレル(セントロニクス)インタフェース・コネクタに差し込んでください。通常このコネクタには PRINTER と表示されています。詳しくはコンピュータのハードウェア・マニュアルを参照してください。

詳しくは付録Cを参照してください。

### シリアル・インタフェースの接続

1. プリンタの  と表示のあるコネクタに、ケーブルの一方を差し込みます。
2. 両側のネジをしっかりと締めてください。
3. ケーブルのもう一方をコンピュータのシリアルインタフェース・コネクタに差し込んでください。詳しくはコンピュータのハードウェア・マニュアルを参照してください。

## 10. 電源コードを取り付けます。



注意

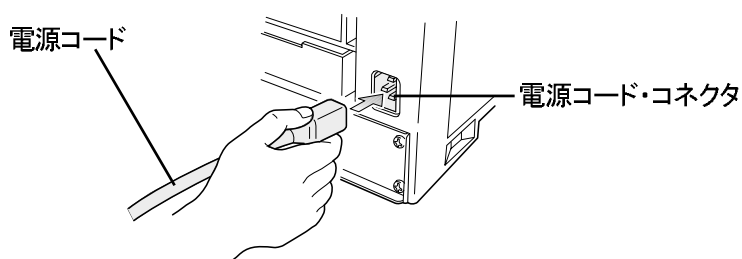


プリンタの電源スイッチは、切った状態でおこなってください。

お知らせ

電源コードは本機に添付しているものをお使いください。

1. 後面の電源コード・コネクタに、電源コードを差し込んでください。



2. 電源コードの片側をコンセントへ接続してください。



警告




電源コードのアース線は、確実にアースしてください。

## 11. プリンタのテストをおこないます。

---

以下の手順で出荷時の設定を表すステータス・ページを印字して、プリンタのテストをおこないます。プリンタのコントロール・パネル上の表示やキーについては、**2.1. コントロール・パネル**をご参照ください。

1. プリンタの電源スイッチをオンにします。コンピュータの電源はオフのままでもかまいません。メッセージ・ディスプレイには**Self test**が表示されます。

 **お知らせ** プリンタにトナー・コンテナを最初に装着して電源を入れた場合、印字できる状態(**プリント デキマス**)になるまで、プリンタはトナーインジケータが点滅し、**シバラク オマチクダサイ**を10分間程度表示したままになります(トナー補給中)が、故障ではありません。

2. プリンタのON LINEインジケータが点灯し、メッセージ・ディスプレイに**プリント デキマス**が表示されるまでお待ちください。
3. **ステータス**キーを押します。プリンタは現在設定されているマージン位置、メモリ割付などの情報をリストにしたページを印字します。

ステータス・ページの内容については、第2章をご覧ください。

## 12. コンピュータとの接続をテストします。

---

プリンタとコンピュータが正しく接続されているか確認するために、コンピュータより実際にコマンドを送って印字させてみます。

1. プリンタの電源スイッチをオンにし、コンピュータの電源もオンにしてください。
2. メッセージ・ディスプレイに**プリント デキマス**と表示されていることを確認してください。
3. ON LINEインジケータが点灯していることを確認してください。消えている場合には**オンライン**キーを押してON LINEインジケータを点灯させてください。
4. コンピュータのスクリーン上でDOSのプロンプトに対して次のように入力し、実行してください。Windowsからは「MS-DOSプロンプト」を実行してからおこなってください。

```
ECHO !R! STAT; EXIT;>PRN↵
```

プリンタよりステータス・ページが印字されれば、プリンタはコンピュータと正しく接続されています。ステータス・ページが印字されない場合には、ケーブルが正しく接続されているかを調べてください。ケーブルやコネクタの断線も考えられます。


### アプリケーション・ソフトでの注意

ここまでの操作で、コンピュータとプリンタの接続が完了しました。実際にコンピュータからソフトを起動して印字を行うには、接続しているコンピュータにプリンタ・ドライバをインストールしてください(次ページより参照)。プリンタ・ドライバのインストールが終わったら、ソフト側でプリンタの設定を正しく行ってください。


## 13. プリンタ・ドライバをインストールします。

本プリンタには、日本語Windows用 (Windows 3.1/95/98/Windows NT 3.51/4.0) のプリンタ・ドライバがCD-ROMで添付されております。このプリンタ・ドライバをコンピュータにインストールすれば、Windowsのアプリケーションから本プリンタを使用することができます。またWindows上から、オプションの制御や印字の制御も可能になります。

これらのドライバはCD-ROMの¥DRIVERS¥JAPANESEフォルダの中に、OSごとに収録されています。ドライバのインストールの手順については、以下をご覧ください。またWindows付属の説明書もあわせてお読みください。

 お知らせ 付属CD-ROMの¥DRIVERS¥JAPANESE以外のフォルダにあるファイルは海外向のものです。それらを本プリンタに使用した場合はサポートの対象にはなりません。

☐ Windows 95 (Windows 98)

 お知らせ CDの自動起動が設定されているコンピュータの場合、プリンタ付属のCD-ROMをコンピュータにセットすると、自動的にインストール画面が表示されます(下図)。インストール画面は、CD-ROMのバージョンによって変わることがあります。



ここをクリックしてください



メニューの「ドライバのインストール」をマウスでクリックすると、「京セラ セットアップ ウィザード」が起動しますので、画面の指示にしたがってインストールを進めてください。インストール途中に表示される主な画面について、以下の説明をお読みください。

この画面では、「LS-6800」を選択してください。

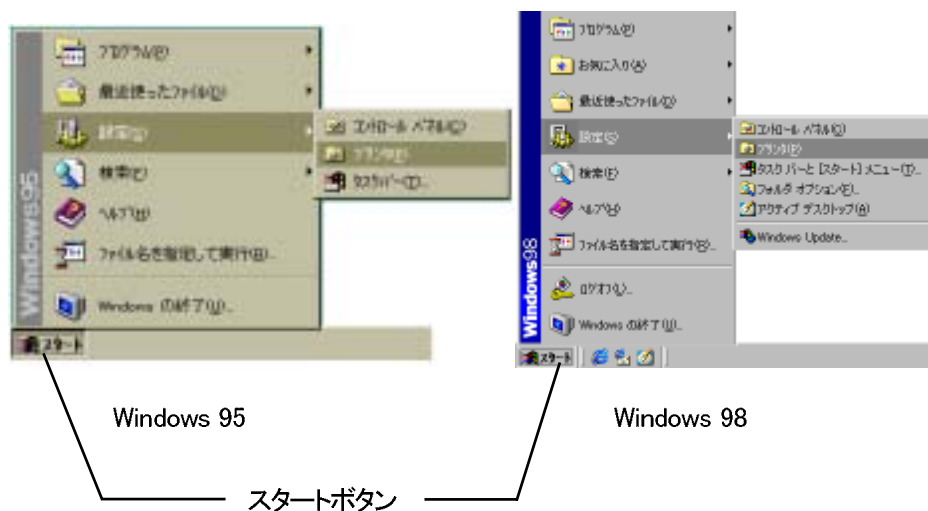


この画面では通常、「京セラ LS-6800」を選択してください。プリンタのRAMディスク機能(2-23ページ)を使用する場合や、オプションのハードディスクユニットを装着する場合は「京セラ LS-6800(MPS)」を、オプションのKPDL2アップグレード・キット(PK-5)を装着する場合は「Kyocera LS-6800(KPDL-2)」を選択してください。

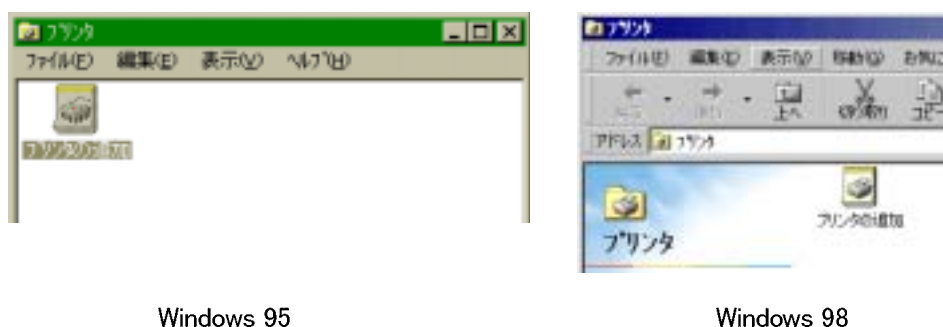


コンピュータによっては、インストール画面が表示されない場合があります。その場合は下記の手順にしたがって、プリンタドライバをインストールしてください。

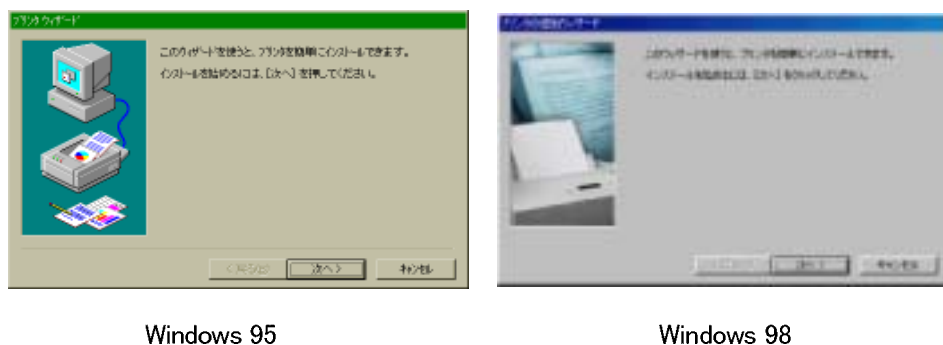
1. Windows 95/98のタスク・バーにある**スタート**ボタンをマウスでクリックし、**設定**へカーソルを合わせます。表示された項目の中から**プリンタ**をクリックしてください。



2. **プリンタ**のフォルダが開きますので、**プリンタの追加**をダブル・クリックしてください。



3. プリンタウィザードの画面が表示されますので、**次へ>**をクリックしてください。



4. プリンタの接続先を選択する画面が表示されますので、適切な接続先を選び**次へ>**をクリックしてください。

5. 次にプリンタの製造元とモデルを選んでください。…の画面が表示されます。ここでは右下にあるディスク使用(H)を選んでください。(次の図を参照。)
6. フロッピーディスクからインストールの画面が出ますので、配布ファイルのコピー元: に[CD-ROMのドライブ名]:¥DRIVERS¥JAPANESE¥PCL¥95を入力(Windows98の場合は98を入力)し、OKをクリックしてください。

また、プリンタにオプションのKPD Lアップグレード・キット(PK-5)を装着している場合は、コピー元に次のように入力してください。[CD-ROMのドライブ名]:¥DRIVERS¥JAPANESE¥KPD L¥95(または98)。



7. 京セラ・プリンタのモデル名リストが表示されますので、その中から「京セラ LS-6800」を選び、次へ>をクリックして次の画面表示の指示にしたがってインストールを進めてください。正しくインストールされると、京セラプリンタのアイコンがプリンタのフォルダの中に追加されます。


---

#### □ Windows 3.1

1. 付属のCD-ROM(Kyocera Digital Library)をコンピュータのCD-ROMドライブに入れてください。
2. Windows 3.1を起動してください。
3. **コントロールパネル**をダブル・クリックしてください。
4. **プリンタ**をダブル・クリックしてください。
5. **追加(A)>>**をクリックしてください。
6. **組み込むプリンタの選択(L)**が表示されますので、その中から**一覧にないプリンタや更新されたプリンタの組み込み**をクリックしてください。
7. **組み込み(I)**をクリックしてください。
8. プリンタの組み込みメニューが表示されますので、CD-ROMの¥DRIVERS¥JAPANESE¥PCL¥3x下に登録されているドライバから、LS-6800を選択してください。
9. ドライバのインストールが終わったら、**終了**をクリックして**コントロールパネル**を閉じてください。

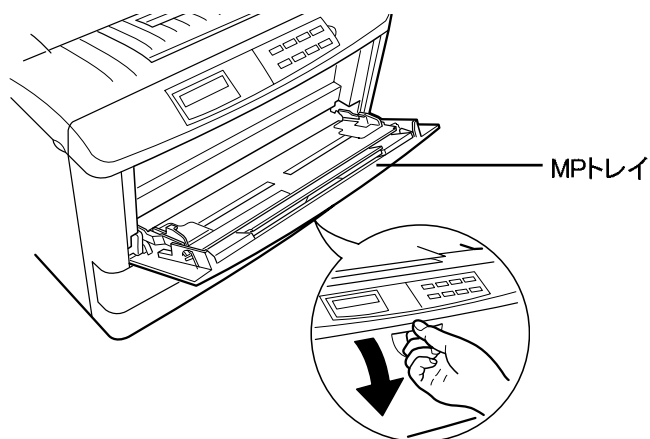
## 1.7. MPトレイ

MPトレイはプリンタ前面に収納されています。MPトレイからの給紙ではカセット・モード、優先モード、手差しモードの3種類のモードから選ぶことができます。MPトレイは約100枚の用紙を収容することができます。

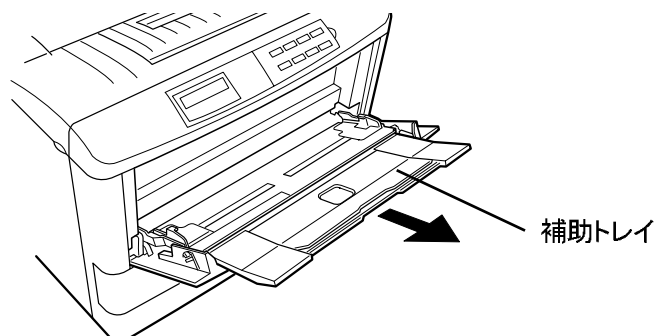
- カセット・モード** 約100枚(用紙厚0.1 mm)の用紙を連続給紙することができます。(工場出荷時の設定)
- 優先モード  
(自動手差し給紙)** MPトレイに用紙があれば、他の給紙元を選んでいる場合でも優先してMPトレイから給紙をおこないます。印字後は本来指定されている給紙元から給紙をおこないます。
- 手差しモード** 普通紙以外の特殊紙等も一枚ずつ給紙することができます。  
本プリンタに使用できる用紙とそのサイズは、**付録B**を参照してください。
-  **お知らせ** 優先モードおよび手差しモードでは、MPトレイ・サイズの設定に関わらず、カスタムサイズの給紙タイミングで印字を行います。

### MPトレイからの給紙と設定

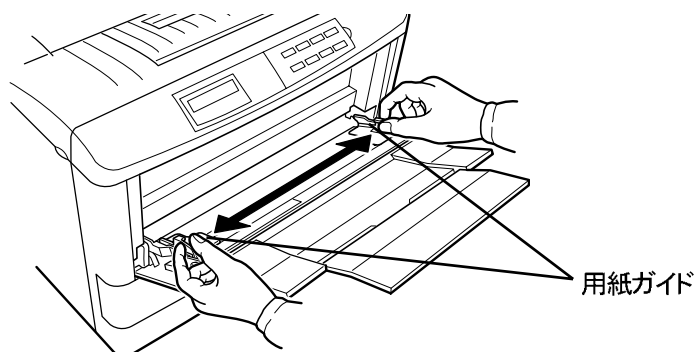
1. 図のようにMPトレイを手前に開いてください。



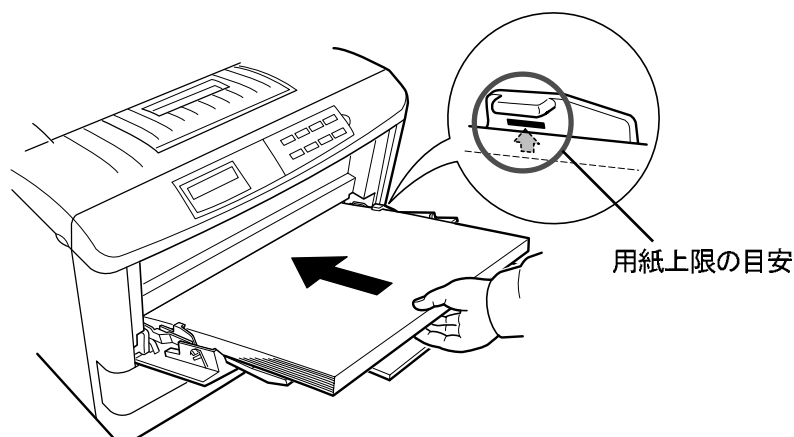
2. さらに補助トレイを引き出してください。




3. 用紙ガイドを給紙する用紙の幅に合わせて調節してください。



4. プリンタのメッセージ・ディスプレイが**プリント デキマス**を表示し、ON LINE インジケータが点灯していることを確認してください。
5. **給紙選択**キーを押し、**MP トレイ**を表示させて給紙元をMPトレイにしてください。コントロール・パネル上のMPトレイ・インジケータが点滅し、**カミヨイレテクダサイ**と表示されます。
6. 用紙をセットします。



7. **モード選択**キーを押し、**+** (**排紙選択**) キーまたは **-** (**給紙選択**) キーを何度か押して、**MP トレイ モード** を表示させてください。
8. モードを設定します。それぞれのモードの設定方法については、下記の**各モードの設定**をご覧ください。
9. **▶ (フォームフィード)** キーを押し、**>MP トレイ カミサイズ** を表示させ**実行**キーを押すとMPトレイから給紙する用紙サイズを設定することができます。設定可能な用紙サイズについては**B-3ページの表**を、メニューの表示階層については巻末の**メニューの階層構造**をご覧ください。

 **お知らせ** 用紙のサイズとMP トレイ カミサイズで設定が一致していないと、紙詰まりを起こしたり、正しく印字されないことがあります。また、A4サイズとレターサイズの場合、横送り(A4、Letter)と縦送り(A4-R、Letter-R)のどちらかをコントロールパネルから選択する必要があります。

次にそれぞれのモードでの給紙方法について説明します。

## 各モードの設定

---

### カセット・モード の設定

1. モード選択キーを押し、MP トレイ モード >を表示させてください。
2. 実行キーを押すと、左下に?が表示されます。+または-キーを押してカセットを表示させた後、実行キーを押してください。

MP トレイ モード >  
カセット

3. ▶キーを押して、>MP トレイ カミサイズを表示してください。実行キーを押すと左下に?が表示されます。+または-キーで用紙サイズを変更して、実行キーを押してください。

>MP トレイ カミサイズ  
A4

4. モード終了キーを押してください。メッセージ・ディスプレイはプリント デキマスに変わります。

### 優先モードの設定

1. モード選択キーを押し、MP トレイ モード >を表示させてください。
2. 実行キーを押すと、左下に?が表示されます。+または-キーを押してユウセンを表示させた後、実行キーを押してください。

MP トレイ モード >  
ユウセン

3. モード終了キーを押してください。メッセージ・ディスプレイはプリント デキマスに変わります。

### お知らせ

本モードでMPトレイに切り替わって給紙をおこなっている間、コントロール・パネル上の給紙元インジケータは切り替わりません。

### 手差しモードの設定

1. モード選択キーを押し、MP トレイ モード >を表示させてください。
2. 実行キーを押すと、左下に?が表示されます。+または-キーを押してテサシを表示させた後、実行キーを押してください。

MP トレイ モード >  
テサシ

3. ▶キーを押して、>MP トレイ カミサイズを表示してください。実行キーを押すと左下に?が表示されます。+または-キーで用紙サイズを変更して、実行キーを押してください。

>MP トレイ サイズ  
A4

4. モード終了キーを押してください。メッセージ・ディスプレイはプリント デキマスに変わります。

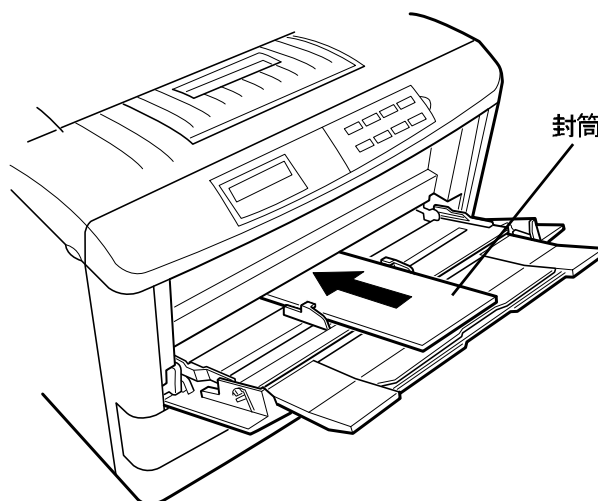
5. コンピュータから印字データを送ってください。
6. メッセージ・ディスプレイの表示がデータショリチュウデスに変わり、その後MPトレイ ニ カミヲ イレテ カイジョ ヲ オシテクダサイと表示が変わります。

印字を中止したい場合は、**キャンセル**キーを押してください。インジ ノ キャンセル ?と表示されますので、**実行**キーを押してください。印字は中止され、メッセージ・ディスプレイはプリント デキマスに変わります。

7. そのまま印字を続ける場合は**解除**キーを押してください。トレイにセットされた用紙が給紙され印字がおこなわれます。続けて手差しモードで印字する場合は、5.からの手順を繰り返してください。

## 封筒を印字する場合の給紙と設定

封筒を給紙する場合は印字する面を上側にし、モードセレクト・メニューで**プリント ホウコウ**で印字の方向を設定してください。



封筒の紙質や形状などについては、**付録B**をご覧ください。仕様を満たさない封筒を使用すると、印字品質が低下する場合があります。

また本プリンタで利用できる封筒のサイズについては、2-4ページの表をご覧ください。



## 1.8. メモリ・カード

本プリンタにはメモリ・カードスロットが装備されています。メモリ・カードに登録されたフォント、マクロ等をプリンタに読み込むことができます。

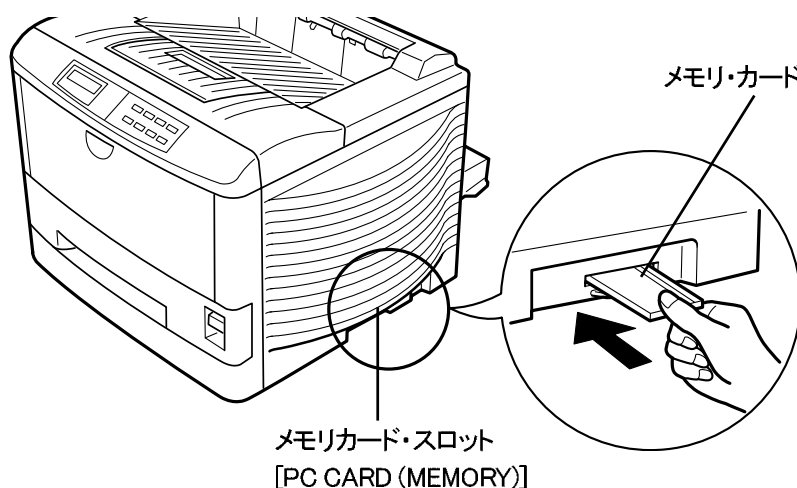
- 🔔 **お知らせ** 本プリンタで書き込み、読み込み、初期化ができるのはJEIDA 4.2 (PCMCIA 2.1)、最大32 MBまでのフラッシュ・メモリカードまたはS-RAMタイプの、京セラコミュニケーションシステム株式会社推奨のメモリ・カードです。

**メモリ・カードの挿入** メモリカード・スロットはプリンタの右側面下側にあります。

1. プリンタのスイッチをオフにしてください。

- 🔔 **お知らせ** メモリ・カードを抜き差しする際は、必ずプリンタのスイッチをオフにしてからおこなってください。電源を入れたまま抜き差しするとメモリ・カードを傷めたり、プリンタの故障の原因になります。

2. メモリ・カードは表側を上にして、奥まで静かに差し込んでください。




3. プリンタのスイッチをオンにしてください。プリンタは起動中に差し込まれているメモリ・カード内の情報(フォント情報等)を読み取り、起動後に使用できる状態になります。

起動後にメモリ・カード内の情報が失われた場合は、モードセレクト・メニューから再読み込みすることができます。巻末のメニューの階層構造をご覧ください。

### メモリ・カードの 取り出し

1. プリンタのスイッチをオフにしてください。
2. メモリ・カードをプリンタから取り出してください。

 お知らせ    メモリ・カードの取り扱いには、次のことにご注意ください。

- ☐ メモリ・カードは静電気に対して敏感です。メモリ・カードを扱う際には、他の金属性のものに触れるなどして、衣類や人体に蓄積された静電気を放電してからお取り扱いください。
- ☐ 無理な力でスロットに押し込まないでください。
- ☐ 折り曲げないでください。
- ☐ 落としたり衝撃を与えたりしないでください。
- ☐ メモリ・カードの端子部分には手を触れないでください。
- ☐ 水やその他の液体をかけないでください。
- ☐ 火や熱源の近くには置かないでください。
- ☐ 直射日光にさらさないでください。
- ☐ 保管するときは、メモリ・カード用のビニール・ケース等に入れて保管してください。
- ☐ S-RAMカードは内部の電池でデータがバックアップされています。電池が消耗してしまうと、カード内のデータは失われます。

メモリ・カードの詳しい操作方法については、2章の**2.19.メモリ・カードの操作**をご覧ください。

## 1.9. メモリの増設

本プリンタは標準で16MBのメインメモリを実装していますが、メモリを拡張することによってより複雑な印字が可能になり、印字処理も高速化します。プリンタにはメモリの拡張のために、2つのスロットが用意されています。そのスロットにオプションの拡張メモリ・チップを装着することによって、最大64MBまでプリンタのメモリを拡張することができます。

- 🔔 お知らせ
- 拡張メモリ・チップの装着は京セラコミュニケーションシステム株式会社正規販売会社(特約店)、またはサービス実施店にお申し付けください。お客様自身が装着をおこなった結果起きた破損・障害につきましては弊社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
  - 本プリンタの2つのSIMMソケットのうち、一方には16MBのSIMMが装着されています。したがって64MBまでメモリを拡張する場合は、装着されているSIMMを交換する必要があります。

### メモリの増設について

オプションの拡張メモリ・チップ(PM-400/800/1600/3200)についてのお問い合わせは、本プリンタをお買い求めの京セラコミュニケーションシステム株式会社正規販売会社(特約店)、またはサービス実施店にご連絡ください。

オプションの拡張メモリ・チップの取り扱いや装着にあたっては、本項をよくお読みになって注意事項をお守りください。

#### □ 拡張メモリ・チップの種類

メモリチップの種類	拡張メモリ・チップの仕様
PM-400	4 MBメモリ・チップ
PM-800	8 MBメモリ・チップ
PM-1600	16 MBメモリ・チップ
PM-3200	32 MBメモリ・チップ

以下からの説明は、作業をするサービスマンに対するものです。

### 拡張メモリ・チップ 取扱い上の注意

カーペットなどにより人体に蓄積される静電気は、半導体チップを数多く搭載したメモリ・チップには大敵です。静電気による破壊からメモリ・チップを保護するために、装着前に以下の事柄についてご注意ください。

- ☐ メモリ・チップは、プリンタに装着する直前まで静電気防止袋より取り出さないでください。
- ☐ メモリ・チップに触れる前に、アースなどによって人体の静電気を除去してください。
- ☐ メモリ・チップを取り扱う場合は、プリント配線部分には触れずに必ず基板の端を持ってください。

### メモリ・チップの装着

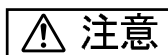
拡張メモリ・チップを、プリンタのメイン基板上の専用ソケットに装着します。



**警告**



作業はきれいなテーブルの上などでおこなってください。万一、作業中に金属片や液体などの異物が機器の内部に入り、そのまま使用した場合は火災、感電のおそれがあります。



**注意**



プリンタに拡張メモリ・チップを装着する際は、プリンタの電源は必ず切り、ケーブル類はすべて取り外してください。感電の原因になることがあります。

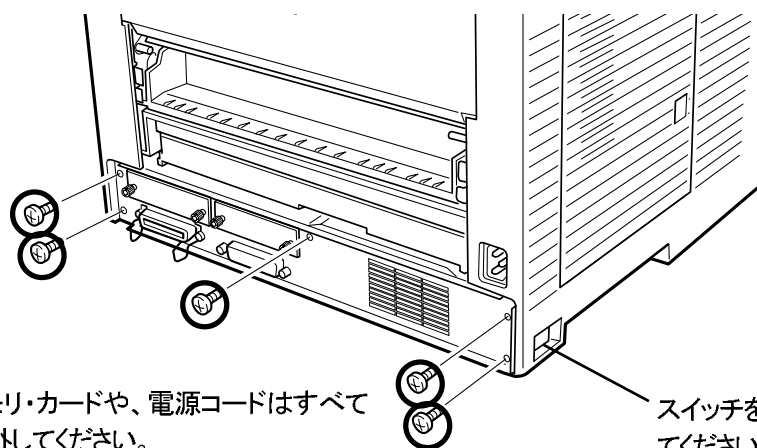
### 🔔 お知らせ

プリンタにメモリ・カードが差し込まれている場合は、必ず取り外してください。

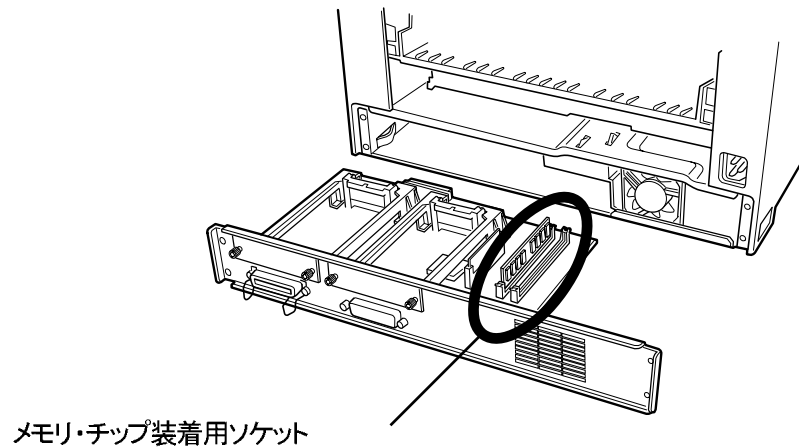
1. プリンタの電源を切り、電源コードとプリンタに接続しているケーブルをすべて取り外してください。

プリンタにメモリ・カードが差し込まれている場合は、メモリ・カードを忘れずに取り外してください。

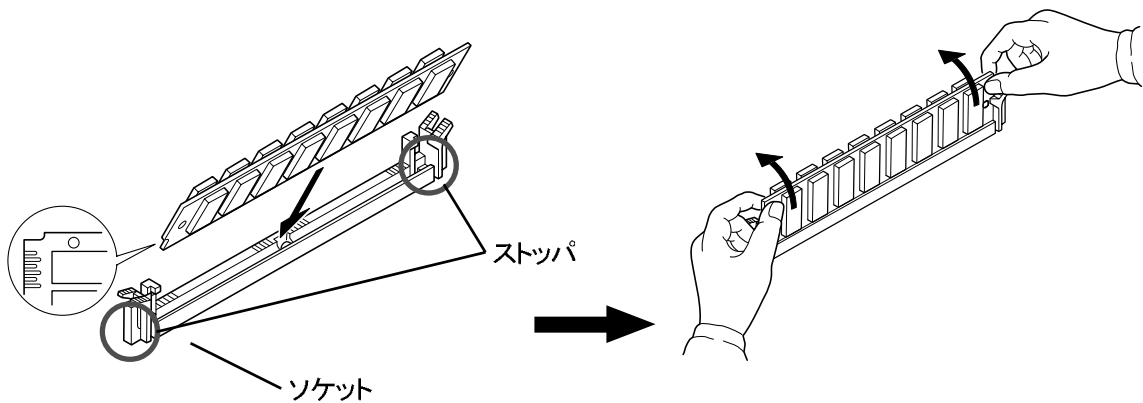
2. プリンタ後部パネルの、5本のネジを外してください。



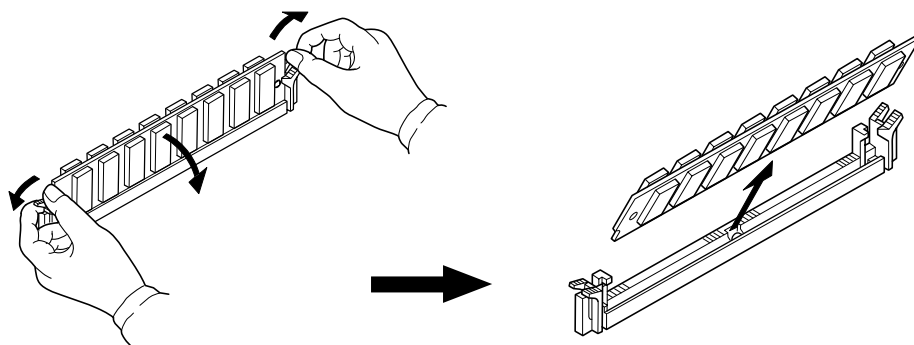
3. メイン基板をプリンタより引き出してください。メイン基板上に、メモリ・チップ装着用ソケットがあります。



4. メモリ・チップをパッケージより取り出してください。
- ①-図のように端子部を下側にし、ソケットの溝に合わせてください。
- ②-メモリ・チップの上両側軽く押さえ、軽く起こすようにしてください。メモリ・チップの両端が、ソケットのストッパに固定されていることを確認してください。



メモリ・チップをソケットから取り外す場合は、図のようにソケット両端にあるストップを軽く押してください。メモリ・チップはソケットから外れます。



5. メモリ・チップの装着が終了したら、メイン基板を逆の手順でプリンタに戻してください。
6. プリンタ後部パネルの、5本のネジを完全にしめてください。プリンタに拡張メモリ・チップを装着した後は、装着作業が正しくおこなわれたか次の方法で確認してください。

### メモリ拡張の確認

1. プリンタの電源が切れていることを確認し、電源ケーブルをプリンタにつなぎ、プリンタの電源を入れてください。
2. プリンタのオンライン・インジケータが点灯し、メッセージ・ディスプレイに **プリント デキマス**と表示されたら**ステータス**キーを押してください。
3. メモリの拡張が正しくおこなわれていれば、ステータス・ページが印字されます。右上の**メモリ使用状況**の項目を確認してみてください。装着したメモリ・チップの情報が表示され、**トータルメモリ**が増加していれば問題ありません。（工場出荷時のメモリは16384KB [=16MB]です。）

# 第2章

## ページ・プリンタの使いかた

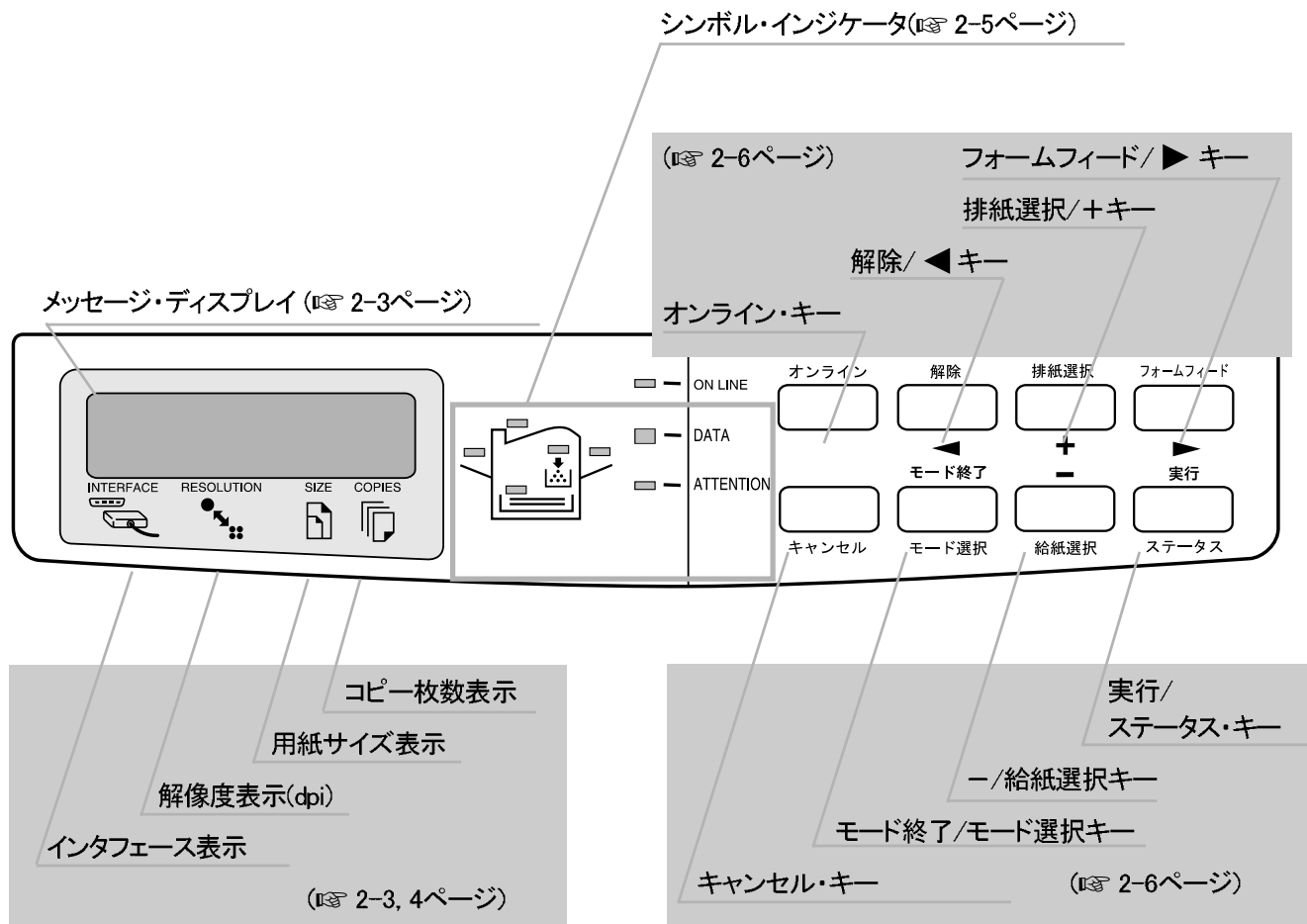
---

本章ではプリンタのコントロール・パネルの使いかたと印字の手順を説明します。  
2.1. では、コントロール・パネルのキーの使いかたやインジケータの表示の意味を説明します。2.2. では、プリンタの操作について説明します。  
2.3. では、モード選択メニューの階層構造と設定方法について説明します。  
2.4. から2.14. では、プリンタが持つ主な機能の説明と設定について説明します。  
2.19. ではメモリ・カードの操作について説明します。

2.1. コントロール・パネル……	2-2
2.2. プリンタの操作……	2-7
2.3. モード選択メニュー……	2-16
2.4. インタフェースの各種設定……	2-19
2.5. エミュレーションの選択……	2-20
2.6. 縮小印字のしかた(ページセット)……	2-21
2.7. RAM ディスクの設定……	2-23
2.8. 仮想メールボックス(VMB)……	2-25
2.9. 自動カセット切り替えの設定……	2-29
2.10. 用紙サイズエラー制御の設定……	2-30
2.11. スリープ・タイマの設定……	2-32
2.12. 受信データのダンプ……	2-33
2.13. KIRモードの設定……	2-34
2.14. エコプリントの設定……	2-36
2.15. リソースの保護……	2-37
2.16. 印字濃度の設定……	2-38
2.17. ブザーの設定……	2-39
2.18. 印字範囲の補正……	2-41
2.19. メモリ・カード……	2-42

## 2.1. コントロール・パネル

コントロール・パネルのインジケータとメッセージディスプレイ、および各キーの働きについて説明します。



コントロール・パネルのキーによって、設定されたプリンタの状態のほとんどは、自動的にプリンタ内部に記憶され、電源を切っても消えません。したがって、プリンタの電源を再度投入したときにもその状態は保たれます。



## メッセージ・ディスプレイ

プリンタの動作状態を示すメッセージが表示されます。プリンタが正常な状態で表示されるメッセージは下表のとおりです。

メッセージ表示	意味
Self test	電源投入後のプリンタの自己診断中です。印字はできません。
シバラク オマチクダサイ	電源投入後のプリンタのウォーミングアップ中です。印字はできません。
プリント デキマス	印字できます。
データ ショリチュウデス	印字データを処理しているか、印字している最中です。
ページガ ノコッテイマス	最終ページが印字されないで残っています。フォームフィード・キーを押すとただちに印字されます。
タイキチュウ	プリンタはスリープモードに入っています。コントロールパネルのキーを押したり、カバーを開閉したり、またはデータを受信するとウォーミングアップ後にオンライン状態になります。
ジドウ カイページチュウ	自動改ページをおこなっています。



## インタフェース表示

現在または直前にデータを受信したインタフェースを表示します。使用するインタフェースによって次のように表示されます。

- PAR     パラレル・インタフェース
- SER     シリアル・インタフェース (RS-232C)
- OPT1オプション・インタフェース装着時に表示
- OPT2オプション・インタフェース装着時に表示

プリンタがデータを受け取り終わった後は、インタフェースが開放されるまでこの表示は点滅します。点滅中は、そのインタフェースからのデータが優先して処理されます。



## 解像度表示

現在設定されている解像度 (dpi) が表示されています。工場出荷時はPC-PR201/65Aエミュレーション、600 dpi (dot-per-inch) に設定されています。解像度はプリンタのモードセレクト・メニューで変更することができます。巻末のメニューの階層構造をご覧ください。エミュレーションによっては、自動的に300 dpiに変わるものがあります。




## 用紙サイズ表示

現在プリンタに装着されているカセットの用紙サイズ、またはMPトレイに現在設定されている用紙サイズを表示します。

用紙のサイズ表示の意味と、実際の用紙サイズは以下の表をご覧ください。

表示	用紙サイズ	表示	用紙サイズ
A3	ISO A3 (29.7cm × 42 cm)	BU	ビジネス (4-1/8 × 9-1/2 inches)*
A4	ISO A4 (21 cm × 29.7 cm)	DL	ISO DL (11 × 22 cm)*
A5	ISO A5 (14.8 cm × 21 cm)	C4	ISO C4 (22.9 × 32.4 cm)*
A6	ISO A6 (10.5 cm × 14.8 cm)*	C5	ISO C5 (16.2 × 22.9 cm)*
B4	JIS B4 (25.7 cm × 36.4 cm)	b5	ISO B5 (17.6 × 25 cm)*
B5	JIS B5 (18.2 cm × 25.7 cm)	EX	Executive (7-1/4 × 10-1/2 inches)*
B6	JIS B6 (12.8 cm × 18.2 cm)*	#6	Commercial 6-3/4 (3-5/8 × 6-1/2 inches)*
LT	レター・サイズ (8-1/2 × 11 inches)	#9	Commercial 9 (3-7/8 × 8-7/8 inches)*
LD	レジャー・サイズ (11 × 17 inches)	HA	ハガキ (10 cm × 14.8 cm)*
LG	リーガル・サイズ (8-1/2 × 14 inches)	OH	往復はがき (20 cm × 14.8 cm)*
MO	モナーク (3-7/8 × 7-1/2 inches)*	CU	カスタム (11.7 × 17.7 inches)*

\*: MPトレイからのみ。

 **お知らせ** コントロール・パネルからの設定よりも、使用しているアプリケーション・ソフトからの設定が優先します。



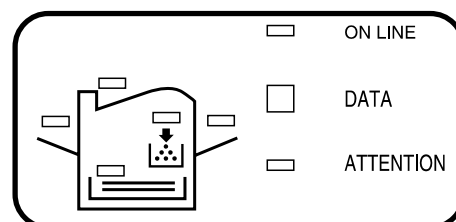
## コピー枚数表示

現在選択しているインタフェースの、設定されている印字枚数(1-999)が表示され、印字中は減算表示されます。



## シンボル・インジケータ

シンボル・インジケータの名称と意味は次の表のとおりです。

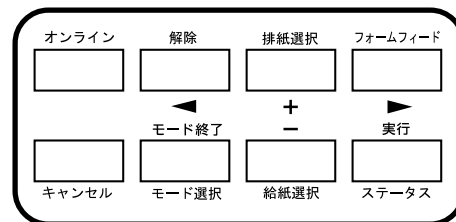


インジケータ	名称	説明
	フェイスダウン 排紙トレイ・ インジケータ	点滅: この場所に用紙が詰まっている可能性がありますので取り除いてください。(5.4.項参照) 点灯: 印字した用紙を、フェイスダウン排紙トレイに排紙する場合。
	フェイスアップ 排紙トレイ・ インジケータ	点滅: この場所に用紙が詰まっている可能性がありますので取り除いてください。(5.4.項参照) 点灯: 印字した用紙を、フェイスアップ排紙トレイに排紙する場合。
	トナー・インジケータ	点滅: ●トナーがなくなりつつあります。新しいトナー・キットとの交換を準備してください。(4.1.項参照) ●トナーを補給中です。しばらくお待ちください。 点灯: トナーがなくなりました。新しいトナー・キットと交換してください。(4.1.項参照) トナー・キット交換後はプリンタ内を清掃してください。(4.2.項参照)
	カセット給紙 インジケータ	速い点滅: この場所に用紙が詰まっている可能性がありますので取り除いてください。(5.4.項参照) 遅い点滅: 用紙がありません。用紙を補給してください。 点灯: 給紙カセットから給紙をおこなう場合。
	MPトレイ インジケータ	点滅: この場所に用紙が詰まっている可能性がありますので取り除いてください。(5.4.項参照) 点灯: MPトレイから給紙をおこなう場合。
ON LINE	オンライン インジケータ	点灯: プリンタはオンライン状態です。受け取ったデータの印字が可能です。 消灯: プリンタはオフライン状態です。印字はおこないませんが、データの受け取りは可能です。
DATA	データ インジケータ	点滅: プリンタはデータを受信している状態です。 点灯: データ処理中です。
ATTENTION	注意 インジケータ	お客様が処置できる不具合を示すインジケータです。 点滅: お客様による保守作業が必要です。メッセージ・ディスプレイの表示を確認して必要な処置をおこなってください。 点灯: カセット内の用紙が無い等の理由で印字ができません。メッセージ・ディスプレイの表示を確認して必要な処置をおこなってください。



各キーの機能は以下の表のとおりです。

お知らせ 設定する内容は現在選ばれている  
インタフェースに対して有効にな  
ります。インタフェースの選択は、  
モード選択キーを押して行っ  
てください。(巻末のメニューの階層構  
造を参照)



キー	機能
<b>オンライン</b> 	印字を停止したり再開したりします。停止中もデータを受信できます。
<b>解除</b> 	① メモリオーバーフローなどのエラーが発生して印字が停止したときに、エラーを強制的に解除して印字を続行させます。 ② モード選択中は ◀ キーとしてはたらき、上の階層への移動やカーソルの右方向への移動をおこないます。
<b>排紙選択</b>  +	① 排紙をフェイスダウン(印字面下向き)におこなうか、フェイスアップ(印字面上向き)におこなうかを選びます。フェイスアップで排紙するには、オプションのフェイスアップ排紙トレイが必要です。[☞ 1-18ページ] ② モード選択中に、メニューの選択や設定値の変更をおこないます。押しつづけるとオートリピート機能がはたらきます。
<b>フォームフィード</b>  ▶	① 印字待ち最終ページを、強制的に改ページして印字させます。 ② モード選択中は ▶ キーとしてはたらき、下の階層への移動やカーソルの左方向への移動をおこないます。
 キャンセル	① モード選択中にモード選択を中止します。また印字中に印字を中止することができます。 ② ブザーが鳴った場合に、ブザーを止めることができます。
<b>モード終了</b>  モード選択	① 次のモード選択の開始と終了及び設定をおこないます。インタフェース、エミュレーション、フォント、キャラクタ・コードセット、メモリ・カードの操作、オプション機器の操作、その他。(詳しくは巻末のメニューの階層構造をご覧ください。) ② モード選択中に押すと設定を中断します。
<b>給紙選択</b>  -	① 給紙元が給紙カセットまたはMPトレイかを選びます。 ② モード選択中に、メニューの選択や設定値の変更をおこないます。押しつづけるとオートリピート機能がはたらきます。
<b>実行</b>  ステータス	① ステータス・ページを印字します(オンライン時)。 ② モード選択で設定した内容を確定させます。

お知らせ コントロール・パネルで設定した内容は、お使いのアプリケーション・ソフトによって自動的に別の設定に切り替わってしまうことがあります。

## 2.2. プリンタの操作

プリンタの基本的な操作と、印字までの手順を説明します。

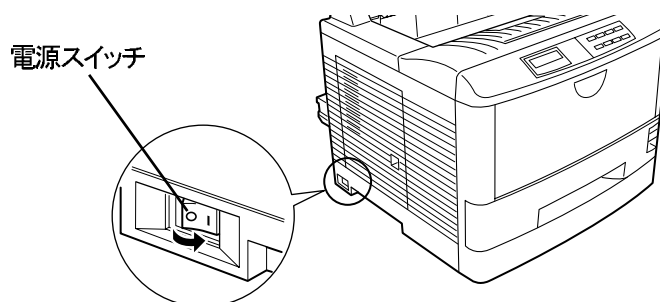
- 操作上の注意
- ☐ 印字中に電源を切らないでください。紙詰りを起こし、故障の原因になります。
  - ☐ 印字中に上部カバーや、オプションのカバーなどを開けたり、プリンタを移動しないでください。
  - ☐ 印字中に給紙カセットや給紙ユニットを開けないでください。
  - ☐ 電源プラグは電源が切れていても、頻繁にコンセントへの抜き差しをしないでください。
  - ☐ 電源が入っている状態で、電源ケーブルやプリンタ・ケーブルの抜き差しはおこなわないでください。
  - ☐ メモリ・カードを抜き差しする際は、プリンタの電源を切ってからおこなってください。電源が入った状態でメモリ・カードを抜き差しすると、メモリ・カードやプリンタを破損する場合があります。
  - ☐ 給紙カセットの脱着や、上部カバーの開閉は静かにおこなってください。
  - ☐ プリンタを使用しないときは、電源コードをコンセントから抜き、カバーをかけるなどしてホコリがかぶらないようにしてください。

## 電源を入れる

---


電源コードがプリンタ側、コンセント側とも確実に接続されていることと、プリンタがコンピュータと正しく接続されていることを確認してください。【図 1-18～19ページ】

1. 電源スイッチをオン(I)にします。



2. プリンタがウォームアップを開始します。ウォームアップ中はメッセージ・ディスプレイにSelf testが表示されたあと、**シバラク オマチクダサイ**と表示されます。
3. ウォームアップが終了すると**ON LINE**インジケータが点灯し、メッセージ・ディスプレイに**プリント デキマス**と表示されます。

以上でプリンタは準備が整い、印字が可能になります。

 **お知らせ** ウォームアップ中に障害が検出された場合は、ATTENTIONインジケータが点灯します。さらに、障害に対応するメッセージがメッセージ・ディスプレイに表示されます(第5章参照)。

## 印字の基本操作

---

印字をおこなうための、基本的な操作の流れは次のとおりです。コントロール・パネル上のキー操作については次ページから説明しますが、**モード選択**キーの使いかたについては、巻末のメニューの階層構造もあわせてお読みください。

1. **モード選択**キーを使って、使用するソフトに合ったエミュレーションにプリンタを設定してください。

本プリンタは、出荷時にはPC-PR201/65Aのエミュレーションに設定してあります。

2. **モード選択**キーで使用するフォント、用紙の方向、を選んでください。
3. **給紙選択**キーでカセット給紙、または手差し給紙を選んでください。
4. **排紙選択**キーで排紙トレイを選んでください。

5. **モード選択キー**で、印字枚数を設定してください。

メッセージ・ディスプレイに**プリント デキマス**が表示され、**ON LINE**インジケータが点灯していることを確認してから、コンピュータ側で印字操作をおこなってください。

印字後メッセージ・ディスプレイに**ページガ ノコッテイマス**と表示されているときには、**フォームフィードキー**を押してください。

## 排紙トレイの選択

印字した用紙は、フェイス・アップ排紙トレイまたはフェイス・ダウン排紙トレイのいずれかを選んで排紙させることができます。フェイス・アップ排紙トレイを選ぶと、印字された用紙は印字された面が上を向いて順に重ねられます。また、フェイス・ダウン排紙トレイを選ぶと印字された面が下向きになってページ順に重ねられます。通常はフェイス・ダウン排紙トレイを使用すると便利です。

なおフェイスアップ・トレイに排紙するには別売のフェイスアップ・トレイ(PT-3)をプリンタに装着する必要があります。

メッセージ・ディスプレイが**プリント デキマス**または、**カミラ イレテクダサイ**を表示している際は、**排紙選択キー**を押すたびに排紙トレイが切り替わり、選択されている状態がメッセージ・ディスプレイに次のように表示されます。

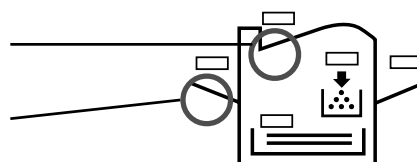
**フェイス・アップ トレイ**

**フェイス・ダウン トレイ**

また、フロント・パネル上のインジケータにも、現在選択されている側の排紙トレイが点灯表示されます。

フェイス・ダウン排紙トレイ

フェイス・アップ排紙トレイ



## 給紙カセットの選択

---

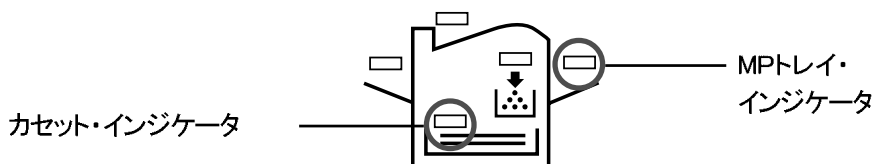
給紙カセットまたはMPトレイのどちらから給紙をおこなうかを選ぶには、**給紙選択キー**を使用します。オプションのペーパー・フィーダ(PF-26)を装着している場合には、それらからの給紙も選ぶことができます。

**給紙選択キー**は、メッセージ・ディスプレイが**プリント デキマス**または、**カミフイレテクダサイ**を表示している場合に使用できます。

**給紙選択キー**を押すたびに給紙カセットが切り替わり、その状態がメッセージ・ディスプレイに次のように表示されます。

- カセット 1 (プリンタ本体のカセット)
- カセット 2 (ペーパー・フィーダを装着している場合に表示)
- カセット 3 (ペーパー・フィーダを2台装着している場合に表示)
- MPトレイ (プリンタのMPトレイ)

プリンタのカセットを選んだ場合は、コントロール・パネル上のカセット・インジケータが点灯します。オプション・ペーパーフィーダを選ぶと、選ばれたオプション・フィーダの前面にある**READY** (レディ) インジケータも点灯します。



給紙の選択はプリスクライプ2eのPSRCコマンドでも可能です。



## オンライン・オフライン切替え

印字開始後に、印字が思いどおりにおこなわれているかを確認したいときなどには印字を中断することができます。

データ処理中に**オンライン**キーを押すと、**ON LINE**インジケータが消灯し、印字中であれば現在印字中のページの印字が終了するのを待ってプリンタは停止します。データ処理中とは、メッセージ・ディスプレイが**データ ショリチュウデス**または、**ページガ ノコッテイマス**、または**ジドウカイページチュウ**を表示している状態をいいます。

**データ ショリチュウデス**が表示されている間にプリンタをオフラインにしても、データの受信は引き続きおこなわれています。

再びオンラインにする場合は**オンライン**キーを押してください。プリンタはオンラインになり、**ON LINE**インジケータが点灯します。

印字を取り消すには、次の**印字のキャンセル**をお読みください。

## 印字のキャンセル

印字開始後に印字を中止したいときは次の手順でおこないます。

1. メッセージ・ディスプレイに**データ ショリチュウデス**と表示されていることを確認してください。
2. **オンライン**キーを押して、プリンタをオフラインにします。
3. コンピュータ側で印字中止の操作をおこなってください。
4. **キャンセル**キーを押します。
5. メッセージ・ディスプレイには**インジノ キャンセル ?**と表示され、キャンセルするインタフェースが表示されます。

表示されるインタフェースは以下のものがあります。

**パラレル**

**シリアル**

**オプション 1** (オプション・インタフェース装着時)

**オプション 2** (オプション・インタフェース装着時)


6. **+**または**-**キーでキャンセルするインタフェースを選んだ後、**実行**キーを押してください。選ばれたインタフェースからの印字は中止されます。

**キャンセル**キーを押す前に受け取っているデータはすべて印字するため、**キャンセル**キーを押したあとも、数枚印字されることがあります。

またコントロール・パネルから、ステータス・ページやフォント・リストの印字を中止するために**キャンセル**キーを押した場合は、**インジ ノ キャンセル ? カレント ジョブ**と表示されます。**実行**キーを押すと、プリンタは現在印字中のページの印字を終了したあと印字を中止します。

印字のキャンセルを中止したい場合は、再度**キャンセル**キーを押してください。

続けて他の印字をおこなう場合は、**オンライン**キーを押してプリンタをオンラインにしてください。

-  **お知らせ**
- ☐ **キャンセル**キーによってコンピュータからのデータをキャンセルした場合、一時的に設定していた内容があったときは、初期の状態に戻ります。(プリスクライブ2eのRESコマンドを実行した場合と同様の状態。)
  - ☐ オプションの両面印刷反転装置(DU-25)を装着し、両面印字モードで印字をおこなっている場合は、ページ片面だけの印字のキャンセルはできません。

## ステータス・ページの印字

---

プリンタに現在設定されている単位、エミュレーション、フォント、印字範囲、メモリ使用状況などの情報を印字して確認することができます。


1. **ON LINE**インジケータが点灯していて、メッセージ・ディスプレイが**プリント デキマス**であることを確認します。
2. **ステータス**キーを押します。メッセージ・ディスプレイが**データ ショリチュウデス**になり、ステータス・ページが印字されます。印字が終了するとメッセージ・ディスプレイは元に戻ります。

ステータス・ページの印字見本を次ページに紹介します。ただし、実際に印字されるステータス・ページとは若干異なる場合があります。

  <b>LS-6800 Page Printer</b>																																
STATUS PAGE																																
Software version: _____ Released: _____																																
1	<div> <b>プリンタ設定状況</b> <table> <tr> <td>MP トレイ</td> <td>A4</td> </tr> <tr> <td>*カセット1</td> <td>A4</td> </tr> <tr> <td>エコフ<sup>®</sup>リントモード<sup>*</sup></td> <td>オフ</td> </tr> <tr> <td>フ<sup>®</sup>サ<sup>®</sup>ー</td> <td>オフ</td> </tr> <tr> <td>受信ハ<sup>®</sup>ッフアサイ<sup>®</sup></td> <td>60 KB</td> </tr> <tr> <td>スリーフ<sup>®</sup>タイマ</td> <td>30 分</td> </tr> <tr> <td>タイムアウト時 間</td> <td>0 秒</td> </tr> </table> </div> <div> <b>メモリ使用状況</b> <table> <tr> <td>スロット1</td> <td>16384 KB</td> </tr> <tr> <td>スロット2</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>トータルメモリ</td> <td>16384 KB</td> </tr> <tr> <td>ユーザ<sup>®</sup>使用可能メモリ</td> <td>11198 KB</td> </tr> <tr> <td>RAMデ<sup>®</sup>イスク</td> <td>オフ</td> </tr> <tr> <td>ライトフ<sup>®</sup>ロテクト</td> <td></td> </tr> <tr> <td>トータルメモリ</td> <td>0 KB</td> </tr> <tr> <td>ユーザ<sup>®</sup>使用可能メモリ</td> <td>0 KB</td> </tr> </table> </div>	MP トレイ	A4	*カセット1	A4	エコフ <sup>®</sup> リントモード <sup>*</sup>	オフ	フ <sup>®</sup> サ <sup>®</sup> ー	オフ	受信ハ <sup>®</sup> ッフアサイ <sup>®</sup>	60 KB	スリーフ <sup>®</sup> タイマ	30 分	タイムアウト時 間	0 秒	スロット1	16384 KB	スロット2	無	トータルメモリ	16384 KB	ユーザ <sup>®</sup> 使用可能メモリ	11198 KB	RAMデ <sup>®</sup> イスク	オフ	ライトフ <sup>®</sup> ロテクト		トータルメモリ	0 KB	ユーザ <sup>®</sup> 使用可能メモリ	0 KB	4
MP トレイ	A4																															
*カセット1	A4																															
エコフ <sup>®</sup> リントモード <sup>*</sup>	オフ																															
フ <sup>®</sup> サ <sup>®</sup> ー	オフ																															
受信ハ <sup>®</sup> ッフアサイ <sup>®</sup>	60 KB																															
スリーフ <sup>®</sup> タイマ	30 分																															
タイムアウト時 間	0 秒																															
スロット1	16384 KB																															
スロット2	無																															
トータルメモリ	16384 KB																															
ユーザ <sup>®</sup> 使用可能メモリ	11198 KB																															
RAMデ <sup>®</sup> イスク	オフ																															
ライトフ <sup>®</sup> ロテクト																																
トータルメモリ	0 KB																															
ユーザ <sup>®</sup> 使用可能メモリ	0 KB																															
2	<div> <b>ページ情報</b> <table> <tr> <td>解像度</td> <td>600 DPI</td> </tr> <tr> <td>コピー枚数</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>トータルヘ<sup>®</sup>ーシ<sup>®</sup></td> <td>5</td> </tr> </table> </div> <div> <b>装着オプション</b> <table> <tr> <td>ハード<sup>®</sup>デ<sup>®</sup>イスク<sup>®</sup>ライフ<sup>®</sup></td> <td>未装着</td> </tr> <tr> <td>メモリ<sup>®</sup>カート<sup>®</sup></td> <td>未装着</td> </tr> </table> </div>	解像度	600 DPI	コピー枚数	1	トータルヘ <sup>®</sup> ーシ <sup>®</sup>	5	ハード <sup>®</sup> デ <sup>®</sup> イスク <sup>®</sup> ライフ <sup>®</sup>	未装着	メモリ <sup>®</sup> カート <sup>®</sup>	未装着	5																				
解像度	600 DPI																															
コピー枚数	1																															
トータルヘ <sup>®</sup> ーシ <sup>®</sup>	5																															
ハード <sup>®</sup> デ <sup>®</sup> イスク <sup>®</sup> ライフ <sup>®</sup>	未装着																															
メモリ <sup>®</sup> カート <sup>®</sup>	未装着																															
3	<div> <b>エミュレーション</b> <p>Line printer IBM Proprinter HP LaserJet 5Si KC-GL *PC-PR201 IBM 5577 VP-1000 N5200 FMPR-359F1</p> </div>	6																														
7	<div> <b>インタフェース</b> <table> <tr> <td>シリアル PC-PR201</td> <td>*ハ<sup>®</sup>ラ<sup>®</sup>ル PC-PR201</td> </tr> <tr> <td>フ<sup>®</sup>ント 1ハ<sup>®</sup>イトコ<sup>®</sup>ート<sup>®</sup> 1 2ハ<sup>®</sup>イトコ<sup>®</sup>ート<sup>®</sup> DFHSMINCHO-W3</td> <td>フ<sup>®</sup>ント 1ハ<sup>®</sup>イトコ<sup>®</sup>ート<sup>®</sup> 1 2ハ<sup>®</sup>イトコ<sup>®</sup>ート<sup>®</sup> DFHSMINCHO-W3</td> </tr> <tr> <td>ワ<sup>®</sup>シ<sup>®</sup>ン1 未使用</td> <td>ワ<sup>®</sup>シ<sup>®</sup>ン2 未使用</td> </tr> </table> <p>オプション・インタフェースを装着した場合は、そのインタフェースの名称とフォントの選択情報を表示します。</p> </div>	シリアル PC-PR201	*ハ <sup>®</sup> ラ <sup>®</sup> ル PC-PR201	フ <sup>®</sup> ント 1ハ <sup>®</sup> イトコ <sup>®</sup> ート <sup>®</sup> 1 2ハ <sup>®</sup> イトコ <sup>®</sup> ート <sup>®</sup> DFHSMINCHO-W3	フ <sup>®</sup> ント 1ハ <sup>®</sup> イトコ <sup>®</sup> ート <sup>®</sup> 1 2ハ <sup>®</sup> イトコ <sup>®</sup> ート <sup>®</sup> DFHSMINCHO-W3	ワ <sup>®</sup> シ <sup>®</sup> ン1 未使用	ワ <sup>®</sup> シ <sup>®</sup> ン2 未使用																									
シリアル PC-PR201	*ハ <sup>®</sup> ラ <sup>®</sup> ル PC-PR201																															
フ <sup>®</sup> ント 1ハ <sup>®</sup> イトコ <sup>®</sup> ート <sup>®</sup> 1 2ハ <sup>®</sup> イトコ <sup>®</sup> ート <sup>®</sup> DFHSMINCHO-W3	フ <sup>®</sup> ント 1ハ <sup>®</sup> イトコ <sup>®</sup> ート <sup>®</sup> 1 2ハ <sup>®</sup> イトコ <sup>®</sup> ート <sup>®</sup> DFHSMINCHO-W3																															
ワ <sup>®</sup> シ <sup>®</sup> ン1 未使用	ワ <sup>®</sup> シ <sup>®</sup> ン2 未使用																															
8																																
9	<div> <b>KIR</b> テストパターン  </div> <div> <b>モード</b>    <b>オン</b> </div>																															

ステータス・ページ

- 1-ソフトウェア・バージョン プリンタのソフトウェア・バージョンと発行日付です。
- 2-設定情報 (ハードウェア情報) 現在選択されている給紙元(\*マークで表示)と用紙サイズと、プリンタの主な設定項目についての情報です。
- 3-ページ情報 現在の解像度、印字枚数、プリンタの総印字枚数が表示されます。
- 4-メモリの使用状況 プリンタに搭載されている総メモリと、現在使用可能なメモリが表示されます。
- 5-装着オプション プリンタのオプション機器の装着状態が表示されます。
- 6-エミュレーション 設定できる全エミュレーションと、現在選択されているエミュレーションを表示します(\*マークで表示)。工場出荷時はPC-PR201/65Aに\*マークが付いています。
- 7-インタフェース情報 プリンタに装着されているすべてのインタフェースと、現在選択されているインタフェースを表示します(\*マークで表示)。
- 8-起動時のフォント (各インタフェース別) プリンタ起動時に自動的に選ばれるフォント(初期設定のフォント)を表示します。パラレル・インタフェースとシリアル・インタフェースで、別々に設定しておくことができます。2-13ページの図での表示は初期設定のもので、1 バイトコード(欧文フォント)には1 (ビットマップ・フォントのクーリエ)、2バイトコード(和文フォント)にはDFHSMINCHO-W3(スケーラブル・フォントの平成明朝体W3)が設定されています。
- また、プリンタにオプション・インタフェースが装着されている場合は、下側の欄に同様のフォント情報が表示されます。
- 9-KIRテスト・パターン プリンタのKIRモードを設定する際に利用します。詳しくは2-34ページをお読みください。
- 10-ユーザ・フォント リスト コンピュータからプリンタにフォントをダウンロードして使用している場合には、ステータス・ページに続いてフォント・リストが出力されます。



KYOCERA

</


---

## フォームフィード

---

印字をおこなった際に、メッセージ・ディスプレイに**ページガ ノコッテイマス**と表示されることがあります。これは、プリンタに対して印字データ終了の情報が発行されないときに起こります。この場合、**フォームフィード**キーを押せばただちに印字できます。

1. メッセージ・ディスプレイが**ページガ ノコッテイマス**であることを確認してください。
2. **フォームフィード**キーを押します。メッセージ・ディスプレイは**データ ショリチュウデス**になり、印字がおこなわれます。

-  **お知らせ** ☐ コンピュータがデータを処理している間におきる印字データの途切れによっても、**ページガ ノコッテイマス**と表示されることがあります。このためプリンタが**ページガ ノコッテイマス**を表示している際に、不用意に**フォームフィード**キーを押すと改ページされることがあります。
- ☐ 一定時間後に最終ページを自動的に印字するように設定することもできます。巻末のメニューの階層構造をご覧ください。

---

## モード選択

---


**モード選択**キーは、各種モードの設定や選択をするときに使います。詳しくは、次ページからの**2.3.モード選択メニュー**をお読みください。

## 2.3. モード選択メニュー










モード選択キーから設定/選択する各メニューについて、その階層構造を説明します。モード選択キーを押すと、下表にある各メニューを表示させることができます。これらのメニューは、巻末の「メニューの階層構造」に示すような構造となっていますのであわせてご覧ください。


1. モード選択キーを押すと、最初に最上位の階層の項目が表示されます。
2. 同じ階層内でのメニュー間の移動は＋や－キーを使います。＋キーで上方、－キーでは下方にあるメニューを表示します。
3. 階層を変えるには ◀ や ▶ キーを使います。▶ で下位の階層(サブメニュー)へ、◀ では上位の階層へ移動します。

### モード選択メニュー一覧

メニュー		説明	初期設定
インタフェース	>	<p>設定をおこなうインタフェースを選択します。モード選択メニューからの設定は、ここで選択したインタフェースに対するものです。</p> <p>● パラレル・インタフェースの場合、さらにニブル(コウソク)、ジドウ、ノーマル、コウソクの中から1つのモードを選ぶことができます。初期設定はニブル(コウソク)です。</p> <p>● シリアル・インタフェースの場合は以下の設定をおこなえます。</p> <p>ボーレート データ・ビット ストップ・ビット パリティ プロトコル</p>	<p>パラレル</p> <p>ニブル(コウソク)</p> <p>9600 8 1 None DTR(pos.)&amp;XON</p>
コピー    マイスウ		印字したい枚数を設定してください。最大999枚まで設定できます。	001
エミュレーション	>	<p>エミュレートするプリンタを切り替えます。</p> <p>▶キーを押すと、&gt;コード セットメニューが表示されます。</p>	PC-PR201/65A
フォント	>	印字するフォントを選択します。	ビットマップ
ページセット [CS]→[CS]		<p>縮小印字の設定を行います。</p> <p>[ 2-21ページ]</p>	[CS]→[CS]
プリント    ホウコウ		＋キーと－キーを押すごとに、タテオキとヨコオキの表示が切り替わります。	タテオキ

メニュー		説明	初期設定
ハードディスク	>	オプションのハードディスク・ユニットが装着されている場合に表示されます。▶キーを押して、ハードディスクへの読み書きやフォーマットなどの操作が行えます。詳しくはハードディスク・ユニットの説明書をお読みください。	—
RAMディスク モード	>	RAMディスクモードを、オンに設定した場合は、サブメニューも表示されます。 [図 2-23ページ]	オフ
メモ리카ード	>	プリンタに差し込まれたメモ리카ードに対して、サブメニューから以下の操作がおこなえます。 フォントの読み込み [図 2-43ページ] マクロの読み込み [図 2-44ページ] データの読み込み [図 2-45ページ] データの書き込み [図 2-45ページ] データの削除 [図 2-46ページ] メモ리카ードの初期化(フォーマット) [図 2-47ページ] データ(パーティション)リストの印字 [図 2-48ページ]	—
MPトレイ モード	>	MPトレイのモードを、カセット、ユウセン、テサシの中から選ぶことができます。 ▶キーを押すと>MPトレイ カミサイズメニューが表示されますので、MPトレイの用紙サイズを設定することができます。	カセット A4
カミ ノ アツサ		印字する用紙の厚さによって切り換えることができます。 ウスイ: 64 g/m <sup>2</sup> 以下 フツウ: 64 - 90 g/m <sup>2</sup> アツイ: 90 g/m <sup>2</sup> 以上 OHP: OHPシートや官製ハガキ、およびその他の特殊な厚紙 ハガキ、封筒、OHPシートおよび厚めの用紙は、紙詰まりを防ぐためにMPトレイから給紙し、フェイスアップ・トレイへ排紙してください。 詳しくは付録B「用紙について」をお読みください。	フツウ
リョウメンインジ モード		オプションの両面印刷反転装置(DU-25)を装着した場合に表示されます。両面印字時のモード(ロングエッジ、ショートエッジ)を選ぶことができます。	ナシ
カセット キリカエ		本体の給紙カセット、MPトレイ、オプションのペーパー・フィーダ(PF-26)間で、印字中の用紙がなくなった場合に自動的に給紙元を切り替えます。	ジドウ

メニュー	説明	初期設定
カミサイズエラー ノ ケンチ	<p>印字データの用紙サイズと、給紙元の用紙サイズとを照合して印字を制御します。</p> <p>以下の3つのモードの中から、選択できます。</p> <p>[ 2-30ページ]</p> <p>スベテ ノ カミサイズ カセット カミサイズ ナシ</p>	スベテ ノ カミサイズ
ソノタ >	<p>▶キーを押した後、+または-キーを押して以下のサブメニューを表示させることができます。</p> <p>表示言語の設定 自動改ページ待ち時間の設定 スリープ・タイマの設定 [ 2-32ページ] 受信データのダンプ [ 2-33ページ] プリンタのリセット 改行動作の設定 復帰動作の設定 総印字枚数の表示 KIRモードの設定 [ 2-34ページ] エコプリント・モードの設定 [ 2-36ページ] ページ保護モードの設定(通常は表示されません。) 解像度の設定 リソースの設定[ 2-37ページ] 印字濃度の設定[ 2-38ページ] ブザーの設定 [ 2-39ページ] 印字範囲の補正 [ 2-41ページ] サービス・メニュー(サービスマン用)</p>	—

 : 網かけされているメニューは、対応するオプション機器をプリンタに装着した場合に表示されます。


メニュー右端に>が表示されるものは、さらにサブメニューがあります。  
サブメニューへ入るには▶キーを押してください。



## 2.4. インタフェースの各種設定

本プリンタにはパラレル・インタフェースとシリアル・インタフェースが標準装備されています。各インタフェースには、各種の設定を独立して行うことができます。また、オプションのインタフェースを装着することもできます。

インタフェースごとに各種設定を行うには、**モード選択キー**を押し、**+**または**-**キーでインタフェースを選択してください。

 **お知らせ** このインタフェースの選択は、受信するインタフェースを選ぶものではありません。プリンタのインタフェースは自動的に切り換わります。

### パラレル・インタフェースの転送モード

本プリンタのパラレル・インタフェースは双方向および高速モードに対応しています。通常は初期設定の「**ニブル(コウソク)**」のままでご使用ください。

IBM PS/55シリーズのコンピュータは、パラレル・インタフェースの仕様が一般とは異なります。これらのコンピュータを本プリンタに接続して印字を行う場合は、**インタフェース** > 設定のサブメニューで該当するモードに設定してください。

#### パラレル・インタフェースのモード

表示	説明
ニブル(コウソク)	IEEE1284に準拠した送受信を行います。
ジドウ	自動的にモードを切り替えて、送受信を行います。
ノーマル	標準のタイミングでデータを受信します。
コウソク	高速モードでデータを受信します。
IBM PS/55	パラレル・インタフェースはIBM PS/55モードに変わります。 本機にPS/55シリーズを接続している場合はこの設定にしてください。

設定後はプリンタのリセットを行うか、一度電源を切ってください。その後この設定が有効になります。

## 2.5. エミュレーションの選択

本機で選択できるエミュレーションは以下のとおりです。希望のエミュレーションに設定してください。設定したエミュレーションは、プリンタの電源が切れた後も記憶されます。

Line printer  
 PC-PR201/65A(初期設定)  
 IBM 5577  
 EPSON VP-1000  
 NEC N5200  
 FMPR-359F1  
 IBM ProPrinter  
 HP LaserJet 5Si  
 KC-GL

### FMPR-359F1エミュレーション

FMPR-359F1エミュレーションを選択した場合は、サブメニューでさらにFMモードかF9450モードのどちらかを選択してください。

表示	説明
FM	プリンタはFMモード動作します。
F9450	プリンタはF9450モードで動作します。

### N5200エミュレーション

N5200エミュレーションを選択した場合は、サブメニューでさらにN5263-26モードかN5273-17モードのどちらかを選択してください。

表示	説明
N5263-26	プリンタはN5263-26モードで動作します。
N5273-17	プリンタはN5273-17モードで動作します。


### KC-GLエミュレーション

KC-GLエミュレーションを選択した場合は、サブメニューでさらに次の設定ができます。

表示	説明
>KC-GL ペン ノ フトサ	ペン(1)からペン(8)までのペンの太さを01から99まで1ドット単位で設定できます。サブメニューでペンを選んでから、ペンの太さを表示させて選択します。
*KC-GLページセット	A2、A1、A0、B3、B2、B1、B0、SPSZ (SPSZコマンドで指定されているサイズ)から選択できます。選択したページ・サイズが実際の用紙サイズに自動的に縮小されて印字されます。

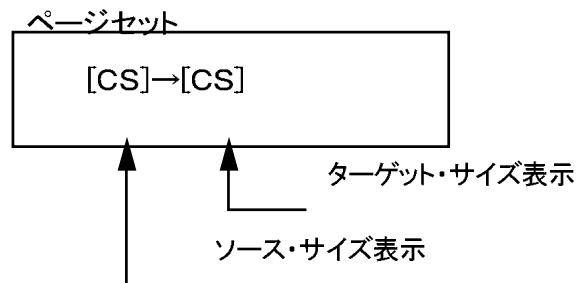
## 2.6. 縮小印字のしかた(ページセット)

印字データを縮小して印字するには、ページセットメニューで設定を行います。元用の紙サイズと縮小後の用紙サイズを設定します。プログラムやファイル中では、プリスクライブSPSZコマンドによって行います。

 **お知らせ** ☐ 縮小印字では等倍で行う印字結果とは異なり、文字の線幅が一定にならない場合や、図形・イメージ・パターンなどの中に線が見受けられる場合があります。

☐ MPトレイからの縮小印字は、優先モードで横送り給紙の場合に行えます。

1. メッセージ・ディスプレイに**ページセット**と表示させてください。下のよう表示になります。



**ソース・サイズ表示**…縮小前の用紙サイズです。コンピュータからの印字データに設定されている用紙サイズと同一でなければなりません。

**ターゲット・サイズ表示**…縮小後の用紙サイズです。給紙カセットの用紙サイズと同じサイズにします。

2. まず、ソース・サイズを設定します。上図の状態から**実行**キーを押すと、ソース・サイズの下でカーソルが点滅します。
3. カーソルがソース・サイズの下にあるときに**+**キーを押すと、ソース・サイズが変わります。希望のソース・サイズを表示させてください。(この時点でのターゲット・サイズの変化は無視して構いません。)

プリスクライブSPSZコマンドを使用すると、次ページの表以外の用紙(ハガキ/封筒)サイズも設定できます。メッセージ・ディスプレイの表示は2-3ページの表のようになります。SPSZコマンドについては**第6章**を参照してください。

次にターゲット・サイズを設定します。ここではA4サイズのデータを、B5サイズの用紙に縮小する場合を例に説明します。

4. ソース・サイズ表示に**[A4]**を表示させ、**▶**キーを押します。カーソルがターゲット・サイズ下で点滅します。**+**キーを何度か押して**[A4]→[B5]**を表示させてください。
5. **実行**キーを押すとメッセージ・ディスプレイは**プリント デキマス**に変わり印字可能になります。

以上の例と同じ方法で、各ソース・サイズに対してターゲット・サイズを選ぶことができます。

プリスクライプSPSZコマンドを使用すると、上記の方法以外の縮小が可能です。その場合[A4]→[A4] 70%などのように表示されます。ページセットを選んだ際にこのように表示された場合は、**実行キー**を押すとソース・サイズはそのまま、ターゲット・サイズはソース・サイズに応じて変化します。この例の場合は[A4]→[A4]に変わります。


次ページに各ソース・サイズに対する選択可能なターゲット・サイズおよび縮小率を、表にまとめましたので参照してください。

ソースサイズとターゲットサイズの組み合わせ(縮小率は近似値です。)

ソース・サイズ表示	ターゲット・サイズ表示	縮小率
CS	CS	100%
	CS 98%	98%
LG リーガル・サイズ (8.5×14 インチ)	LG	100%
	LG 98%	98%
LT レター・サイズ (8.5×11 インチ)	LT	100%
	A4	94%
	LT 98%	98%
LD レジャー・サイズ (11×17 インチ)	LD	100%
	LD 98%	98%
A5 (14.8×21 cm)	A5	100%
	A5 98%	98%
B5 (18.2×25.7 cm)	B5	100%
	B5 98%	98%
	A5	81%
A4 (21×29.7cm)	A4	100%
	LT	94%
	B5	86%
	A4 98%	98%
	A5	70%
B4 (25.7×36.4 cm)	B4	100%
	B5	70%
	A4	81%
	B4 98%	98%
A3 (29.7×42cm)	A3	100%
	A4	70%
	B4	86%
	A3 98%	98%
SF	B4	88.4 × 92.9 %
	A4	71.6 × 75.3 %

## 2.7. RAMディスクの設定


本プリンタはRAM ディスク機能を搭載しています。RAM ディスクとはメモリの一部を利用した仮想ディスク装置で、プリンタの総メモリの中から、任意のメモリサイズをRAM ディスクとして設定することによって、MPS機能(電子ソート:印字に要する全体時間の短縮)、仮想メールボックス(2-25ページ)、データの読み出し/書き込みが行えます。

-  お知らせ
- ☐ RAM ディスクに書き込まれたデータは、プリンタをリセットしたり電源を切った場合には消去されますのでご注意ください。
  - ☐ RAM ディスクはプリンタの「ユーザ使用可能メモリ」の中から設定されます。したがってRAM ディスクの設定値によっては、プリンタの印字速度が落ちたり、メモリ不足が発生したりする場合がありますのでご注意ください。
  - ☐ オプションのハードディスク・ユニットを装着した場合は、RAM ディスク機能は使用できません。

RAM ディスク機能は、工場出荷状態はオフに設定されています。RAM ディスク機能を使用する前に、プリンタのコントロールパネルから次の設定を行ってください。

### RAM ディスクの設定

1. モードキーを押します。
2. +または-キーを押し、RAM ディスクモードを選択してください。
3. 初期設定はオフに設定されています。**実行**キーを押すと？表示が点滅しますので、+または-キーを押してオンを表示させて**実行**キーを押してください。
4. RAM ディスクのサイズを設定します。▶キーを押し、RAM ディスクサイズを表示させてください。
5. **実行**キーを押してください。+または-キーでRAM ディスクのサイズを変更することができます。(プリンタのメモリによって、1～55の範囲で設定できます。)プリンタの総メモリ以上のサイズは設定できません。設定をキャンセルしたい場合は、**モード終了**キーを押してください。

-  お知らせ
- RAM ディスクの初期値は、現在のプリンタの総メモリから9MBを差し引いた値になります。(工場出荷時の16MBの場合、7MBがRAM ディスクの初期値になります。)
6. 任意の容量を表示させ、**実行**キーを押してください。
  7. **モード終了**キーを押してください。この後プリンタの電源を入れ直し、再起動後この設定が有効になります。

### RAM ディスクの操作

---

RAM ディスクメニューからは以下の操作が可能になります。

- ☐ データの読み込み
- ☐ データの書き込み
- ☐ データの削除
- ☐ データリストの印字
- ☐ VMB蓄積データの印字
- ☐ VMBリストの印字

VMB蓄積データの印字、およびVMBリストの印字以外は、メモ리카ードへの操作手順と同様です。それらの操作手順については、メモ리카ードの項目を参照してください。VMB関連の操作については、次の仮想メールボックス (VMB)の設定で説明します。

## 2.8. 仮想メールボックス(VMB)

仮想メールボックス(VMB)とは、オプション・ソータを装着せずとも、プリンタだけでメールボックスの機能を持たせることです。本機能を使用するためには、RAM ディスクを有効にするか(☞ 2-23ページ)、オプションのハードディスクユニットをプリンタに装着する必要があります。

- 🔔 お知らせ VMB機能はRAMディスクを有効にするか、ハードディスクを装着した後で、VMB領域をプリスクライブ JOBPCOMMANDで設定する必要があります。(例: !R! JOBPCOMMAND 72, 1; EXIT; ~VMB領域として100MBを設定。)[☞ 第6章プリスクライブ2eコマンド]

仮想メールボックスは、物理的メールボックスとは異なり、コンピュータから送られたデータを、ラスライズした状態でRAM ディスクまたはハードディスクに保存します。この保存データは、RAM ディスクまたはハードディスク内に番号分けされた仮想排紙トレイに蓄積されます。このデータを実際に用紙に印字する場合は、プリンタのコントロールパネルから、保存した仮想排紙トレイの番号を指定して印字します。したがって物理的メールボックスを装着したように、文書の仕分けが可能になります。

- 🔔 お知らせ
- ☐ VMBをRAM ディスクで運用している場合、プリンタをリセットしたり電源を切った場合には蓄積された保存データは消去されますのでご注意ください。
  - ☐ 仮想排紙トレイ内のデータは印字終了後に消去されます。印字中にキャンセルキーを押して印字を中止した場合など、仮想排紙トレイ内のデータをすべて印字しなければデータは削除されません。

仮想メールボックスの主な特長として、以下の事柄があります。

- |            |  |
|------------|--|
| 鍵付きメールボックス | 仮想排紙トレイにパスワードを設定できるので、他人に見られたくない書類の印字も安心です。                              |
| 多段メールボックス  | 仮想排紙トレイは最大255段まで設定することができますので、部署、グループ単位の振り分けだけでなく、個人単位での振り分けも可能です。       |
| 大容量メールボックス | 仮想トレイ1段あたりの収容枚数に制限がありません。全段の合計容量で制限されるので、RAM ディスクやハードディスクの容量が許す限り使用できます。 |

### VMBへの出力のしかた

RAM ディスクやハードディスク内に設定された仮想排紙トレイへデータを送信するには、プリンタドライバからの設定で行います。この設定では、仮想排紙トレイ番号を指定してデータを送信することができます。また仮想トレイには、別に任意の名前をつけておき、その名前を指定してデータを送信することもできます。(詳しい設定方法は、プリンタドライバのヘルプ等を参照してください。)

仮想排紙トレイを指定してデータを送信した場合は、送信した時点では紙への

印字は行いません。送信したデータはRAM ディスクやハードディスク内の仮想排紙トレイに蓄積されます。蓄積されたデータの印字方法については、次項からの説明をお読みください。

### VMB蓄積データの印字

---

仮想排紙トレイに蓄積されたVMBデータを印字します。

1. プリンタのモード選択メニューで、>VMBデータ ノ プリントを表示させてください。下図の#にはVMBトレイの番号、%にはVMBトレイ名が表示されます。

>VMBデータ ノ プリント  
トレイ###: %%%%%%%%%%

2. 実行キーを押すと?が点滅します。

>VMBデータ ノ プリント  
トレイ###? %%%%%%%%%%

3. +または-キーを押すごとに、VMBデータ表示が変わります。印字を中止したい場合はキャンセルキーを押してください。?表示は消えます。
4. 印字したいVMBデータを表示させて実行キーを押すと、データ ショリチュウデスが表示されて印字が行われます。

### パスワード付VMB蓄積データの印字

---

仮想排紙トレイに蓄積された、パスワードで保護されているVMBデータを印字します。

1. プリンタのモード選択メニューで、>VMBデータ ノ プリントを表示させてください。下図の#にはVMBトレイの番号、%にはVMBトレイ名が表示されます。


>VMBデータ ノ プリント  
トレイ###: %%%%%%%%%%

2. 実行キーを押すと?が点滅します。

>VMBデータ ノ プリント  
トレイ###? %%%%%%%%%%



3. **+**または**-**キーを押すごとに、VMBデータ表示が変わります。印字を中止したい場合は**キャンセルキー**を押してください。**?**表示は消えます。
4. 印字したいVMBデータにパスワードが設定されていると、メッセージディスプレイの表示が、**>ユーザID 00001**に変わり、パスワード待ち受け状態になります。表示された数字の1の位にカーソルが点滅しますので、パスワードを正しく入力してください。**◀**または**▶**キーで桁が移動し、**+**または**-**キーで数字が変わります。パスワードは00001～65535の範囲で入力できます。
5. 正しいパスワードを入力したら、**実行キー**を押してください。**データ ショリチュウデス**が表示されて印字が行われます。パスワードが間違っていた場合は、エラーメッセージが表示され(第5章)、プリンタは**プリント デキマス**表示に戻ります。

 **お知らせ** なおここで入力したパスワードは、モード選択が終了した時点でリセット(00001の状態)されます。

## VMB蓄積データリストの印字

ハードディスクに蓄積されたVMBデータのリストを印字します。

1. **>バーチャル メールボックス リスト ノ プリント**を表示させてください。

**>バーチャル メールボックス  
リスト ノ プリント**

2. **実行キー**を押すと**?**が表示されます。

**>バーチャル メールボックス  
リスト ノ プリント ?**

印字を中止したい場合は**キャンセルキー**を押してください。**?**表示は消えます。

3. **実行キー**を押すと、**データショリチュウデス**が表示されてVMBデータのリストが印字されます。





Page Printer

VIRTUAL MAIL BOX LIST

VMB保存ジョブ容量

上限設定値

使用済

使用可能

100 MB


43 MB


57 MB

出力 (1)

または

消去 (1)





トレイ番号


別名

ジョブ数

ページ数

通常/共有ジョブサイズ(KB)

選択・実行 (2)



1

ｷﾏ

3

44

7209 / 8575




2

ﾎｳﾝ

4

68

6962 / 8575



3

ｶﾐ


0

0

0 / 0

FULL!!






4

ﾚｯﾁ

2

63

15637 / 0




5

ﾌﾐｺ


1

26

6028 / 0



VMBリストの印字例(実際のものとは若干異なる場合があります。)

データが蓄積されている仮想排紙トレイは、その番号にマークが表示され、パスワードが設定されている場合には、その仮想排紙トレイへのバーコード表示はありません。またデータ送信時にエラーのあった仮想排紙トレイには、“FULL!!”マークが表示され、その仮想排紙トレイのデータを印字した後、引き続きVMB ERROR LOGが印字されます。

## 2.9. 自動カセット切り替えの設定

自動カセット切り替えは、印字中の給紙カセットの用紙がなくなった場合、自動的に他の給紙元から連続給紙する機能です。初期設定は**ジドウ**ですが、**ナシ**にするには以下の手順で行ってください。

1. モード選択メニューで**カセット キリカエ**を表示させ、**実行キー**を押してください。？が点滅します。

カセット キリカエ
？ ジドウ

2. **+**または**-**キーを押して**ナシ**を表示させてください。

カセット キリカエ
？ ナシ

設定を中止したい場合は、**キャンセルキー**を押してください。？表示は消えます。

3. **実行キー**を押すと？が消え、**モード終了キー**を押すと設定は終了です。

 お知らせ

- ☐ MPトレイを含めた自動カセット切り替えを行うには、MPトレイのモードをカセットモードに設定してください。
- ☐ オプションのペーパー・フィーダ(PF-26)を装着している場合は、他のモードも選択できます。詳しくはペーパー・フィーダの取扱い説明書をお読みください。

## 2.10. 用紙サイズエラー制御の設定

本プリンタは印字データが正しい用紙サイズに印字されるよう、印字データの用紙サイズと、給紙元の用紙サイズとを照合して印字を行います。

印字データの用紙サイズと一致する用紙がプリンタの給紙カセットにない場合、メッセージディスプレイには〇〇〇〇〇カラ キュウシシマス △△△△とエラーメッセージが表示されます(○は給紙元、△は用紙サイズ)([図5-6ページ](#))。表示された給紙元に正しい用紙をセットしてください。給紙カセットの場合は用紙セット後自動的に印字を行いますが、MPトレイの場合は用紙セット後解除キーを押すと印字を行います。

初期設定ではプリンタが印字できるすべての用紙サイズが制御の対象になりますが、カセットで給紙できる用紙サイズのみを制御対象にすることや、制御を行わない設定にすることもできます。以下からの設定の手順をお読みください。

### 用紙サイズエラー制御の設定方法

1. モード選択メニューで**カミサイズエラー ノ ケンチ**を表示させ、**実行キー**を押してください。？が点滅します。＋または－キーを押すごとに、下表のように表示が変わります。

メニュー表示	説明
カミサイズエラー ノ ケンチ ？ スベテ ノ カミサイズ	受信データに対して、プリンタが給紙できるすべての用紙サイズと照合し、用紙サイズエラー制御を行います。(初期設定) 給紙カセットから給紙できない用紙サイズ(ハガキ等)のデータを受信した場合は、MPトレイからの給紙に切り替わり、用紙サイズエラーメッセージを表示します。(図5-6ページ)
カミサイズエラー ノ ケンチ ？ カセット カミサイズ	受信データに対して、給紙カセットから給紙できる用紙サイズのみを照合し、用紙サイズエラー制御を行います。 プリンタの給紙カセットにある用紙サイズと異なる用紙サイズのデータを受信した場合は、用紙サイズエラーメッセージを表示します。(図5-6ページ) 給紙カセットから給紙できない用紙サイズ(ハガキ等)のデータを受信した場合は、用紙サイズエラー制御を行いません。
カミサイズエラー ノ ケンチ ？ ナシ	用紙サイズエラー制御を行いません。指定の給紙元から印字を行います。

(プリンタで印字できる用紙サイズについては、2-4ページの表をご覧ください。)

2. 希望の設定を表示させ、**実行**キーを押してください。
3. 設定をやり直したい場合は**実行**キーを押す前に、**キャンセル**キーを押してください。
4. **モード終了**キーを押してください。これで設定は終了です。

## 2.11. スリープ・タイマの設定

本プリンタは一定の時間内にコントロール・パネルの操作をおこなわなかったり、データの受信がなかった場合に、電力の消費を抑えるスリープ・タイマ機能が搭載されています。

スリープ・タイマの設定は0から120分まで、5分ごとに設定することができます。(0に設定した場合は、スリープモードにはなりません。)工場出荷時は30分に設定されています。

プリンタは設定された時間がたつと、**タイキチュウ**と表示してすべてのインジケータは消灯します。このとき消費電力は最少となります。

**タイキチュウ**を表示中に、コントロール・パネルのキーを押したりカバーを開閉したり、またはデータを受信すると、プリンタは**シバラク オマチクダサイ**と表示してウォーミングアップを始めます。その後オンライン・インジケータが点灯して印字(可能)状態になります。

モード選択中や各種のメンテナンス・メッセージが表示されている場合でも、スリープ・タイマの設定時間によってスリープ・モードに入ります。

### お知らせ

**タイキチュウ**を表示してすべてのインジケータが消えても、設定されているプリンタの環境は保持されています。

### スリープ・タイマ モードの選択方法

1. **モード選択**キーを押すとモード選択モードに入ります。
2. **+**または**-**キーを押し、**ソノタ >**を選んでください。
3. **▶** (フォームフィード)キーを押してください。
4. **+**キーを何度か押し、**>スリープ タイマ**が表示されたら**実行**キーを押してください。**\_**が点滅し、現在の設定を変更することができます。
5. **+**または**-**キーを押し、設定したい数値を選びます。
6. **実行**キーを押します。

設定をやり直したい場合は、**実行**キーを押す前に、**キャンセル**キーを押してください。

7. **モード終了**キーを押してください。これで設定は変更されます。

## 2.12. 受信データのダンプ

プログラムやファイルのデバッグのために、プリンタが受け取っているデータを16進コード化して印字することができます。

### 受信データのダンプ モードの選択方法

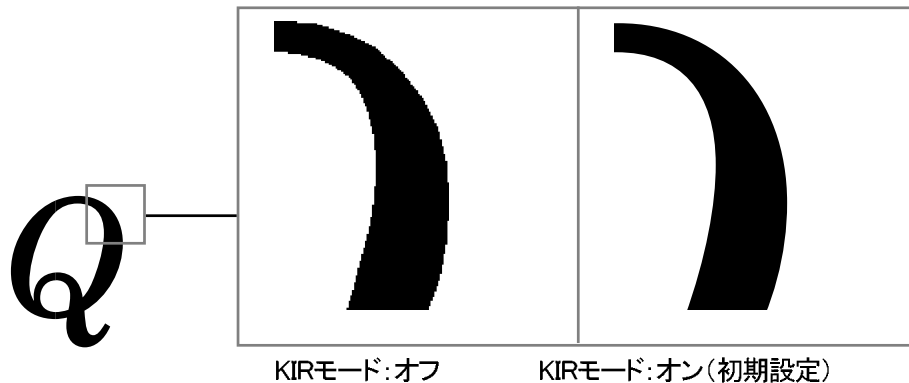
1. **モード選択**キーを押すとモード選択モードに入ります。
2. **+**または**-**キーを押し、**ソノタ >**を選んでください。
3. **▶** (フォームフィード)キーを押してください。
4. **+**キーを何度か押してメッセージ・ディスプレイに**>ジュシン データ ノ ダンプ**が表示されたら、**実行**キーを押して**?**を表示させます。
5. もう一度**実行**キーを押すと、いったん**データ ショリチュウデス**を表示した後、**ページガ ノコッテイマス**を表示します。
6. プリンタへダンプを取るデータを送信してください。プリンタは受信**データ ショリチュウデス**を表示します。
7. データの受信が終了すると、**ページガノコッテイマス**と表示されます。**フォームフィード**キーを押すと終了です。


必要なダンプページが出力されたところで**オンライン**キーを押してオフラインにし、**キャンセル**キーでそれ以上のダンプページの印字をキャンセルすることも可能です。

## 2.13. KIRモードの設定

本プリンタは京セラ独自のスムージング機能・KIR (Kyocera Image Refinement) を搭載しています。KIRはプリンタの解像度をソフト的に向上させることによって、高品質の印字を実現します。KIRは初期設定でオンに設定されています。

現在の印字状態を調べるには、ステータス・ページを印字してみてください。



 **お知らせ** KIRモードの設定を行う際は、モード選択メニューからプリンタの印字濃度の設定を“03”に設定してください。

ステータス・ページの最下行にあるチェック・ラインを見て、最適なKIRモードの設定をおこなうことができます。次ページを参照してください。

ステータス・ページ



KIRチェック・ライン

KYOCERA		Ecosys LS-6800 Page Printer	
STATUS PAGE			
Software Version		Firmware	
<b>プリンタ設定状況</b>		<b>メモリ使用状況</b>	
MP 3511	A4	20211	16384 KB
420x11	A4	20211	32
3270"3270"420"	47	1024x600	16384 KB
270"	47	1024x600 使用可能メモリ	11196 KB
受信バッファサイズ	60 KB	420x600	32
3270"3270"	30 30	1024x600	0 KB
3270"3270" 間	0 秒	1024x600 使用可能メモリ	0 KB
<b>ページ情報</b>		<b>装着オプション</b>	
解像度	600 DPI	ハードディスクドライブ	未装着
3270"3270"	1	メモリ拡張	未装着
1024x600	5	<b>エミュレーション</b>	
		Linux Printer	
		IBM Printer/Printer	
		HP LaserJet 501	
		KIC-GL	
		*PC PR201	
		IBM 5577	
		VF 1000	
		N5240	
		FMPK-35001	
<b>インタフェース</b>		<b>*n" 500</b>	
シリアル	PC-PR201	PC-PR201	
フロント	1024x600" 1	フロント	
20"1024x600" DFUSMIRCHU-W3		1024x600" 1	
		20"1024x600" DFUSMIRCHU-W3	
<b>オプション1</b>		<b>オプション2</b>	
未使用		未使用	
<b>KIR テストパターン</b> <span style="float: right;">モード 03</span>			





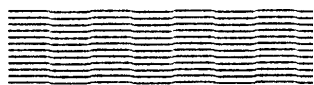
#### ☐ 最適な状態

最適なKIRモードです。



#### ☐ 濃すぎる状態

設定されているKIRモードは濃すぎます。KIRモードをオフに設定してみてください。設定を変更した後、再度ステータス・ページを印字して確認してください。それでも濃いと思われる場合は、印字濃度を調節してください。（巻末の「メニュー階層構造」を参照）



#### ☐ 薄すぎる状態

設定されているKIRモードは薄すぎます。KIRモードをオンに設定してみてください。設定を変更した後、再度ステータス・ページを印字して確認してください。それでも薄いと思われる場合は、印字濃度を調節してください。（巻末の「メニュー階層構造」を参照）

### KIRモードの選択方法

1. モード選択キーを押すとモード選択モードに入ります。
2. +または-キーを押し、ソノタ >を選んでください。
3. ►（フォームフィード）キーを押してください。
4. +または-キーを押し、>KIRモードが表示されたら**実行**キーを押してください。?が点滅し、現在の設定を変更することができます。
5. +または-キーを押し、変更したい設定を選びます。
6. **実行**キーを押します。  
設定をやり直したい場合は、**実行**キーを押す前に、**キャンセル**キーを押してください。
7. モード終了キーを押してください。これで設定は変更されます。

## 2.14. エコプリントの設定

本プリンタはトナーの消費量を抑えて印字をおこなう、エコプリント(Ecoprint)機能を搭載しています。

エコプリントをオンに設定すると、トナーの消費量は抑えられ印字は薄く感じられます。



エコプリント:オフ(初期設定)

エコプリント:オン

エコプリントは、プリンタの印字スピードには影響がありません。

### エコプリント モードの選択方法

1. **モード選択キー**を押すとモード選択モードに入ります。
2. **+**または**-**キーを押し、**ソノタ >**を選んでください。
3. **+**または**-**キーを押し、**>エコプリント モード**が表示されたら**実行キー**を押してください。**?**が点滅し、現在の設定を変更することができます。
4. **+**または**-**キーを押し、変更したい設定を選びます。
5. **実行キー**を押します。

設定をやり直したい場合は、**実行キー**を押す前に、**キャンセルキー**を押してください。

6. **モード終了キー**を押してください。これで設定は変更されます。

## 2.15. リソースの保護

プリンタのエミュレーションをHP LaserJet 5Siから他のエミュレーションに切り換えた場合、プリンタにダウンロードされていたフォントやマクロはすべて失われてしまいます。しかしリソースの保護でPCLの環境を保存しておけば、再度HP LaserJet 5Siエミュレーションに戻った際にそのリソースを利用することができます。

モード選択メニューから、>リソースを表示させてください。2通りの保護モードから選んで設定することができます。

### >リソース オフ

このモードではエミュレーション切り換え時に、フォント、マクロ、シンボル・セット等のパーマネントPCLリソースをプリンタのメモリ内に保存できます。しかし一時的リソースはすべて失われます。

### >リソース ジドウ

このモードではエミュレーション切り換え時に、PCLのパーマネント及び一時リソース両方がプリンタのメモリ内に保存できます。

#### リソース保護 モードの選択方法

1. モード選択キーを押すとモード選択モードに入ります。
2. +または-キーを押し、ソノタ >を選んでください。
3. ►（フォームフィード）キーを押してください。
4. +または-キーを押し、>リソースが表示されたら**実行**キーを押してください。?が点滅し、現在の設定を変更することができます。
5. +または-キーを押し、変更したい設定を選びます。
6. **実行**キーを押します。

設定をやり直したい場合は、**実行**キーを押す前に、**キャンセル**キーを押してください。

7. モード終了キーを押してください。これで設定は変更されます。

## 2.16. 印字濃度の設定

プリンタの印字濃度は、モード選択メニューから設定を変えることができます。設定は01(薄い)～05(濃い)の5段階から選べます。工場出荷時の初期設定は“03”で、通常は変える必要はありません。

KIRの設定をおこなう場合は、“03”の設定でおこなってください。

### 印字濃度 モードの選択方法

1. モード選択キーを押すとモード選択モードに入ります。
2. +または－キーを押し、**ソノタ >**を選んでください。
3. **▶ (フォームフィード)**キーを押してください。
4. +または－キーを押し、**>インジ ノウド**が表示されたら**実行キー**を押してください。?が点滅し、現在の設定を変更することができます。
5. +または－キーを押し、変更したい設定を選びます。
6. **実行キー**を押します。

設定をやり直したい場合は、**実行キー**を押す前に、**キャンセルキー**を押してください。

7. **モード終了キー**を押してください。これで設定は変更されます。

## 2.17. ブザーの設定

印字中に起こる用紙切れや紙詰まりなどの状態を、メッセージ・ディスプレイに表示するとともにブザーを鳴らせてお知らせすることができます。プリンタが自分から離れた場所にある場合などに便利な機能です。

工場出荷時には、このブザーの設定はオフに設定されています。

ブザーの設定をオン(鳴らす)にすると、プリンタで起きたエラーの状態によって以下の表のようにブザーが鳴ります。

ブザーが鳴る場合のエラー一覧

優先度	エラー・メッセージ	ブザーの鳴りかた	備考
高 	トナーコウカン ト プリンタノ ソウジ ガ ヒツヨウデス	ピッ、ピッ、...	—
	ハイキトナー・ボトル ノ コウカン ガ ヒツヨウデス	ピッ、ピッ、...	—
	プリンタ ヲ ソウジシテ カイジョ ヲ オシテクダサイ	ピッ、ピッ、...	—
	カミガ ツマリマシタ トリノゾイテクダサイ	ピッ、ピッ、...	—
	フェイス・ダウン トレイ ノ カミヲ トリノゾイテクダサイ	ピッ、ピッ、...	—
	キューシ・ケイロ ガ アイティマス	ピッ、ピッ、...	*
	メモリ オーバーフロー カイジョ ヲ オシテクダサイ	ピッ、ピッ、...	—
	プリント オーバーラン カイジョ ヲ オシテクダサイ	ピッ、ピッ、...	—
	KPDL エラー カイジョ ヲ オシテクダサイ	ピッ、ピッ、...	*
	メモリカード エラー ##** カイジョ ヲ オシテクダサイ	ピッ、ピッ、...	*
	ハードディスク エラー カイジョ ヲ オシテクダサイ	ピッ、ピッ、...	*
	MPトレイ ニ カミヲ イレテ カイジョ ヲ オシテクダサイ	ピッ、ピッ、...	—
	〇〇〇〇カラ キューシシマス △△△△	ピッ、ピッ、...	—
	カミヲ イレテクダサイ	ピー、ピー、...	—
低 			

\*:これらのエラー・メッセージは対応するオプションが装着されている場合のみ表示されます。

\*\* : エラー内容に応じて異なる数字が表示されます。5.3.を参照してください。

ブザーはその状態が解除されるまで鳴り続けます(スリープ・モードに入った場合は、その間だけ鳴りやみます。)が、**キャンセルキー**を押すと鳴りやみます。

上記エラーの解除方法は本書の第5章、または各オプション機器添付の取扱い説明書をご覧ください。

### お知らせ

☐ ブザーが鳴っている最中に、処理中のデータをキャンセルしたい場合は、**キャンセルキー**を2回押してください。まずブザーが鳴りやみ、次にデータ処理がキャンセルされます。

☐ 設定をオンにした後、プリスクライプ2eのFRPO INITコマンドを実行しても初期設定(オフ)には戻りません。オフにするにはモード選択メニューで設定しなおしてください。

### ブザーの設定 モードの選択方法

1. **モード選択キー**を押すとモード選択モードに入ります。
2. **+**または**-**キーを押し、**ソノタ >**を選んでください。
3. **▶ (フォームフィード)**キーを押してください。
4. **+**または**-**キーを押し、**>ブザー**が表示されたら**実行キー**を押してください。**?**が点滅し、現在の設定を変更することができます。
5. **+**または**-**キーを押し、変更したい設定を選びます。
6. **実行キー**を押します。  
設定をやり直したい場合は、**実行キー**を押す前に、**キャンセルキー**を押してください。
7. **モード終了キー**を押してください。これで設定は変更されます。

## 2.18. 印字範囲の補正

本プリンタは、左右上下に各5ミリのマージンをとっているため、アプリケーションによっては印字位置が意図したものとは異なる場合があります。このような印字位置のずれを補正するために、印字位置を縦横両方向にずらすことができます。

**お知らせ** エミュレーションによっては、設定した補正値が有効にならない場合があります。

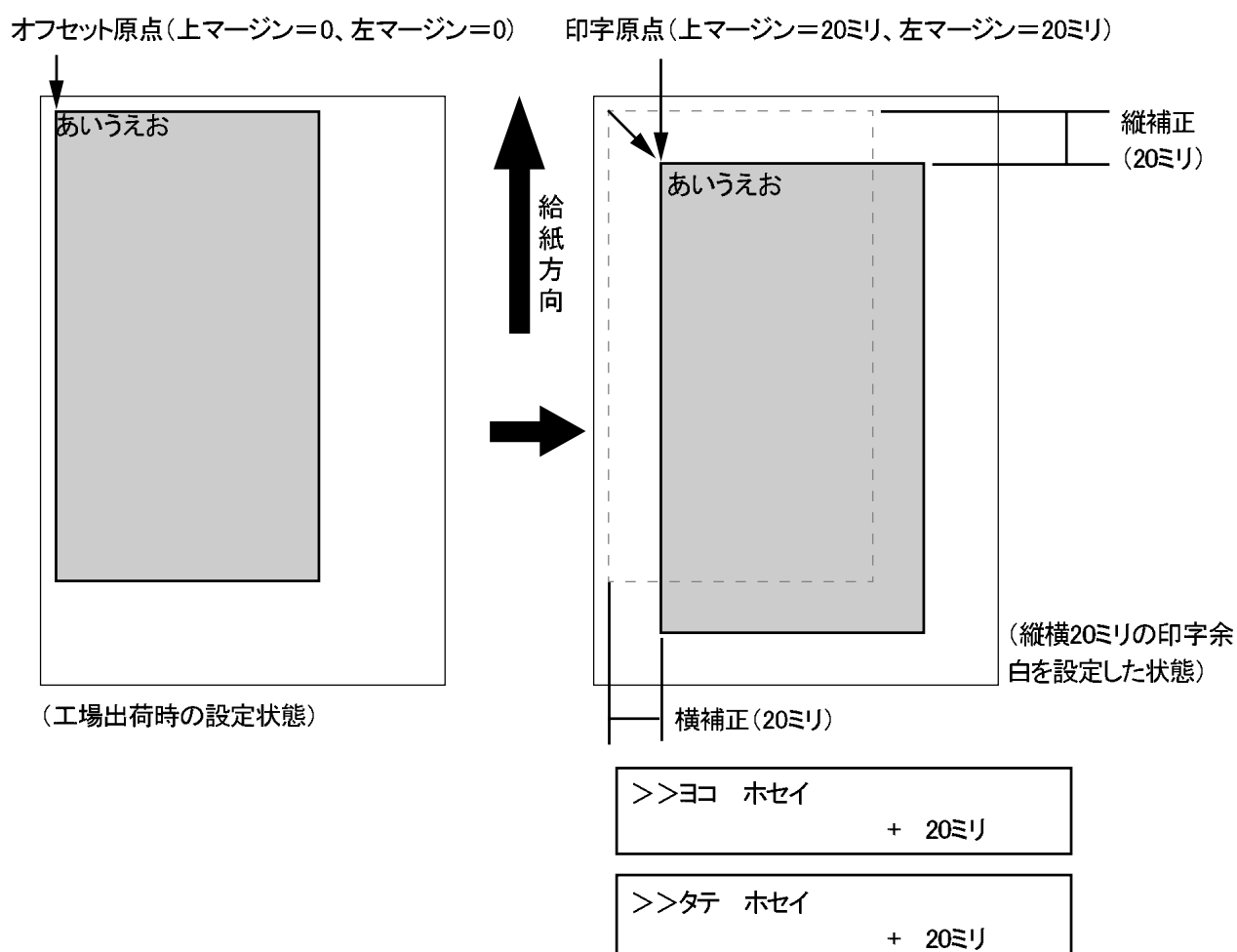
この機能は、パンチ穴を開けるために意図的に余白を作る場合にも利用できます。

印字位置を設定するためのオフセット原点は、用紙縦送り時には左上端の印字限界点、横送り時は左下端の印字限界点(上マージン=0、左マージン=0)になります。

オフセット原点より縦横両方向に1 mm単位で、76 mmの範囲で印字位置を補正することができます。

設定された縦方向の補正値は、拡大・縮小がおこなわれた場合は、その拡大・縮小率と同じく変化します。たとえば、縦横10ミリの印字余白を設定していた際に、70%の縮小をおこなった場合の印字余白は縦横7ミリになります。下の図をご覧ください。

設定した補正値は、電源再投入後も有効です。



## 2.19. メモリ・カード

本プリンタにはメモリカード・スロットが装備されており、オプションのフォント・カードを使って内蔵フォント以外のフォントを使用することができます。またJEIDA Ver.4.2準拠のメモリ・カードを使用し、データの読み書き、削除、メモリ・カードの初期化が行えます。

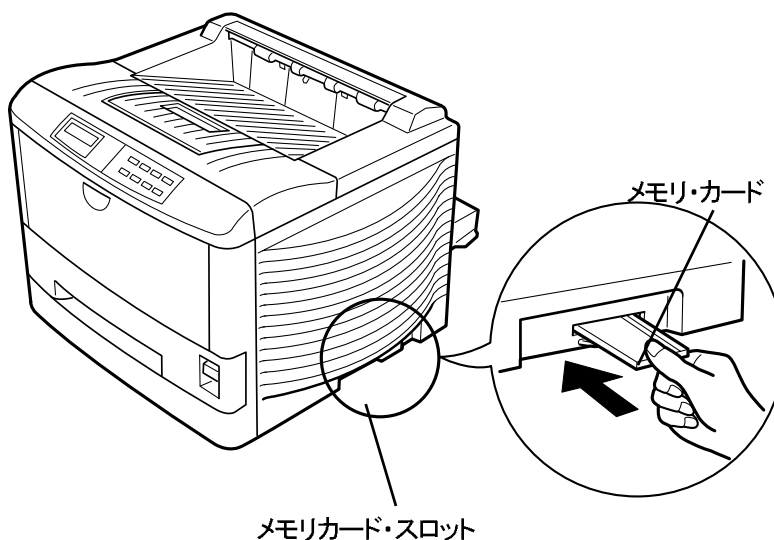
**お知らせ** 本プリンタで書き込み、読み込み、初期化ができるのはJEIDA 4.2準拠（PCMCIA2 .1）の最大32 MB までのフラッシュメモリ・カード、またはS-RAMタイプの京セラコミュニケーションシステム株式会社推奨のメモリ・カードです。

電源投入時に実行させたいメモリ・カード内のパーティションをプリスクライブFRPO I0コマンドでプリンタに設定することができます。FRPOコマンドについては、**第7章**をご覧ください。

フォント・カードの読み込みはコントロール・パネルから、またはプリンタにフォント・カードを差し込んでおくと、電源投入時またはプリンタのリセット時に自動的におこなわれます。

### メモリ・カードの挿入

メモリ・カードは表側を上にして、止まるまで静かに差し込んでください。



**お知らせ** メモリ・カードの取り扱いには、次のことにご注意ください。

- ☐ メモリ・カードは静電気に対して敏感です。メモリ・カードを扱う際には、ほかの金属性のものに触れるなどして、衣類や人体に蓄積された静電気を放電してからお取り扱いください。
- ☐ メモリ・カードの抜き差しは、電源がオフの状態で行ってください。
- ☐ 無理な力でスロットに押し込まないでください。
- ☐ 折り曲げないでください。
- ☐ 落としたり衝撃を与えたりしないでください。



- ☐ 水やその他の液体をかけないでください。
- ☐ 火や熱源の近くには置かないでください。
- ☐ 直射日光にさらさないでください。
- ☐ 使用しない場合は、メモリ・カード用の保護ケースに入れて保管してください。

## メモリ・カードの操作

プリンタのメモリ・カード・スロットに差し込んであるメモリ・カードに対して、次の操作が可能です。

- フォントの読み込み
- マクロの読み込み
- データの読み込み
- データの書き込み
- データの削除
- メモリ・カードのフォーマット(初期化)
- データ(パーティション)リストの印字

ただし、差し込まれているカードがフォント・カードの場合は、フォントの読み込みとパーティション・リストの印字のみが行えます。次項から各操作について説明します。

以下から、各操作について説明します。

## メモリ・カードからのフォントの読み込み

オプションのフォント・カードからプリンタ内部のメモリへ、フォントを読み込むことができます。読み込んだフォントは、プリンタのコントロール・パネルより選択することができます。フォント・カードの場合は、電源投入時に自動的にプリンタへ読み込まれます。ここで説明する操作はメッセージ・ディスプレイがプリント デキマスを表示している状態で行ってください。



1. メモリ・カード・スロットにフォント・カードが差し込まれていることを確認してください。メッセージ・ディスプレイに**>フォント ヨミコミ**を表示させてください。この表示は、フォント・カードが差し込まれている場合にのみ表示されます。
2. **実行キー**を押すと、**?**が表示されます。  
フォントの読み込みを中止する場合は、**キャンセルキー**を押してください。

3. 再度**実行**キーを押すと、メッセージ・ディスプレイの下段に**シヨリチュウデ**スと表示され、**フォント・カード**から**フォント**が読み込まれます。
4. **フォント**の読み込みが終了すると、メッセージ・ディスプレイは**>フォント ヨミコミ**に戻ります。
5. **モード終了**キーを押すと、メッセージ・ディスプレイは**プリント デキマス**に戻ります。

## メモリ・カードからのマクロの読み込み

メモリ・カード内にあるマクロ・データを読み込んで、プリンタに登録します。登録されたマクロ・データは、プリンタのメモリ内にあるマクロ・データ同様に使用できます。あらかじめマクロ・データが入ったメモリ・カードをプリンタに差し込んである場合は、電源投入時にそのマクロ・データは自動的にプリンタに読み込まれます。

ここで説明する操作はメッセージ・ディスプレイが**プリント デキマス**を表示している状態で、メモリ・カードを差し込んだ場合に行ってください。

-  **お知らせ**    **メモリ・カード内にあるマクロ・データは、プリンタのメモリには影響しません。**
1. マクロ・データの入ったメモリ・カードが差し込まれていることを確認してください。メッセージ・ディスプレイに**>マクロ ヨミコミ**を表示させてください。この表示はマクロ・データが入ったメモリ・カードが差し込まれている場合にのみ表示されます。
  2. **実行**キーを押すと、**?**が表示されます。  
マクロ・データの読み込みを中止する場合は、**キャンセル**キーを押してください。
  3. 再度**実行**キーを押すと、メッセージ・ディスプレイの下段に**シヨリチュウデ**スと表示され、メモリ・カードからマクロ・データが読み込まれます。
  4. マクロ・データの読み込みが終了すると、メッセージ・ディスプレイは**>マクロ ヨミコミ**に戻ります。
  5. **モード終了**キーを押すとメッセージ・ディスプレイは**プリント デキマス**に戻ります。
-  **お知らせ**    ☐ **プリンタのメモリ内とメモリ・カード内にあるマクロ名に同一の名前があった場合は、メモリ・カード内にある重複した名前のマクロ・データは登録されません。**
- ☐ **メモリ・カードを一度抜いた場合は、登録されたマクロ・データは無効になります。再度>マクロ ヨミコミを実行してください。**

## メモリ・カードからのデータ(パーティション)の読み込み

メモリ・カード内の指定されたデータ(パーティション)を、プリンタ内のメモリに読み込みます。

1. メッセージ・ディスプレイに**>データ ヨミコミ**を表示させてください。  
この表示は、メモリ・カード内にデータがある場合にのみ表示されます。
2. **実行キー**を押すと、**?**が点滅します。
3. **+**キーを押すごとに、メモリ・カード内に登録されているデータ名が順に表示されます。

データの読み込みを中止する場合は、**キャンセルキー**を押してください。

4. 希望するデータ名を表示して**実行キー**を押してください。メッセージ・ディスプレイに**データ ショリチュウデス**が表示され、選ばれたデータがプリンタに読み込まれます。

データの読み込みおよび処理が終わると、メッセージ・ディスプレイは**プリント デキマス**に戻ります。

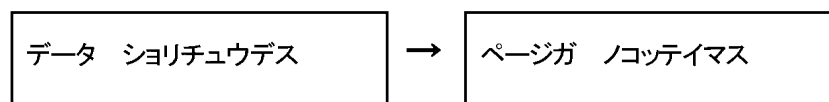
## メモリ・カードへのデータ(パーティション)書き込み

コンピュータから送られたデータを、メモリ・カードに書き込むことができます。カードに書き込まれたデータは、プリンタのコントロール・パネルのキー操作によってプリンタのメモリに読みこむことができます。

カードの容量内であれば、1枚のカードに最高127個までのパーティションを書き込むことができます。書き込まれたパーティションには自動的に名前がつけられますので、パーティション・リストを印字するなどして確認してください。

メモリ・カードが書き込み可能な状態であること(プロテクト解除)を確認してください。

1. メッセージ・ディスプレイに**>データ カキコミ**を表示させてください。
2. **実行キー**を押すと、**?**が表示されます。
3. 再度**実行キー**を押すと、メッセージ・ディスプレイの表示が**データ ショリチュウデス**に変わり、その後**ページガ ノコッテイマス**に変わります。



書き込みを中止する場合は、**キャンセルキー**を押してください。

4. その状態で、コンピュータからプリンタにデータを送ります。

[例]Aドライブにある TEST.TXT というファイルをプリンタへ送る場合 (DOSモード)。

```
COPY TEST.TXT PRN
```

データを受けるとプリンタのメッセージ・ディスプレイの表示が **データ ショリチュウデス** に変わり、受信が終了すると **ページガ ノコッテイマス** に変わります。

5. **フォームフィードキー**を押してください。プリンタは今書き込まれたデータの情報を自動的に印字します(下例)。これによって、書き込まれたデータの名前(パーティション名)や、書き込みが正常におこなわれたかを確認することができます。

MEMORY CARD WRITE INFORMATION		
Slot number	:	A
Data Type	:	2/Data
Partition name	:	Data5003 /System define
Write data length	:	00001704
Others	:	

Slot number: メモリ・カードのスロット名 (Aのみをサポート)

Data Type: データのタイプ (2のみをサポート)

Partition name: 書き込まれたパーティション(データ)名

Write data length: 書き込まれたパーティションのデータ量(単位=バイト)

印字後メッセージ・ディスプレイは **プリント デキマス** に戻ります。

## メモリ・カード内のデータ(パーティション)の削除

メモリ・カード内のデータを、1つずつ削除することができます。メモリ・カードが書き込み可能な状態(プロテクト解除)であることを確認してください。

1. メッセージ・ディスプレイに **>データ サクジョ** を表示させてください。この表示はメモリ・カード内にデータがある場合にのみ表示されます。
2. **実行キー**を押すと?が点滅し、データ名が表示されます。

>データ サクジョ ? (データ名)	?が点滅し、データ名が表示されます。
-----------------------	--------------------

3. **+**キーを押すごとに、メモリ・カード内に登録されているデータ名が順に表示されます。途中で中止したい場合は**キャンセル**キーを押してください。
  4. 削除したいデータ名を表示させ、**実行**キーを押してください。
- メッセージ・ディスプレイは**プリント デキマス**に戻ります。

## メモリ・カードの初期化

未使用のメモリ・カードを本機で使用するためには、最初にメモリ・カードの初期化を行う必要があります。初期化されたメモリ・カードはデータの書き込みが可能になります。

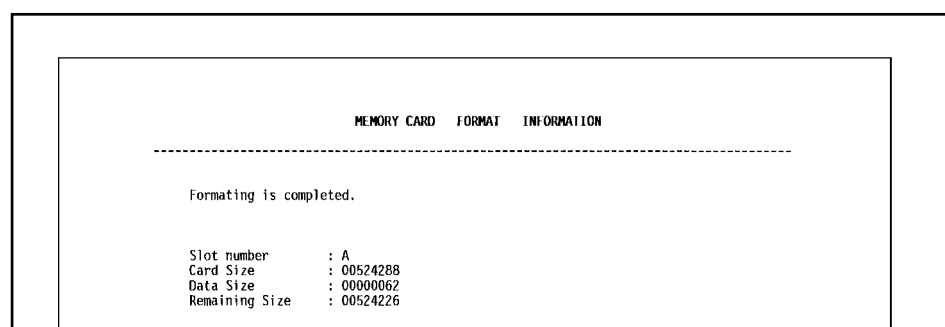
### お知らせ

すでにデータの書き込まれているメモリ・カードに対して初期化をおこなった場合は、そのメモリ・カード内のデータはすべて消去されますのでご注意ください。

メモリ・カードが書き込み可能な状態であること(プロテクト解除)を確認してください。

1. メッセージ・ディスプレイに**>メモリ・カード フォーマット**を表示させてください。
2. **実行**キーを押すと、**?**が表示されます。
3. **実行**キーを押すと、メッセージ・ディスプレイの表示が**データ ショリチュウ デス**に変わり、メモリ・カードの初期化が実行されます。

初期化が終了すると、プリンタはメモリ・カードの初期化情報を自動的に印字します(下例)。メモリ・カードの初期化が正しくおこなわれたか、確認することができます。



Slot number: メモリ・カードのスロット名(Aのみをサポート)

Card Size: メモリ・カードの全容量(単位=バイト)

Data Size: システム使用分

Remaining Size: 使用可能なメモリ・カードの残容量

印字後メッセージ・ディスプレイは**プリント デキマス**に戻ります。


## メモリ・カードのパーティション・リストの印字

メモリ・カードスロットに差し込まれている、メモリ・カードの内容(データ名、データ・サイズ等)を印字します。

1. メッセージ・ディスプレイに**＞パーティション リスト ノ プリント**を表示させてください。
2. **実行キー**を押すと、**?**が表示されます。  
印字を中止したい場合は**キャンセルキー**を押してください。
3. 再度**実行キー**を押すと印字が始まります。

MEMORY CARD STATUS PAGE				
-----				
--Partition--	--Name--	--Size--	--Type--	--Slot--
1	DataS001	1980	Data	A
2	DataS002	32	Data	A
3	DataS003	1704	Data	A
-----				
-- Card Size --	-- Data Size --	-- Remaining Size --		
A: 00524288	A: 00003992	A: 00520296		
Current terminate string: WRED				

印字が終わると、メッセージ・ディスプレイは**プリント デキマス**に戻ります。

-  **お知らせ** パーティション・リスト中の Remaining Size には、メモリ・カードの残容量を表示しています。メモリ・カードにデータを書き込む際には、ひとつのデータに対して約70バイトをシステムが使用します。したがって実際に使用できるメモリ・カードの容量は、この表示より少なくなります。

# 第 3 章

## フォント

---

この章では、本プリンタに搭載されているビットマップ・フォントと  
スケーラブル・フォントについて説明します。

3.1. 内蔵フォント……3-2

3.2. 内蔵フォント一覧……3-3

## 3.1. 内蔵フォント

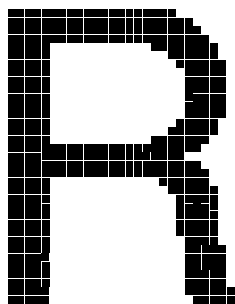
### ビットマップ・フォントとスケーラブル・フォント

“フォント”は特定のデザインの文字のセットで、ビットマップあるいはスケーラブルの別、シンボル・セット、間隔、ピッチ、高さ、スタイル、ストローク、および書体などの属性を持っています。

本プリンタにはビットマップ・フォントとスケーラブル・フォントが内蔵されています。また、フォントはメモリ・カードなどから、プリンタ内のメモリやオプションのハードディスクにダウンロードすることもできます。これらのフォントはダウンロード・フォントまたはソフト・フォントと呼ばれます。

電源投入時の(デフォルト)フォントはエミュレーションによって異なりますが、PC-PR201/65Aの場合全角フォントはスケーラブル・フォントの平成明朝(12ポイント)、ANKフォントはクーリエ(12ポイント[フォント番号1])になります。また、HP LaserJet 5Siエミュレーションでは、ビットマップ・フォントのクーリエ(12ポイント[フォント番号1])になります。

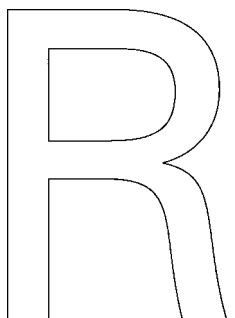
#### ビットマップ・フォント



ビットマップ・フォントは固定ビット・パターンで構成されます(左図参照)。ビットマップ・フォントでは、各文字に固定の高さ(サイズ)があります。したがって、異なるフォント・サイズには異なるフォント・セットが必要になります。たとえばDutch801 BM10-Romanは10ポイント・フォントであり、Dutch801BM8-Romanは8ポイント・フォントです。3-3ページの内蔵フォント一覧を参照。

プリンタ内蔵ビットマップ・フォントの名称は、フォント名の後に文字BMが続く書式で記述されます。Dutch801BM10-Romanは、10ポイントでRomanスタイルのDutch 801スタイルのビットマップ・フォントを意味します。Romanは標準の太さの意味です。他の太さを示すオプションはボールドとイタリックです。

#### スケーラブル・フォント



スケーラブル・フォントは、文字の輪郭を与えます(左図参照)。この輪郭は、コンピューターからのサイズ指定情報に従ってサイズ決定されており、印字用に塗りつぶされます。スケーラブル・フォントは、0.25ポイントずつ、最大999.75ポイントまで指定できます。

プリンタ内蔵スケーラブル・フォントの名称は、フォント名の後にSWCという文字が続く書式で記述されます。

たとえば、Swiss742SWC-Boldは、ボールドのSwiss 742スタイルのスケーラブル・フォントを意味します。



## 3.2. 内蔵フォント一覧

本プリンタは和文スケーラブル・フォント2種類を内蔵しています。また欧文ビットマップ・フォントは、80種類を内蔵しています。さらに、スケーラブル・フォント45種類、OCR文字3種類を内蔵しています。

次ページから紹介しているフォント・リストは、プリンタから出力されたものを使用しています。これらフォント・リストの出力のしかたは、巻末の**メニューの階層構造**をご覧ください。

## ビットマップ・フォント ①

KYOCERA PAGE PRINTER RESIDENT BITMAP FONT LIST			
Typeface [SFNT]	Selection [FSET] Print Sample	Font Number [FONT] (Port. - Land.)	Points/CPI
SFNT "CourierBM12-Roman";	FSET 0p10.0h12.0v0s0b3T; ABCDabcd\$%&0123ÃãÐðíêôûáé{ }~¼½	1 - 17	12.0/10.0
SFNT "Dutch801BM10-Roman";	FSET 1p10v0s0b5T; ABCDabcd\$%&0123ÃãÐðíêôûáé{ }~¼½	2 - 19	10/Prop.
SFNT "Dutch801BM10-Italic";	FSET 1p10v1s0b5T; ABCDabcd\$%&0123ÃãÐðíêôûáé{ }~¼½	3 - 20	10/Prop.
SFNT "Dutch801BM10-Bold";	FSET 1p10v0s3b5T; ABCDabcd\$%&0123ÃãÐðíêôûáé{ }~¼½	4 - 21	10/Prop.
SFNT "Dutch801BM8-Roman";	FSET 1p8v0s0b5T; ABCDabcd\$%&0123ÃãÐðíêôûáé{ }~¼½	5 - 22	8/Prop.
SFNT "PrestigeEliteBM10-Roman";	FSET 0p12.0h10v0s0b8T; ABCDabcd\$%&0123ÃãÐðíêôûáé{ }~¼½	6 - 23	10/12.0
SFNT "PrestigeEliteBM7.2-Roman";	FSET 0p16.67h7.2v0s0b8T; ABCDabcd\$%&0123ÃãÐðíêôûáé{ }~¼½	7 - 25	7.2/16.67
SFNT "LetterGothicBM12-Roman";	FSET 0p12.0h12.0v0s0b6T; ABCDabcd\$%&0123ÃãÐðíêôûáé{ }~¼½	8 - 26	12.0/12.0
SFNT "LetterGothicBM12-Bold";	FSET 0p12.0h12.0v0s3b6T; ABCDabcd\$%&0123ÃãÐðíêôûáé{ }~¼½	9 - 28	12.0/12.0
SFNT "Swiss721BM14.4-Bold";	FSET 1p14.4v0s3b4T; ABCDabcd\$%&0123ÃãÐðíêôûáé{ }~¼½	10 - 29	14.4/Prop.
SFNT "Swiss721BM12-Bold";	FSET 1p12.0v0s3b4T; ABCDabcd\$%&0123ÃãÐðíêôûáé{ }~¼½	11 - 30	12.0/Prop.
SFNT "Swiss721BM10-Bold";	FSET 1p10v0s3b4T; ABCDabcd\$%&0123ÃãÐðíêôûáé{ }~¼½	12 - 31	10/Prop.
SFNT "Swiss721BM8-Roman";	FSET 1p8v0s0b4T; ABCDabcd\$%&0123ÃãÐðíêôûáé{ }~¼½	13 - 32	8/Prop.
SFNT "Swiss721BM6-Roman";	FSET 1p6.0v0s0b4T; ABCDabcd\$%&0123ÃãÐðíêôûáé{ }~¼½	14 - 33	6.0/Prop.
SFNT "LinePrinterBM9-Roman";	FSET 0p16.67h9v0s0b0T; ABCDabcd\$%&0123ÃãÐðíêôûáé{ }~¼½	15 - 34	9/16.67
SFNT "LinePrinterBM7-Roman";	FSET 0p21.43h7.0v0s0b0T; ABCDabcd\$%&0123ÃãÐðíêôûáé{ }~¼½	16 - 36	7.0/21.43
SFNT "CourierBM12-Italic";	FSET 0p10.0h12.0v1s0b3T; ABCDabcd\$%&0123ÃãÐðíêôûáé{ }~¼½	37 - 18	12.0/10.0
SFNT "CourierBM12-Bold";	FSET 0p10.0h12.0v0s3b3T; ABCDabcd\$%&0123ÃãÐðíêôûáé{ }~¼½	38 - 67	12.0/10.0
SFNT "CourierBM12-BoldItalic";	FSET 0p10.0h12.0v1s3b3T; ABCDabcd\$%&0123ÃãÐðíêôûáé{ }~¼½	39 - 68	12.0/10.0
SFNT "Dutch801BM10-BoldItalic";	FSET 1p10v1s3b5T; ABCDabcd\$%&0123ÃãÐðíêôûáé{ }~¼½	40 - 69	10/Prop.

## ビットマップ・フォント ②

KYOCERA PAGE PRINTER RESIDENT BITMAP FONT LIST			
Typeface [SFNT]	Selection [FSET] Print Sample	Font Number [FONT] (Port. - Land.)	Points/CPI
SFNT "Dutch801BM8-Italic";	FSET 1p8v1s0b5T; ABCDabcd\$%&0123ÃäÐðîëôûäé{ }~¼½	41 - ***	8/Prop.
SFNT "Dutch801BM8-Bold";	FSET 1p8v0s3b5T; ABCDabcd\$%&0123ÃäÐðîëôûäé{ }~¼½	42 - 70	8/Prop.
SFNT "Dutch801BM8-BoldItalic";	FSET 1p8v1s3b5T; ABCDabcd\$%&0123ÃäÐðîëôûäé{ }~¼½	43 - ***	8/Prop.
SFNT "PrestigeEliteBM10-Italic";	FSET 0p12.0h10v1s0b8T; ABCDabcd\$%&0123ÃäÐðîëôûäé{ }~¼½	44 - 24	10/12.0
SFNT "PrestigeEliteBM10-Bold";	FSET 0p12.0h10v0s3b8T; ABCDabcd\$%&0123ÃäÐðîëôûäé{ }~¼½	45 - 71	10/12.0
SFNT "PrestigeEliteBM10-BoldItalic";	FSET 0p12.0h10v1s3b8T; ABCDabcd\$%&0123ÃäÐðîëôûäé{ }~¼½	46 - 72	10/12.0
SFNT "PrestigeEliteBM7.2-Italic";	FSET 0p16.67h7.2v1s0b8T; ABCDabcd\$%&0123ÃäÐðîëôûäé{ }~¼½	47 - ***	7.2/16.67
SFNT "PrestigeEliteBM7.2-Bold";	FSET 0p16.67h7.2v0s3b8T; ABCDabcd\$%&0123ÃäÐðîëôûäé{ }~¼½	48 - 73	7.2/16.67
SFNT "PrestigeEliteBM7.2-BoldItalic";	FSET 0p16.67h7.2v1s3b8T; ABCDabcd\$%&0123ÃäÐðîëôûäé{ }~¼½	49 - ***	7.2/16.67
SFNT "LetterGothicBM12-Italic";	FSET 0p12.0h12.0v1s0b6T; ABCDabcd\$%&0123ÃäÐðîëôûäé{ }~¼½	50 - 27	12.0/12.0
SFNT "LetterGothicBM12-BoldItalic";	FSET 0p12.0h12.0v1s3b6T; ABCDabcd\$%&0123ÃäÐðîëôûäé{ }~¼½	51 - 79	12.0/12.0
SFNT "Swiss721BM14.4-BoldItalic";	FSET 1p14.4v1s3b4T; ABCDabcd\$%&0123ÃäÐðîëôûäé{ }~¼½	52 - ***	14.4/Prop.
SFNT "Swiss721BM12-BoldItalic";	FSET 1p12.0v1s3b4T; ABCDabcd\$%&0123ÃäÐðîëôûäé{ }~¼½	53 - ***	12.0/Prop.
SFNT "Swiss721BM10-BoldItalic";	FSET 1p10v1s3b4T; ABCDabcd\$%&0123ÃäÐðîëôûäé{ }~¼½	54 - ***	10/Prop.
SFNT "Swiss721BM8-Italic";	FSET 1p8v1s0b4T; ABCDabcd\$%&0123ÃäÐðîëôûäé{ }~¼½	55 - ***	8/Prop.
SFNT "Swiss721BM8-Bold";	FSET 1p8v0s3b4T; ABCDabcd\$%&0123ÃäÐðîëôûäé{ }~¼½	56 - 74	8/Prop.
SFNT "Swiss721BM8-BoldItalic";	FSET 1p8v1s3b4T; ABCDabcd\$%&0123ÃäÐðîëôûäé{ }~¼½	57 - ***	8/Prop.
SFNT "Swiss721BM6-Italic";	FSET 1p6.0v1s0b4T; ABCDabcd\$%&0123ÃäÐðîëôûäé{ }~¼½	58 - ***	6.0/Prop.
SFNT "Swiss721BM6-Bold";	FSET 1p6.0v0s3b4T; ABCDabcd\$%&0123ÃäÐðîëôûäé{ }~¼½	59 - 75	6.0/Prop.
SFNT "Swiss721BM6-BoldItalic";	FSET 1p6.0v1s3b4T; ABCDabcd\$%&0123ÃäÐðîëôûäé{ }~¼½	60 - ***	6.0/Prop.


## ビットマップ・フォント ③

Typeface [SFNT]	Selection [FSET] Print Sample	Font Number [FONT] (Port. - Land.)	Points/CPI
SFNT "LinePrinterBM9-Italic";	FSET Op16.67h9v1s0b0T; <i>ABCDabcd\$%&amp;0123ÃÄÐðíëöüäé{ }~¼½</i>	61 - 35	9/16.67
SFNT "LinePrinterBM9-Bold";	FSET Op16.67h9v0s3b0T; <b>ABCDabcd\$%&amp;0123ÃÄÐðíëöüäé{ }~¼½</b>	62 - 76	9/16.67
SFNT "LinePrinterBM9-BoldItalic";	FSET Op16.67h9v1s3b0T; <b><i>ABCDabcd\$%&amp;0123ÃÄÐðíëöüäé{ }~¼½</i></b>	63 - 77	9/16.67
SFNT "LinePrinterBM7-Italic";	FSET Op21.43h7.0v1s0b0T; <i>ABCDabcd\$%&amp;0123ÃÄÐðíëöüäé{ }~¼½</i>	64 - ***	7.0/21.43
SFNT "LinePrinterBM7-Bold";	FSET Op21.43h7.0v0s3b0T; <b>ABCDabcd\$%&amp;0123ÃÄÐðíëöüäé{ }~¼½</b>	65 - 78	7.0/21.43
SFNT "LinePrinterBM7-BoldItalic";	FSET Op21.43h7.0v1s3b0T; <b><i>ABCDabcd\$%&amp;0123ÃÄÐðíëöüäé{ }~¼½</i></b>	66 - ***	7.0/21.43
SFNT "LinePrinterBM8.5-Roman";	FSET Op16.67h8.5v0s0b0T; <i>ABCDabcd\$%&amp;0123ÃÄÐðíëöüäé{ }~¼½</i>	88 - ***	8.5/16.67
SFNT "TypeBank-OCR-K-BM12";	CSET 120;FSET Op10.0h12.0v0s0b110T; 89 - *** アイウエオカキクケコサシセソ。」「・ヲアイウエオヤユヨツ	89 - ***	12.0/10.0
SFNT "TypeBank-OCR-A-BM12";	CSET 00;FSET Op10.0h12.0v0s0b104T; 90 - *** ABCDEFGHIJKL%&'()*+,-./0123456789	90 - ***	12.0/10.0
SFNT "TypeBank-OCR-B-BM12";	CSET 10;FSET Op10.0h12.0v0s0b110T; 91 - *** ABCDEFGHIJkghabcde fgh\$%&'()*+0123456789	91 - ***	12.0/10.0
SFNT "TypeBank-OCR-AK-BM12";	CSET 100;FSET Op10.0h12.0v0s0b104T; 92 - *** ABCDEFGHIJGHアイウエオカキクケ\$%&'()*+0123456789	92 - ***	12.0/10.0
SFNT "TypeBank-OCR-BK-BM12";	CSET 110;FSET Op10.0h12.0v0s0b110T; 93 - *** abcdアイウエオカキク\$%&'()*+0123456789	93 - ***	12.0/10.0
SFNT "TypeBankG-B-Hankaku-BM10";	FSET Op15.0h9.6v0s3b153T; ABCDabcd\$%&0123アイウエオカキクケコサシセソツ	98 - ***	9.6/15.0
SFNT "TypeBankM-M-Hankaku-BM10";	FSET Op15.0h9.6v0s0b80T; ABCDabcd\$%&0123アイウエオカキクケコサシセソツ	99 - ***	9.6/15.0

## スケーラブル・フォント ①

KYOCERA PAGE PRINTER RESIDENT SCALABLE FONT LIST	
Typeface [SFNT]	Selection [FSET] Print Sample
SFNT "AudreyTwo-RegularSWC";	FSET 1p##v0s0b4297T; ABCDabcd\$%&0123ÃãĐđİėôûáé{ } ~ 1/4 1/2
SFNT "Clarendon-CondensedSWC";	FSET 1p##v4s3b4140T; ABCDabcd\$%&0123ÃãĐđİėôûáé{ } ~ 1/4 1/2
SFNT "Courier-BoldItalicSWC";	FSET 0p##h1s3b4099T; ABCDabcd\$%&0123ÃãĐđİėôûáé{ } ~ 1/4 1/2
SFNT "Courier-BoldSWC";	FSET 0p##h0s3b4099T; ABCDabcd\$%&0123ÃãĐđİėôûáé{ } ~ 1/4 1/2
SFNT "Courier-ItalicSWC";	FSET 0p##h1s0b4099T; ABCDabcd\$%&0123ÃãĐđİėôûáé{ } ~ 1/4 1/2
SFNT "Courier-SWC";	FSET 0p##h0s0b4099T; ABCDabcd\$%&0123ÃãĐđİėôûáé{ } ~ 1/4 1/2
SFNT "DFHSGOTHIC-W5-HANKAKU";	FSET 0p##h0s0b153T; ABCDabcd\$%&01237イロオキケコサシセソ
SFNT "DFHSGOTHIC-W5-SJ";	CSET 19K; FSET 1p##v0s0b28825T; ABCDabcd0123あいうえあいうえアイウエアイウエ愛上
SFNT "DFHSMINCHO-W3-HANKAKU";	FSET 0p##h0s0b80T; ABCDabcd\$%&01237イロオキケコサシセソ
SFNT "DFHSMINCHO-W3-SJ";	CSET 19K; FSET 1p##v0s0b28752T; ABCDabcd0123あいうえあいうえアイウエアイウエ愛上
SFNT "Dutch801-BoldItalicSWM";	FSET 1p##v1s3b16901T; ABCDabcd\$%&0123ÃãĐđİėôûáé{ } ~ 1/4 1/2
SFNT "Dutch801-BoldSWM";	FSET 1p##v0s3b16901T; ABCDabcd\$%&0123ÃãĐđİėôûáé{ } ~ 1/4 1/2
SFNT "Dutch801-ItalicSWM";	FSET 1p##v1s0b16901T; ABCDabcd\$%&0123ÃãĐđİėôûáé{ } ~ 1/4 1/2
SFNT "Dutch801-RomanSWM";	FSET 1p##v0s0b16901T; ABCDabcd\$%&0123ÃãĐđİėôûáé{ } ~ 1/4 1/2
SFNT "Dutch801SWC-Bold";	FSET 1p##v0s3b4101T; ABCDabcd\$%&0123ÃãĐđİėôûáé{ } ~ 1/4 1/2
SFNT "Dutch801SWC-BoldItalic";	FSET 1p##v1s3b4101T; ABCDabcd\$%&0123ÃãĐđİėôûáé{ } ~ 1/4 1/2
SFNT "Dutch801SWC-Italic";	FSET 1p##v1s0b4101T; ABCDabcd\$%&0123ÃãĐđİėôûáé{ } ~ 1/4 1/2
SFNT "Dutch801SWC-Roman";	FSET 1p##v0s0b4101T; ABCDabcd\$%&0123ÃãĐđİėôûáé{ } ~ 1/4 1/2
SFNT "Flareserif821-ExtraBoldSWC";	FSET 1p##v0s4b4362T; ABCDabcd\$%&0123ÃãĐđİėôûáé{ } ~ 1/4 1/2
SFNT "Flareserif821-RomanSWC";	FSET 1p##v0s1b4362T; ABCDabcd\$%&0123ÃãĐđİėôûáé{ } ~ 1/4 1/2

## スケーラブル・フォント ②

KYOCERA PAGE PRINTER RESIDENT SCALABLE FONT LIST	
Typeface [SFNT]	Selection [FSET] Print Sample
SFNT "Incised901SWC-Black";	FSET 1p##v0s3b4168T; <b>ABCDabcd\$%&amp;0123ÃäĐđİêôûáé{ } ~ ¼ ½</b>
SFNT "Incised901SWC-Italic";	FSET 1p##v1s0b4168T; <i>ABCDabcd\$%&amp;0123ÃäĐđİêôûáé{ } ~ ¼ ½</i>
SFNT "Incised901SWC-Roman";	FSET 1p##v0s0b4168T; <b>ABCDabcd\$%&amp;0123ÃäĐđİêôûáé{ } ~ ¼ ½</b>
SFNT "LetterGothic-BoldSWC";	FSET 0p##h0s3b4102T; <b>ABCDabcd\$%&amp;0123ÃäĐđİêôûáé{ } ~ ¼ ½</b>
SFNT "LetterGothic-ItalicSWC";	FSET 0p##h1s0b4102T; <i>ABCDabcd\$%&amp;0123ÃäĐđİêôûáé{ } ~ ¼ ½</i>
SFNT "LetterGothic-SWC";	FSET 0p##h0s0b4102T; <b>ABCDabcd\$%&amp;0123ÃäĐđİêôûáé{ } ~ ¼ ½</b>
SFNT "MoreWingbats-RegularSWM";	CSET 579L; FSET 1p##v0s0b31402T; 
SFNT "OriginalGaramondSWC-Bold";	FSET 1p##v0s3b4197T; <b>ABCDabcd\$%&amp;0123ÃäĐđİêôûáé{ } ~ ¼ ½</b>
SFNT "OriginalGaramondSWC-BoldItalic";	FSET 1p##v1s3b4197T; <i>ABCDabcd\$%&amp;0123ÃäĐđİêôûáé{ } ~ ¼ ½</i>
SFNT "OriginalGaramondSWC-Italic";	FSET 1p##v1s0b4197T; <i>ABCDabcd\$%&amp;0123ÃäĐđİêôûáé{ } ~ ¼ ½</i>
SFNT "OriginalGaramondSWC-Roman";	FSET 1p##v0s0b4197T; <b>ABCDabcd\$%&amp;0123ÃäĐđİêôûáé{ } ~ ¼ ½</b>
SFNT "Ribbon131-RomanSWC";	FSET 1p##v1s0b4116T; <i>ABCDabcd\$%&amp;0123ÃäĐđİêôûáé{ } ~ ¼ ½</i>
SFNT "Swiss721-BoldObliqueSWM";	FSET 1p##v1s3b16602T; <b>ABCDabcd\$%&amp;0123ÃäĐđİêôûáé{ } ~ ¼ ½</b>
SFNT "Swiss721-BoldSWM";	FSET 1p##v0s3b16602T; <b>ABCDabcd\$%&amp;0123ÃäĐđİêôûáé{ } ~ ¼ ½</b>
SFNT "Swiss721-ObliqueSWM";	FSET 1p##v1s0b16602T; <i>ABCDabcd\$%&amp;0123ÃäĐđİêôûáé{ } ~ ¼ ½</i>
SFNT "Swiss721-SWM";	FSET 1p##v0s0b16602T; <b>ABCDabcd\$%&amp;0123ÃäĐđİêôûáé{ } ~ ¼ ½</b>
SFNT "Swiss742SWC-Bold";	FSET 1p##v0s3b4148T; <b>ABCDabcd\$%&amp;0123ÃäĐđİêôûáé{ } ~ ¼ ½</b>
SFNT "Swiss742SWC-BoldCondensed";	FSET 1p##v4s3b4148T; <b>ABCDabcd\$%&amp;0123ÃäĐđİêôûáé{ } ~ ¼ ½</b>
SFNT "Swiss742SWC-BoldCondensedItalic";	FSET 1p##v5s3b4148T; <i>ABCDabcd\$%&amp;0123ÃäĐđİêôûáé{ } ~ ¼ ½</i>
SFNT "Swiss742SWC-BoldItalic";	FSET 1p##v1s3b4148T; <i>ABCDabcd\$%&amp;0123ÃäĐđİêôûáé{ } ~ ¼ ½</i>

## スケーラブル・フォント ③

KYOCERA PAGE PRINTER RESIDENT SCALABLE FONT LIST	
Typeface [SFNT]	Selection [FSET] Print Sample
SFNT "Swiss742SWC-Italic";	FSET 1p##v1s0b4148T; <i>ABCDabcd\$%&amp;0123ÃäĐđİêôûáé{ } ~ ¼ ½</i>
SFNT "Swiss742SWC-ItalicCondensed";	FSET 1p##v5s0b4148T; <i>ABCDabcd\$%&amp;0123ÃäĐđİêôûáé{ } ~ ¼ ½</i>
SFNT "Swiss742SWC-Roman";	FSET 1p##v0s0b4148T; <i>ABCDabcd\$%&amp;0123ÃäĐđİêôûáé{ } ~ ¼ ½</i>
SFNT "Swiss742SWC-RomanCondensed";	FSET 1p##v4s0b4148T; <i>ABCDabcd\$%&amp;0123ÃäĐđİêôûáé{ } ~ ¼ ½</i>
SFNT "Symbol-Set-SWM";	CSET 19M;FSET 1p##v0s0b16686T; <i>ABXΔαβχδΞ%&amp;0123&lt;®©™Σ∑ℑø⊗⊕{ } ~   </i>
SFNT "ZapfHumanist601SWC-Bold";	FSET 1p##v0s3b4113T; <b><i>ABCDabcd\$%&amp;0123ÃäĐđİêôûáé{ } ~ ¼ ½</i></b>
SFNT "ZapfHumanist601SWC-BoldItalic";	FSET 1p##v1s3b4113T; <b><i>ABCDabcd\$%&amp;0123ÃäĐđİêôûáé{ } ~ ¼ ½</i></b>
SFNT "ZapfHumanist601SWC-Demi";	FSET 1p##v0s0b4113T; <i>ABCDabcd\$%&amp;0123ÃäĐđİêôûáé{ } ~ ¼ ½</i>
SFNT "ZapfHumanist601SWC-DemiItalic";	FSET 1p##v1s0b4113T; <i>ABCDabcd\$%&amp;0123ÃäĐđİêôûáé{ } ~ ¼ ½</i>

**欧文文字コードセット** 文字コードセットとは下表のように、欧文フォントの持つ文字のひとつを言い、各文字は一つの文字コードに対応しています。文字コードセットは、エミュレーションごとに異なります。

	32	48	64	80	96	112
	2	3	4	5	6	7
0		0	@	P	‘	p
1	!	1	A	Q	a	q
2	"	2	B	R	b	r
3	#	3	C	S	c	s
4	\$	4	D	T	d	t
5	%	5	E	U	e	u
6	&	6	F	V	f	v
7	,	7	G	W	g	w
8	(	8	H	X	h	x
9	)	9	I	Y	i	y
A	*	:	J	Z	j	z
B	+	;	K	[	k	{
C	,	<	L	\	l	
D	-	=	M	]	m	}
E	.	>	N	^	n	~
F	/	?	O	_	o	

内蔵欧文フォントの文字コードセットは、言語によって異なる文字を印字するために設けられています(表のアミ部分)。



前ページの表の文字コード123 (hex 7B) では “{” が印字されることになっていますが、これを国別コードパラメータが1のフランス語文字コードセットの場合は、“{” の代わりに “é” が印字されます。その他の国別に印字される文字が異なる文字コードをまとめると、次の表になります。

文字コード 国別コード		23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
		35	36	64	91	92	93	94	96	123	124	125	126
0	US	#	\$	@	[	\	]	^	`	{		}	~
1	France	£	\$	à	°	ç	§	^	`	é	ù	è	¨
2	German	£	\$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
3	UK	£	\$	@	[	\	]	^	`	{		}	~
4	Denmark	#	\$	@	Æ	Ø	Å	^	`	æ	ø	å	~
5	Sweden	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
6	Italy	£	\$	§	°	ç	é	^	ù	à	ò	è	ì
7	Spain	#	\$	@	í	Ñ	¿	°	`	{	ñ	}	~
8	Japan	#	\$	@	[	¥	]	^	`	{		}	~

本プリンタは出荷時には国別コードが8 (日本＝JIS ASCII) に設定されています。設定を変更するにはプリスクライプ2eコマンドで行います (CSET、INTL、FRPO U6コマンドなど)。詳しくは第6章や第7章をご覧ください。

# 第4章

## メンテナンス

---

本プリンタのメンテナンスの方法について説明します。  
通常必要なメンテナンスは、トナー・コンテナ、廃棄トナー・ボトルの交換と  
メインチャージャ・ユニット、給紙ユニットなどの清掃のみです。

4.1. トナー・キットの交換……4-2

4.2. 清掃……4-7

### 4.1. トナー・キットの交換

トナーが少なくなると、メッセージ・ディスプレイにトナーヲ コウカンシ プリンタヲ ソウジシテクダサイと表示されます。このメッセージの表示後もそのまま印字を続けると、トナーコウカント プリンタノ ソウジ ガ ヒツヨウデスと表示されてプリンタは停止します。最初のメッセージが表示されたら早目に新しいトナー・キットと交換して、プリンタ内を清掃してください。

なお、メッセージ・ディスプレイにトナーコウカント プリンタノ ソウジ ガ ヒツヨウデスと表示されてプリンタが停止した場合は、新しいトナー・キットと交換し、プリンタ内を清掃後引き続き印字をおこないます。

#### トナー・コンテナの 交換時期

トナー・コンテナ(TK-20)は約10,000ページ\*印字ごと(TK-20Gは約15,000ページごと)に交換する必要があります(A4横送り、印字率約5%、エコプリント・モード:オフ時)。ただし、印字内容によってページ数は異なります。

\*: プリンタに最初に装着するトナーコンテナでは、現像ユニット内にトナーをいきわたらせるため、これより少ない印字ページ数になります。

#### トナー・キットの内容 (TK-20/TK-20G)

トナー・コンテナ  
廃棄トナー・ボトル  
クリーニング用布  
グリッド・クリーナ  
廃棄用ポリ袋 (プリンタ付属のトナー・キットには含まれていません。)

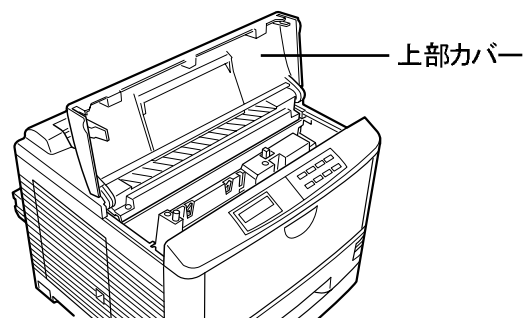
#### 取扱い説明書

##### お知らせ

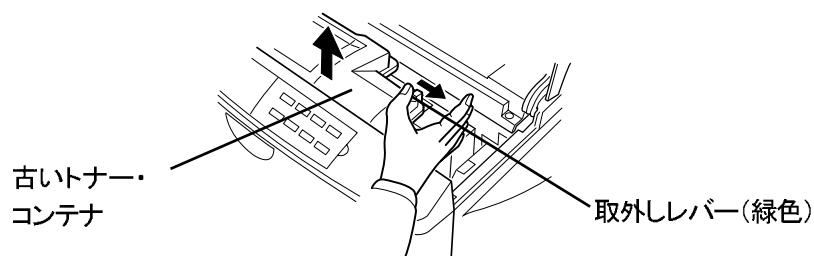
- ☐ トナー・コンテナの交換と同時に、必ず廃棄トナー・ボトルも交換してください。
- ☐ トナー・キット交換後は、プリンタ内部の清掃をおこなってください。詳しくは4.2.を参照してください。
- ☐ トナー・キット交換の際には、フロッピー・ディスクなどを遠ざけてください。
- ☐ プリンタのトラブル防止や、末永くプリンタをご使用いただくため、純正トナー・キットのご使用をおすすめします。

### トナー・コンテナの交換

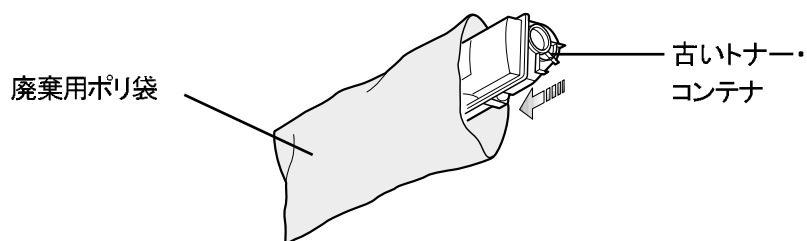
1. 上部カバーを開いてください。




2. 図のようにトナー・コンテナ取外しレバー(緑色)を矢印方向に引いて、古いトナー・コンテナをプリンタから取り出してください。取り出したトナー・コンテナは、かたむけないようにしてください。

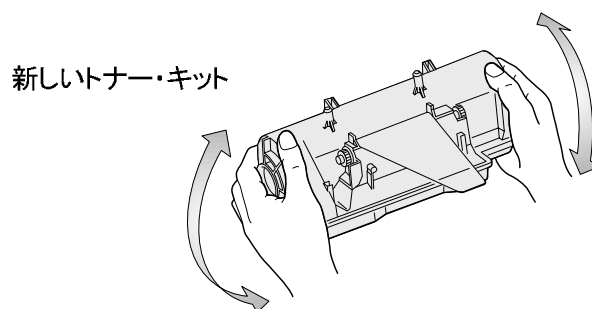


3. 古いトナー・コンテナはトナーが飛散しないように、新しいトナー・キットに付属している廃棄用ポリ袋に密封して処理してください。

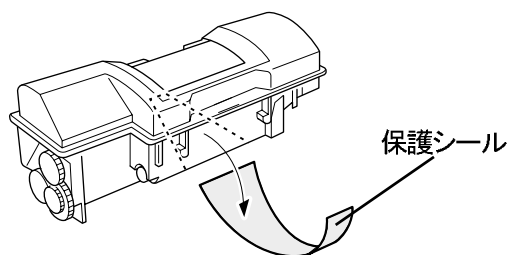


 **お知らせ** トナー・コンテナには無害の可燃性材料を使用していますが、廃棄については法令・規則にしたがって処理してください。

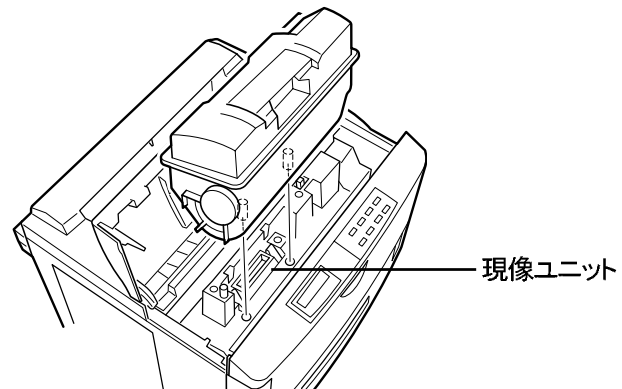
4. トナー・キットから新しいトナー・コンテナを取り出します。内部のトナーをほぐすため、図のようにラベル面を下にしてから矢印方向に10回以上振ってください。



5. トナー・コンテナの保護シールを引きはがしてください。

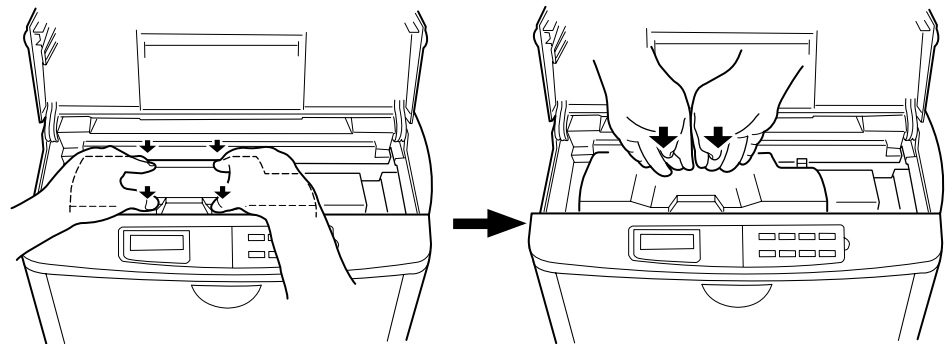


6. 図のようにトナー・コンテナを現像ユニットの上に装着してください。



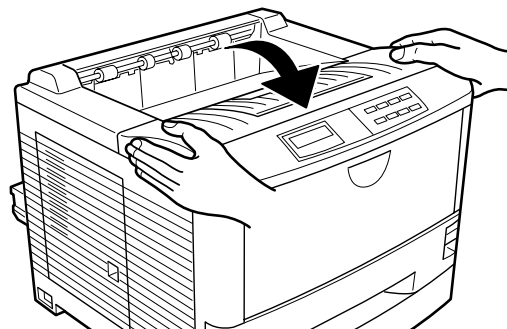
- 🔔 お知らせ トナー・コンテナに巻かれている保護シールを、装着前に取り除いてください。

7. 図のようにトナー・コンテナ上部の【ここを押す】の部分、カチッと手応えがあるまで強く押してください。



- 🔔 お知らせ トナー・コンテナが正しく装着されたかを確認してください。

8. 上部カバーを閉めてください。

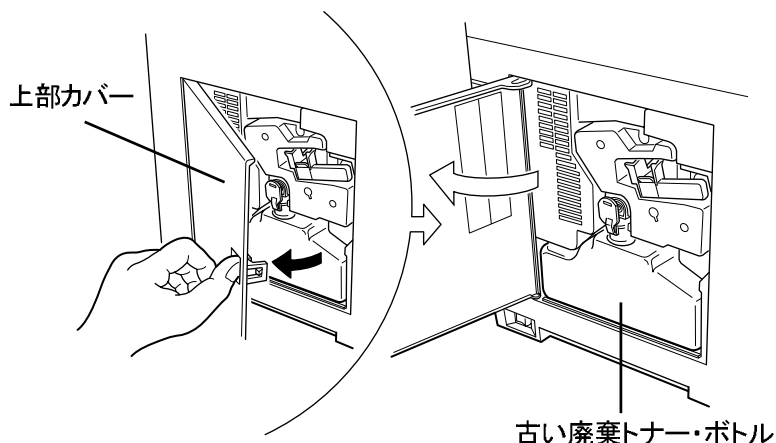


- 🔔 お知らせ トナーコウカント プリント ノ ソウジ ガ ヒツヨウデスがプリンタに表示されていた状態でトナー・コンテナを交換した場合は、上記8で表示がプリンタ ヲ ソウジシテ カイジョ ヲ オシテクダサイに変わります。次ページからの廃棄トナー・ボトルの交換を参照して廃棄トナー・ボトルを交換した後、4.2. 清掃の手順にしたがってプリンタを清掃してください。その後解除キーを押すと表示が消えて、印字が可能になります。


## 廃棄トナー・ボトルの交換

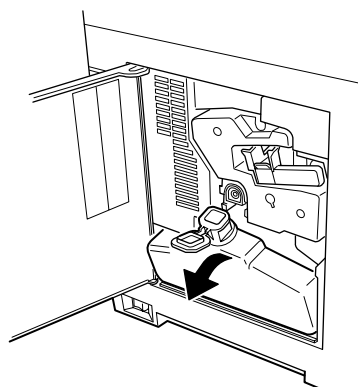
トナー・コンテナ交換時は、廃棄トナー・ボトルもトナー・キットに付属している新しいものと交換する必要があります。

1. プリンタ左側にあるサイド・カバーを開けてください。

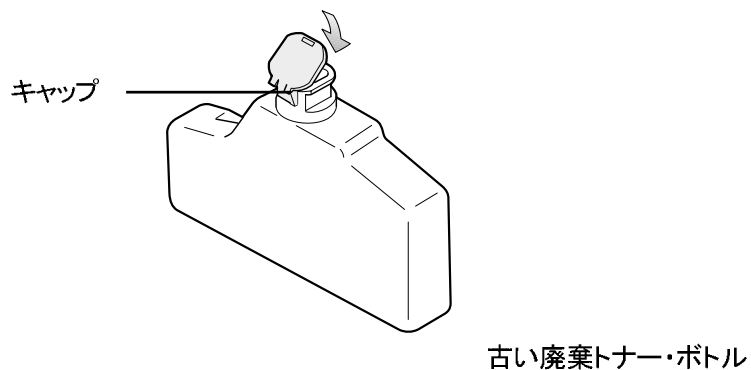


2. 図のように古い廃棄トナー・ボトルを取り外してください。

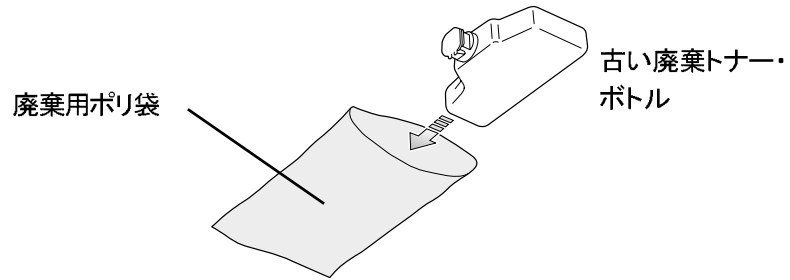
 **お知らせ** 廃棄トナー・ボトルを取り外す際は、中の廃棄トナーをこぼさないよう注意してください。このため、上部の開口部分を下向きにしないでください。



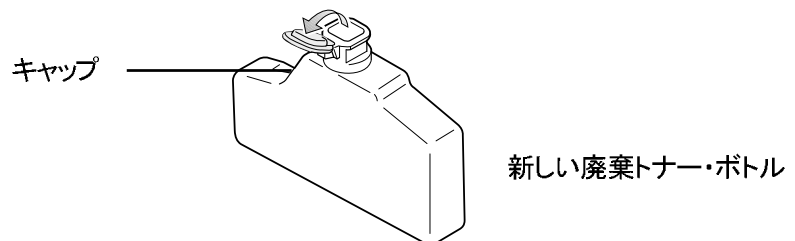
3. 廃棄トナー・ボトル内部のトナーがこぼれないように、図のようにキャップをしてください。



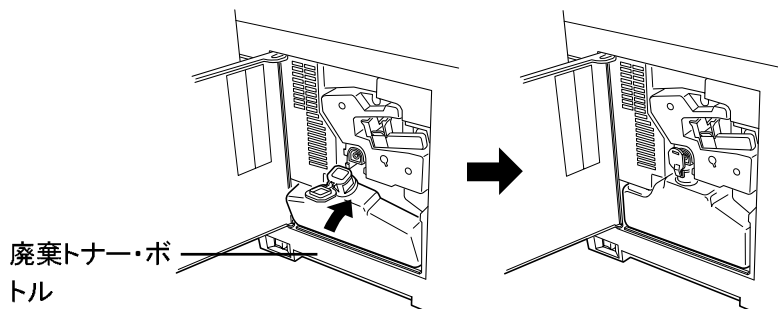
4. 取り出した古いトナー・コンテナはトナーが飛散しないように、新しいトナー・キットに付属している廃棄用ポリ袋に密封して処理してください。




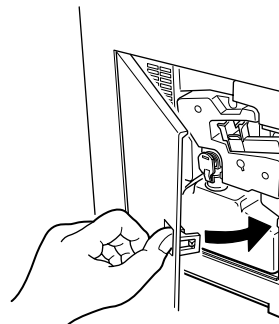
5. トナー・キットから新しい廃棄トナー・ボトルを取り出し、キャップを開けてください。




6. 図のように少し手前に傾けながらプリンタに装着してください。



-  お知らせ 上の6の状態では、廃棄トナー・ボトルは多少手前に傾いた状態になりますが、サイド・カバーを閉めると正しくプリンタに装着されます。



7. サイド・カバーを閉めてください。

-  お知らせ トナー・キット交換後はプリンタ内部の清掃が必要です。清掃のしかたは次ページからの 4.2. 清掃をお読みください。

## 4.2. 清掃

トナー・キットの交換時には、メインチャージャ・ユニットと給紙ユニットを清掃してください。また常に最良の印字品質を保つためにトナー・キット交換時以外も、定期的(月に一度程度)にプリンタ内部の清掃をおこなってください(グリッド・クリーナーでの清掃を除く)。

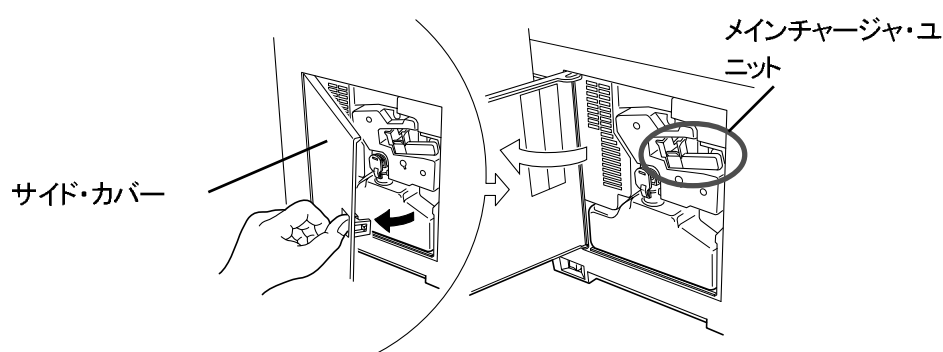
🔔 **お知らせ** トナーコウカント プリンタノ ソウジ ガ ヒツヨウデスがプリンタに表示されていた状態でトナー・コンテナを交換した場合は、交換後に表示がプリンタ ヲ ソウジシテ カイジョ ヲ オシテクダサイと変わります。以下の手順でプリンタ内部を清掃した後、解除キーを押すとその表示は消え、印字が可能になります。

### メインチャージャ・ユニットの清掃

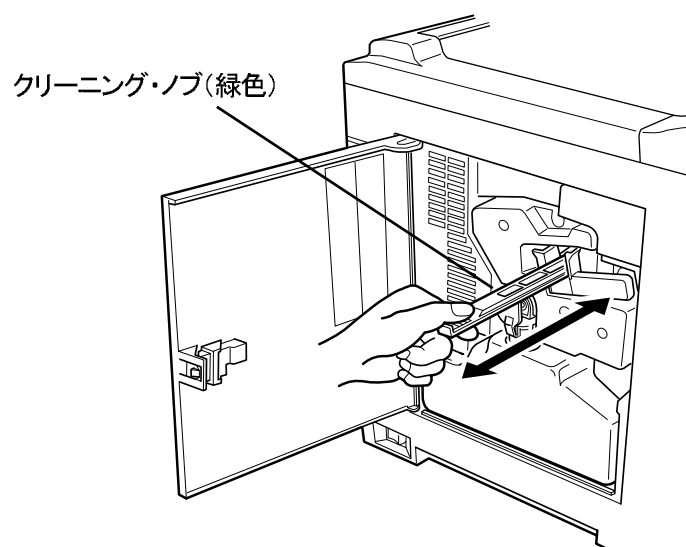
#### チャージャ・ユニット の清掃

次の手順で清掃をおこなってください。

1. プリンタ左側にあるサイド・カバーを開けてください。



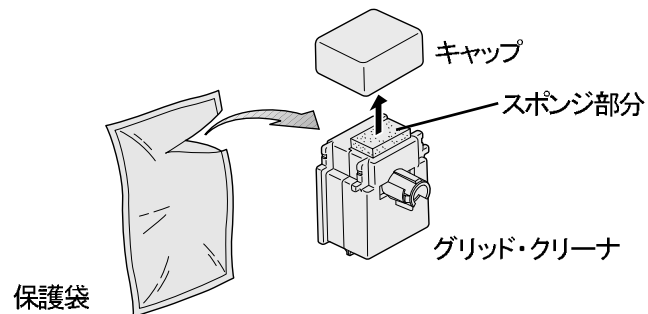
2. メインチャージャ・ユニットにあるクリーニング・ノブ(緑色)を、図のようにゆっくりと止まるまで引き出し、また戻してください。この動作を2、3回繰り返してください。






**グリッド部の清掃**    グリッド部の清掃はトナー・キット交換時におこなってください。

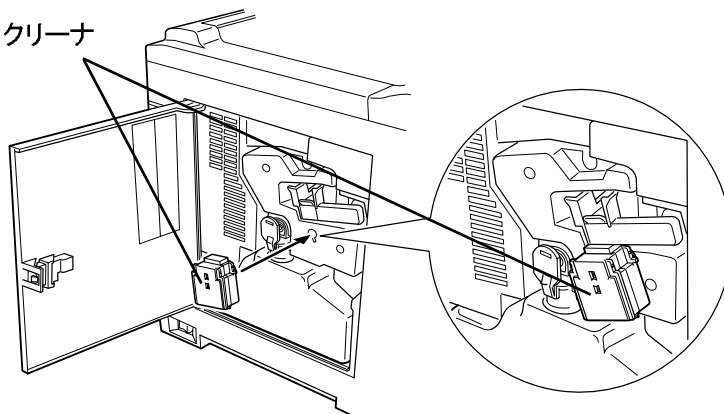
1. 新しいトナー・キットに付属しているグリッド・クリーナを保護袋から取り出し、キャップを取り外してください。



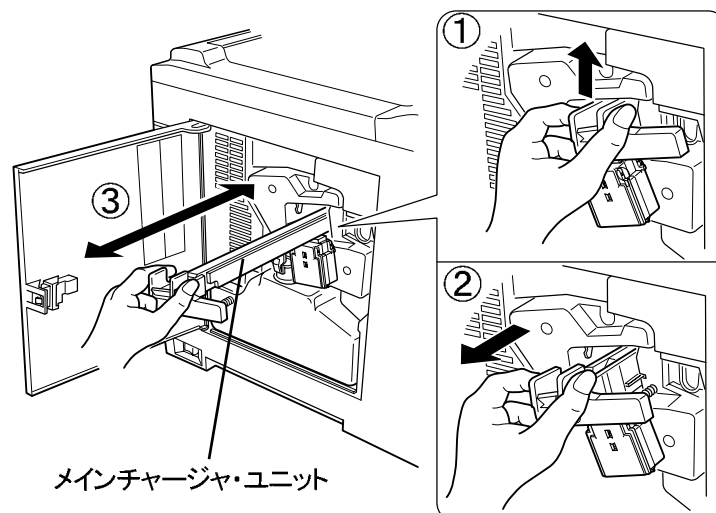
 **お知らせ**    グリッド・クリーナのスポンジ部分は水を含んでいます。この部分の乾燥を避けるため、清掃は手早くおこなってください。

2. グリッド・クリーナのパッド側 (スポンジ側) を上にし、図のようにプリンタに取り付けてください。

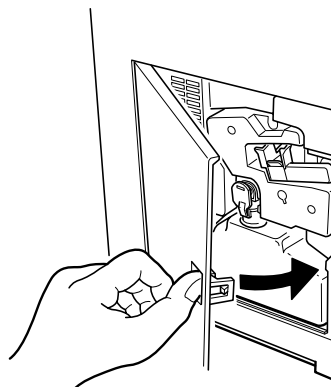
グリッド・クリーナ



3. メインチャージャ・ユニットを①のように上に持上げ、②のように引き出します。③のように出し入れを5回以上繰り返します。



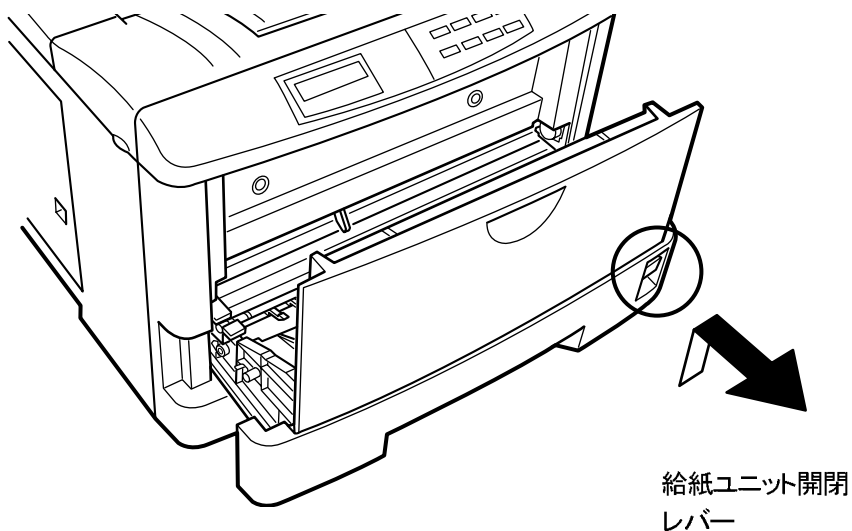
4. 以上が終わったら、グリッド・クリーナをプリンタから取り外してください。グリッド・クリーナは再利用できません。清掃後は処分してください。
5. サイド・カバーを閉めてください。



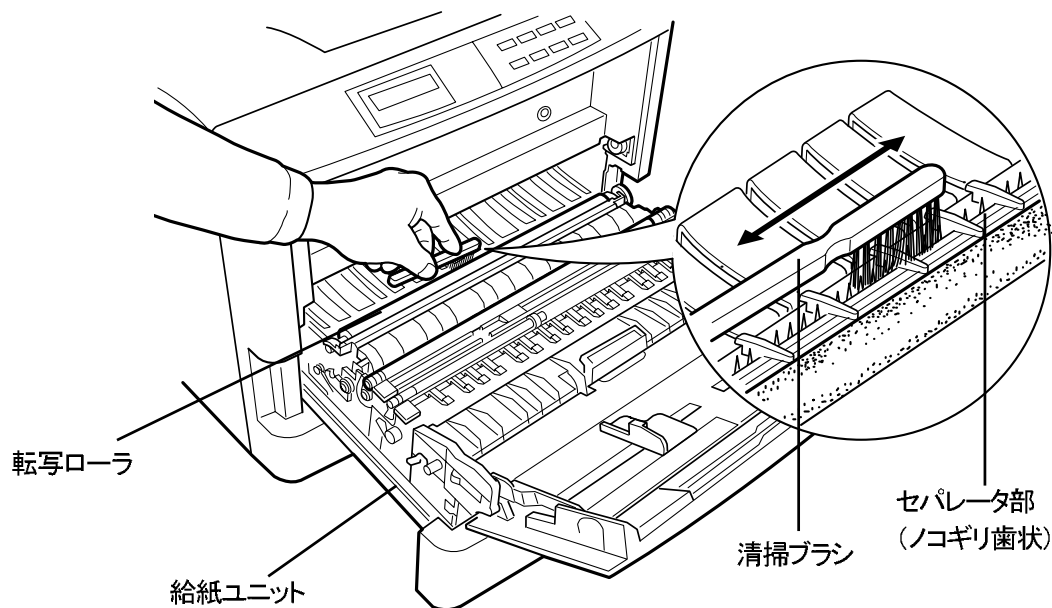
## 給紙ユニットの清掃

給紙ユニットが汚れると、印字した用紙の裏が汚れるなどの問題が起きる場合があります。給紙ユニットは下記の手順で清掃してください。

1. 給紙ユニット開閉レバーを引き上げて、給紙ユニットを引き出してください。

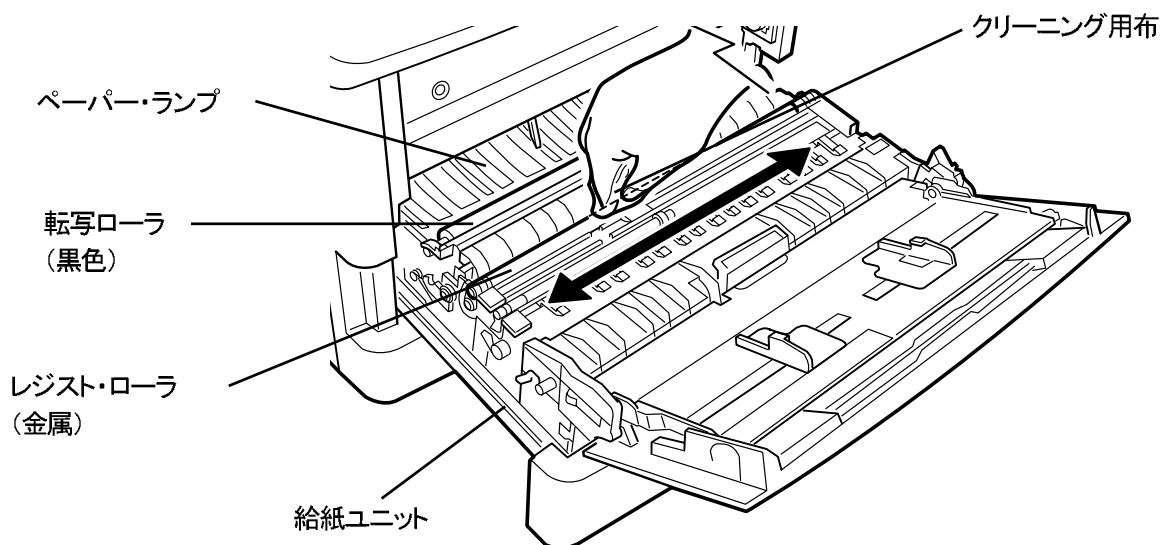


2. 付属の清掃ブラシで、転写ローラの後ろ側にあるセパレータ(ノコギリ歯状)部全体を、図のように2～3回清掃してください。清掃ブラシは次回も使用しますので、保存しておいてください。



3. トナー・キットに付属しているクリーニング用布で、レジスト・ローラ部に付着している紙粉やペーパー・ランプ上の汚れを拭き取ってください。

🔔 お知らせ 清掃中は転写ローラに触れないようご注意ください。印字品質が低下する原因になります。



4. 清掃終了後は給紙ユニットを確実に閉めてください。

# 第5章

## 印字問題の処理

---

本章は、プリンタに問題が発生した際の、対処のしかたについて説明しています。  
問題が解消できない場合は、お買い求めの京セラコミュニケーションシステム株式会社正規販売会社(特約店)またはサービス実施店にご連絡ください。

5.1. で一般的な対処方法を説明します。  
詳細は5.2. から5.4. までをご覧ください。

5 印字問題の処理……5-1

5.1. 一般的な問題について……5-2

5.2. 印字品質の問題……5-3

5.3. インジケータとメッセージ表示……5-5

5.4. 紙詰まりの処置……5-12

## 5.1. 一般的な問題について

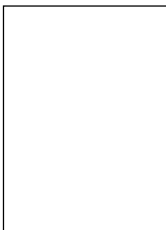
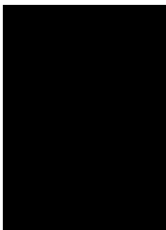
問題と見られる症状の中には、お客様ご自身で解消できるものが少なくありません。プリンタに何らかの問題が発生した場合は、故障とお考えになる前に以下のチェックをおこなってみてください。


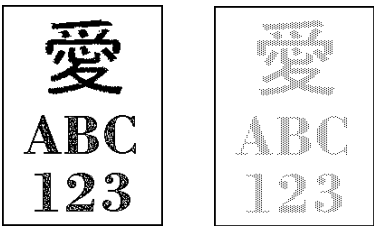
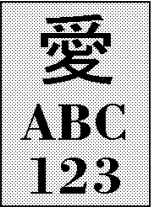
現象	確認事項		確認事項
印字できない。	オンライン・インジケータを確認してください。	消灯	オンラインキーを押してください。 オンラインキーを押しても点灯しない場合は、電源関係に問題があると思われます。以下の確認事項を見て、該当するチェックをおこなってみてください。
		点灯	以下の該当項目をご覧ください。
	ステータス・ページが印字できれば、ステータス・ページ上の印字品質を確認してください。	問題はない	コンピュータとの接続に問題があると思われます。以下の確認事項を見て、該当するチェックをおこなってみてください。
		問題がある	5.2. 印字品質の問題をご覧ください。
ATTENTIONインジケータが点灯している。			5.3. インジケータとメッセージ表示をご覧ください。
メッセージ・ディスプレイに、何らかのメンテナンス・メッセージが表示されている。			5.3. インジケータとメッセージ表示をご覧ください。
用紙が詰まった。			5.4. 紙詰まりの処置をご覧ください。
電源を入れても、コントロール・パネルに何も点灯しない。 ファンのまわる音もしない。	電源コードが、プリンタとコンセントに正しく差し込まれているか確認してください。		電源を一度切ってから、電源コードを確実に差し込み、もう一度電源を入れなおして下さい。
ステータス・ページは正常に印字するが、コンピュータからのデータは正常に印字されない。	接続されているケーブルを、確認してください。		インタフェース・ケーブルは両端とも確実に接続してください。プリンタ・ケーブルを交換してみてください。本プリンタのインタフェース仕様については、付録Cを参照してください。
	パラレル・インタフェースに接続されているコンピュータは、IBM PS/55シリーズ、またはN5200シリーズのコンピュータですか？		IBM PS/55シリーズコンピュータの場合は、パラレル・インタフェースのピン仕様が異なります。コントロール・パネルからパラレルインタフェースをIBM PS/55モードに設定してください(2-20ページ)。N5200の場合には、N5263-26、N5273-17の設定が正しく行われているかを確認してください。
	プログラム・ファイルやアプリケーション・ソフトを調べてみてください。		別のファイルを印字してみるか、別の印字コマンドを使ってみてください。 ある一定のファイルやアプリケーションのみに問題が発生するようであれば、そのアプリケーションのプリンタの設定等を確認してください。

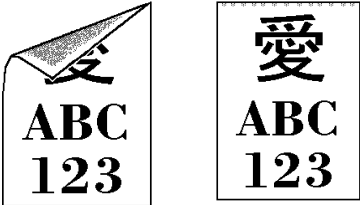

以上のチェックをおこなっても、問題が解消されない場合は、お買い求めの京セラコミュニケーションシステム株式会社正規販売会社(特約店)またはサービス実施店までご連絡ください。

## 5.2. 印字品質の問題

印字品質の問題には、印字のムラから白紙出力などさまざまな症状があります。ここではそれぞれの症状に応じ、処置の方法を説明します。本章で説明する処置をおこなっても問題が解消されない場合は、京セラコミュニケーションシステム株式会社正規販売会社(特約店)またはサービス実施店にご連絡ください。

印字例	処置
<p>何も印字しない。</p> 	<p>現像ユニットが正しく装着されているか、現像ユニットとプリンタを接続しているコネクタが正しく接続されているかを確認してください。(1.6.参照)</p>
<p>全体が真っ黒になる。</p> 	<p>京セラコミュニケーションシステム株式会社正規販売会社(特約店)またはサービス実施店にご連絡ください。</p>
<p>白抜けや黒点や横線が印字される。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>愛</p> <p>ABC</p> <p>123</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>愛</p> <p>ABC</p> <p>123</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>愛</p> <p>ABC</p> <p>123</p> </div>	<p>チャージャ・ユニットを清掃してください。</p> <p>プリンタ左側のサイド・カバーを開け、緑色のクリーニング・ノブを使用してチャージャ・ユニットを清掃してください。(4.2.参照)</p> <p>一定の間隔で起きている場合は、プリンタ内部のドラム、定着ローラ、または転写ローラに傷がついているか、異物が付着していることが考えられます。お問い合わせの京セラコミュニケーションシステム株式会社(特約店)またはサービス実施店にご連絡ください。</p>


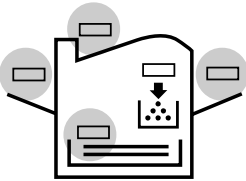

印字例	処置
<p>縦線が入る。</p> 	<p>メッセージ・ディスプレイの表示を確認してください。</p> <p>メッセージ・ディスプレイにトナーヲ コウカンシ プリンタ ヲ ソウジシテクダサイと表示され、トナー・インジケータが点滅している場合は、新しいトナー・コンテナと交換してください。交換後はプリンタを清掃してください。(4.2.参照)</p> <p>チャージャ・ユニットを清掃してください。</p> <p>プリンタ左側のサイド・カバーを開け、緑色のクリーニング・ノブを使用してチャージャ・ユニットを清掃してください。(4.2.参照)</p>
<p>画像が引きずられる。</p> 	<p>チャージャ・ユニットを清掃してください。</p> <p>プリンタ左側のサイド・カバーを開け、緑色のクリーニング・ノブを使用してチャージャ・ユニットを清掃してください。(4.2.参照)</p>
<p>シャープな画像が得られない。</p> 	<p>メッセージ・ディスプレイの表示を確認してください。</p> <p>メッセージ・ディスプレイにトナーヲ コウカンシ プリンタ ヲ ソウジシテクダサイと表示され、トナー・インジケータが点滅している場合は、新しいトナー・コンテナと交換してください。交換後はプリンタを清掃してください。(4.2.参照)</p> <p>チャージャ・ユニットを清掃してください。</p> <p>プリンタ左側のサイド・カバーを開け、緑色のクリーニング・ノブを使用してチャージャ・ユニットを清掃してください。(4.2.参照)</p> <p>モード選択メニューから、印字濃度を調節してみてください。2.16.印字濃度の設定をご覧ください。</p> <p>モード選択メニューから、カミノアツサ(紙の厚さ)の設定を変えてみてください。(2.3. 参照)</p> <p>エコプリントがオンに設定されていないか確認してください。(2.14.参照)</p>
<p>背景が灰色になる。</p> 	<p>メッセージ・ディスプレイの表示を確認してください。</p> <p>メッセージ・ディスプレイにトナーヲ コウカンシ プリンタ ヲ ソウジシテクダサイと表示され、トナー・インジケータが点滅している場合は、新しいトナー・コンテナと交換してください。交換後はプリンタを清掃してください。(4.2.参照)</p> <p>メインチャージャ・ユニットを入れなおしてみてください。</p> <p>プリンタ左側のサイド・カバーを開け、メインチャージャ・ユニットを5～6cm引き出してから再度入れなおしてください。(引出しかたは4.2.参照。)</p>

印字例	処置
<p>用紙の先端や裏側が汚れる。</p> 	<p>転写ローラを調べてください。</p> <p>給紙ユニットを引き出し、転写ローラが汚れていないか確認してください。汚れている場合は、印字を数枚繰り返して汚れを取り除いてください。</p> <p>給紙ユニット内部を確認してください。</p> <p>給紙ユニットを引き出し、内部がトナーなどで汚れていないか確認してください。汚れている場合は付属のクリーニング用布で拭き取ってください。</p>
<p>印字位置がずれる。</p> 	<p>ファイルやプログラムを調べてください。</p> <p>プリスクライブ・コマンドに誤りがないか確認してください。ある特定のファイルやプログラムだけで問題が起こる場合は、コマンドのパラメータや使い方が間違っている可能性があります。</p>

## 5.3. インジケータとメッセージ表示

コントロール・パネル上のインジケータと、メッセージ・ディスプレイに表示されるメッセージについて、それぞれの処置を説明します。

### パネル・インジケータ

インジケータ	状態	原因/処置
	点滅	<ul style="list-style-type: none"> <li>●トナーが不足しています。早めに新しいトナー・キットと交換してください。交換後はプリンタの清掃をおこなってください(4.2. 参照)。</li> <li>●トナーを補給中です。しばらくお待ちください。</li> </ul>
	点灯	トナーがなくなりました。新しいトナー・キットと交換してください。交換後はプリンタの清掃をおこなってください。(4.2. 参照)
	速い点滅	点滅している部分に用紙が詰まっています。詰まった用紙を取り除いてから、上部カバーまたは給紙ユニットを一度開閉してください。印字を再開します。(5.4 参照)
	遅い点滅	カセットまたはMPトレイの用紙が無くなりました。用紙を給紙元に補給してください。(1.7. 参照)
	点灯	現在の給紙元、排紙先を示しています。
	点滅	プリンタはウォーミングアップ中です(シバラク オマチクダサイを表示)。プリンタのメモリが不足しています(メモリ ガ フソクシテイマスを表示)。
	点灯	メッセージ・ディスプレイに、メッセージが表示されます。表示されたメッセージにしたがって処置してください。各メッセージに対応した処置は、次ページからの表をご覧ください。



## メンテナンス・メッセージ

メッセージ	処置
トップ・カバー ガ アイティマス	上部カバーが開いています。  確実に閉めてください。
サイド・カバー ガ アイティマス	プリンタ左側のサイド・カバーが開いています。  確実に閉めてください。
キューシ・ユニット ガ アイティマス	給紙ユニットが開いています。  確実に閉めてください。
フェイス・ダウン・トレイ ノ カミヲトリノゾイテクダサイ	フェイスダウン・トレイに用紙がたまっています。  フェイスダウン・トレイにある用紙をすべて取り除いてください。フェイスダウン・トレイには約350枚まで収容できます。
カミヲ イレテクダサイ	用紙がカセットまたはMPトレイにありません。  給紙カセットに用紙を補給してください。または、MPトレイに用紙を入れてください。
カセット ノ セッテイ ガ チガイマス	給紙カセット内のサイズ設定が正しくありません。  使用する用紙サイズにあわせて、給紙カセット内の用紙ガイドとペーパーストップを正しく設定してください(1.6参照)。
MPトレイ ニ カミヲ イレテ カイジョ ヲ オシテクダサイ	MPトレイに用紙を入れ、解除キーを押してください。印字を始めます。 MPトレイが手差しモード時に表示されます。
〇〇〇〇〇カラキューシ シマス △△△△	用紙サイズが一致しません。  給紙元の用紙サイズと印字データに設定された用紙サイズが異なります。表示された給紙元に、要求されたサイズの用紙をセットすると印字を開始します。ただしMPトレイの場合は、用紙をセットし解除キーを押した後、に印字を開始します。 (○: 給紙元 △: 用紙サイズ)
カミガ ツマリマシタ トリノゾイテクダサイ	印字した用紙が詰まりました。  上部カバーまたは給紙ユニットを開けて、用紙を取り除いてください。 (5.4参照)
メモリ ガ フソクシテイマス	プリンタのメモリが不足しています。  不要なダウンロード・フォントやマクロを削除してください。ステータス・ページを印字すると、現在のユーザ・メモリ確認することができます。
トナーヲ コウカンシ プリンタ ヲ ソウジシテクダサイ	トナー・コンテナ内のトナーが不足してきました。  やがてプリンタは停止しますので、早めに新しいトナー・キットと交換してください。交換後はプリンタの清掃をおこなってください。(4.2参照)



メッセージ	処置
トナーコウカン ト プリント ノ ソウジ ガ ヒツヨウデス	トナー・コンテナ内のトナーが無くなりました。  トナーが無くなったためプリンタは停止しました。新しいトナー・キットと交換してください。交換後はプリンタの清掃をおこなってください。(4.2.参照)
プリンタ ヲ ソウジシテ カイジョヲ オシテクダサイ	プリンタ内部を清掃してください。(4.2.参照)  清掃後は解除キーを押すと、印字可能な状態に戻ります。このメッセージはトナーコウカン ト プリント ノ ソウジ ガ ヒツヨウデスのメッセージが表示された後、トナー・コンテナを交換した際に表示されます。
ハイキトナー・ボトル ノ コウカン ガ ヒツヨウデス	廃棄トナー・ボトルを交換してください。(4.1.参照)  このメッセージは廃棄トナー・ボトルが満杯になったときに表示されます。新しいトナー・キットに付属している廃棄トナー・ボトルと交換してください。廃棄トナー・ボトルはトナー・コンテナ交換時に必ず交換してください。
ハイキトナー・ボトル ガ アリマセン	廃棄トナー・ボトルが装着されていません。(4.1.参照)  廃棄トナー・ボトルをプリンタに装着してください。
ハードディスク エラー 20	ハードディスクユニットはOPT2スロットに装着してください。  オプションのハードディスクユニットを、誤ってOPT1側スロットに装着した場合に表示されます。ハードディスクユニットは、OPT2側スロットに装着してください。 誤って装着したハードディスクは、プリンタの電源を切ってから取り外してください。
RAMディスク エラー ## カイジョ ヲ オシテクダサイ	##に表示されるエラー・コード(数字)を確認して、以下を参照してください。 01:フォーマット・エラーです。 再度プリンタの電源を入れ直してみてください。 02: RAMディスク・モードがオフになっています。 RAMディスク・モードをオンにしてください。 03: ライト・プロテクトされているので、RAMディスクに書き込みできません。ライト・プロテクトを外してください。 04: RAMディスクの容量が不足しています。 RAMディスク内のデータを整理してから、再度作業を行ってください。または、RAMディスクの領域を拡大してください。 05: 指定のファイルが存在しません。 指定のファイル名、RAMディスク内のファイルの有無を確認してください。 06: ファイル・システムで利用できるメモリが足りません。 プリンタにオプションの拡張メモリ・チップを増設してください。 10: ホストデータがRAMディスクにスプールされているので、フォーマットできません。「プリント デキマス」になってからフォーマットしてください。 85: 仮想トレイの名称が不正です。(VMB) 正しい名称設定を行ってください。 86: 仮想トレイのパスワードが不正です。(VMB) 正しいパスワードを設定してください。

メッセージ	処置
	<p>88: 出力指定した仮想トレイの文書内に、読み出しできないページが含まれているため出力できません。(VMB)</p> <p>89: 指定仮想トレイ内に出力データがありません。(VMB)</p> <p>指定仮想トレイを確認してください。</p> <p>97: ジョブが制限値に達しており、これ以上セーブできません。</p> <p>ジョブを整理するか、制限値を上げてください。</p> <p>98: 出力データ中に、読み出しできないページがあります。</p> <p>99: 出力指定されたジョブがありません。または、そのページがありません。</p> <p>(VMB): 仮想メールボックス機能使用時のみのエラーです。</p>
バーチャル メール ボックス ガイッパイデス	<p>仮想メールボックスの領域が不足しています。</p> <p>プリンタは、このメッセージ表示中に受信したデータは読み捨てます。</p> <p>VMB機能をRAMディスクによって運用している場合は、RAM ディスクの領域を拡大してください。</p>
サービスマン ヲ オヨビ クダサイ E#:0123456	<p>サービスマンによるメンテナンスが必要です。</p> <p>機械部分に故障が発生し、プリンタは停止しました。メッセージ・ディスプレイにはそのエラー・コードが表示されます。“#”の部分の数字またはアルファベットの文字をメモに控えてください。その後プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの京セラコミュニケーションシステム株式会社正規販売会社(特約店)またはサービス実施店にご連絡ください。</p>
サービスマン ヲ オヨビ クダサイ F#:0123456	<p>サービスマンによるメンテナンスが必要です。</p> <p>コントローラ部分に故障が発生し、プリンタは停止しました。メッセージ・ディスプレイにはそのエラー・コードが表示されます。“#”の部分の数字またはアルファベットの文字を、メモに控えてください。その後プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの京セラコミュニケーションシステム株式会社正規販売会社(特約店)またはサービス実施店にご連絡ください。</p>

## エラー・メッセージ

メッセージ	処置
メモリ オーバーフロー(*) カイジョ ヲ オシテクダサイ	メモリ不足のため、現在の印字を続行して処理できません。  ステータス・ページのユーザ・メモリ量を確認してください。不要なマクロや外部フォントを削除するか、メモリを増設してください。( * が表示された場合は、縮小印字でエラーが発生していることを示します。) 解除キーを押すと、途中までのデータは印字されます。キャンセルキーを押すと、印字を中止できます。
プリント オーバーラン カイジョ ヲ オシテクダサイ	メモリ不足のため、現在の印字を処理できません。  データが複雑過ぎます。 ステータス・ページのユーザ・メモリを確認してください。不要なマクロや外部フォントを削除するか、メモリを増設してください。 ご注意: このエラー・メッセージが表示された後、ページ保護モードが自動的にオン(保護)になります。印字時のメモリ効率を最適に保つために、モード選択メニューから > ページ ホゴ モード表示させ、ジドウ(自動)に再設定してください。  解除キーを押すと、途中までのデータは印字されます。キャンセルキーを押すと、印字を中止できます。
メモ리카ード エラー カード ガ スカレマシタ	メモリ・カードが抜かれました。  メモリ・カードを操作中に、メモリ・カード・スロットからメモリ・カードを引き抜くと表示されます。もう一度同じカードを、同じスロットに挿入してください。プリンタはメモリ・カードの操作を継続します。
オナジ メモ리카ード ヲ サシテクダサイ	同じメモリ・カードを挿入してください。  メモリ・カードを操作中に、メモリ・カード・スロットからメモリ・カードを引き抜き、その後違うメモリ・カードを挿入した場合に表示されます。もう一度同じメモリ・カードを、同じスロットに挿入してください。プリンタはメモリ・カードの操作を継続します。
メモ리카ード ノ フォーマット ヲ シテクダサイ	メモリ・カードの初期化が必要です。  プリンタがプリント デキマス の状態のときに表示されます。プリンタに差し込まれているメモリ・カードは初期化が必要です。 第2章2.19.を参照して、メモリ・カードの初期化をおこなってください。
メモ리카ード ノ デンチ ヲ コウカンシテクダサイ	メモリ・カード内の電池が消耗しています。  プリンタがプリント デキマス の状態のときに表示されます。プリンタに差し込まれているメモリ・カード内の電池が消耗しています。モード選択メニューからメモ리카ード・モードへ入れますが、メモリ・カードの電池を早めに交換してください。
メモ리카ード ノ デンチ ガ アリマセン	メモリ・カードに新しい電池を入れてください。  プリンタがプリント デキマス の状態のときに表示されます。プリンタに差し込まれているメモリ・カードに電池が入っていない場合や、メモリ・カードの電池が完全に消耗している場合に表示されます。 メモリ・カードに対する操作はできません。メモリ・カードに新しい電池を入れてください。


メッセージ	処置
メモリカード エラー ## カイジョ ヲ オシテクダサイ	<p>このエラー・メッセージはプリスクライブICCDコマンドやコントロール・パネルより、メモリ・カードへのアクセスをおこなった場合に表示されることがあります。表示される##のエラー・コードを見て、以下の説明を参照してください。なお、コントロール・パネルからのメモリ・カード操作で表示されるのは09以降のエラーコードです。</p> <p>01:データまたはメモリ・カードの容量が大きすぎます。            ●32 MBを越えたデータをメモリ・カードへ書き込もうとした場合、またプリンタに差し込まれているメモリ・カードの容量が32 MB以上の場合に表示されます。メモリ・カードへ書き込むデータは32 MB以下にしてください。また、本機で利用できるメモリ・カードは32 MB以下のものです。            ●メモリ・カード内に存在しないデータ名を指定した場合に表示されます。メモリ・カード内のデータ名を確認してください。</p> <p>02:プリンタにメモリ・カードが差し込まれていません。または、本機では使用できない仕様のメモリ・カードです。本機で利用できるメモリ・カードを差し込んでください。(2.19.参照)</p> <p>03:JEIDA準拠のメモリ・カードではありません。本機が利用できるメモリ・カードは、JEIDA Ver. 4.2準拠のメモリ・カードです。</p> <p>04:S-RAMカードではありません。</p> <p>05:メモリ・カードの電池がありません。メモリ・カード内の電池を新しいものと交換してください。</p> <p>06:メモリ・カードは書き込み禁止です。書き込み禁止を解除してください。</p> <p>07:メモリ・カードの初期化が必要です。コントロール・パネルから、メモリ・カードの初期化をおこなってください。</p> <p>09:メモリ・カードの容量が足りません。メモリ・カードの空き容量を越えて、書き込みをおこなおうとした場合に表示されます。書き込みを中止するには、まずコンピュータからのデータ送信を中止してください。次にプリンタの解除キーを押します。メッセージ・ディスプレイにページ ガ ノ コツティマスと表示されたら、フォームフィードキーを押してください。メッセージ・ディスプレイはプリント デキマスに戻ります。</p> <p>11:メモリ・カード内のデータがいっぱいです。メモリ・カード内に書き込めるデータの数、データの容量に関らず127までです。解除キーを押すとメッセージ・ディスプレイはプリント デキマスに戻ります。</p> <p>13:論理エラーです。別のフラッシュメモリ・カードに代えてみてください。</p> <p>17:プリンタのメモリ不足のため、フラッシュメモリ・カードに書き込むことができません。不要なフォントやマクロを削除するか、プリンタにメモリを増設してください。</p> <p>18:書き込みエラーです。別のフラッシュメモリ・カードに代えてみてください。</p> <p>(13～18はフラッシュメモリ・カードの場合のみ表示します。)</p>
>フォント ヨミコミ デキマセンデシタ	<p>メモリ不足のため、フォントを読み込めません。</p> <p>プリンタのメモリ不足のため、外部フォントをプリンタのメモリに読み込むことができません。不要な外部フォントやマクロなどを削除するか、メモリを増設してください。</p>


メッセージ	処置
インタフェース ショウチュウ 	<p>選択したインタフェースは、現在使用中です。</p> <p>プリンタがプリント デキマス状態であっても、メッセージ・ディスプレイに表示されているインタフェース名が点滅している間は、そのインタフェースは占有された状態です。これはインタフェース開放時間 (FRPO J2) の設定によるものです。</p> <p>占有されているインタフェースに対して、コントロール・パネルより選択しようとした場合や、インタフェース表示が点滅中にメモリ・カードの操作をおこなおうとした場合に表示され、その後 ATTENTION インジケータが点滅します。</p> <p>インタフェースが開放された後に、再度操作をおこなってください。</p>
データ ショリチュウデス PAR FIT A4 	<p>メモリ不足のため、データを圧縮して印字します。</p> <p>解像度表示部に FIT が点滅している場合は、メモリ不足のためデータを圧縮して印字を続行しています。この場合、印字されたデータのクオリティは低下しています。印字終了後も FIT 表示が点滅しますが、何かキーを押した場合、タイムアウトした場合、次のデータを受信した場合には自動的に元の表示 (600 dpi) に戻ります。</p> <p>このエラーを避けるためには、プリンタにメモリを増設してください。</p>

# 5.4. 紙詰まりの処置

用紙がプリンタ内で詰まった場合の、用紙の取り除きかたを説明します。用紙がプリンタ内で詰まったときや、用紙が給紙カセットより送られなかったときなどには、プリンタは停止します。プリンタはオフラインになり、メッセージ・ディスプレイには**カミガ ツマリマシタ トリノゾイテクダサイ**と表示されます。

プリンタのフロント・パネルのインジケータが点滅し、その場所によって紙詰まりの起きた場所が確認できます。本項を参考にして詰まった紙を取り除いてください。なお、紙詰まり除去の際に電源を切ると、プリンタ内に残っていたデータは消えてしまいますのでご注意ください。

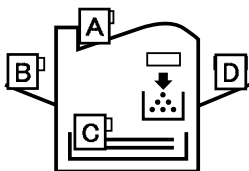
**警告**



紙詰まりの際は給紙ユニットを引き出し、紙片が残らないように詰まった用紙を取り除いてください。火災の原因になることがあります。


## 紙詰まりの位置と処置のしかた

以下の図と表を参照して紙詰まりの位置を確認してください。



A	フェイスダウン排紙トレイを確認してください。	用紙が完全に排紙されず、排紙中に止まった場合は給紙カセットと給紙ユニットを引き出し、用紙を取り除いてください。その後給紙ユニットと給紙カセットを元に戻してください。
	後部カバーを開けて確認してください。	給紙ユニットと給紙カセットを引き出し、次に後部カバーを開けて、図5.1(5-14ページ)のように詰まっている紙を取り除いてください。用紙を完全に取り除いた後給紙ユニットと給紙カセットを元に戻し、後部カバーを閉めてください。
B	フェイスアップ排紙トレイを確認してください。	フェイスダウン排紙トレイで紙詰まりが起きた場合と要領は同じです。
C	給紙カセットを確認してください。	給紙ユニットを引き出し、詰まった用紙が給紙ユニットのレジスト・ローラまで達していない場合は、給紙カセットと給紙ユニットを引き出し、図5.2(5-14ページ)のように用紙を取り除いてください。用紙を完全に取り除いた後、給紙ユニットを閉め、給紙カセットを元に戻してください。
	給紙ユニットを確認してください。	詰まった用紙が給紙ユニットのレジスト・ローラまで達している場合は給紙ユニットを引き出し、図5.3(5-14ページ)のように詰まっている紙を取り除いてください。用紙を完全に取り除いた後、給紙ユニットを閉めてください。
D	MPTレイを確認してください。	MPTレイにある未使用の用紙を取り除き、給紙ユニットを引き出してください。詰まっている用紙をすべて取り除き、給紙ユニットを閉じてください。その後で再度用紙をセットしてください。

詰まった用紙をすべて取り除いた後は、上部カバーまたは給紙ユニットを一度開閉してください。プリンタは自動的に印字を再開します。

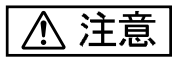
 **お知らせ** 紙詰まりが発生した位置によっては、紙詰まりが起きたページは再印字されない場合があります。

詰まった用紙を取り除く際に、未定着のトナーによって手などが汚れることがありますのでご注意ください。

紙詰まりがしばしば起きる場合は、用紙の仕様が本機に合っていない場合が考えられますので、用紙の種類を変えてみてください。用紙の仕様は**付録B**に詳しく説明してあります。

用紙を変えて試してみても、紙詰まりがしばしば起こる場合は、プリンタになんらかの問題がある場合が考えられますので、お買い求めの京セラコミュニケーションシステム株式会社正規販売会社(特約店)、またはサービス実施店にご連絡ください。





プリンタ内部にある定着ユニットは熱くなっています。やけどの原因になりますので、手を触れないでください。詰まった用紙は注意して取り除いてください。

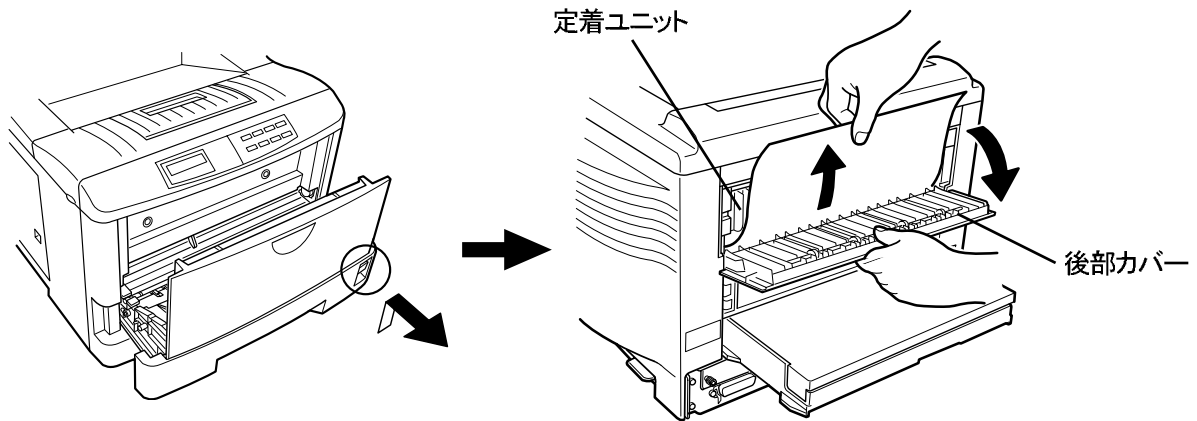


図5.1. 後部カバー内の紙詰まり

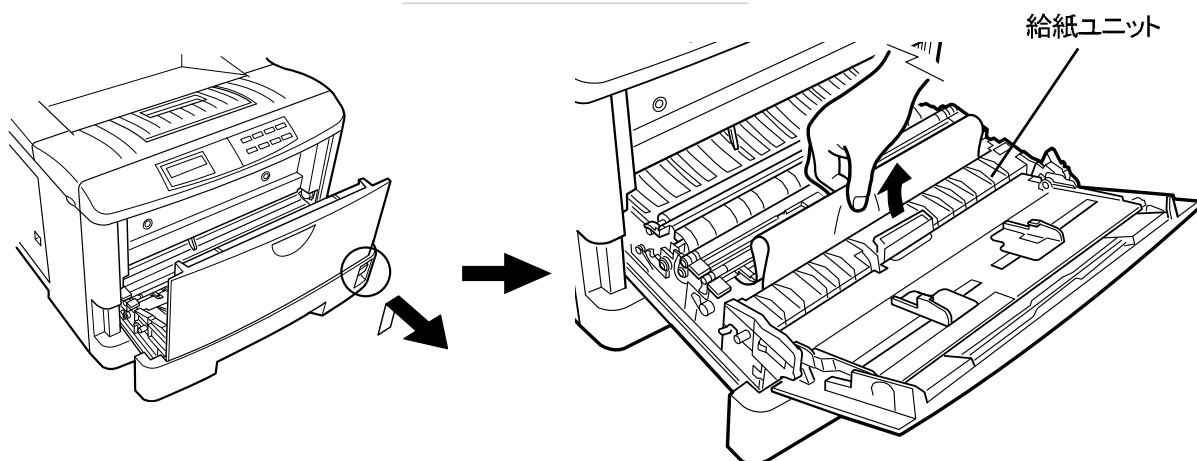


図5.2. 給紙カセット部の紙詰まり

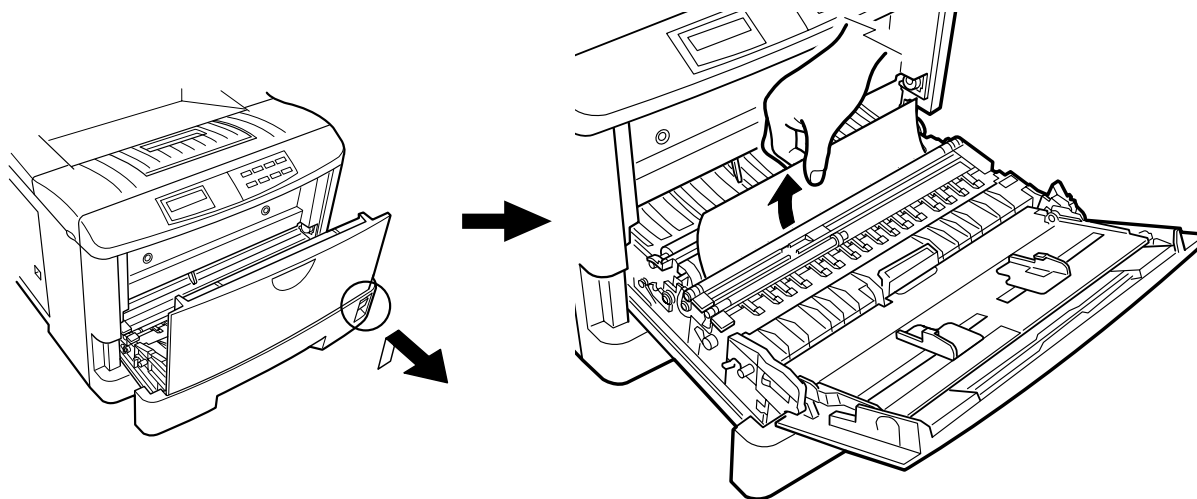
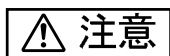


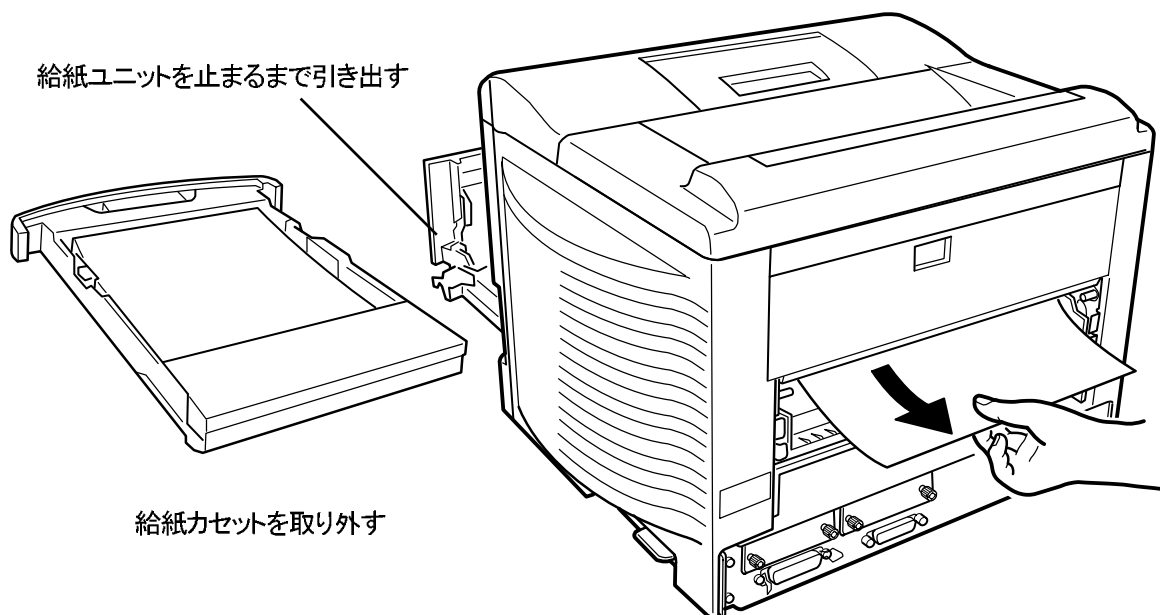
図5.3. レジスト・ローラ部の紙詰まり

前ページの図5.1.から図5.3.のように、給紙ユニットや給紙カセットを引き出しても紙詰まりが確認できない場合は、図5.4.のように、プリンタ後部からプリンタ内を確認してみてください。



プリンタ内部は熱くなっています。また内部には突起部がありますので、用紙は注意して取り除いてください。やけどやケガの原因になることがあります。

給紙カセットを取り外し、給紙ユニットを止まるまで引き出してください。プリンタ内に詰まった用紙が見える場合は、図のように取り除いてください。



# 第6章

## プリスクライブ2 e コマンド

---

本章では、京セラページ・プリンタ独自のプリンタ制御言語である  
プリスクライブ(PRESCRIBE)2 e コマンドを説明します。

プリスクライブ2 e コマンドは、行間隔や文字間隔の設定、マージンの設定、フォントの選択、  
テキスト行の位置決めから印字枚数の設定など、ページ構成に必要な  
ほとんどの印字動作を実現します。

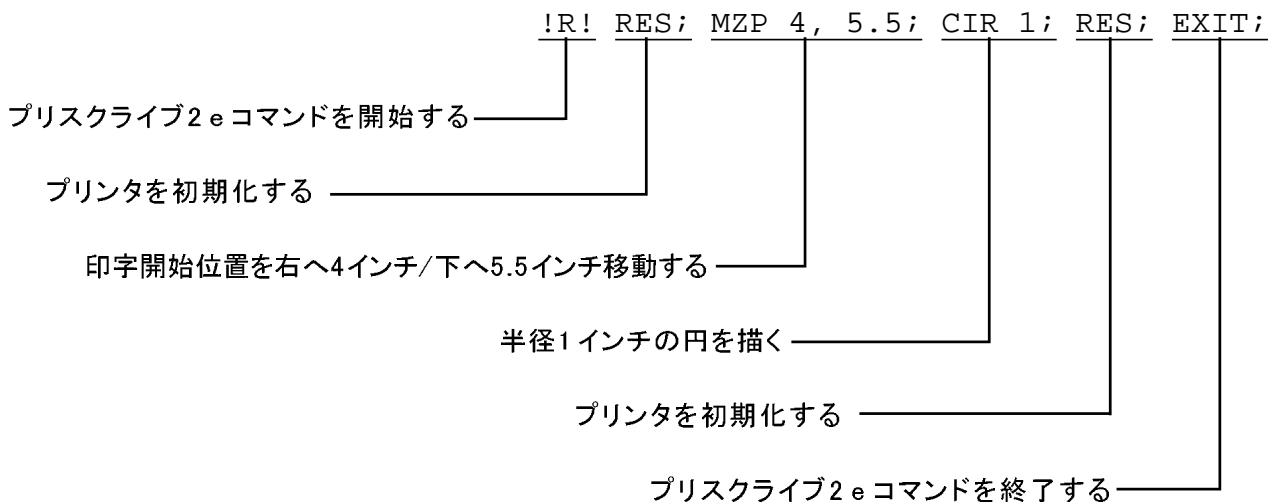
プリスクライブ2 e コマンドについては、より詳しいプリスクライブ2 e プログラミング・マ  
ニュアルが用意されております(別売)。お買い上げの京セラコミュニケーションシステム株式  
会社正規特約店までお問い合わせください。

## プリスクライブ2 e コマンドの基本

### プリスクライブ2 e コマンド例

- プリスクライブ2eコマンドの構文は、!R!からはじまりEXIT;で終わります。それぞれのコマンドはセミコロン(;)で区切ります。セミコロンとコロンの(:)は誤りやすいので注意してください。
- コマンドには、半角の英数字を使用してください。

プリスクライブ2eコマンドの構文例を、A4 ページの中央に円を書く方法で説明します。



コマンド例の最初や最後にRESコマンドを置くことによって、一時的な設定を初期状態に戻しておくことをおすすめします。

## プリスクライブ2 e コマンド一覧

次のページからの一覧は、プリスクライブ2eコマンドとそのパラメータをアルファベット順にまとめたものです。

- 表ではコマンドやパラメータを大文字であらわしていますが、最初の!R!を除いては小文字で書いても有効です。
- [ ]で囲んである内容は、省略できるパラメータです。ドット3つ(...)は、このドットの前のパラメータのくり返しを意味します。



お知らせ

コマンドには、該当するオプション装置などを装着した場合のみに有効なものがあります。

## コマンド一覧の見かた

	コマンド	パラメータの値
コマンド名と簡単な説明	ALTF—代替フォントの選択	
コマンドの書式	ALTF 代替番号;	
	代替番号	0から31までの数
	書式中のパラメータ	パラメータの値

コマンド	パラメータの値
ALTB A—文字コード置換テーブルの割付 (Assign)	
ALTB A, #1;	#1 文字コード置換テーブルとして割り付けられるユーザ定義テーブル番号
ALTB C—ユーザ定義テーブルにコード変換情報の登録 (Convert)	
ALTB C, #1, #2, #3;	#1 登録を行うユーザ定義テーブルのID番号 (1～65535) #2 変換前の文字コード (1バイト系:0～255、2バイト系:0～65535)、\$で16進数指定可能 #3 変換後の文字コード (1バイト系:0～255、2バイト系:0～65535)、\$で16進数指定可能
ALTB D—文字コード置換テーブルの削除 (Delete)	
ALTB D, #1;	#1 削除するユーザ定義テーブル番号
ALTB E—組文字登録の終了 (End)	
ALTB E;	
ALTB G—ユーザ定義テーブルの生成および登録 (Generate)	
ALTB G, #1, #2;	#1 ユーザ定義テーブルのID番号 (1～65535) #2 1: 1バイト系テーブル (文字コードとして0～255が使用可能)、\$で16進数指定可能 2: 2バイト系テーブル (文字コードとして0～65535が使用可能)、\$で16進数指定可能
ALTB R—文字コード置換テーブルの割付け解除 (Release)	
ALTB R, #1;	#1 コード置換テーブルとして割り付けられるユーザ定義テーブル番号、0: 全テーブルを解除、省略: 現在のレジデント・フォントに対する割付けを解除
ALTB S—ユーザ定義テーブルに組文字を登録 (Store)	
ALTB S, #1, #2[, #3, #4[, #5, #6, [#7]]];	#1 組文字を登録するユーザ定義テーブル番号 (1～65535) #2 組文字を登録する文字コード (1バイト系:0～255、2バイト系:0～65535)、\$で16進数指定可能 #3 作成する組文字の文字幅 (内蔵フォントの文字高さを1000ユニットとする)、(1～65535) #4 作成する組文字の文字高 (内蔵フォントの文字高さを1000ユニットとする)、(1～65535) #5 文字原点のX座標 (1000ユニット基準で換算した整数値) #6 文字原点のY座標 (1000ユニット基準で換算した整数値) #7 描画モード (0: ノーマル [Fill 処理]、0以外: 袋文字 [Stroke 処理] の線幅 [1～100ユニット])

#### ALTB T-組文字データの登録(テーブル法)

ALTB T, #1, #2, #3, #4, #5;

- #1 組み合わせる文字の文字コード(JISコード)、\$で16進数指定可能
- #2 文字幅(1~ALTB Tで指定した文字幅)
- #3 文字高(1~ALTB Tで指定した文字高)
- #4 文字原点のX座値(1000ユニット基準で換算した整数値)
- #5 文字原点のY座標(1000ユニット基準で換算した整数値)

#### ALTF- 代替フォントの選択

ALTF代替番号;

代替番号 0から31までの数

#### AMCR- フォーム・オーバーレイ(マクロの自動実行)

AMCR モード[= 繰り返しページ数],[ページ内繰り返し数]マクロ名, パラメータの値,...;

- モード E=フォーム・オーバーレイの実行(実行前に初期化を行う)
- T=フォーム・オーバーレイの実行(実行前に初期化を行わない)
- D=フォーム・オーバーレイの実行停止

繰り返しページ数 マクロを実行するページ数(省略した場合は、パラメータのモードDで実行停止するまで)

ページ内繰り返し数 マクロを実行する回数

マクロ名 MCRO コマンドで定義したマクロ名

パラメータの値 マクロ定義の際に与えた値

#### ARC- 指定パターンで扇形を描く

ARC内円半径, 外円半径, 始点角度, 終点角度;

- 内円半径 弧の内円の半径
- 外円半径 弧の外円の半径
- 始点角度 扇形の始まりの角度
- 終点角度 扇形の終わりの角度

#### ASFN- 外字フォントの割付/解除

ASFN #1, #2;

- #1 A: 外字フォントの割付
- R: 外字フォントの割付解除
- #2 外字フォントとして扱うユーザ定義フォントの番号(1000~65535)
- #1がRで#2が0: 全外字フォントの割り付けを解除、#2を省略: 現在のレジデント・フォントに対する割り付けを解除

#### BARC- バーコードの印字

BARCタイプ, フラグ, "文字列"[ , 短, 長[, バー1, バー2, バー3, バー4, スペース1, スペース2, スペース3, スペース4]];

- バーコード・タイプ 0=UPC A
- 8=UPC E
- 11=JAN(短縮)EAN-8
- 12=JAN(標準)EAN-13
- 19=Code 39(チェック・ディジットなし)
- 20=Code 39(MOD-43チェック・ディジット付き)
- 21=2 OF 5(Interleaved)
- 24=Code 128(USD-6)
- 27=Code 93
- 28=CODABAR
- 29=2 OF 5(Matrix)
- 31=2 OF 5(Industrial)
- 43=カスタマ・バーコード
- 44=ワイドギャップCODABAR
- フラグ Y=バーコードの下に文字列を付けて印字
- N=文字列を付けずに印字

文字列	バーコードとなる文字列
短いバー	長短2種類の高さがあるバーコードの短いバーの高さ 高さが1種類だけのバーコードについては、すべてのバーの高さ デフォルトは1.52 cm (0.6インチ、180ドット) 最小値:0.254 cm (0.1インチ、30ドット) 最大値:27.9 cm (11インチ、3300ドット)
長いバー	長短2種類の高さがあるバーコードの長いバーの高さ デフォルト、最小/最大値は短いバーと同じ
バー1/2/3/4	バー幅 最小値=0.0085 cm (0.0034インチ、1ドット) 最大値=1.6933 cm (0.6667インチ、200ドット)
スペース1/2/3/4	スペース幅 最小/最大値はバー幅と同じ

#### BLK- 指定パターンで塗りつぶし範囲を描く

BLK 幅, 高さ [, オプション];

幅	ブロックの幅
高さ	ブロックの高さ
オプション	B= カーソルを動かさない(デフォルト) H= カーソルを隣の隅に移動する V= カーソルを上または下の隅に移動する E= カーソルを対角に移動する L= カーソルを1行下へ移動する N= カーソルを次行の始めに移動する

#### BOX- 四角形を描く

BOX 幅, 高さ [, オプション];

幅	四角形の幅
高さ	四角形の高さ
オプション	B= カーソルを動かさない(デフォルト) H= カーソルを隣の隅に移動する V= カーソルを上または下の隅に移動する E= カーソルを対角に移動する L= カーソルを1行下へ移動する N= カーソルを次行の始めに移動する

#### CALL- マクロの呼び出し

CALL [実行回数] マクロ名, パラメータの値, ...;

実行回数	マクロを実行する回数
マクロ名	MCRO コマンドで定義した名前
パラメータの値	マクロ定義でダミー・パラメータを与えた値

#### CCPY D- カーボンコピーの終了

CCPY D;

#### CCPY E- カーボンコピーの実行

CCPY E; [#1:] [#2:] TERM; ... ENDC;

- #1 PSRC コマンドによる給紙元指定
- #2 AMCR コマンドによるマクロ指定

#### CIR- 円を描く

CIR 半径;

半径 円の半径

#### CLIP-パスをクリップする

CLIP [クリップ・モード];  
クリップ・モード 1=E O クリップ  
2=Non-zero-windクリップ

#### CLPR-クリップ領域の設定

CLPR [x1座標, y1座標, x2座標, y2座標];  
x1座標 印字領域の左端からクリップ領域左端までの距離  
y1座標 印字領域の上端からクリップ領域上端までの距離  
x2座標 印字領域の左端からクリップ領域右端までの距離  
y2座標 印字領域の上端からクリップ領域下端までの距離

#### CLSP-サブパスを閉じる

CLSP;

#### CMNT-注釈

CMNT 文字列;  
文字列 注釈となる文字列

#### COPY-印字枚数の設定

COPY 枚数;  
枚数 印字枚数(1~999)

#### CPTH-文字パス

CPTH "文字列";  
文字列 ASCIIコード31(16進1F)以下のコードを除く任意の文字列(ビットマップ・フォントは無効)

#### CRKF-漢字フォント・ヘッダの生成

CRKF フォント番号, 文字の高さ, 文字の幅, Y軸オフセット, X軸オフセット, セルの幅, センタ, 回転;  
フォント番号 フォント識別番号(1000から65535の整数)  
文字の高さ 文字のビット・マップ高さ(0~3999ドット)  
文字の幅 文字のビット・マップ幅(0~3999ドット)  
Y軸オフセット ベース・ラインから、文字自身のビットマップ上端までの距離  
X軸オフセット 文字セルの左端から、文字自身のビット・マップ左端までの距離  
(マイクロドット[1/32]単位:-32768~32767の整数)  
セルの幅 文字セルの幅(マイクロドット単位:0~32767の整数)  
センタ 文字セルの左端から、文字の中心までの距離(マイクロドット単位:0~32767の整数)  
回転 0のみ

#### CSET-ID番号でシンボル・セットの選択

CSET シンボル・セットID;  
シンボル・セットID 0D=ISO 60 Norway  
0I=ISO 15 Italian  
0N=ECMA-94 Latin 1  
0S=ISO 11 Swedish  
0U=ISO 6 ASCII  
1E=ISO 4 U. K.  
1F=ISO 69 France  
1G=ISO 21 Germany  
1U=US Legal  
2N=ISO Latin 2\*  
2S=ISO 17 Spain  
5M=PS Math\*  
5N=ISO Latin 5\*  
5T=ISO Windows Latin 5\*  
6J=MS Publishing\*



6M=Ventura Math\*  
 7J=Desktop\*  
 8M=Math 8\*  
 8U=HP Roman-8  
 9E=Windows Latin 2\*  
 9T=PC-Turkish\*  
 9U=Windows 3.0\*  
 10J=PS Text\*  
 10U=IBM PC-8  
 11U=IBM PC-8 (D/N)  
 12J=Macintosh\*  
 12U=IBM PC-850  
 13J=Ventura International\*  
 14J=Ventura US\*  
 15U=Pi Font\*  
 17U=PC852  
 19K=Windows 3.1J\*  
 19U=Windows 3.1 Latin1\*  
 \* スケーラブル・フォントのみ

---

#### CTXT-センター揃えテキストの印字

---

CTXT [”文字列”][, オプション][, U オプション];

文字列 印字する文字列  
 オプション B= 文字列の中心にカーソルを残す  
 E= 文字列の終わりにカーソルを移動  
 L=1 行下にカーソルを移動  
 N= 次行の始めにカーソルを移動  
 U オプション アンダーラインを付ける

---

#### CUOS-ユーザ・オフセット値の設定

---

CUOS x座標, y座標;

x座標 x, yともオフセット原点(左上端印字限界点)からの距離  
 y座標 オフセット範囲: 76 ミリ

---

#### DAF-全外部フォントの削除

---

DAF;

---

#### DAM-全マクロの削除

---

DAM;

---

#### DAP-絶対位置まで線を引く

---

DAP x座標, y座標;

x座標 左マージンからの距離  
 y座標 上マージンからの距離

---

#### DELF-外部フォントの削除

---

DELF フォント番号;

フォント番号 削除するフォントの番号

---

#### DELM-マクロの削除

---

DELM マクロ名;

マクロ名 削除するマクロ名

---

#### DKJF-外部漢字フォントの削除

---

DKJF フォント番号;

フォント番号 削除する外部漢字フォントの番号

---

**DPAT-破線パターンの設定**

---

DPAT パターン番号;  
パターン番号 1～10 (プリンタ内蔵パターン)  
11～20 (SDPコマンドで登録したパターン)

---

**DRP-相対位置まで線を描く**

---

DRP x座標, y座標, ...;  
x座標/y座標 現在のカーソル位置からの座標

---

**DRPA-角度指定により相対位置まで線を描く**

---

DRPA 長さ, 角度;  
長さ 線の長さ  
角度 度数(上向きの垂直線から右回り)

---

**DUPX-両面印字モードの選択(両面印刷ユニット装着時)**

---

DUPX モード;  
モード 0=片面印字  
1=両面印字(長辺綴じ)  
2=両面印字(短辺綴じ)

---

**DXPG-印字面の選択(両面印刷ユニット装着時)**

---

DXPG 印字面;  
フォームフィードを実行し、次に印字するページを用紙のどちら側にするかを指定。  
印字面 0=次の印字面を選択(改ページをおこなう)  
1=表面を選択(現在印字されている印字面が表か裏かに関係なく、次の用紙の表側から印字を開始)  
2=裏面を選択(現在の印字面が表ならば裏を、また現在の印字面が裏ならば次の用紙の裏面に印字)

---

**DZP-ゼロ点を基準に線を引く**

---

DZP x座標, y座標;  
x座標 印字領域左端からの距離  
y座標 印字領域上端からの距離

---

**EMCR-給紙元ごとにマクロを指定**

---

EMCR E, #1 [=#2], [#3] #4 [, #5 ...]; または EMCR D [, #1 [=#2]];  
#1 給紙カセット番号  
#2 印字面、0=表、1=裏  
#3 繰り返し回数  
#4 マクロ名  
#5 マクロのパラメータ

---

**ENDC-カーボンコピー(COPY)定義の終了**

---

ENDC;

---

**ENDD-ダンプの終了**

---

ENDD;

---

**ENDM-マクロ定義の終了**

---

ENDM;

---

**ENDR-ラスタ・データ処理の終了**

---

ENDR;

---

**EPL-エコプリントの設定**

---

EPL モード;  
モード 0=オフ(デフォルト)  
1=オン

---

---

#### EXIT- プリスクライプ 2e モードの終了

---

EXIT[, E];

E オプション 直後の改行/行送りを無視

---

#### FDIR-MPトレイ給紙方向の選択

---

FDIR 給紙方向;

給紙方向 0=縦送り

1=横送り(デフォルト)

---

#### FILL- 閉パスを埋める

---

FILL 描画規則;

描画規則 1=偶数奇数規則を使用

2=ノンゼロ・ワインド数規則を使用

---

#### FLAT- 平坦さの設定

---

FLAT 平坦さ;

平坦さ 1~100までの数

---

#### FLST- フォントリストの印字

---

FLST;

---

#### FONT- フォントの選択

---

FONT フォント番号;

フォント番号 選択するフォント番号

---

#### FPAT- パターンの生成(8×8 ドット)

---

FPAT #, #, #, #, #, #, #, #;

# 0~255までの数

---

#### FRPO- ファームウェアの再設定(第7章を参照)

---

FRPO パラメータ, 値;

パラメータ パラメータの識別コード

値 パラメータの設定値

---

#### FRPO INIT- ファームウェアの初期化

---

FRPO INIT;

---

#### FSET- 属性によってフォント設定を変更

---

FSET F/P-ピッチ-高さ-スタイル-太さ-タイプフェイス;

F/P 0=固定ピッチフォント

1=プロポーショナル・フォント

(Pターミネータを付加)

ピッチ 0.44~99.99 [dpi] (プロポーショナル・フォントでは無視・Hターミネータを付加)

高さ 0.25~999.25ポイント(Vターミネータを付加)

スタイル 0=正体

1=イタリック体(Sターミネータを付加)

太さ -7=極細~0=通常~7=極太(Bターミネータを付加)

タイプフェイス 0=LinePrinter

3=Courier

4=Swiss721

5(または4101[2バイト値])=Dutch801

6=LetterGothic

8=PrestigeElite

52(または4148[2バイト値])=Swiss742

(Tターミネータを付加)

---

---

#### FTMD- フォント・モード (フォント属性の自動調整)

---

FTMD モード;

モード 0~15の整数

プリンタは各属性を組み合わせて制御するために、次のように指定値を定義しています。

水平移動量(文字間隔)=1

垂直移動量(行間隔)=2

固定ピッチまたはプロポーションナル・ピッチ=4

用紙の縦置きまたは横置き=8

---

#### GPAT- 灰色パターンの設定

---

GPAT 灰色レベル;

灰色レベル 0(黒)~1(白)の間の任意の数値

---

#### ICCD- メモリカードの読み込みと書き込み

---

ICCD モード, スロット, データタイプ, "パーティション名";

モード R=データの読み込み

W=データの書き込み

スロット A(Aのみサポート)

データ・タイプ 2(2のみサポート)

パーティション名 読み込むまたは書き込むデータのパーティション名

---

#### INTL- 欧文文字セットの選択

---

INTL 文字セット[, コードセット];

文字セット 0= US ASCII

1= France

2= Germany

3= UK

4= Denmark/Norway

5= Sweden

6= Italy

7= Spain

8= Japan

9= US Legal

10=IBM PC-850 (Multilingual)

11=IBM PC-860 (Portuguese)

12=IBM PC-863 (Canadian French)

13=IBM PC-865 (Norwegian)

14=Norway

15=Denmark 2

16=Spain 2

17=Latin America

コード・セット 0=Epson

1= HP LaserJet

2=Daisywheel

3=予約済み

4= IBM Porprinter

7=VP-1000

---

#### JOBD-VMB 保存ジョブの消去

---

JOBD #1[, #2[, #3]];

#1 8:VMB 保存ジョブの消去

9:目的VMBの消去

15:すべてのVMBを消去

- #2 0:すべてのVMB 消去  
1～255:消去するVMB 番号  
(またはVMB 名)
- #3 0:すべてのVMB を消去  
(パスワード設定時はパスワードを入力)

#### JOBL-VMB リストの印字

JOBL;#1;

- #1 8:VMB リスト

#### JOBO-VMB 保存ジョブの印字

JOBO #1, #2[, #3];

- #1 8:VMB 保存ジョブの印字
- #2 1～255:印字するVMB 番号  
(またはVMB 名)
- #3 パスワード(VMB にパスワードが設定されている場合)

#### JOBP-VMB 使用領域の設定(ハードディスク装着時)

JOBP #1, #2;

- |               |                            |
|---------------|----------------------------|
| #1 出力オプション    | #2 パラメータ                   |
| 72:VMB 保存領域   | 0～99:初期値は0(単位:100MB)       |
| 80:VMB 番号追加設定 | 1～255:VMB 番号<br>(またはVMB 名) |

#### JOBS-ジョブの開始

JOBS #1, #2, #3, #4 [,#5, #6, #7, #8];

- |                             |                                       |
|-----------------------------|---------------------------------------|
| #1 保存モード                    | 8:VMB 保存ジョブ                           |
| #2 印字部数                     | 1～999                                 |
| #3 排紙開始VMB 番号<br>(またはVMB 名) | 1～255                                 |
| #4 排紙終了VMB 番号<br>(またはVMB 名) | 0:#3 で指定したVMB<br>1～255(ただし#3 より大きい番号) |
| #5 (固定)                     | 0                                     |
| #6 ジョブ名                     | 31 バイトまで                              |
| #7 ユーザ名                     | 31 バイトまで                              |
| #8 日付                       | 31 バイトまで                              |

#### JOBT-ジョブの終了

JOBT;

#### LDFC-文字の生成

LDFC フォント番号, 文字コード, 文字の高さ, 文字の幅, y 軸オフセット, x 軸オフセット, セルの幅, センタ, 回転[, 解像度]; ビットマップ;

- |          |  |
|----------|--|
| フォント番号   | 1000～65535 (内蔵フォントまたはメモリにあるフォントの番号をのぞく)  |
| 文字コード    | ASCIIコード(0～255)  |
| 文字の高さ    | 文字のビットマップの高さ(ドット単位:0～3999の整数)  |
| 文字の幅     | 文字のビットマップの幅(ドット単位:0～3999の整数)   |
| y 軸オフセット | ベースラインから文字自身のビットマップ上端までの距離(マイクロドット[1/32ドット]単位で-32768～32767の整数)、正数は上方向への距離、負数は下方向への距離 |
| x 軸オフセット | 文字セルの左端から文字自身のビットマップ左端までの距離(マイクロドット単位で-32768～32767の整数)、正数は左方向への距離、負数は右方向への距離         |
| セルの幅     | 文字セルの幅プロポーション・スペースの場合(マイクロドット単位で0～65535の整数)  |
| センタ      | 文字セルの左端から、文字の中心までの距離(マイクロドット単位で0～65535の整数)   |
| 回転       | 0=正常<br>1=右回り90度<br>2=180度   |

3=左回り90度

解像度 300(dpi)または600(dpi)

ビットマップ・データ 文字ドットパターン

#### LDFN C-文字の生成

LDFN C, フォント番号, 文字コード, 文字の高さ, 文字の幅, y軸オフセット, x軸オフセット, セルの幅, センタ, 回転;  
ビットマップ;

フォント番号 1000～65535 (内蔵フォント番号またはメモリ上にあるフォント番号をのぞく)

文字コード 0～255(欧文系文字)、または0-65535(和文系文字)

ビットマップの高さ 1～65535(ドット単位、フォント解像度)

ビットマップの幅 1～65535(ドット単位、フォント解像度)

ビットマップY 軸 -32768～32767(1/32ドット単位)、正数は上方向への距離、負数は下方向への距離

オフセット

ビットマップX 軸 -32768～32767(1/32ドット単位)、正数は右方向への距離、負数は左方向への距離

オフセット

文字幅 1～65535(1/32ドット単位)

ビットマップ・データ ビットマップの転送データ(BBN フォーマット)

#### LDFN F-フォント・ヘッダの生成

LDFN F, フォント番号, フォーマット, フォント名, シンボルセット, スペーシング, ピッチ, 高さ, スタイル, ストローク,  
タイプフェイス, フォントタイプ;

フォント番号 1000～65535

フォーマット 0=300 dpiビットマップ

1=600 dpiビットマップ

フォント名 一重または二重引用符で囲んだASCII文字列、最大31文字

シンボルセット 1～65535 [619=シフトJIS](1バイト系)またはJ(2バイト系)

スペーシング 0=固定

1=プロポーショナル

ピッチ 3～3000ドット(フォントフォーマットの解像度)

高さ 4～4165ドット(フォントフォーマットの解像度)

スタイル 0～32767

ストローク -127～127

タイプフェイス 0～32767

フォントタイプ 0=文字コード32～127

1=文字コード32～127および160～255

2=文字コード0～255

#### LDFN S-TrueTypeフォントのダウンロード

LDFN S, TrueTypeフォーマット, フォント番号, フォント名, データ長[, シンボルセット, スタイル, ストローク, タイプ  
フェイス]; バイナリ・データWRED;

**注意** フォントをダウンロードする場合は、フォントの知的所有権の所有者による許諾が必要です。

TrueTypeフォーマット 0=欧文TrueTypeフォント

1=日本語TrueTypeフォント

2=日本語TrueType Collectionフォント

3=外字フォント

フォント番号 1000～65535

フォント名 一重または二重引用符で囲んだASCII文字列、最大31文字

データ長 バイナリ・データのバイト数

シンボルセット 1～65535 [619=シフトJIS]

スタイル 0～32767

ストローク -127～127

タイプフェイス 0～32767

バイナリ・データ フォント・データ(TrueType形式)

## LDKC- 漢字フォントのダウンロード

LDKC フォント番号, コード; ビットマップ;  
 フォント番号 フォント識別番号(1000～65536 まで)  
 コード JIS 漢字コード(3021H～7424H)  
 ビットマップ 文字のドット・パターン(文字により表記)

## MAP- 絶対位置へのカーソル移動

MAP x座標, y座標;  
 x座標 左マージンからの距離  
 y座標 上マージンからの距離

## MCRO- マクロ定義

MCRO 名前[ダミー記号[, 注釈]];  
 名前 文字列  
 ダミー記号 文字(デフォルトは%)  
 注釈 文字列

## MLST- 定義マクロ・リストの印字

MLST;

## MRP- 相対位置へのカーソル移動

MRP x座標, y座標;  
 x座標/y座標 現在のカーソル位置を基準とした相対座標

## MRPA- 角度による相対位置へのカーソル移動

MRPA 距離, 角度;  
 距離 移動の距離  
 角度 度数(垂直線から右回り)

## MZP- ゼロ点からのカーソル移動

MZP x座標, y座標;  
 x座標 印字領域の左端からの距離  
 y座標 印字領域の上端からの距離

## NEWP- 新しいパスの開始

NEWP;

## PAGE- 新しいページを始める

PAGE;

## PARC- パス内に弧を描く

PARC x座標, y座標, 半径, 開始角度, 終了角度;  
 x座標, y座標 弧の中央の座標(左上側から測る)  
 半径 弧の半径  
 開始角度 正の x 軸から反時計回りに測る  
 終了角度 正の x 軸から反時計回りに測る

## PAT- 網掛けパターンの選択

PAT パターン番号[, 解像度];  
 パターン番号 1～60 または 100～105 の整数  
 解像度 300(dpi) または 600(dpi)

## PCRP- パス内で相対的な位置に曲線を描く

PCRP x1, y1, x2, y2, x3, y3;  
 x1, y1 現在のカーソル位置から測った最初の制御点の座標  
 x2, y2 現在のカーソル位置から測った 2 番目の制御点の座標  
 x3, y3 現在のカーソル位置から測った終了点の座標

---

**PCZP- パス内でゼロ点からの位置に曲線を引く**

---

PCZP x1, y1, x2, y2, x3, y3;

x1, y1 用紙の左上端から測った最初の制御点の座標  
x2, y2 用紙の左上端から測った2番目の制御点の座標  
x3, y3 用紙の左上端から測った終了点の座標

---

**PDIR- 印字方向を設定**

---

PDIR 角度;

角度 度単位の角度(反時計回りに90-ずつ増加)  
0= ポートレート(縦置き)  
90= ランドスケープ(横置き)  
180= ポートレート(縦置き)の逆  
270= ランドスケープ(横置き)の逆

---

**PDRP- パス内で相対的な位置まで描く**

---

PDRP x座標, y座標, ...;

x座標, y座標 現在のカーソル位置から測った座標

---

**PDZP- パス内でゼロ点からの位置まで描く**

---

PDZP x座標, y座標;

x座標, y座標 現在のページの左上端から測った座標

---

**PELP- パス内で楕円弧を描く**

---

PELP x座標, y座標[, x'座標, y'座標, x''座標, y''座標[, オプション]];

x座標, y座標 バウンディング・ボックスの対角点の現在位置を基準とした相対座標  
x'座標, y'座標 楕円弧の開始制御点の現在位置を基準とした相対座標  
x''座標, y''座標 楕円弧の終了制御点の現在位置を基準とした相対座標  
オプション N= 楕円弧をパス登録  
C= 楕円弧による弦をパス登録  
P= 楕円弧によるパイ形のパス登録

---

**PIE- 円グラフを描く**

---

PIE 半径, 起点の角度, 扇形のサイズ, ...;

半径 円グラフの半径  
起点の角度 最初の扇形の起点(0= 垂直)  
扇形のサイズ比率 各扇形の相対的なサイズ(比率)

---

**PMRA- パス内で角度指定された相対的な位置に移動**

---

PMRA x座標, y座標, 距離, 角度;

x座標, y座標 ページの左上端から測った座標  
距離 移動する距離  
角度 度単位の角度(正のx軸から反時計回り)

---

**PMRP- パス内で相対位置へのカーソル移動**

---

PMRP x座標, y座標;

x座標, y座標 現在のポイント位置を基準とした相対座標

---

**PMZP- パス内でゼロ点を基準としたカーソル移動**

---

PMZP x座標, y座標;

x座標 印字領域の左端からの距離  
y座標 印字領域の上端からの距離

---

**PRBX- パス内で角丸ボックスを描く**

---

PRBX ボックスの幅, ボックスの高さ, 角丸の半径;

ボックスの幅 角丸ボックスの幅  
ボックスの高さ 角丸ボックスの高さ  
角丸の半径 角丸の半径

---



### PRRC-パス内相対座標で円弧を描く

PRRC x座標,y座標,半径,開始角度,終了角度;  
           x座標,y座標 円弧の中心点のx座標,y座標  
           半径 円弧の半径  
           開始角度 円弧の開始点の角度  
           終了角度 円弧の終了点の角度

### PSRC-給紙元を選ぶ

PSRC 番号;  
           番号 0=MPトレイ  
                   1 = カセット 1 (プリンタのカセット)  
                   2 = カセット 2 (オプション・フィーダ 1 のカセット)  
                   3 = カセット 3 (オプション・フィーダ 2 のカセット)

### PXPL-ピクセル配置

PXPL 配置モデル;  
           配置モデル 0=グリッド交差上(PCL)  
                   1=グリッド格子内(Windows)

### !R!-プリスクライプ 2 e モードの起動

!コマンド識別文字!  
           コマンド識別文字 大文字の R (SCRC または FRPO P9 コマンドで変更可能)

### RDMP-受信データのダンプ

RDMP;

### RES-プリンタのリセット

RES; 6-24 ページの一覧表のようにリセットされます。(工場出荷状態で使用している場合。)

### RESL-印字解像度の選択

RESL 解像度;  
           解像度 300 [dpi]または600 [dpi]

### RPCS-保存したコードセットへの復帰

RPCS;

### RPF-保存したフォントへの復帰

RPF;

### RPG-直前のグラフィックス状態に戻る

RPG;

### RPP-保存カーソル位置への復帰

RPP;

### RPU-記憶した単位への復帰

RPU;

### RTTX-テキストを回転して印字

RTTX 角度,"文字列"[,Uオプション];  
           角度 回転角度  
           文字列 印字する文字列  
           U オプション アンダーラインを付加

### RTXT-右揃えテキストの印字

RTXT ["文字列"[,オプション][,Uオプション];  
           文字列 印字する文字列  
           オプション 印字後のカーソル位置を次のように設定  
                   B=文字列の終わり  
                   E=文字列の始め

L=1 行下

N= 次行の始め

U オプション アンダーラインを付加

#### RVCD- 圧縮データを受け取る

RVCD [圧縮モード]; 長さ, データ, ... ;

圧縮モード 0= 圧縮なし

1= 実行長エンコード

2=TIFF (Tagged Image File Format [タグ付きイメージ・ファイル書式]) rev. 4.0

長さ ラスタ・データのバイト数 (最高 255 バイト)

データ バイナリ・ラスタデータ (0H ~ FFH)

#### RVRD- ラスタ・データ処理の開始

RVRD; データ数, データ, ... ;

データ数 後に続くラスタセグメントの数を示す 1 ~ 511 の数字

#### RWER D- 外付けメディア内のデータの削除

RWER D, メディア, データ・タイプ[, パーティション名];

メディア A = メモリカード

0 (ゼロ) = ハードディスク

データ・タイプ 1: フォントデータ

2: プリントブル・データ

パーティション名 最大 15 バイトの文字列

#### RWER F- 外付けメディアのフォーマット

RWER F, メディア;

メディア A = メモリカード

0 (ゼロ) = ハードディスク

注意 このコマンドはメディア内部のデータをすべて消去します。誤って使用しないよう、注意してください。

#### RWER I- 外付けメディアのパーティション・リストの自動出力

RWER I, モード;

モード E= 自動出力を行う

D= 自動出力を行わない

#### RWER L- 外付けメディア内のパーティション・リストの出力

RWER L[, メディア];

メディア A = メモリカード

0 (ゼロ) = RAM ディスク / ハードディスク

メディアを省略すると、全メディア内のパーティション・リストを出力

#### RWER R- 外付けメディアからのデータの読み込み

RWER R, メディア, データ・タイプ[, パーティション名];

メディア A = メモリカード

0 (ゼロ) = RAM ディスク / ハードディスク

データ・タイプ 2: プリントブル・データ

パーティション名 最大 15 バイトの文字列

#### RWER T- ターミネータ文字列の設定

RWER T[, "ターミネータ"];

ターミネータ 最大 4 バイトの文字列、引用符 ( ' または " ) で囲む

#### RWER W- 外付けメディアへのデータの書き込み

RWER W, メディア, データ・タイプ[, パーティション名];

メディア A = メモリカード

0 (ゼロ) = RAM ディスク / ハードディスク

データ・タイプ 2: プリントブル・データ  
パーティション名 最大15バイトの文字列、省略時はプリンタ内部で命名

#### SBM- 下マージンの設定

SBM 長さ;

長さ 用紙の上端から下マージン上端までの距離

#### SCAP- 線終端の設定

SCAP 線終端タイプ;

線終端タイプ 1=角終端  
2=バット終端 (デフォルト)  
3=丸終端

#### SCCS- 現在のコードセットの保存

SCCS;

#### SCF- 現在のフォントの保存

SCF;

#### SCG- 現在のグラフィックス状態の保存

SCG;

#### SCP- 現在のカーソル位置の保存

SCP;

#### SCPI- 1 インチあたりの文字数設定

SCPI 値;

値 1 インチあたりの文字数

#### SCRC- コマンド識別文字の設定

SCRC 文字;

文字 アポストロフィー(')、引用符(")、セミコロン(;)を除くASCIIコード33(!)からコード126(=)

#### SCS- 文字間隔の設定

SCS 距離;

距離 文字と文字との間隔または0

#### SCU- 現在の単位の保存

SCU;

#### SDP- 破線パターンの登録

SDP パターン番号, 線分長1, 空部分長1, 線分長2, 空部分長2, ..., 線分長10, 空部分長10;

パターン番号 11から20の登録する破線パターンの番号

線分長1 ... 10 破線の黒部分の長さ

空部分長1 ... 10 破線の白部分の長さ

#### SEM- エミュレーション・モードの設定

SEM モード;

モード 0=Line printer  
1=IBM Proprinter X24E  
2/3/4/5=予約済み  
6=HP LaserJet 5Si  
7=予約済み  
8=KC-GL(HP 7550A)  
9=KPD L [オプション]  
11=PC-PR201/65A(初期設定)  
12=IBM5577  
13=VP-1000  
14=N5200  
15=FMPR-359F1

---

### SETF- 代替フォントの設定

---

SETF 代替番号, フォント番号;

代替番号 0~31 までの番号

フォント番号 0~65535 までの数(そのフォントに固有の番号)

---

### SFA- フォント属性の設定

---

SFA hmi, vmi, F/P [, 回転, シンボルセット, 高さ, U/I, 太さ, 書体][, フォントタイプ];

hmi 水平移動量(ピッチ固定フォントでは、ある文字の中心から次の文字の中心までの距離。プロポーショナル・フォントでは、スペース文字の幅)

vmi 垂直移動量(行間のスペース)

F/P F= 固定スペース

P= プロポーショナル・スペース

回転 0= 正体

1= 右回り 90 度

2= 180 度

3= 左回り 90 度(横置きモードで使用)

シンボルセット 4= ISO 60: Norway

9= ISO 15: Italian

14= ECMA-94 Latin 1 [ISO 8859/1]

19= ISO 11: Swedish for Names

21= ISO 6: ASCII

37= ISO 4: United Kingdom

38= ISO 69: French

39= ISO 21: German

53= Legal

83= ISO 17: Spanish

277= Roman-8

341= PC-8

373= PC-8 Danish/Norwegian

405= PC-850

高さ フォントの最大高さ

U/I U= 正体

I= イタリック体

太さ -7(細)~+7(太)

書体 0= Line Printer

1= Pica

2= Elite

3= Courier

4= Swiss 721

5= Dutch 801

6= Gothic

7= Script

8= Pret. Elite

9= Caslon

10= Orator

フォントタイプ 0= 7ビット, 96 文字(使用可能キャラクタ・コード: 32-127)

1= 8ビット, 192 文字(使用可能キャラクタ・コード: 32-127 および 160-255)

2= 8ビット, 256 文字(キャラクタ・コード内の全文字。ただし PCL トランスペアレンシー・モード使用)

---

### SFNT- 現在フォントをフォント名で選択

---

SFNT "フォント名" [, 高さ [, フォント番号[, シンボルセット, 圧縮, 文字の傾斜]]];

フォント名 フォント名

高さ ポイント単位での文字の高さ。最小 0.25 から最大 999.75 ポイント(0.25 ポイントごと)

---

フォント番号 1000～65535までの整数  
 シンボルセット 4=ISO 60: Danish/Norwegian(0D)  
 9=ISO 15: Italian(0I)  
 14=ECMA-94 Latin 1 [ISO 8859/1](0N)  
 19=ISO 11: Swedish for Names(0S)  
 21=ISO 6: ASCII(0U)  
 37=ISO 4: United Kingdom(1E)  
 38=ISO 69: French(1F)  
 39=ISO 21: German(1G)  
 53=Legal(1U)  
 78=ISO Latin 2(2N)<sup>1</sup>  
 83=ISO 17: Spanish(2S)  
 173=PS Math(5M)<sup>1</sup>  
 174=ISO Latin 5(5N)<sup>1</sup>  
 180=Windows Latin 5(5T)<sup>1</sup>  
 202=Microsoft Publishing(6J)<sup>1</sup>  
 205=Ventura Math(6M)<sup>1</sup>  
 234=Desktop(7J)<sup>1</sup>  
 269=Math-8(8M)<sup>1</sup>  
 277=Roman-8(8U)  
 293=Windows Latin 2(9E)<sup>1</sup>  
 308=PC-Turkish(9T)<sup>1</sup>  
 309=Windows(9U)<sup>1</sup>  
 330=PS Text(10J)<sup>1</sup>  
 341=PC-8(10U)  
 373=PC-8 Danish/Norwegian(11U)  
 394=Macintosh(12J)<sup>1</sup>  
 405=PC-850(12U)  
 426=Ventura International(13J)<sup>1</sup>  
 458=Ventura US(14J)<sup>1</sup>  
 501=Pi Font(15U)<sup>1</sup>  
 565=PC-852(17U)<sup>1</sup>  
 629=Windows Latin 1(19U)<sup>1</sup>

<sup>1</sup> スケーラブル・フォントにのみ有効

圧縮 0.3～3(1=通常の文字幅/1>幅の狭い文字/1<幅の広い文字)

文字の傾斜 -1～1(0=通常文字/ 正の場合には右に傾いたイタリック体/ 負の場合は左に傾いたイタリック体)

---

#### SIMG-イメージ・モデルを設定

SIMG イメージモデル;  
 イメージモデル 1～6

---

#### SIR-KIRのレベル設定

SIRレベル;  
 レベル 0= オフ  
 1=予約済み  
 2= オン  
 3=予約済み

---

#### SKCS-漢字間隔の一時的設定

SKCS水平移動量, 垂直移動量;  
 水平移動量 横書き時の文字間隔(移動量)  
 垂直移動量 縦書き時の文字間隔(移動量)

---

#### SKFS-漢字間隔の設定

SKFS幅, 高さ;

幅 漢字文字の幅を設定  
高さ 漢字文字の高さを設定

#### SKFT- フォント名による漢字スケーラブル・フォントの選択

SKFT 'フォント名' [, 高さ[, 文字幅, 傾き]];

フォント名 DFHSMINCHO-W3 (明朝体)  
DFHSGOTHIC-W5 (ゴシック体)

高さ ポイント単位の文字の高さ  
0.25 ~ 999.75 ポイント (0.25 ポイントごと)

文字幅 文字の幅を0.3 ~ 3の間で指定。通常の文字幅を1とし、水平方向への文字幅の縮小・拡大。

傾き 文字の傾きを-1 ~ 1の間で指定。通常の文字の傾きを0とし、文字方向への傾斜の度合い。

#### SLJN- 線結合状態の設定

SLJN 結合タイプ;

結合タイプ 1= ベヴェルド結合  
2= マイタード結合  
3= ラウンド結合  
4= ノッチド結合

#### SLM- 左マージンの設定

SLM 距離;

距離 左マージンの長さ

#### SLPI-1 インチあたりの行数設定

SLPI 値;

値 1 インチあたりの行数

#### SLPP-1 ページの行数,

SLPP 値;

値 1 ページの行数

#### SLS- 行間隔の設定

SLS 距離;

距離 行と行の間隔

#### SMLT- マイター限界を設定

SMLT 限界値;

限界値 線分が結合点を通る長さの線幅に対する比率 (デフォルトは 10/ 最小は 1)

#### SPD- ペン直径を設定

SPD 直径;

直径 線の太さ

#### SPL- ページ長さの設定

SPL 長さ;

長さ 上マージンから下マージンまでの距離

#### SPO- ページ方向の設定

SPO 方向;

方向 P= 縦置き (ポートレート)  
L= 横置き (ランドスケープ)

#### SPSZ- 用紙サイズの設定/ 縮小

SPSZ サイズ[, 縮小率コード];

サイズ 0= カセットのサイズ  
1= モナーク (3-7/8 × 7-1/2 インチ)  
2= ビジネス/ コマーシャル #10 (4-1/8 × 9-1/2 インチ)  
3= インターナショナル DL (11 × 22 cm)  
4= インターナショナル C5 (16.2 × 22.9 cm)

5=エグゼクティブ(7-1/4×10-1/2インチ)  
 6=USレター(8-1/2×11インチ)  
 7=USリーガル(8-1/2×14インチ)  
 8=ISO A4(21.0×29.7 cm)  
 9=JIS B5(18.2×25.7 cm)  
 10=ISO A3(29.7×42 cm)  
 11=JIS B4(25.7×36.4 cm)  
 12=USレジャー(11×17インチ)  
 13=ISO A5(14.8×21 cm)  
 14=ISO A6(10.5×14.8 cm)  
 15=JIS B6(12.8×18.2 cm)  
 16=コマーシャル#9(3-7/8×8-7/8インチ)  
 17=コマーシャル#6-3/4(3-5/8×6-1/2インチ)  
 18=ISO B5(17.6×25 cm)  
 19=カスタム(11.7×17.7インチ)  
 20=B4→A4縮小  
 21=A3→A4縮小  
 22=A4→A4 98%縮小  
 23=ストックフォーム→A4 縮小  
 24=ストックフォーム→B4 縮小  
 30=C4(22.9×32.4 cm)  
 31=はがき(10×14.8 cm)  
 32=往復はがき(14.8×20 cm)

縮小率コード 0=100% [カセットサイズ→カセットサイズ]  
 5=70% [A3→A4]、[B4→JIS B5]、[A4→A5]  
 6=81% [B4→A4]、[JIS B5→A5]  
 7=86% [A4→JIS B5]  
 8=94% [A4→レター]  
 9=98% [A4→A4 98%]

#### SPW- ページ幅の設定

SPW 幅;

幅 左マージンから右マージンまでのページ幅

#### SRM- 右マージンの長さ

SRM 距離;

距離 右マージンの長さ

#### SRO- ラスタ領域の設定

SRO プレゼンテーション・モード[ , 幅, 高さ];

プレゼンテーション・ 0= 物理ラスタ方向

モード 1= 論理ページ方向

幅 ラスタ領域の幅、1～4200ドット

高さ ラスタ領域の高さ、1～4200ドット

#### SROP- ラスタオペレーションの設定

SROP 値;

値 ROP3 値:0～255 (デフォルト=252)

#### STAK- 排紙トレイの選択

STAK トレイ;

トレイ 1= 本体フェイスダウン(順積)トレイ

2= 本体フェイスアップ(逆積)トレイ

#### STAT- ステータス・ページの印字

STAT [モード];

モード 0=ユーザ用ステータスページ(モードを省略した場合も同様)  
1=サービス用ステータスページ

#### STM-上マージンの設定

STM 距離;

距離 上マージンの長さ

#### STR-ラスト・グラフィック解像度の設定

STR 解像度;

解像度 75, 100, 150, 300, 600のいずれか

#### STRK-パスの描画

STRK;

#### SULP-アンダーラインの設定

SULP 距離, 太さ;

距離 文字からアンダーラインまでの距離

太さ アンダーラインの太さ

#### TEXT-テキストの印字

TEXT ["文字列"][,オプション][,Uオプション];

文字列 印字する文字列

オプション 印字後のカーソル位置:

B=文字列の始め

E=文字列の終わり

L=1行下

N=次行の始め

U オプション アンダーラインを付加

#### TPRS-テキストのパーシング・モード

TPRS モード;

(PCLのみ) モード 0: ANK(1バイト系)

1: シフトJIS(2バイト系)

#### UNIT-位置や長さの単位設定

UNIT コード;

コード I=インチ(デフォルト)

C=センチ

P=プリンタのポイント

D=ドット

(1インチ = 2.54センチ = 72ポイント = 300ドットまたは600ドット)

#### UOM-インチあたり単位

UOM 単位;

単位 96, 100, 120, 144, 150, 160, 180, 200, 225, 240, 288, 300(デフォルト), 360, 400, 450,  
480, 600, 720, 800, 900, 1200, 1440, 1800, 2400, 3600, 7200のいずれか

#### VMAL-VMB名の設定/変更

VMAL #1, #2 [,#3];

#1 1~255:別名を設定する仮想bin番号

文字列:別名を設定する仮想bin番号の別名

'A' or 'a':別名を設定する仮想bin番号を自動割当て

#2 仮想bin#1に設定する別名の文字列(31バイトまで)

#3 仮想bin#1がパスワードbinであった場合、仮想bin#1のパスワード

#### VMPW-VMBへのパスワード設定

VMPW #1, #2, #3;

#1 0: マスタ・パスワード設定

1~255:パスワードを設定する仮想bin番号



文字列: パスワードを設定する仮想 bin 番号の別名  
 #2 1～65535: 仮想 bin#1 の現パスワード  
 0: 仮想 bin#1 にパスワードが設定されていない場合  
 #3 1～65535: 仮想 bin#1 の新パスワード  
 0: 仮想 bin#1 をパスワードなしにする

---

**WRED- メモリ・カード書き込みの終了**

WRED;

---

**XPAT- パターンの生成 (16 × 16 ドット)**

XPAT パターン番号, ビットマップ;

パターン番号

ビットマップ 100 から 105 までの整数

ドットのパターンを表す文字列

---

## RES (リセット)コマンド参考: 各エミュレーションのリセット状態一覧表

工場出荷時のまま使用している場合。

パラメータ	リセット後の設定 (FRPO コマンド)		
	日本語エミュレーション	HP LaserJet 5Si	IBM Proprinter
コマンド識別文字	R(P9)	←	←
エミュレーション・モード	11(P1)	←	←
長さの単位	インチ	←	←
印字枚数	1(パネル設定)	←	←
カセット	給紙カセット(R4)	←	←
用紙のサイズ	カセット・サイズ(R2)	←	←
上マージン	0(*1)	1/2 インチ	0(A1/2)
左マージン	0(*1)	Left logical	0(A3/4)
右マージン	最大(*1)	Right logical	最大(A5/6)
下マージン	最大(*1)	1/2 インチ	最大(A7/8)
用紙方向	縦置き(C1)	縦置き(C5/2/3に依存)	←
行間隔	6 lpi(*2)	6 lpi(C5/2/3に依存)	←
文字間隔	10 cpi	10 cpi(C5/2/3に依存)	10 cpi(U2/3)
アンダーラインの太さ	4 ドット	←	←
アンダーラインのベース・ラインからの距離	7 ドット	←	←
初期設定の ANK ビットマップ・フォント	FONT 1(IBM5577: FONT 99)	FONT 1(C5/2/3)	FONT 8
初期設定の ANK スケーラブル・フォント	なし	←	←
フォント・モード	13	←	0
代替フォントの割り当て	0	なし	第7章参照
国別コード	8(U6)	8(U6)(*1)	←
グラフィック線の太さ	3 ドット	←	←
ラスター・グラフィック解像度	75 ドット/インチ	←	←
日本語の書式	横書き	—	—
日本語スケーラブル・フォント	なし	—	—

←: 「左欄と同じ」の意味。

(\*1): FRPO コマンドによって変更可能。

(\*2): エミュレーションにおけるデフォルト値を採用。

## SETFコマンド参考:代替フォント初期設定一覧表

P:プロポーションナル・ピッチ

フォント名	文字間隔(cpi)	本プリンタで使用される フォント番号	代替フォント番号
<b>PC-PR201/65Aエミュレーション</b>			
HS パイカ	10	1	0
HD パイカ	10	1	1
プロポーションナル	P	2	2
エリート	12	6	3
コンデンス	17.1	15	4
<b>VP-1000エミュレーション</b>			
Roman 10	10	1	0
Roman 12	12	6	3
Roman 15	15	7	4
Roman PS	P	2	1
<b>IBM Proprinter X24Eエミュレーション</b>			
Draft Sans-serif	10/12	8	0
Courier	10	1	1
Prestige Elite	12	6	2
Draft Sans-serif/Courier	Condensed	15	3
Courier Proportional	P	1	4
<b>NEC N5200/IBM5577エミュレーション</b>			
Courier	10	1	0
Dutch 801	P	2	—
Pret. Elite	12	6	1(N5200)/2(IBM 5577)
Swiss 721・ボールド	P	12	—
Line Printer	16.6	15	—
明朝半角	10/12	99	5
ゴシック半角	10/12	98	—
<b>FMPR-359F1エミュレーション(FMモード)</b>			
パイカ	18～60 dot(180 dpi)	1	0
エリート	15～17 dot(180 dpi)	6	1
縮小	10～14 dot(180 dpi)	7	2
レギュラ パイカ	18～60 dot(180 dpi)	1	3
エリート	15～17 dot(180 dpi)	6	4
縮小	10～14 dot(180 dpi)	7	5
プロポーションナル	P	2	6
<b>FMPR-359F1エミュレーション(F9450モード)</b>			
パイカピッチ	10	1	0
エリートピッチ	12	6	1
縮小	18	7	2



# 第 7 章

## ファームウェア・パラメータ

---


本プリンタは、印字設定に関する各種の情報を内部メモリに記憶しています。  
これらの情報はプリスクライプ2e FRPOコマンドによって登録・変更でき、電源投入時の  
プリンタの初期状態として設定されます。

本章ではFRPOコマンドと、そのパラメータの使用例を説明します。

- 7.1. ファームウェア設定……7-2
- 7.2. 各インタフェース独立FRPOパラメータ……7-2
- 7.3. インタフェース共有FRPOパラメータ……7-6

## 7.1. ファームウェア設定

現在のFRPOパラメータの設定値は、ステータス・ページで確認することができます。

 **お知らせ** FRPOパラメータを変更する前に、ステータス・ページを印字しておくことをおすすめします。なお、FRPO INITコマンドでインタフェース共有FRPOパラメータおよび各インタフェース毎のFRPOパラメータを、工場出荷状態にもどすこともできます。(!R! FRPO INIT; EXIT;)

FRPOコマンドは以下の書式で実行します。

!R! FRPO パラメータ, 設定値; EXIT;

例-エミュレーションをPC-PR201/65Aに設定

!R! FRPO P1, 11; EXIT;

## 7.2. 各インタフェース独立FRPOパラメータ

\*1: エミュレーションによっては無視されることがあります。

\*2: オプション・インタフェース装着時に有効です。

\*3: 設定後はプリンタの電源を一度切るか、リセット後に有効になります。

項目	FRPO	設定値	工場設定
上マージン	A1	インチ単位の整数部分	0
	A2	1/100インチ単位の小数部分	0
左マージン	A3	インチ単位の整数部分	0
	A4	1/100インチ単位の小数部分	0
ページの長さ	A5	インチ単位の整数部分	17
	A6	1/100インチ単位の小数部分	30
ページの幅	A7	インチ単位の整数部分	17
	A8	1/100インチ単位の小数部分	30
予約済み	C0	—	—
ページ方向	C1	0:縦置き(ポートレート)	0
		1:横置き(ランドスケープ)	
起動フォント*1	C2	起動フォント番号の中2桁	00
	C3	起動フォント番号の最後2桁	01
予約済み	C4	—	—
起動フォント*1	C5	起動フォント番号の最初の2桁	00
予約済み	C6	—	—
PCLフォント選択範囲	C8	0:全内部フォントを選択対象とする	0
		1:ビットマップフォントを対象外とする	

項目	FRPO	設定値	工場設定
KC-GLオプション	G0	0: Aモード/フォームフィード付 1: Bモード(ページ中央)/フォームフィード付 2: Aモード/ペンをストールへ戻す 3: Bモード/ペンをストールへ戻す 4: Aモード固定/フォームフィード付 5: 予約ずみ 6: Aモード固定	0
KC-GLペン幅	G1-8	0~99ドット	01/02/03/ 04/05/06/ 07/08
予約ずみ	J1	—	—
インタフェース・タイムアウト	J2	5秒単位	6 (30秒)
予約ずみ	J3~J6	—	—
自動改行モード	J7	0: 自動改行を行う 1: 自動改行を行わない	0
予約済み	J8	—	—
KC-GL縮小モード	J9	0: オフ 1: A2 2: A1 3: A0 4: B3 5: B2 6: B1 7: B0	0
横方向オフセット*1	K0	-3~+3(正数部)、単位はインチ	0
	K1	-99~+99(小数部)、単位は1/100インチ	0
縦方向オフセット*1	K2	-3~+3(正数部)、単位はインチ	0
	K3	-99~+99(小数部)、単位は1/100インチ	0
起動時の漢字ビットマップ・フォント	K4	1: 明朝体40ドット 2: ゴシック体40ドット	1
新旧JISコードの切り換え (D-27ページ参照)	K6	0: 新JISモード 1: 旧JISモード	0
パラレル・インタフェース・モード*3	O0	0: 標準モード 1: 高速モード 5: ニブル(高速)モード 35: IBM PS/55インタフェース・モード 70: 自動(ネゴシエーション)モード	5
予約ずみ	O1	—	—
パラレル・ライン制御*3	O2	0: ライン制御オフ 1: 予約ずみ 2: HP LaserJet 5Si互換	0

## 7.2. 各インタフェース独立FRPO パラメータ

項目	FRPO	設定値	工場設定
エミュレーション・モード	P1	0:Line printer 1:IBM Proprinter X24E 2~5:予約済み 6:HP LaserJet 5Si 7:予約済み 8:KC-GL (HP 7550A) 9:KPD L 11:PC-PR201/65A 12:IBM 5577 13:VP-1000 14:N5200 15:FMPR-359F1	11
キャリッジ・リターンの処理*	P2	0: 無視 1: CR 2: CR+LF	1
改行の処理*	P3	0: 無視 1: LF 2: CR+LF	1
KPD L自動切替え	P4	0:なし 1:自動切替え	0
KPD L自動切換え先エミュレーション	P5	P1と同じ(9を除く)	11
N5200/FMPR-359F1エミュレーション時のモード	P6	0:N5263-26モード (FMモード) 1:N5273-17モード (F9450モード) ( )はFMPR-359F1エミュレーション時	0
AESオプション1 - AESが起動するページ排出コマンド	P7	0:すべてのページ排出コマンド 1:なし 2:すべてのページ排出コマンドおよびプリスクライブEXITコマンド 3:プリスクライブEXITコマンドのみ 4: ^L コマンドのみ 6:プリスクライブEXITコマンドおよび ^L コマンド	2
AESオプション2 - プリスクライブEXITコマンド受信後のエミュレーション	P8	0:現在のエミュレーション 1:初期設定エミュレーション(P1)に変更 2:代替エミュレーション(P5)に変更	2
行間隔*	U0	インチあたりの行数/整数部分	6
行間隔*	U1	インチあたりの行数/小数部分	0
文字間隔*	U2	インチあたりの文字数/整数部分	10
文字間隔*	U3	インチあたりの文字数/小数部分	0
予約済み	U4	—	—
内蔵フォントの国別コード	U6	0:US ASCII 1:フランス 2:ドイツ 3:イギリス 4:デンマーク 5:スウェーデン 6:イタリア	8



項目	FRPO	設定値	工場設定
		7:スペイン 8:日本 9:USリーガル 10:IBM PC-850 (マルチ言語) 11:IBM PC-860 (ポルトガル語) 12:IBM PC-863 (カナダフランス語) 13:IBM PC-865 (ノルウェー語) 14:ノルウェー語 15:デンマーク語2 16:スペイン語2 17:ラテンアメリカ	
シンボルセット	U7	0: エミュレーションと同じ 1: IBM 2~5:予約済み 6: HP Roman-8	0
初期ANKアウトライン・ サイズ <sup>*1</sup>	V0	起動時のANKアウトライン・フォントサイズの整数 上位2桁/設定有効範囲値: 00~09	00
	V1	起動時のANKアウトライン・フォントサイズの整数 下位2桁/設定有効範囲値: 00~99	12
	V2	起動時のANKアウトライン・フォントサイズの小数2桁 設定有効値: 00, 25, 50, 75	00
初期ANKアウトライン・ フォント名 <sup>*1</sup>	V3	起動時のANKアウトライン・フォント名	—
漢字アウトライン・フォントサイズ <sup>*1</sup>	V4	起動時の漢字アウトライン・フォントサイズの 整数上位2桁 設定有効範囲: 00~09	00
	V5	起動時の漢字アウトライン・フォントサイズの 整数下位2桁 設定有効範囲: 00~99	10
	V6	起動時の漢字アウトライン・フォントサイズの 小数2桁 設定有効値: 00, 25, 50, 75	00
初期漢字アウトライン・フォント名 <sup>*1</sup>	V7	起動時の漢字アウトライン・フォント名	—

## 7.3. インタフェース共有FRPOパラメータ

\*1: エミュレーションによっては無視されることがあります。

\*2: オプション・インタフェース装着時に有効です。

\*3: 設定後はプリンタの電源を一度切るか、リセット後に有効になります。

項目	FRPO	設定値	工場設定
起動時のパターン解像度	B8	0:300 dpi 1:600 dpi	0
起動時の排紙トレイ	C7	1:フェイスダウン 2:フェイスアップ	1
シリアルライン制御	D0	0:プリンタがReadyまたはWaiting中5秒ごとにXONコードを送信。エラーは反映しない。 1:プリンタがReadyまたはWaiting中5秒ごとにXONコードを送信。エラーを反映する。 10:XONコードを送信しない。エラーを反映しない。 11:XONコードを送信しない。エラーを反映する。	0
予約済み	D1	—	—
警告ブザー設定	D2	0:オフ 1:オン	0
用紙サイズ・エラー制御	D3	0:オフ 1:オン 2:MPTトレイへの給紙元切り替え	2
印字濃度設定	D4	1:薄い 2:やや薄い 3:標準 4:やや濃い 5:濃い	3
受信バッファサイズ(HDD)*2	H0	0~99 10KB単位 (0~990MB)	0
RS-232Cボーレート*3	H1	12:1200 bps 24:2400 bps 48:4800 bps 96:9600 bps 19:19200 bps 38:38400 bps 57:57600 bps 11:115200 bps	96
RS-232Cデータビット*3	H2	7または8	8
RS-232Cストップビット*3	H3	1または2	1
RS-232Cパリティビット*3	H4	0:なし 1:奇数 2:偶数 3:無視	0

項目	FRPO	設定値	工場設定
RS-232Cプロトコル*3	H5	0:下記の1と3の組み合わせ 1:DTR、正論理 2:DTR、負論理 3:XON/XOFF 4:ETX/ACK 5:XON/XOFFをプロトコルとしてのみ認識	0
バッファしきい値*3	H6	0~99 受信データバッファ・サイズのパーセント	90
バッファ限界値*3	H7	0~99 受信データバッファ・サイズのパーセント	70
受信データバッファ容量*3	H8	0~99 FRPO S5の値で積算 (0:5Kバイト)	6
タイム・アウトの時間	H9	0~99 5秒単位 (0:オフ)	0
メモリ・カードの 起動パーティション登録	I0	15バイト以内の“パーティション名”または ‘パーティション名’	—
予約済み	I1-I6	—	—
オプションインタフェース2 ジョブ終了制御*2	I7	0:なし 1:~Lを付加 2:~Dを付加 3:~Lおよび~Dを付加 7:~Dおよび~Lを付加	0
オプションインタフェース1 ジョブ終了制御*2	I8	0:なし 1:~Lを付加 2:~Dを付加 3:~Lおよび~Dを付加 7:~Dおよび~Lを付加	0
縮小率	J0	0: 100% 1~4:予約済み 5: 70% 6: 81% 7: 86% 8: 94% 9: 98%	0
ステータス送信制御	M1	0:なし 1:ステータスを送信	0
起動時のインタフェース*3	M2	1:シリアル・インタフェース 2:パラレル・インタフェース 3:オプション・インタフェース1 4:オプション・インタフェース2	2
バッファサイズ・オプション*3	M3	0:自動 1:バッファサイズを指定(固定)[M4:シリアル/ M5:パラレル/M6:オプション1/M7:オプション2]	0
バッファ・サイズ比率(1)*3	M4	第1バッファの比率	3
バッファ・サイズ比率(2)*3	M5	第2バッファの比率	1
バッファ・サイズ比率(3)*3	M6	オプション・インタフェースを装着した場合の 第3バッファの比率	1
バッファ・サイズ比率(4)*3	M7	オプション・インタフェースを装着した場合の 第4バッファの比率	1

### 7.3. インタフェース共有FRPO パラメータ

項目	FRPO	設定値	工場設定
KIRの設定	N0	0:オフ 1:予約済み 2:オン 3:予約済み	2
予約済み	N1～N3	—	—
両面印字モードの選択(両面印刷 反転ユニット[DU-25]装着時)	N4	0:オフ 1:ロングエッジ・モード(長辺綴じ) 2:ショートエッジ・モード(短辺綴じ)	0
スリープ・タイマ時間	N5	0～24 5分単位 (0～120分 [0:オフ])	6(30分)
エコプリントの設定	N6	0:オフ 1:予約済み 2:オン	0
予約済み	N7	—	—
システム解像度	N8	0:300 dpi 1:600 dpi	1
PCLリソース保護	N9	0:オフ 1:パーマネント・リソースを保護して環境をリセット 2:パーマネント/テンポラリ・リソースを保護	0
予約済み	P0	—	—
コマンド認識文字	P9	33-99のASCIIコード	82 (R)
自動カセット切替え	R1	0:オフ 1:カセット1↔2 2:カセット2↔3 3:カセット1↔3 4:カセット1→3→2→1 5～98:予約済み 99: 同サイズのカセットを選択	99
用紙サイズ	R2	0:カセットのサイズ (R4参照) 1:モナーク 2:ビジネス/コマーシャル10 3:インターナショナルDL 4:インターナショナルC5 5:エグゼクティブ 6:レター・サイズ 7:リーガル・サイズ 8: ISO (JIS) A4 9: JIS B5 10: ISO A3 11: JIS B4 12:レジャー 13: ISO (JIS) A5 14: ISO (JIS) A6 15: JIS B6 16:コマーシャル#9 17:コマーシャル#6-3/4 18:ISO B5 19: CUSTOM 20:B4→A4縮小	0

項目	FRPO	設定値	工場設定
		21:A3→A4縮小 22:A4→A4 98%縮小 23:ストックフォーム→A4縮小 24:ストックフォーム→B4縮小 30:C4 31:はがき 32:往復はがき	
予約ずみ	R3	—	—
初期給紙元	R4	0:MPTレイ 1:プリンタ本体のカセット 2:第1オプション・フィーダ 3:第2オプション・フィーダ	1
ページ保護モード	R5	1:自動 2/3:予約済み 4:オン	1
予約ずみ	R6	—	—
手差し給紙の用紙サイズ	R7	0:最大用紙サイズ/その他はR2と同じ	0
ホストバッファサイズ積算値	S5	0:10KB 1:100KB 2:1MB	0
RAMディスクサイズ	S6	1-99 MB単位	12
RAMディスクモード	S7	0:オフ 1:オン	0
シリアルバーコードモード	S9	0:オフ 1:オン	0
MPTレイモード	T0	0:カセット・モード 1:優先モード 2:手差しモード	0
MPTレイの給紙方向(A4)	T8	0:縦 1:横	1
厚紙モード設定	T9	0:普通 1:厚紙 2:薄紙 3:OHP	0
起動時のステータスページの印字	U5	0:印字しない 1:印字する	0

# 付録A

## プリンタの仕様

---

# プリンタの仕様

項目	仕様
印字方式	半導体レーザー+ポリゴンミラー走査
プリント速度(すべてコピーモード)	A4: 25枚/分(横送り) B4: 15.5枚/分 A3: 13.5枚/分
解像度	2400 dpi相当 × 600 dpi (600 dpi + KIR2)
ファーストプリント (A4横送り、23 -C)	スリープモード・オフー約10秒 スリープモード・オンー約75秒
ウォームアップ時間(23 -C)	65秒以下
CPU	PowerPC 603e/100 MHz
メインメモリ	標準16MB(最大64MBまで増設可能)、SIMMスロット×2
対応OS	Windows 3.1、Windows 95、Windows 98、Windows NT
対応プロトコル	IPX/SPX、TCP/IP、DLC
インタフェース	高速双方向パラレル・インタフェース×1 シリアル・インタフェース(RS-232C)×1 オプション・インタフェース・スロット×1 オプション・ハードディスク/インタフェース・スロット×1
メモ리카ードスロット	1スロット[タイプI](JEIDA ver. 4.2/PCMCIA 2.1準拠)
自己診断	自己診断モード時に発生したエラーを表示
最大許容印字ページ数	最大7.5万ページ/月(乾式A4 PPC普通紙)
標準印字ページ数*	1.5万ページ/月
ドラム	アモルファス・シリコン
現像方式	1成分乾式現像
主帯電方式	スコロロン帯電(+)
転写方式	ローラ帯電(-)
ドラムクリーニング方式	カウンタブレード
ドラム除電方式	LEDIによる光除電
定着方式	ヒートローラ熱定着
トナー節約方式	エコプリント(Ecoprint)モード
使用用紙	普通紙(付録B参照)
用紙サイズ	給紙カセット: A3~A5ユニバーサル・カセット MPトレイ: 90 mm × 148 mm ~ 297 mm × 450 mm
給紙枚数	給紙カセット: 約250枚(75 g/m <sup>2</sup> [厚さ0.1 mm]) MPトレイ: 約100枚(75 g/m <sup>2</sup> [厚さ0.1 mm])
出力	フェイスダウン・トレイー約350枚(75 g/m <sup>2</sup> [厚さ0.1 mm]) フェイスアップ・トレイ(オプション)ー約250枚(75 g/m <sup>2</sup> [厚さ0.1 mm])

項目	仕様
設置環境	温度: 10 ~ 32.5 °C 湿度: 20 ~ 80% RH 推奨環境 - 23 °C / 65% RH 海拔 - 最大 2000 m 照度 - 1,500 lux
電源	AC100 V、50/60 Hz
最大消費電流	9.2 A
消費電力	最大消費電力: 934 W 通常使用時: 525 W 待機時: 155 W パワーセーブ・モード(スリープ・モード)時: 16 W
稼働音 (ISO7779に準拠[バイスタンダ位置、正面音圧レベル])	プリント時: LpA = 52 dB(A) スタンバイ時: LpA = 38 dB(A) スリープ時: 測定限界以下
外形寸法	幅 483 mm × 高さ 350 mm × 奥行き 411 mm (給紙カセット装着時は 550 mm)
本体重量	21 kg

\* : 標準印字ページ数とは、本プリンタで日常的に印字する際の目安です。平均の月間印字ページ数を標準印字ページ数以内でご使用いただくことにより、本プリンタをより快適にご利用いただくことができます。また、標準印字ページ数は最大で5年間使用するための目安にもなります。ただし、この場合は30万ページ印字時にドラムキットの交換が必要となります。ドラムキットについては、お買い上げの京セラコミュニケーションシステム株式会社正規販売会社(特約店)、またはサービス実施店へご連絡ください。



# 付録 *B* 用紙について

---

B.1. 用紙の基本仕様……B-2

B.2. 適正紙の選択……B-3

B.3. 特殊な用紙……B-6

## B.1. 用紙の基本仕様

ページ・プリンタは通常の乾式PPC複写機用コピー用紙(普通紙)に印字できるように設計してありますが、本章の制限の範囲内でさまざまな用紙に印字することができます。

ページ・プリンタに適さない用紙を使用すると、紙詰まりになったり紙にしわがよったりするため、用紙の選択は慎重におこなってください。低品質の紙は印字品位を低下させ、用紙が無駄になるばかりでなく極端な場合にはプリンタの故障の原因になることもあります。下記の注意事項を守っていただくことで、効率的でトラブルの少ない印字ができ、プリンタ自体の摩耗や損傷も最少限にすることができます。

### 使用できる用紙

#### お知らせ

通常の乾式PPC複写機で使用するコピー用紙(普通紙)を使用してください。

再生紙は表B-1の基本仕様のうち、保水度やパルプ含有率などの基本条件で本機に使用するために必要な仕様を下回るものがあります。このため、再生紙は少量をご購入になってサンプル印字をおこなってください。印字結果が良好で、紙粉が極端に多くないものを選んでご使用ください。

製紙メーカーごとにグレードの違いはありますが、これらの違いはプリンタの処理にも影響を与えます。質の悪い用紙を使うと仕上がりに満足できる結果を得られません。したがって廉価な用紙であっても、その紙質がページ・プリンタに適していない場合は、結果的にみて不経済ということになります。

### 用紙の基本仕様

次の表は本プリンタに使用できる用紙の基本的な仕様を示すものです。詳細は以後のページで説明します。

表B-1 用紙の基本的な仕様

項目	仕様
重さ	60～90 g/m <sup>2</sup>
厚さ	0.086～0.110 mm
寸法	±0.7 mm
四隅の角度	90°±0.2°
保水度	4 %～6 %
パルプ含有率	80 %以上

#### お知らせ

本プリンタで64 g/m<sup>2</sup>以下の薄い用紙や、90 g/m<sup>2</sup>以上の厚い用紙を使用する場合は、モード選択メニューの「カミ ノ アツサ」メニューでその用紙に応じた設定(下記)を行ってください。

ウスイ: 64 g/m<sup>2</sup>以下の用紙

フツウ: 64～90 g/m<sup>2</sup>

アツイ: 90 g/m<sup>2</sup>以上

OHP: OHPシートや官製ハガキおよび、その他の特殊な厚紙  
ただし用紙の特性によっては、適切なモードが上記とは異なる場合があります。満足な印字品質が得られる設定を確認した上で使用してください。

上記の仕様を満たさない不適正な用紙を使用したために起きた事故については、弊社はその責任を負いかねます。用紙についてはお買い求めの京セラコミュニケーションシステム株式会社正規特約店にご相談ください。

## B.2. 適正紙の選択

用紙を選ぶ際の基準項目について説明します。

用紙の選択は、下記の要素を考慮に入れておこなってください。

**紙の状態** 角の折れているもの、全体が丸まっているもの、汚れているもの、破れているもの、また繊維が毛羽だっていたり、表面が荒かったり、ちぎれやすかったりする用紙は避けてください。

このような用紙を使用すると仕上がりが悪くなるだけでなく、用紙送りがうまくいかないために紙詰まりを起こし、プリンタの寿命を縮めることになりかねません。用紙表面は滑らかで均一なものを選んでください。ただし、コーティング加工やその他の表面処理をしてある用紙は、ドラムや定着ユニットを傷めますので使用を避けてください。

**用紙成分** アート紙のようなコーティング加工された紙や、表面処理された紙、プラスチックやカーボンを含む用紙は使用しないでください。そのような紙は熱により有害なガスを出すことがあり、またドラムを傷めます。

普通紙は少なくとも80%以上のパルプを含むものにしてください。コットンやその他の繊維は用紙成分の20%を超えないものをご使用ください。

**用紙サイズ** 次表のサイズの用紙が給紙カセットまたはMPトレイで使用できます。プリンタは給紙カセットの用紙サイズを、自動的に検知します。

表B-2 用紙の寸法

用紙	サイズ
ISO (JIS) A3	29.7 × 42 cm
ISO (JIS) A4	21 × 29.7 cm
ISO (JIS) A5	14.8 × 21 cm
ISO (JIS) A6*	10.5 × 14.8 cm
JIS B4	25.7 × 36.4 cm
JIS B5	18.2 × 25.7 cm
JIS B6*	12.8 × 18.2 cm
レター	8.5 × 11 インチ
レジャー	11 × 17 インチ
リーガル	8.5 × 14 インチ
Monarch*	3-7/8 × 7-1/2 インチ
Business*	4-1/8 × 9-1/2 インチ
ISO C4*	22.9 × 32.4 cm
ISO DL*	11 × 22 cm
ISO C5*	16.2 × 22.9 cm
ISO B5*	17.6 × 25 cm
Executive*	7-1/4 × 10-1/2 インチ
Commercial 6-3/4*	3-5/8 × 6-1/2 インチ
Commercial 9*	3-7/8 × 8-7/8 インチ
ハガキ*	10 × 14.8 cm
往復ハガキ*	20 × 14.8 cm
カスタム*	11.7 × 17.7 インチ

\* MPトレイから給紙できます。

MPトレイを使用すると、最小90×148mmから最大297×450mmまでの用紙サイズに印字できます。(印字位置の調整が必要になります。)

**滑らかさ** 用紙表面は滑らかで均一であることが重要ですが、コーティングされているものは使用しないでください。なめらかすぎる用紙は、同時に複数枚の用紙が送られて、紙詰まりの原因となります。

**基本重量** 基本重量とは、用紙1枚を1 m<sup>2</sup>の大きさに換算したときの重量です。重すぎたり軽すぎたりする用紙は、用紙送りの失敗や紙詰まりの原因となるばかりではなく、プリンタの消耗の原因にもなります。用紙の重さ、つまり紙の厚さが一定していないと、同時に複数枚の用紙を給紙してしまったり、トナーの定着不良によって印字がぼけるなどの印字品質の問題を引き起こすことがあります。用紙の適正な重さは60～90g/m<sup>2</sup>、厚紙:90～200 g/m<sup>2</sup>の範囲です。

**厚さ** ページ・プリンタで使用する用紙は極端に厚いものや、また薄いものは避けてください。数枚が一度に給紙されたり、紙詰まりが頻繁に起きたりする場合は紙が薄すぎることが考えられます。反対に紙が厚すぎる場合も、紙詰まりが起きることがあります。適正な用紙の厚さは0.086～0.110 mmです。

**保水度** 用紙の保水度は、乾燥度に対する湿り気のパーセントで表されます。湿り気は紙送りや静電気の発生状況、トナーの定着性などに影響を与えます。

用紙の保水度は室内の湿度によって変わります。室内の湿度が高すぎて紙が湿り気を帯びると、紙の端が伸びて波打つことがあります。逆に湿度が低すぎて紙に極端に湿り気がなくなると、用紙の端が縮んでカサカサになり、コントラストの弱い印字になります。

波打ったり乾燥していると、紙送りにずれが起きることがあります。用紙の保水度は4%～6%の範囲に収まるようにしてください。

望ましい保水度を保つためには、用紙を保管する環境に注意することが必要です。保管には次の点にご注意ください。

- ☐ 風通しのよい低温の場所に保管してください。
- ☐ 未開封のまま水平な状態で保管してください。開封後すぐに使用しない紙は、もう一度密封してください。
- ☐ 用紙は購入時の箱や包装紙に封をして保管してください。箱の下には台などを置いて、床から離してください。特に梅雨時の板張りやコンクリート張りの床からは充分離してください。
- ☐ 熱、日光、湿気にさらされる場所に紙を放置しないでください。

## その他の仕様 硬さ

柔らかすぎる紙や硬すぎる紙は、プリンタ内部で折れ曲がりやすく紙詰まりの原因になります。

### カール

ほとんどの用紙は、開封した状態で放置しておくどちらかの方向へ自然にカールして丸まる性質を持っています。用紙は定着ユニットを通過する際に、若干上向きに丸くなります。これを利用して、給紙カセットにセットする面を考えてカールを打ち消し合うようにすると、仕上がりがより平らになります。

### 静電気について

トナーを付着させるために、印字の過程で用紙は静電気を帯びます。この静電気がすみやかに放出される用紙を選んでください。

### 品質について

サイズの不揃い、角がきちんととれていない、粗雑な裁断面、切り損なっているシート、角や端のつぶれなどが原因でプリンタが正しく機能しないことがあります。特にご自分で裁断された用紙を使用する場合はご注意ください。

### 包装について

ひと単位できちんと包装され、さらに箱に詰められている紙をお選びください。包装紙は内面が防湿用にコーティングされているものが最良です。

### 特殊処理

次のような処理をほどこした用紙については、基本仕様を満たす用紙であっても使用しないようおすすめします。使用される場合は、ご購入の前にサンプル印字を行ってください。

- ☐ つやのある用紙
- ☐ 透かしの入った用紙
- ☐ 表面に凹凸のある用紙
- ☐ ミシン目の入った用紙
- ☐ パンチ穴の開いている用紙

## B.3. 特殊な用紙

特殊な用紙に印字する場合について説明します。

ページ・プリンタには、下記のような特殊な用紙を使用することができます。

- ①着色紙
- ②プレ印刷紙
- ③OHPフィルム
- ④第二原図
- ⑤ハガキ
- ⑥封筒
- ⑦ラベル

以上の用紙を使用するときはコピー用またはページ・プリンタ用として指定されているものをご使用ください。また、着色紙とプレ印刷紙以外はMPトレイから給紙してください。

特殊な用紙は成分や品質の違いが大きく、普通紙に比べてトラブルが発生する可能性が高くなります。特殊用紙は以下の条件を満たすものであれば本機で使用することは可能です。ただし、これらの用紙は構造および品質に大きなばらつきがあるために、規定紙よりも印刷中の問題発生の可能性が高くなります。印刷中に湿気などが特殊紙に与える影響が原因で、機械または操作員に被害を与えても当社は一切責任を負いません。

### 🔔 お知らせ

☐ 特殊な用紙はサンプル用紙をプリンタでテストしてみて、満足のいく仕上がりとなるかどうかを確認してから購入してください。

☐ ハガキ、封筒、OHPシートおよび厚めの用紙は、フェイスアップトレイから排紙してください。

特殊紙のそれぞれの仕様は次のとおりです。

### 着色紙

着色紙は表B-1の普通紙の基本仕様を満たすものでなければなりません。さらに、用紙に含まれている色素は印字中の熱に耐えるものでなければなりません。

### プレ印刷紙

プレ印刷紙(あらかじめ印刷がされている用紙)は、基本仕様を満たす用紙をベースとしたものでなければなりません。着色に使われるインクはプリンタでの印字中の熱に耐えられるもので、シリコンオイルの影響を受けないものである必要があります。カレンダーなどに使われる表面加工を施してある紙は使用しないでください。

## OHP (オーバヘッド・プロジェクト) フィルム

OHPフィルムは、印字中の定着の熱に耐えるものでなければなりません。仕様は次のとおりです。この条件を満たさないOHPフィルムを使用すると、プリンタの故障の原因になりますのでご注意ください。

表B-3 OHPフィルムの仕様

項目	仕様
耐熱性	最低190℃までの熱に耐えること。
厚さ	0.100～0.110 mm
材質	ポリエステル
四隅の角度	90±0.2°

### お知らせ

OHPフィルムは、モード選択メニューの「カミノ アツサ」設定をOHPにして、MPトレイから1枚ずつ給紙してください。

ポリエステル以外の材質のフィルムは使用できません。

## 第二原図用紙

第二原図用紙は、給紙時に紙詰まりの原因になることがあります。本機で使用する場合は以下のとおりです。

表B-5 第二原図用紙の仕様

項目	仕様
用紙の重さ	75～80g/m <sup>2</sup>
推奨紙	富士ゼロックス <sup>®</sup> ・オフィス・サプライ株式会社、第二原図用紙 (GT80)。

### お知らせ

第二原図用紙はMPトレイから1枚ずつ給紙してください。

## ハガキ用紙

官製ハガキ以外の私製ハガキについては、基本重量が90～128g/m<sup>2</sup>のものを请使用ください。印字面がコーティング加工してあるものは避けてください。大きさは100×148 mm以上であれば使用できます。一度にセットできる枚数は、官製ハガキで40枚です。

## 封筒


印字できる封筒は、基本重量が60～79g/m<sup>2</sup>の用紙で作られているものです。

封筒は構造上、表面全体に均一な印字ができない場合があります。特に薄手の封筒の場合は、プリンタを通り抜ける間にシワになることがあります。封筒を購入する前に、その封筒での印刷が満足の行くものであるかをサンプルで確認してください。

糊が露出している封筒はどのような封筒でも使用できません。たとえ露出していなくても、紙をはがすと糊が現れるワンタッチ式のタイプもご使用になれません。糊をカバーしている小さな台紙が、プリンタ内部ではがれ落ちると大きな故障の原因になります。

封筒に特殊加工のあるタイプも使用できません。紐を巻き付ける丸い鳩目の打ってあるものや、窓の開いているもの、窓部にフィルム加工が施されているものなどは使用できません。

**ラベル紙** ラベル紙は構造的にトラブルが発生しがちです。ラベル用紙を選択する際は、糊がプリンタのどこの部位にも触れないことや、ラベルが台紙から容易にはがれないものであることなどに注意してください。ドラムやローラ類に糊が付着したり、はがれたラベルがプリンタ内に残ると大きな故障の原因になります。

 **お知らせ** ラベル紙での印字は、その印字品質やトラブル発生の可能性などについて、お客様ご自身の責任で行ってください。



# 付録 C

## インタフェース


---

付録Cではプリンタのインタフェースについて、  
ピンの割り当てや信号の意味などについて説明します。

- C.1. パラレル・インタフェース……C-2
- C.2. シリアル・インタフェース……C-6
- C.3. シリアル・インタフェースのプロトコル……C-8

## C.1. パラレル・インタフェース

本プリンタのパラレル・インタフェースは、コントロール・パネルから**ニブル(コウソク)**(初期設定)に設定することによって双方向および高速モードに対応します。また自動モード、ノーマルモード、高速モード、IBM PS/55モードに設定することもできます。設定のしかたは第2章をお読みください。各モードについては下記をご覧ください。

-  **お知らせ** コンピュータとの接続には、IEEE1284規格に準拠したプリンタケーブルをご使用ください。
- ニブル(高速)モード** IEEE1284ニブルモードに準拠した送受信を行います。通常はこの設定のままでご使用ください。(初期設定)
- 自動モード** 接続したコンピュータによって、自動的にモードを切り替えて送受信を行います。
- ノーマルモード** 標準のタイミングでデータを受信します。
- 高速モード** 高速モードでデータを受信します。
- IBM PS/55モード** IBM PS/55シリーズは、パラレル・インタフェースの仕様が異なります。IBM PS/55シリーズを本プリンタに接続した場合はこの設定にしてください。
- インタフェース信号** パラレルインタフェース・コネクタの各ピンの信号は表C-1のとおりです。アスタリスク(\*)の付いた信号は、負論理の信号であることを示しています。表にはそれぞれの信号がプリンタ側から見て入力か出力かを示しています。

表C-1-A パラレル接続ピン割り当て ([ ]はジドウおよびニブル(高速)モード時。)

ピン	入/出力	コンピュータの信号
1	入	Strobe* [ nStrobe ]
2	入	Data 0 [ Data 1 ]
3	入	Data 1 [ Data 2 ]
4	入	Data 2 [ Data 3 ]
5	入	Data 3 [ Data 4 ]
6	入	Data 4 [ Data 5 ]
7	入	Data 5 [ Data 6 ]
8	入	Data 6 [ Data 7 ]
9	入	Data 7 [ Data 8 ]
10	出	Acknowledge* [ nAck ]
11	出	Busy [ Busy ]
12	出	Paper Empty [ PError ]
13	出	On-line (Select) [ Select ]
14	入	Ignored [ nAutoFd ]
15	—	使用せず
16	—	0V DC
17	—	筐体グラウンド
18	入	Ignored

ピン	入/出力	コンピュータの信号
19	—	グラウンド
20	—	グラウンド
21	—	グラウンド
22	—	グラウンド
23	—	グラウンド
24	—	グラウンド
25	—	グラウンド
26	—	グラウンド
27	—	グラウンド
28	—	グラウンド
29	—	グラウンド
30	—	グラウンド
31	入	Ignored [ nInit ]
32	出	Error*
33	—	使用せず
34	—	使用せず
35	出	Power Ready
36	入	使用せず [ nSelectIn ]

信号の概略説明は次のとおりです。([ ]はジドウおよびニブル(高速)モード時。)

#### **Strobe\* [ nStrobe ]** ストロブ(ピン1)

この信号がLからHに変わったときに、プリンタがData 0 [1]からData 7 [8]の信号線をラッチ。

#### **Data 0[1]からData 7[8]**(ピン2～9)

コンピュータからプリンタへ送られるデータの1バイトを形成する8本の信号線。Data 7 [8]が最高位ビット。

#### **Acknowledge\* [ nAck ]** (ピン10)

データ受信の終了をLパルスで表示。

#### **Busy [Busy]** (ピン11)

データ受信のできない状態をH、受信可能をLで表示。

#### **Paper Empty [ PError ]** (ピン12)

紙なし状態をHで表示。

#### **On-Line [ Select ]** (ピン13)

プリンタのオンライン状態をH、オフラインをLで表示。

**Prime [nInit] (ピン31)**


コンピュータからプリンタをリセットする標準セントロニクス信号。本機は無視。

**Error [ nFault ] (ピン32)**

エラー制御時(FRPO O2=2)に、エラー状況を送信。

**Power Ready (ピン35)**

プリンタの電源が投入されている間H状態。

 お知らせ Paper Empty、On-LineおよびError信号は、FRPO O2パラメータで設定します。

表C-1-B FRPO O0=35の場合 (32ビット系IBM55シリーズ)

ピン	入/出力	コンピュータの信号名	32ビット系IBM55シリーズ・コンピュータでの信号の意味
1	入	STROBE	ストロブ入力
2	入	DATA 0	データ0
3	入	DATA 1	データ1
4	入	DATA 2	データ2
5	入	DATA 3	データ3
6	入	DATA 4	データ4
7	入	DATA 5	データ5
8	入	DATA 6	データ6
9	入	DATA 7	データ7
10	出	ACK	アクナリッジ出力
11	出	BUSY	ビジー出力
12	出	PAPEREND	用紙切れ通知出力 0 : 用紙切れ 1 : 用紙あり(FRPO O2に依存)
13	出	SELECT	現在コンピュータからセレクトされているか否かを通知する出力。 0:セレクトされていない。 1:セレクトされている。 (FRPO O2に依存)
14	入	AUTO FD	PS/55特有の制御に使用。
15	—	SG	シグナルグラウンド
16	—	NC	使用せず。
17	—	FG	フレームグラウンド
18	—	NC	使用せず。
19	—	SG	シグナルグラウンド

ピン	入/出力	コンピュータの信号名	32ビット系IBM55シリーズ・コンピュータでの信号の意味
20	—	SG	シグナルグラウンド
21	—	SG	シグナルグラウンド
22	—	SG	シグナルグラウンド
23	—	SG	シグナルグラウンド
24	—	SG	シグナルグラウンド
25	—	SG	シグナルグラウンド
26	—	SG	シグナルグラウンド
27	—	SG	シグナルグラウンド
28	—	SG	シグナルグラウンド
29	—	SG	シグナルグラウンド
30	—	SG	使用せず。
31	入	INIT	イニシャライズ要求信号。0：イニシャライズ
32	出	ERROR	プリンタにエラーが発生したことを通知する出力 (ERROR)。 0：エラー 1：正常 (ERPO 02に依存)
33	入	SG	コンピュータの判別信号。
34	—	NC	使用せず。
35	—	NC	使用せず。
36	入/出	SELIN	5570系コンピュータ固有の入力信号。

## C.2. シリアル・インタフェース

本機のシリアル・インタフェースは、RS-232Cモードをサポートしています。

### SERIALコネクタ

本機後面のシリアルインタフェース・コネクタはDB-25Sタイプです。接続ケーブルには、DB-25Pコネクタ(または同等タイプ)の付いたものを使用してください。

### RS-232Cインタフェース信号

シリアル・インタフェース信号とピン割当てを下表にまとめます。

表C.2. RS-232C信号対ピン割当て

ピン	入出力	信号	意味
1		FG	グラウンド
2	出力	TXD	送信データ
3	入力	RXD	受信データ
4	出力	RTS	Rrequest to send
5	入力	CTS	Clear to send
6	入力	DSR	Data set ready
7		SG	信号グラウンド
11		+5VDC	予約済み
20	出力	DTR	Data terminal ready

### RS-232C信号の機能

- FG(ピン1) プリンタ筐体へのグラウンド。
- TXD(ピン2) コンピュータに対して非同期データを搬出。主にハンドシェークのプロトコルに使用。
- RXD(ピン3) コンピュータからのシリアル非同期データ入力。
- RTS(ピン4) 常時H状態(3V以上)。
- CTS(ピン5)/ 使用せず。
- DSR(ピン6)
- +5VDC(ピン11) プリンタの+5VDC(+5V $\pm$ 0.5V、最大250mA、ヒューズ付)。
- DTR(ピン20) バッファがほぼ満杯になったときのハンドシェーク線として使用。バッファに余裕がある場合はH状態(3V以上)。

**RS-232Cインタフェース電圧レベルについて**    本機のRS-232Cインタフェースの電圧レベルは、EIA RS-232C規格に準拠しています。SPACEは3～15V、MARKは－3～－15V、また－3～+3Vは定義されていません。

## C.3. シリアル・インタフェースのプロトコル

プロトコルとはコンピュータからプリンタへデータを送信する際に使われる各種の設定と規則です。これらはパラメータとして、プリンタのメモリ内に記憶されており、ステータスページを印字して確認することができます。また、これら設定の変更にはFRPOコマンドを使用します。(FRPOコマンドについては、第7章を参照してください。)

次にシリアル・インタフェースのパラメータを説明します。

### H1: ボーレート

パラメータ値	ボーレート
12	1200
24	2400
48	4800
96	9600(初期設定)
19	19200
38	38400
57	57600
11	115200

H2: データビット 7または8, 初期設定は8。

H3: ストップビット 1または2, 初期設定は1。

### H4: パリティ

パラメータ値	パリティ
0	なし(初期設定)
1	奇
2	偶
3	無視

### H5: プロトコル論理

パラメータ値	意味
0	下の1と3の組み合わせ(初期設定)
1	DTR/DSR 正論理
2	DTR/DSR 負論理
3	XON/XOFF
4	ETX/ACK
5	XON/XOFFをプロトコルとしてのみ認識

H6: バッファしきい値 0から99までの%表示。初期設定は90(%)。

H7: バッファ空限界値 0から99までの%表示。初期設定は70(%)。

H8: 受信データバッファ量 入力バッファのサイズです。0～99の値を設定。FRPO S5の値で積算されます。初期設定は6(60 KB) です。



# 付録 *D* 文字コード表

---

JIS漢字コード表……	D-2
IBM(シフトJIS)漢字コード表……	D-12
OCRキャラクタ・コード表……	D-21
新/旧JISコード対応表……	D-23
PCL-Jコード表……	D-25

ご注意：コード28XX～2FXXは、エミュレーションによっては異なる場合があります。

*D-2*

[illegible]

[illegible]

39	后	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2a	2b	2c	2d	2e	2f	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3a	3b	3c	3d	3e	3f	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4a	4b	4c	4d	4e	4f			
	此	察	頃	坑	垢	坤	堊	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	見	更	杭	校	梗	構	江	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	紵	絞	網	耕	考	肯	肱			
3a	次	察	頃	坑	垢	坤	堊	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	見	更	杭	校	梗	構	江	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	紵	絞	網	耕	考	肯	肱			
3b	次	察	頃	坑	垢	坤	堊	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	見	更	杭	校	梗	構	江	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	紵	絞	網	耕	考	肯	肱			
3c	宗	就	滋	擦	爾	擦	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾
3d	宗	就	滋	擦	爾	擦	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾
3e	勝	拭	植	爾	燭	爾	燭	爾	燭	爾	燭	爾	燭	爾	燭	爾	燭	爾	燭	爾	燭	爾	燭	爾	燭	爾	燭	爾	燭	爾	燭	爾	燭	爾	燭	爾	燭	爾	燭	爾	燭	爾	燭	爾	燭	爾	燭	爾	燭	爾	
3f	拭	植	爾	燭	爾	燭	爾	燭	爾	燭	爾	燭	爾	燭	爾	燭	爾	燭	爾	燭	爾	燭	爾	燭	爾	燭	爾	燭	爾	燭	爾	燭	爾	燭	爾	燭	爾	燭	爾	燭	爾	燭	爾	燭	爾	燭	爾	燭	爾	燭	爾
40	澄	摺	爾	寸	爾	寸	爾	寸	爾	寸	爾	寸	爾	寸	爾	寸	爾	寸	爾	寸	爾	寸	爾	寸	爾	寸	爾	寸	爾	寸	爾	寸	爾	寸	爾	寸	爾	寸	爾	寸	爾	寸	爾	寸	爾	寸	爾	寸	爾	寸	爾
41	織	藏	爾	達	爾	達	爾	達	爾	達	爾	達	爾	達	爾	達	爾	達	爾	達	爾	達	爾	達	爾	達	爾	達	爾	達	爾	達	爾	達	爾	達	爾	達	爾	達	爾	達	爾	達	爾	達	爾	達	爾	達	爾
42	臧	藏	爾	帳	爾	帳	爾	帳	爾	帳	爾	帳	爾	帳	爾	帳	爾	帳	爾	帳	爾	帳	爾	帳	爾	帳	爾	帳	爾	帳	爾	帳	爾	帳	爾	帳	爾	帳	爾	帳	爾	帳	爾	帳	爾	帳	爾	帳	爾	帳	爾
43	叩	帳	爾	釘	爾	釘	爾	釘	爾	釘	爾	釘	爾	釘	爾	釘	爾	釘	爾	釘	爾	釘	爾	釘	爾	釘	爾	釘	爾	釘	爾	釘	爾	釘	爾	釘	爾	釘	爾	釘	爾	釘	爾	釘	爾	釘	爾	釘	爾	釘	爾
44	帖	鄭	爾	藤	爾	藤	爾	藤	爾	藤	爾	藤	爾	藤	爾	藤	爾	藤	爾	藤	爾	藤	爾	藤	爾	藤	爾	藤	爾	藤	爾	藤	爾	藤	爾	藤	爾	藤	爾	藤	爾	藤	爾	藤	爾	藤	爾	藤	爾	藤	爾
45	董	蕩	爾	釘	爾	釘	爾	釘	爾	釘	爾	釘	爾	釘	爾	釘	爾	釘	爾	釘	爾	釘	爾	釘	爾	釘	爾	釘	爾	釘	爾	釘	爾	釘	爾	釘	爾	釘	爾	釘	爾	釘	爾	釘	爾	釘	爾	釘	爾	釘	爾
46	董	蕩	爾	箱	爾	箱	爾	箱	爾	箱	爾	箱	爾	箱	爾	箱	爾	箱	爾	箱	爾	箱	爾	箱	爾	箱	爾	箱	爾	箱	爾	箱	爾	箱	爾	箱	爾	箱	爾	箱	爾	箱	爾	箱	爾	箱	爾	箱	爾	箱	爾
47	如	鼻	終	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹
48	鼻	終	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾
49	鼻	終	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾
4a	福	法	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾
4b	漫	論	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾
4c	漫	論	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾
4d	論	論	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾
4e	痢	痢	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾
4f	連	連	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾	腹	爾

50	腔	歲	姊	斜	出	笑	塵	石	雙	對	弛	機	登	驚	俳	采	寶	偏	撲	茂	熔	綠	碗	
51	膏	濟	姿	煮	術	粧	王	積	農	耐	恥	佃	菟	苦	跪	煩	頻	變	朴	妄	熔	綠	碗	
52	航	災	子	社	述	紹	尋	籍	倉	岱	智	漬	賭	寅	排	飯	瓶	簞	睦	孟	竅	厘	碗	
53	荒	采	屍	紗	俊	肖	甚	續	喪	帶	池	柘	途	西	排	飯	瓶	簞	睦	孟	竅	厘	碗	
54	行	碎	師	謝	春	蔣	賢	貢	奏	怠	稚	薦	鐵	砥	屯	孟	番	埠	返	勃	網	荅	琳	
55	講	砦	志	車	瞬	蕉	訊	赤	爽	態	置	綴	砥	屯	孟	番	埠	返	勃	網	荅	琳		
56	貢	祭	思	遮	竣	衝	迅	跡	宋	戴	致	鐸	斫	倅	牌	盤	夫	遍	沒	耗	要	臨		
57	購	烹	指	蛇	舜	裴	陣	蹟	層	替	蚋	椿	努	度	沌	肺	蕃	富	勉	堀	儲	踊	隣	
58	郊	細	支	邪	駿	訟	鞫	頃	匪	泰	遲	潰	努	度	沌	肺	蕃	富	勉	堀	儲	踊	隣	
59	酵	菜	孜	借	准	証	筍	切	忽	滯	馳	呼	土	豚	輩	蚤	富	婉	幌	木	遙	鱗		
5a	鉞	裁	斯	勺	循	詔	諫	拙	想	胎	築	壘	奴	遁	配	匪	布	弁	奔	默	陽	麟		
5b	砒	載	施	尺	旬	詳	須	接	搜	腿	畜	孀	怒	頓	倍	卑	府	鞭	本	目	養	瑤		
5c	鋼	際	旨	杓	楮	象	詐	撰	掃	苔	竹	紬	倒	吞	培	否	佈	保	翻	李	怒	豎		
5d	閤	劑	枝	灼	殉	賞	凶	折	插	袋	筑	爪	党	疊	媒	妃	扶	舖	凡	勿	抑	淚		
5e	降	在	止	爵	淳	醬	厨	設	搔	貸	蓄	吊	冬	鈍	梅	底	敷	鋪	盆	餅	欲	累		
5f	項	材	死	酌	準	鉦	逗	窃	操	退	逐	釣	凍	奈	煤	彼	斧	團	摩	尤	沃	類		
60	香	罪	氏	釈	潤	鍾	吹	節	早	逮	秩	錫	刀	那	煤	悲	普	捕	磨	戾	浴	令		
61	高	財	鄉	錫	盾	鍾	垂	說	曹	隊	空	亨	唐	内	狼	扉	浮	步	魔	初	翌	伶		
62	鴻	呀	址	若	純	厚	帥	雪	巢	黛	荼	低	塔	乍	買	批	父	甫	麻	貰	翼	例		
63	剛	坂	私	寂	巡	鞘	推	絕	槍	調	嬌	停	塘	風	壳	披	符	補	埋	問	淀	冷		
64	劫	阪	糸	弱	遵	上	水	舌	槽	代	着	偵	套	薙	陪	比	膚	德	味	紋	蝶	嶺		
65	号	堺	紙	惹	醇	丈	炊	蟬	漕	台	中	剝	宕	謎	陪	比	膚	德	味	紋	蝶	嶺		
66	合	樺	紫	主	順	丞	睡	仙	燥	大	仲	貞	島	離	這	泌	芙	募	枚	門	裸	伶		
67	壕	肴	肢	取	处	乘	粹	先	爭	第	由	呈	嶋	捺	蠅	疲	譜	墓	每	欠	來	玲		
68	拷	咲	脂	守	初	冗	翠	千	瘦	醒	忠	堤	悼	鍋	秤	皮	負	慕	哩	也	萊	礼		
69	濠	崎	至	手	所	剩	衰	占	相	題	抽	定	投	楮	矧	碑	賦	戊	慎	治	賴	苓		
6a	豪	崎	規	朱	暑	城	遂	宜	怒	鷹	屋	帝	塔	馴	萩	秘	赴	暮	幕	夜	雷	鈴		
6b	轟	崎	詞	殊	曙	場	醉	專	槽	淹	柱	底	東	繩	伯	排	阜	母	膜	爺	絡	零		
6c	翹	鷺	詩	狩	渚	壤	錐	尖	總	龍	注	庭	桃	駭	剝	罷	附	簿	枕	耶	絡	零		
6d	克	作	試	珠	庶	嬪	鍾	川	綜	卓	虫	廷	棒	南	博	肥	侮	苦	鉅	野	落	靈		
6e	刻	削	誌	種	緒	常	隨	戰	聡	啄	哀	弟	棟	楠	拍	被	撫	做	証	弥	酩	麗		
6f	告	昨	諸	腫	署	情	瑞	扇	草	宅	註	梯	盜	軟	柏	誹	武	俸	鱗	矢	乱	齡		
70	国	控	資	趣	書	擾	隨	撰	莊	托	耐	抵	洶	難	泊	費	舞	包	枰	厄	卵	曆		
71	穀	昨	賜	酒	署	条	崇	栓	葬	挾	鑄	挺	湯	汝	白	避	葡	呆	亦	役	風	歷		
72	酷	朔	雌	首	諸	杖	嵩	柁	蒼	拓	駐	提	潯	二	箔	非	蕪	報	侯	約	欄	列		
73	鵠	柁	飼	儒	諸	淨	数	泉	藻	沢	博	梯	灯	尼	粕	飛	部	奉	又	藥	濫	劣		
74	黑	窄	齒	受	助	狀	杈	淺	裝	濯	溺	汀	燈	式	舶	槌	封	宝	抹	詛	藍	烈		
75	賦	策	事	呪	叙	疊	趨	洗	走	琢	猪	碇	当	迹	薄	鋸	楓	峰	末	躍	蘭	裂		
76	漣	索	似	寿	女	穰	難	染	送	託	亨	禎	痘	勾	迫	備	風	峯	沫	靖	覽	廉		
77	腰	錯	侍	授	序	蒸	据	潛	遭	鐸	著	程	持	賑	曝	尾	晝	崩	迄	柳	利	恋		
78	甌	桜	児	樹	徐	讓	杉	煎	鎗	濁	貯	締	等	肉	漠	微	諒	庖	侶	薺	吏	憐		
79	忽	鮭	字	綬	怒	釀	相	煽	霜	諾	丁	艇	答	虹	爆	批	伏	抱	繭	鏈	履	漣		
7a	惚	世	寺	需	鋤	錠	菅	旋	騒	茸	兆	訂	筒	廿	縛	昆	復	放	万	愈	梨	簾		
7b	骨	匙	慈	囚	除	囑	頗	穿	像	夙	凋	諦	糖	日	莫	昆	復	放	万	愈	梨	簾		
7c	猖	册	時	周	價	飾	据	線	憎	只	寵	通	到	入	麦	美	服	朋	滿	油	理	練		
7d	逌	册	時	周	價	飾	据	線	憎	只	寵	通	到	入	麦	美	服	朋	滿	油	理	練		
7e	逌	册	時	周	價	飾	据	線	憎	只	寵	通	到	入	麦	美	服	朋	滿	油	理	練		

21	式	𠂇	𠂈	𠂉	𠂊	𠂋	𠂌	𠂍	𠂎	𠂏	𠂐	𠂑	𠂒	𠂓	𠂔	𠂕	𠂖	𠂗	𠂘	𠂙	𠂚	𠂛	𠂜	𠂝	𠂞	𠂟	𠂠	𠂡	𠂢	𠂣	𠂤	𠂥	𠂦	𠂧	𠂨	𠂩	𠂪	𠂫	𠂬	𠂭	𠂮	𠂯	𠂰	𠂱	𠂲	𠂳	𠂴	𠂵	𠂶	𠂷	𠂸	𠂹	𠂺	𠂻	𠂼	𠂽	𠂾	𠂿	𠃀	𠃁	𠃂	𠃃	𠃄	𠃅	𠃆	𠃇	𠃈	𠃉	𠃊	𠃋	𠃌	𠃍	𠃎	𠃏	𠃐	𠃑	𠃒	𠃓	𠃔	𠃕	𠃖	𠃗	𠃘	𠃙	𠃚	𠃛	𠃜	𠃝	𠃞	𠃟	𠃠	𠃡	𠃢	𠃣	𠃤	𠃥	𠃦	𠃧	𠃨	𠃩	𠃪	𠃫	𠃬	𠃭	𠃮	𠃯	𠃰	𠃱	𠃲	𠃳	𠃴	𠃵	𠃶	𠃷	𠃸	𠃹	𠃺	𠃻	𠃼	𠃽	𠃾	𠃿	𠄀	𠄁	𠄂	𠄃	𠄄	𠄅	𠄆	𠄇	𠄈	𠄉	𠄊	𠄋	𠄌	𠄍	𠄎	𠄏	𠄐	𠄑	𠄒	𠄓	𠄔	𠄕	𠄖	𠄗	𠄘	𠄙	𠄚	𠄛	𠄜	𠄝	𠄞	𠄟	𠄠	𠄡	𠄢	𠄣	𠄤	𠄥	𠄦	𠄧	𠄨	𠄩	𠄪	𠄫	𠄬	𠄭	𠄮	𠄯	𠄰	𠄱	𠄲	𠄳	𠄴	𠄵	𠄶	𠄷	𠄸	𠄹	𠄺	𠄻	𠄼	𠄽	𠄾	𠄿	𠅀	𠅁	𠅂	𠅃	𠅄	𠅅	𠅆	𠅇	𠅈	𠅉	𠅊	𠅋	𠅌	𠅍	𠅎	𠅏	𠅐	𠅑	𠅒	𠅓	𠅔	𠅕	𠅖	𠅗	𠅘	𠅙	𠅚	𠅛	𠅜	𠅝	𠅞	𠅟	𠅠	𠅡	𠅢	𠅣	𠅤	𠅥	𠅦	𠅧	𠅨	𠅩	𠅪	𠅫	𠅬	𠅭	𠅮	𠅯	𠅰	𠅱	𠅲	𠅳	𠅴	𠅵	𠅶	𠅷	𠅸	𠅹	𠅺	𠅻	𠅼	𠅽	𠅾	𠅿	𠆀	𠆁	𠆂	𠆃	𠆄	𠆅	𠆆	𠆇	𠆈	𠆉	𠆊	𠆋	𠆌	𠆍	𠆎	𠆏	𠆐	𠆑	𠆒	𠆓	𠆔	𠆕	𠆖	𠆗	𠆘	𠆙	𠆚	𠆛	𠆜	𠆝	𠆞	𠆟	𠆠	𠆡	𠆢	𠆣	𠆤	𠆥	𠆦	𠆧	𠆨	𠆩	𠆪	𠆫	𠆬	𠆭	𠆮	𠆯	𠆰	𠆱	𠆲	𠆳	𠆴	𠆵	𠆶	𠆷	𠆸	𠆹	𠆺	𠆻	𠆼	𠆽	𠆾	𠆿	𠇀	𠇁	𠇂	𠇃	𠇄	𠇅	𠇆	𠇇	𠇈	𠇉	𠇊	𠇋	𠇌	𠇍	𠇎	𠇏	𠇐	𠇑	𠇒	𠇓	𠇔	𠇕	𠇖	𠇗	𠇘	𠇙	𠇚	𠇛	𠇜	𠇝	𠇞	𠇟	𠇠	𠇡	𠇢	𠇣	𠇤	𠇥	𠇦	𠇧	𠇨	𠇩	𠇪	𠇫	𠇬	𠇭	𠇮	𠇯	𠇰	𠇱	𠇲	𠇳	𠇴	𠇵	𠇶	𠇷	𠇸	𠇹	𠇺	𠇻	𠇼	𠇽	𠇾	𠇿	𠈀	𠈁	𠈂	𠈃	𠈄	𠈅	𠈆	𠈇	𠈈	𠈉	𠈊	𠈋	𠈌	𠈍	𠈎	𠈏	𠈐	𠈑	𠈒	𠈓	𠈔	𠈕	𠈖	𠈗	𠈘	𠈙	𠈚	𠈛	𠈜	𠈝	𠈞	𠈟	𠈠	𠈡	𠈢	𠈣	𠈤	𠈥	𠈦	𠈧	𠈨	𠈩	𠈪	𠈫	𠈬	𠈭	𠈮	𠈯	𠈰	𠈱	𠈲	𠈳	𠈴	𠈵	𠈶	𠈷	𠈸	𠈹	𠈺	𠈻	𠈼	𠈽	𠈾	𠈿	𠉀	𠉁	𠉂	𠉃	𠉄	𠉅	𠉆	𠉇	𠉈	𠉉	𠉊	𠉋	𠉌	𠉍	𠉎	𠉏	𠉐	𠉑	𠉒	𠉓	𠉔	𠉕	𠉖	𠉗	𠉘	𠉙	𠉚	𠉛	𠉜	𠉝	𠉞	𠉟	𠉠	𠉡	𠉢	𠉣	𠉤	𠉥	𠉦	𠉧	𠉨	𠉩	𠉪	𠉫	𠉬	𠉭	𠉮	𠉯	𠉰	𠉱	𠉲	𠉳	𠉴	𠉵	𠉶	𠉷	𠉸	𠉹	𠉺	𠉻	𠉼	𠉽	𠉾	𠉿	𠊀	𠊁	𠊂	𠊃	𠊄	𠊅	𠊆	𠊇	𠊈	𠊉	𠊊	𠊋	𠊌	𠊍	𠊎	𠊏	𠊐	𠊑	𠊒	𠊓	𠊔	𠊕	𠊖	𠊗	𠊘	𠊙	𠊚	𠊛	𠊜	𠊝	𠊞	𠊟	𠊠	𠊡	𠊢	𠊣	𠊤	𠊥	𠊦	𠊧	𠊨	𠊩	𠊪	𠊫	𠊬	𠊭	𠊮	𠊯	𠊰	𠊱	𠊲	𠊳	𠊴	𠊵	𠊶	𠊷	𠊸	𠊹	𠊺	𠊻	𠊼	𠊽	𠊾	𠊿	𠋀	𠋁	𠋂	𠋃	𠋄	𠋅	𠋆	𠋇	𠋈	𠋉	𠋊	𠋋	𠋌	𠋍	𠋎	𠋏	𠋐	𠋑	𠋒	𠋓	𠋔	𠋕	𠋖	𠋗	𠋘	𠋙	𠋚	𠋛	𠋜	𠋝	𠋞	𠋟	𠋠	𠋡	𠋢	𠋣	𠋤	𠋥	𠋦	𠋧	𠋨	𠋩	𠋪	𠋫	𠋬	𠋭	𠋮	𠋯	𠋰	𠋱	𠋲	𠋳	𠋴	𠋵	𠋶	𠋷	𠋸	𠋹	𠋺	𠋻	𠋼	𠋽	𠋾	𠋿	𠌀	𠌁	𠌂	𠌃	𠌄	𠌅	𠌆	𠌇	𠌈	𠌉	𠌊	𠌋	𠌌	𠌍	𠌎	𠌏	𠌐	𠌑	𠌒	𠌓	𠌔	𠌕	𠌖	𠌗	𠌘	𠌙	𠌚	𠌛	𠌜	𠌝	𠌞	𠌟	𠌠	𠌡	𠌢	𠌣	𠌤	𠌥	𠌦	𠌧	𠌨	𠌩	𠌪	𠌫	𠌬	𠌭	𠌮	𠌯	𠌰	𠌱	𠌲	𠌳	𠌴	𠌵	𠌶	𠌷	𠌸	𠌹	𠌺	𠌻	𠌼	𠌽	𠌾	𠌿	𠍀	𠍁	𠍂	𠍃	𠍄	𠍅	𠍆	𠍇	𠍈	𠍉	𠍊	𠍋	𠍌	𠍍	𠍎	𠍏	𠍐	𠍑	𠍒	𠍓	𠍔	𠍕	𠍖	𠍗	𠍘	𠍙	𠍚	𠍛	𠍜	𠍝	𠍞	𠍟	𠍠	𠍡	𠍢	𠍣	𠍤	𠍥	𠍦	𠍧	𠍨	𠍩	𠍪	𠍫	𠍬	𠍭	𠍮	𠍯	𠍰	𠍱	𠍲	𠍳	𠍴	𠍵	𠍶	𠍷	𠍸	𠍹	𠍺	𠍻	𠍼	𠍽	𠍾	𠍿	𠎀	𠎁	𠎂	𠎃	𠎄	𠎅	𠎆	𠎇	𠎈	𠎉	𠎊	𠎋	𠎌	𠎍	𠎎	𠎏	𠎐	𠎑	𠎒	𠎓	𠎔	𠎕	𠎖	𠎗	𠎘	𠎙	𠎚	𠎛	𠎜	𠎝	𠎞	𠎟	𠎠	𠎡	𠎢	𠎣	𠎤	𠎥	𠎦	𠎧	𠎨	𠎩	𠎪	𠎫	𠎬	𠎭	𠎮	𠎯	𠎰	𠎱	𠎲	𠎳	𠎴	𠎵	𠎶	𠎷	𠎸	𠎹	𠎺	𠎻	𠎼	𠎽	𠎾	𠎿	𠏀	𠏁	𠏂	𠏃	𠏄	𠏅	𠏆	𠏇	𠏈	𠏉	𠏊	𠏋	𠏌	𠏍	𠏎	𠏏	𠏐	𠏑	𠏒	𠏓	𠏔	𠏕	𠏖	𠏗	𠏘	𠏙	𠏚	𠏛	𠏜	𠏝	𠏞	𠏟	𠏠	𠏡	𠏢	𠏣	𠏤	𠏥	𠏦	𠏧	𠏨	𠏩	𠏪	𠏫	𠏬	𠏭	𠏮	𠏯	𠏰	𠏱	𠏲	𠏳	𠏴	𠏵	𠏶	𠏷	𠏸	𠏹	𠏺	𠏻	𠏼	𠏽	𠏾	𠏿	𠐀	𠐁	𠐂	𠐃	𠐄	𠐅	𠐆	𠐇	𠐈	𠐉	𠐊	𠐋	𠐌	𠐍	𠐎	𠐏	𠐐	𠐑	𠐒	𠐓	𠐔	𠐕	𠐖	𠐗	𠐘	𠐙	𠐚	𠐛	𠐜	𠐝	𠐞	𠐟	𠐠	𠐡	𠐢	𠐣	𠐤	𠐥	𠐦	𠐧	𠐨	𠐩	𠐪	𠐫	𠐬	𠐭	𠐮	𠐯	𠐰	𠐱	𠐲	𠐳	𠐴	𠐵	𠐶	𠐷	𠐸	𠐹	𠐺	𠐻	𠐼	𠐽	𠐾	𠐿	𠑀	𠑁	𠑂	𠑃	𠑄	𠑅	𠑆	𠑇	𠑈	𠑉	𠑊	𠑋	𠑌	𠑍	𠑎	𠑏	𠑐	𠑑	𠑒	𠑓	𠑔	𠑕	𠑖	𠑗	𠑘	𠑙	𠑚	𠑛	𠑜	𠑝	𠑞	𠑟	𠑠	𠑡	𠑢	𠑣	𠑤	𠑥	𠑦	𠑧	𠑨	𠑩	𠑪	𠑫	𠑬	𠑭	𠑮	𠑯	𠑰	𠑱	𠑲	𠑳	𠑴	𠑵	𠑶	𠑷	𠑸	𠑹	𠑺	𠑻	𠑼	𠑽	𠑾	𠑿	𠒀	𠒁	𠒂	𠒃	𠒄	𠒅	𠒆	𠒇	𠒈	𠒉	𠒊	𠒋	𠒌	𠒍	𠒎	𠒏	𠒐	𠒑	𠒒	𠒓	𠒔	𠒕	𠒖	𠒗	𠒘	𠒙	𠒚	𠒛	𠒜	𠒝	𠒞	𠒟	𠒠	𠒡	𠒢	𠒣	𠒤	𠒥	𠒦	𠒧	𠒨	𠒩	𠒪	𠒫	𠒬	𠒭	𠒮	𠒯	𠒰	𠒱	𠒲	𠒳	𠒴	𠒵	𠒶	𠒷	𠒸	𠒹	𠒺	𠒻	𠒼	𠒽	𠒾	𠒿	𠓀	𠓁	𠓂	𠓃	𠓄	𠓅	𠓆	𠓇	𠓈	𠓉	𠓊	𠓋	𠓌	𠓍	𠓎	𠓏	𠓐	𠓑	𠓒	𠓓	𠓔	𠓕	𠓖	𠓗	𠓘	𠓙	𠓚	𠓛	𠓜	𠓝	𠓞	𠓟	𠓠	𠓡	𠓢	𠓣	𠓤	𠓥	𠓦	𠓧	𠓨	𠓩	𠓪	𠓫	𠓬	𠓭	𠓮	𠓯	𠓰	𠓱	𠓲	𠓳	𠓴	𠓵	𠓶	𠓷	𠓸	𠓹	𠓺	𠓻	𠓼	𠓽	𠓾	𠓿	𠔀	𠔁	𠔂	𠔃	𠔄	𠔅	𠔆	𠔇	𠔈	𠔉	𠔊	𠔋	𠔌	𠔍	𠔎	𠔏	𠔐	𠔑	𠔒	𠔓	𠔔	𠔕	𠔖	𠔗	𠔘	𠔙	𠔚	𠔛	𠔜	𠔝	𠔞	𠔟	𠔠	𠔡	𠔢	𠔣	𠔤	𠔥	𠔦	𠔧	𠔨	𠔩	𠔪	𠔫	𠔬	𠔭	𠔮	𠔯	𠔰	𠔱	𠔲	𠔳	𠔴	𠔵	𠔶	𠔷	𠔸	𠔹	𠔺	𠔻	𠔼	𠔽	𠔾	𠔿	𠕀	𠕁	𠕂	𠕃	𠕄	𠕅	𠕆	𠕇	𠕈	𠕉	𠕊	𠕋	𠕌	𠕍	𠕎	𠕏	𠕐	𠕑	𠕒	𠕓	𠕔	𠕕	𠕖	𠕗	𠕘	𠕙	𠕚	𠕛	𠕜	𠕝	𠕞	𠕟	𠕠	𠕡	𠕢	𠕣	𠕤	𠕥	𠕦	𠕧	𠕨	𠕩	𠕪	𠕫	𠕬	𠕭	𠕮	𠕯	𠕰	𠕱	𠕲	𠕳	𠕴	𠕵	𠕶	𠕷	𠕸	𠕹	𠕺	𠕻	𠕼	𠕽	𠕾	𠕿	𠖀	𠖁	𠖂	𠖃	𠖄	𠖅	𠖆	𠖇	𠖈	𠖉	𠖊	𠖋	𠖌	𠖍	𠖎	𠖏	𠖐	𠖑	𠖒	𠖓	𠖔	𠖕	𠖖	𠖗	𠖘	𠖙	𠖚	𠖛	𠖜	𠖝	𠖞	𠖟	𠖠	𠖡	𠖢	𠖣	𠖤	𠖥	𠖦	𠖧	𠖨	𠖩	𠖪	𠖫	𠖬	𠖭	𠖮	𠖯	𠖰	𠖱	𠖲	𠖳	𠖴	𠖵	𠖶	𠖷	𠖸	𠖹	𠖺	𠖻	𠖼	𠖽	𠖾	𠖿	𠗀	𠗁	𠗂	𠗃	𠗄	𠗅	𠗆	𠗇	𠗈	𠗉	𠗊	𠗋	𠗌	𠗍	𠗎	𠗏	𠗐	𠗑	𠗒	𠗓	𠗔	𠗕	𠗖	𠗗	𠗘	𠗙	𠗚	𠗛	𠗜	𠗝
----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

[illegible]



[illegible]



[illegible]

**D-10**

[illegible]

# IBM(シフトJIS)漢字コード表

- この表では非漢字部分は横書き文字を示しています。縦書き文字についてはD-23ページの付表をご参照ください。
- 以下のコードには文字が定義されていないため、本表では省略しています。これらのコードを指定した場合は空白が出力されます。  
8040~80FF, 8540~85FF, EB40~F9FF, FD40~FFFF

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	a	b	c	d	e	f
8140		、	。	，	・	：	；	？	！	”	’	”	’	”	’	”
8150	—	—	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
8160	～			…	…	’	”	”	( )	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]
8170	}	<	>	《	》	「	」	『	』	【	】	+	-	±	×	
8180	÷	=	≠	<	>	≤	≥	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	¥
8190	\$	¢	£	%	#	&	*	@	§	☆	★	○	●	◎	◇	◆
81a0	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	=			
81b0								∈	∋	⊆	⊇	⊂	⊃	⊄	⊅	⊆
81c0								∧	∨	¬	⇒	⇔	▽	∃		
81d0								∠	⊥	∩	∪	∩	∪	∩	∪	∩
81e0	≡	≡	≡	√	∞	∞	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴
81f0	Å	%	#	b	♪	†	‡	¶								○

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	a	b	c	d	e	f
8240																0
8250	1	2	3	4	5	6	7	8	9							
8260	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
8270	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z						
8280		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
8290	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z					あ
82a0	あ	い	い	う	う	え	え	お	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け
82b0	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た	だ	ち
82c0	ち	っ	つ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
82d0	ひ	び	び	ふ	ぶ	ぶ	へ	べ	べ	ほ	ぼ	ぼ	ま	み	む	め
82e0	も	ゃ	や	ゆ	ゆ	よ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	わ	ゐ	ゑ
82f0	を	ん														

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	a	b	c	d	e	f
8340	ア	アイ	イ	ウ	ウ	エ	エ	オ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	
8350	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ	ダ
8360	チ	チ	ツ	ツ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	
8370	パ	ヒ	ピ	ピ	フ	ブ	ヘ	ベ	ペ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ		
8380	ム	メ	モ	ヤ	ヤ	ユ	ユ	ヨ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	
8390	キ	エ	ヲ	ン	ヴ	カ	ケ									A
83a0	B	Γ	Δ	E	Z	H	Θ	I	K	Λ	M	N	Ξ	O	Π	P
83b0	Σ	T	T	Φ	X	Ψ	Ω									α
83c0	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
83d0	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω									
83e0																
83f0																

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	a	b	c	d	e	f
8440	A	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О
8450	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э	Ю
8460	Я															
8470	a	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н	
8480	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
8490	ю	я														—
84a0		Г	Г	Г	Г	Г	Г	Г	Г	Г	Г	Г	Г	Г	Г	Г
84b0	Г	Г	Г	Г	Г	Г	Г	Г	Г	Г	Г	Г	Г	Г	Г	Г
84c0																
84d0																
84e0																
84f0																

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	a	b	c	d	e	f
8640																
8650																
8660																
8670																
8680																
8690																
86a0		—	—			—	—			—	—			—	—	—
86b0	Г	Г	Г	Г	Г	Г	Г	Г	Г	Г	Г	Г	Г	Г	Г	Г
86c0	Г	Г	Г	Г	Г	Г	Г	Г	Г	Г	Г	Г	Г	Г	Г	Г
86d0	Г	Г	Г	Г	Г	Г	Г	Г	Г	Г	Г	Г	Г	Г	Г	Г
86e0	Г	Г	Г	Г	Г	Г	Г	Г	Г	Г	Г	Г	Г	Г	Г	Г
86f0																

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	a	b	c	d	e	f
8740	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
8750	⑰	⑱	⑲	⑳	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X		ミ
8760	キ	セ	ル	グ	ト	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	mm
8770	cm	km	mg	kg	cc	m <sup>2</sup>										戦
8780	”	”	No.	KK	TEL	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④
8790	≡	≡	Σ	Σ	√	⊥	∠	∠	∠	∠	∠	∠	∠	∠	∠	i
87a0	ii	iii	iv	v	vi	vii	viii	ix	x							
87b0																
87c0																
87d0																
87e0																
87f0																

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	a	b	c	d	e	f
8840																
8850																
8860																
8870																
8880																
8890																亜
88a0	啞	娃	阿	哀	愛	挨	始	逢	葵	茜	穉	惡	握	濕	旭	葦
88b0	芦	蓼	梓	庄	幹	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾	貼	或	粟	裕
88c0	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	困	夷	委
88d0	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃	萎	衣
88e0	謂	違	遺	医	井	亥	域	育	郁	磯	一	沓	溢	逸	稻	茨
88f0	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭			

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	a	b	c	d	e	f
8940	院	陰	隱	韻	吋	右	宇	烏	羽	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	確
8950	白	渦	噓	唄	鬱	蔚	鰻	姥	厖	浦	瓜	閏	噉	云	運	雲
8960	荏	餌	叡	營	嬰	影	映	曳	榮	永	泳	洩	瑛	盈	穎	穎
8970	英	衛	詠	銳	液	疫	益	馱	悅	謁	越	間	榎	厭	円	
8980	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焰	煙	燕	猿	縁
8990	艶	苑	菌	遠	鉛	鴛	塩	於	汚	甥	凹	央	奧	往	応	押
89a0	旺	橫	欧	殴	王	翁	襖	鶯	鸛	鸛	岡	冲	荻	億	屋	億
89b0	臆	桶	牡	乙	俺	卸	恩	温	穩	音	下	化	仮	何	伽	伽
89c0	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
89d0	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	蝦	課	嘩	貨	迎	過
89e0	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕	介	會
89f0	解	回	塊	壞	廻	快	怪	悔	恢	懷	戒	拐	改			

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	a	b	c	d	e	f
8a40	魁	晦	械	海	灰	界	皆	繪	芥	蟹	開	階	貝	凱	効	外
8a50	咳	害	崖	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	湮	馨	蛙	垣
8a60	柿	蠟	鈎	劃	嚇	各	廓	括	岳	額	核	殼	獲	確	穫	覺
8a70	角	赫	較	郭	闊	隔	革	學	岳	額	額	頸	掛	笠	徑	
8a80	櫃	棍	鉞	渴	割	喝	恰	括	活	渴	滑	葛	褐	轄	且	鏗
8a90	叶	枇	樺	鞣	株	兜	寵	蒲	釜	鎌	齒	鴨	栢	茅	萱	粥
8aa0	刈	苈	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勘	勸	卷	喚	堪	姦	完	官
8ab0	寬	干	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺	款	飲	汗	漢
8ac0	澗	灌	環	甘	監	看	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	觀
8ad0	諫	貫	還	鑑	問	閑	閑	閑	陷	韓	館	丸	含	岸	巖	玩
8ae0	癌	眼	岩	翫	贗	雁	頑	頑	願	企	伎	危	喜	器	基	奇
8af0	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	機	旗	既	期	棋	棄			

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	a	b	c	d	e	f
8b40	機	婦	毅	氣	汽	畿	祈	季	稀	紀	微	規	記	貴	起	軌
8b50	輝	飢	騎	鬼	龜	偽	儀	妓	宜	戲	技	擬	欺	儀	疑	祇
8b60	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	委
8b70	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	宮	弓	急	救	
8b80	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
8b90	巨	拒	拋	舉	渠	虛	許	距	鋸	漁	製	魚	亨	享	京	供
8ba0	俠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峽	強	疆	怯
8bb0	恐	恭	挾	教	橋	況	狂	狹	矯	胸	脅	興	蕎	鄉	鏡	響
8bc0	饗	驚	仰	凝	堯	曉	業	局	曲	極	玉	桐	籽	僅	勤	均
8bd0	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	芹	茵	衿	襟	謹	近
8be0	金	吟	銀	九	俱	句	區	狗	玖	矩	苦	軀	駟	駟	駒	具
8bf0	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	鉏	屑	屈			

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	a	b	c	d	e	f
8c40	掘	窟	杏	靴	轡	窪	熊	隈	糸	栗	縲	桑	歛	歟	君	薰
8c50	訓	群	軍	郡	卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型	契
8c60	形	徑	恵	慶	慧	懇	揭	携	敬	景	桂	溪	畦	稽	系	經
8c70	繼	繫	羣	莖	荊	蚩	計	詣	警	輕	頸	鷄	芸	迎	鯨	
8c80	劇	戟	擊	激	隙	析	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
8c90	儉	倦	健	兼	券	劍	喧	圈	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲	檢
8ca0	權	牽	犬	猷	研	硯	絹	果	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	險
8cb0	顯	驗	鱗	元	原	嚴	幻	弦	減	源	玄	現	絃	鉉	言	諺
8cc0	限	乎	個	古	呼	固	姑	孤	己	庫	弧	戶	故	枯	湖	狐
8cd0	糊	袴	股	胡	菰	梧	誇	跨	鉗	雇	顧	鼓	五	互	伍	午
8ce0	吳	吾	娛	後	御	悟	梧	櫛	瑚	基	語	誤	護	餉	乞	鯉
8cf0	交	佼	侯	候	倖	光	公	功	効	厚	口	向				

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	a	b	c	d	e	f
8d40	后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	庠	庚	弘	弘
8d50	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	洪	浩
8d60	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	紉	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔
8d70	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉦	礦	鋼	閭	降	
8d80	項	香	高	鴻	剛	劫	號	壕	拷	濠	豪	蠱	蠱	麴	克	刻
8d90	告	國	穀	酷	鵠	黑	獄	漉	腰	餛	忽	惚	骨	狛	込	此
8da0	頃	今	困	坤	壘	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	良
8db0	魂	些	佐	又	唆	嵯	左	差	查	沙	瑳	砂	詐	鎖	裘	坐
8dc0	座	挫	債	催	再	最	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	裁	歲	濟
8dd0	災	采	犀	碎	皆	祭	齋	細	菜	裁	際	劑	在	材	罪	榨
8de0	財	冴	坂	阪	堺	櫛	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削	咋	榨
8df0	昨	朔	棚	窄	策	索	錯	桜	鮭	笹	匙	冊	刷			

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	a	b	c	d	e	f
8e40	察	撈	撮	擦	札	殺	薩	雜	阜	鯖	捌	鑄	鮫	皿	晒	三
8e50	傘	參	山	慘	撒	散	棧	燦	珊	產	算	纂	蚕	讀	贊	酸
8e60	餐	斬	暫	殘	仕	仔	伺	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉
8e70	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯	施	旨	枝	止	
8e80	死	氏	獅	祉	私	糸	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
8e90	諮	資	賜	雌	飼	齒	事	似	侍	兒	字	寺	慈	持	時	次
8ea0	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	蒔	辭	汐	鹿	式	識
8eb0	鳴	竺	軸	穴	雫	叱	執	失	嫉	室	悉	濕	漆	疾	質	
8ec0	実	蔀	篠	偲	柴	芝	屢	藥	借	舍	寫	射	捨	赦	斜	煮
8ed0	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	勺	尺	杓	灼	爵	酌	積	趣
8ee0	錫	若	寂	弱	惹	主	取	守	手	殊	狩	珠	種	腫		
8ef0	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹	綬	需	囚	収	周			

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	a	b	c	d	e	f
8f40	宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繡	習	臭	舟	蒐	衆
8f50	襲	讐	蹴	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十	從	戎	柔
8f60	汁	洪	獸	縱	重	銃	叔	夙	宿	淑	祝	縮	肅	塾	熟	出
8f70	術	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	旬	楯	殉	淳	
8f80	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
8f90	署	書	薯	諸	助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷	償	勝	
8fa0	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	獎	妾	娼	宵	將	小	尚	庄	
8fb0	床	廠	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢	樟	樵
8fc0	沼	消	涉	湘	燒	焦	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
8fd0	紹	肖	莖	蔣	蕉	衡	裳	訟	証	詔	詳	象	賞	醬	鉦	鍾
8fe0	鐘	障	鞘	上	丈	丞	乘	冗	剩	城	場	壤	嬢	常	情	擾
8ff0	条	杖	淨	狀	疊	穰	蒸	讓	釅	錠	囑	埴	飾			

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	a	b	c	d	e	f
9040	拭	植	殖	燭	織	職	色	舐	食	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇
9050	娠	寢	審	心	慎	振	新	晉	森	榛	浸	深	申	疹	真	神
9060	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵
9070	壬	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	韌	筭	誼	須	酢	囟	厨	
9080	逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粹	翠	衰	遂	醉	錐	鍾	隨
9090	瑞	髓	崇	嵩	數	枢	趨	雖	据	杉	椳	頗	雀	裾	澄	
90a0	摺	寸	世	瀨	畝	是	淒	制	勢	姓	征	性	成	政	整	星
90b0	晴	棲	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	西	誠	誓	請
90c0	逝	醒	青	静	齊	稅	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
90d0	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙	接	摂	折	設	窃	節
90e0	說	雪	絶	舌	蟬	仙	先	千	占	宣	專	尖	川	戰	扇	撰
90f0	栓	梅	泉	淺	洗	染	潜	煎	煽	旋	穿	箭	線			

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	a	b	c	d	e	f
9140	織	羨	腺	舛	舩	薦	詮	賤	踐	選	遷	錢	銑	閃	鮮	前
9150	善	漸	然	全	禪	繕	膳	糧	贈	塑	咀	措	曾	曾	楚	狙
9160	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双
9170	叢	倉	喪	壯	奏	爽	宋	層	匣	忽	想	搜	掃	挿	搔	
9180	操	早	曹	巢	槍	槽	漕	燥	争	瘦	相	窓	槽	総	綜	聡
9190	草	莊	葬	蒼	藻	裝	走	送	遭	鎗	霜	駟	像	増	憎	臟
91a0	藏	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗	属	賊
91b0	族	統	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜	他	多	太	汰
91c0	訖	唾	墮	妥	惰	打	柁	舵	棹	駝	駄	驢	体	堆	対	耐
91d0	岱	帶	待	怠	態	戴	替	泰	滯	胎	腿	苔	袋	貸	退	逮
91e0	隊	黛	鯛	代	台	大	第	醍	題	鷹	淹	瀧	卓	啄	宅	托
91f0	扨	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	諾	茸	風	蛸	只			

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	a	b	c	d	e	f
9240	叩	但	達	辰	奪	脫	巽	豎	迪	棚	谷	狸	鯉	樽	誰	丹
9250	單	嘆	坦	担	探	旦	歟	淡	湛	炭	短	端	綻	耽	胆	
9260	蛋	誕	鍛	団	壇	彈	斷	暖	檀	段	男	談	値	知	地	弛
9270	恥	智	池	痴	稚	置	致	蚰	遲	馳	築	畜	竹	筑	蓄	
9280	逐	秩	窒	茶	嫡	着	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
9290	註	酎	鑄	駐	樽	豬	苧	著	貯	丁	兆	凋	喋	寵	帖	
92a0	帳	庁	弔	張	彫	懲	挑	暢	朝	潮	牒	町	眺	聽	脹	
92b0	腸	蝶	調	譟	超	跳	眺	長	頂	鳥	勅	抄	直	朕	沈	珍
92c0	賃	鎮	陳	津	墜	椎	槌	追	鎚	痛	通	塚	拇	擱	槻	佃
92d0	漬	柘	辻	薦	綴	椿	潰	坪	壺	孀	紬	爪	吊	釣	鶴	
92e0	亨	低	停	偵	剌	貞	呈	堤	定	帝	庭	廷	弟	悌	抵	
92f0	挺	提	梯	汀	錠	禎	程	綈	訂	諦	蹄	遞				

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	a	b	c	d	e	f
9340	邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴	的	笛	適	鎬	溺	哲	徹
9350	撤	轍	迭	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	軫	顛	点
9360	伝	殿	澁	田	電	兎	吐	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登
9370	莧	賭	途	都	鍍	砥	礪	努	度	土	奴	怒	倒	党	冬	
9380	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	櫛	棟
9390	盜	淘	湯	濤	灯	燈	当	痘	禱	等	答	筒	糖	統	到	董
93a0	蕩	藤	討	膳	豆	踏	逃	透	鐙	陶	頭	騰	闕	働	動	同
93b0	堂	導	懂	撞	洞	瞳	童	胴	苟	道	銅	峠	鴿	置	得	德
93c0	漬	特	督	禿	篤	毒	独	読	析	橡	凸	突	級	届	薦	苦
93d0	寅	酉	潯	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁	頓	呑	曇	鈍	奈	那
93e0	内	乍	風	雍	謎	灘	捺	鍋	槽	馴	縄	咽	南	楠	軟	難
93f0	汝	二	尼	弍	邇	句	賑	肉	虹	廿	日	乳	入			

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	a	b	c	d	e	f
9440	如	尿	韭	任	妊	忍	認	濡	禰	祢	寧	葱	猫	熱	年	念
9450	捻	燃	燃	粘	乃	廼	之	楚	囊	惱	濃	納	能	腦	膿	農
9460	視	蚤	巴	把	播	霸	杷	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳
9470	廐	拌	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	倍	培	媒	梅	
9480	煤	煤	猥	買	壳	賠	陪	這	蠅	秤	矧	萩	伯	剝	博	拍
9490	柏	泊	白	箔	舶	薄	迫	曝	漠	爆	縛	莫	駁	麥	函	
94a0	箱	俗	箸	肇	筭	爐	幡	肌	畑	昌	八	鉢	潑	兇	醜	髮
94b0	伐	罰	拔	筏	閥	鳩	嘶	鳩	隼	伴	判	半	反	叛	帆	
94c0	搬	斑	板	汜	汎	版	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	采	煩
94d0	頒	飯	挽	晚	番	盤	磐	蕃	蠻	匪	卑	否	妃	庇	彼	悲
94e0	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被	誹	費
94f0	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微	枇	毘	毘	眉	美			

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	a	b	c	d	e	f
9540	鼻	柎	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱	肘	弼	必	畢	筆	逼	櫓
9550	姫	媛	紐	百	謬	佞	彪	標	水	漂	瓢	票	表	評	豹	廟
9560	描	病	秒	苗	錨	蒜	姪	鱈	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	
9570	頻	敏	瓶	不	付	埠	夫	婦	富	富	布	府	怖	扶	敷	
9580	斧	普	浮	父	符	腐	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
9590	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蔭	伏	副	復	幅	服	福
95a0	腹	複	覆	淵	弗	弘	沸	仏	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮
95b0	焚	奮	粉	糞	紛	雰	文	聞	丙	併	兵	塀	幣	平	弊	柄
95c0	並	蔽	閉	陸	米	貢	僻	壁	癖	碧	別	譬	蔑	篋	偏	變
95d0	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	婉	弁	鞭	保	舖	鋪	圃	捕
95e0	步	甫	補	輔	穗	募	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣	俸	包	
95f0	呆	報	奉	宝	峰	崩	庖	抱	捧	放	方	朋				

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	a	b	c	d	e	f
9640	法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	喪	訪	豐	邦	鋒	飽
9650	鳳	鵬	乏	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	望	某	棒
9660	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	鉾	防	吠	頰	北	僕	卜	墨	撲
9670	朴	牧	睦	穆	鉤	勃	沒	殆	堀	幌	奔	本	翻	凡	盆	
9680	摩	磨	魔	麻	埋	妹	昧	枚	每	哩	檣	幕	膜	枕	鮪	枉
9690	鱒	枰	亦	俟	又	抹	末	迄	儘	繭	廕	萬	慢	滿	漫	
96a0	蔓	味	未	魅	巳	箕	岬	密	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	耗	民
96b0	眠	務	夢	無	牟	矛	霧	鷗	棕	婿	娘	冥	名	命	明	盟
96c0	迷	銘	鳴	姪	牝	滅	免	綿	綿	緬	面	麵	摸	模	茂	妄
96d0	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	默	目	奎	勿	餅	尤	戾
96e0	粿	貫	問	悶	紋	門	匆	也	冶	夜	爺	耶	野	弥	矢	厄
96f0	役	約	藥	訳	躍	靖	柳	藪	鏈	愉	愈	油	癒			

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	a	b	c	d	e	f
9740	諭	輸	唯	佑	優	勇	宥	幽	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	
9750	猶	猷	由	祐	裕	誘	遊	郇	郵	雄	融	夕	予	余	与	譽
9760	輿	預	傭	幼	妖	容	庸	揚	搖	擁	曜	楊	樣	洋	溶	熔
9770	用	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謠	踊	遙	陽	養	慾	抑	欲	
9780	沃	浴	翌	翼	淀	羅	螺	裸	來	萊	賴	雷	絡	落	酪	
9790	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覽	利	吏	履	李	梨	理	璃	痢
97a0	裏	裡	離	離	律	率	立	律	掠	略	劉	流	溜	琉	留	
97b0	疏	粒	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚	兩	凌	寮	料
97c0	梁	涼	獺	療	瞭	稜	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	綠	倫
97d0	厘	林	淋	淋	琳	臨	輪	隣	麟	璫	璫	璫	璫	璫	璫	璫
97e0	伶	例	冷	勵	嶺	伶	玲	礼	苓	鈴	隸	零	靈	麗	齡	曆
97f0	歷	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐	漣	煉	簾	練	聯			

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	a	b	c	d	e	f
9840	蓮	連	鍊	呂	魯	櫓	路	路	露	勞	婁	廊	弄	朗	樓	
9850	榔	浪	漏	牢	狼	籠	老	蠟	郎	六	麓	祿	肋	錄	論	
9860	倭	和	話	歪	賄	脇	惑	粹	互	巨	鰐	詔	藁	藪	椀	
9870	灣	碗	腕													
9880																
9890																式
98a0	丐	丕	个	卬	丂	井	丿	乂	乖	乘	亂	亅	豫	事	舒	式
98b0	于	亞	亟	一	亢	京	毫	亶	从	仍	仄	仆	仆	仗	仞	仞
98c0	仟	价	伉	佚	估	佛	伺	佗	佇	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻
98d0	侑	伴	來	侖	俚	俚	俚	俚	俚	俚	俚	俚	俚	俚	俚	俚
98e0	倨	倨	倪	倨	倨	倨	倨	倨	倨	倨	倨	倨	倨	倨	倨	倨
98f0	會	偕	修	偕	偕	偕	偕	偕	偕	偕	偕	偕	偕	偕	偕	偕

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	a	b	c	d	e	f
9940	僉	僊	傳	僂	僖	僞	僞	僞	僞	僞	僞	僞	僞	僞	僞	僞
9950	僞	僞	僞	僞	僞	僞	僞	僞	僞	僞	僞	僞	僞	僞	僞	僞
9960	僞	僞	僞	僞	僞	僞	僞	僞	僞	僞	僞	僞	僞	僞	僞	僞
9970	僞	僞	僞	僞	僞	僞	僞	僞	僞	僞	僞	僞	僞	僞	僞	僞
9980	風	口	函	又	刊	刌	刌	刌	刌	刌	刌	刌	刌	刌	刌	刌
9990	刌	刌	刌	刌	刌	刌	刌	刌	刌	刌	刌	刌	刌	刌	刌	刌
99a0	刌	刌	刌	刌	刌	刌	刌	刌	刌	刌	刌	刌	刌	刌	刌	刌
99b0	勿	勾	旬	旬	旬	旬	旬	旬	旬	旬	旬	旬	旬	旬	旬	旬
99c0	卅	卉	己	準	卞	卞	卞	卞	卞	卞	卞	卞	卞	卞	卞	卞
99d0	廠	厶	參	纂	雙	叟	曼	曼	曼	曼	曼	曼	曼	曼	曼	曼
99e0	吭	吼	吮	吮	吮	吮	吮	吮	吮	吮	吮	吮	吮	吮	吮	吮
99f0	咀	呶	呶	呶	呶	呶	呶	呶	呶	呶	呶	呶	呶	呶	呶	呶



	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	a	b	c	d	e	f
9a40	咫	晒	咤	咤	品	听	哥	哦	唏	唔	哽	哮	哭	哺	呀	哟
9a50	哇	唧	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞
9a60	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞
9a70	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞
9a80	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞
9a90	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞
9aa0	國	園	圓	團	圖	園	園	園	園	園	園	園	園	園	園	園
9ab0	堡	坡	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵
9ac0	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵
9ad0	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟
9ae0	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘
9af0	夸	夾	奇	奕	奕	奕	奕	奕	奕	奕	奕	奕	奕	奕	奕	奕

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	a	b	c	d	e	f
9b40	奸	妁	妝	佞	佞	妁	妁	妁	妁	妁	妁	妁	妁	妁	妁	妁
9b50	娜	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉
9b60	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽
9b70	嬌	嬌	嬌	嬌	嬌	嬌	嬌	嬌	嬌	嬌	嬌	嬌	嬌	嬌	嬌	嬌
9b80	它	官	宸	宛	寇	霍	寔	寐	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔
9b90	實	冠	將	專	對	尔	尠	尠	尠	尠	尠	尠	尠	尠	尠	尠
9ba0	屏	屏	屏	屏	屏	屏	屏	屏	屏	屏	屏	屏	屏	屏	屏	屏
9bb0	峴	峴	峴	峴	峴	峴	峴	峴	峴	峴	峴	峴	峴	峴	峴	峴
9bc0	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑
9bd0	峴	峴	峴	峴	峴	峴	峴	峴	峴	峴	峴	峴	峴	峴	峴	峴
9be0	厄	昏	帝	帑	帑	帑	帑	帑	帑	帑	帑	帑	帑	帑	帑	帑
9bf0	幣	幫	干	并	么	麼	廣	庠	廁	廂	廂	廂	廂	廂	廂	廂

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	a	b	c	d	e	f
9c40	廖	廣	廝	廝	廝	廝	廝	廝	廝	廝	廝	廝	廝	廝	廝	廝
9c50	弃	弃	弃	弃	弃	弃	弃	弃	弃	弃	弃	弃	弃	弃	弃	弃
9c60	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖
9c70	徘徊	徘徊	徘徊	徘徊	徘徊	徘徊	徘徊	徘徊	徘徊	徘徊	徘徊	徘徊	徘徊	徘徊	徘徊	徘徊
9c80	估	估	估	估	估	估	估	估	估	估	估	估	估	估	估	估
9c90	協	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆
9ca0	俊	悖	悖	悖	悖	悖	悖	悖	悖	悖	悖	悖	悖	悖	悖	悖
9cb0	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍
9cc0	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍
9cd0	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍
9ce0	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍
9cf0	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	a	b	c	d	e	f
9d40	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛
9d50	抉	抉	抉	抉	抉	抉	抉	抉	抉	抉	抉	抉	抉	抉	抉	抉
9d60	拜	拜	拜	拜	拜	拜	拜	拜	拜	拜	拜	拜	拜	拜	拜	拜
9d70	挾	挾	挾	挾	挾	挾	挾	挾	挾	挾	挾	挾	挾	挾	挾	挾
9d80	振	振	振	振	振	振	振	振	振	振	振	振	振	振	振	振
9d90	攝	攝	攝	攝	攝	攝	攝	攝	攝	攝	攝	攝	攝	攝	攝	攝
9da0	擒	擒	擒	擒	擒	擒	擒	擒	擒	擒	擒	擒	擒	擒	擒	擒
9db0	擴	擴	擴	擴	擴	擴	擴	擴	擴	擴	擴	擴	擴	擴	擴	擴
9dc0	敗	敗	敗	敗	敗	敗	敗	敗	敗	敗	敗	敗	敗	敗	敗	敗
9dd0	斷	斷	斷	斷	斷	斷	斷	斷	斷	斷	斷	斷	斷	斷	斷	斷
9de0	杏	呢	昶	昶	昶	昶	昶	昶	昶	昶	昶	昶	昶	昶	昶	昶
9df0	晰	晁	暈	暈	暈	暈	暈	暈	暈	暈	暈	暈	暈	暈	暈	暈

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	a	b	c	d	e	f
9e40	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄
9e50	霸	霸	霸	霸	霸	霸	霸	霸	霸	霸	霸	霸	霸	霸	霸	霸
9e60	杼	杼	杼	杼	杼	杼	杼	杼	杼	杼	杼	杼	杼	杼	杼	杼
9e70	杼	杼	杼	杼	杼	杼	杼	杼	杼	杼	杼	杼	杼	杼	杼	杼
9e80	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳
9e90	梵	梵	梵	梵	梵	梵	梵	梵	梵	梵	梵	梵	梵	梵	梵	梵
9ea0	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧
9eb0	楡	楡	楡	楡	楡	楡	楡	楡	楡	楡	楡	楡	楡	楡	楡	楡
9ec0	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟
9ed0	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧
9ee0	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧
9ef0	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	a	b	c	d	e	f
9f40	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩
9f50	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩
9f60	歎	歎	歎	歎	歎	歎	歎	歎	歎	歎	歎	歎	歎	歎	歎	歎
9f70	殫	殫	殫	殫	殫	殫	殫	殫	殫	殫	殫	殫	殫	殫	殫	殫
9f80	麾	麾	麾	麾	麾	麾	麾	麾	麾	麾	麾	麾	麾	麾	麾	麾
9f90	汾	汾	汾	汾	汾	汾	汾	汾	汾	汾	汾	汾	汾	汾	汾	汾
9fa0	泛	泛	泛	泛	泛	泛	泛	泛	泛	泛	泛	泛	泛	泛	泛	泛
9fb0	涓	涓	涓	涓	涓	涓	涓	涓	涓	涓	涓	涓	涓	涓	涓	涓
9fc0	涓	涓	涓	涓	涓	涓	涓	涓	涓	涓	涓	涓	涓	涓	涓	涓
9fd0	渙	渙	渙	渙	渙	渙	渙	渙	渙	渙	渙	渙	渙	渙	渙	渙
9fe0	游	游	游	游	游	游	游	游	游	游	游	游	游	游	游	游
9ff0	溟	溟	溟	溟	溟	溟	溟	溟	溟	溟	溟	溟	溟	溟	溟	溟



	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	a	b	c	d	e	f
e040	漾	漓	滃	澆	潺	濟	溢	澀	浮	潛	潛	潭	激	潼	潘	澎
e050	漚	濂	潦	澳	幹	澡	澤	澹	漬	潯	濟	濕	溶	溺	淨	濱
e060	濮	濛	瀉	藩	濺	瀑	養	瀏	濾	瀛	瀚	豬	歷	瀘	滿	瀰
e070	瀾	激	灑	灣	炙	炒	炯	炯	炬	炸	炳	炮	烟	焦	烹	
e080	烙	焉	烽	焜	焙	煥	熙	熙	煦	瑩	煌	煖	煬	熏	燠	熄
e090	煩	熨	熬	爛	烹	熾	燒	燎	燔	燎	煨	燬	燧	燼	燹	
e0a0	耀	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰	爲	爻	俎	月	牀	牆	牋	
e0b0	抵	梧	犁	犁	犇	犒	犖	憤	犧	犹	豺	狃	狃	狄	狎	
e0c0	貉	狠	狡	狹	狷	倏	猗	猊	猜	狙	猝	猴	狴	猩	猥	
e0d0	獎	獮	默	獬	獐	獨	羴	獸	獵	獻	獭	珈	玳	玳	珀	
e0e0	珥	珮	珞	璫	琅	琊	琥	琿	琲	砗	瑕	璵	瑟	瓊	瑁	
e0f0	瑩	瑰	瓊	瑪	瑤	瑾	璋	璞	璧	瓊	龍	璽	琕			

[illegible][illegible][illegible][illegible][illegible]

[illegible][illegible]

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	a	b	c	d	e	f
fa40	i	ii	iii	iv	v	vi	vii	viii	ix	x	I	II	III	IV	V	VI
fa50	VII	VIII	IX	X	┐		'	"	(株)	No.	Tel.	:	續	嬰	鎂	銑
fa60	葩	偈	炆	昱	精	銀	昇	弼	匳	仡	任	佶	仔	但	泌	倭
fa70	恍	徇	侔	俚	僕	健	僥	掠	僣	楔	仉	儻	偶	傲	允	
fa80	魍	宜	洽	夙	芴	加	荔	勃	勛	勻	勾	匡	邵	厓	厲	級
fa90	雙	咤	味	咩	智	詰	巫	坦	坵	垧	埔	垠	塚	增	撫	爰
faa0	麥	裔	裔	裔	好	妹	孖	窠	甯	賓	寬	寮	豈	岑	崕	崕
fab0	嵩	崎	嶺	嶗	嶸	嶸	嶸	鉅	捰	或	德	恣	忍	悅	慙	愀
fac0	惕	惛	惛	憤	愷	愧	懽	或	柄	捷	摠	搦	擎	教	眊	昕
fad0	昂	昉	昉	昉	昉	睨	哈	唆	晴	皙	瞞	瞞	障	瞞	曹	聆
fae0	朗	杓	榘	棗	被	柳	桃	得	樽	楨	榨	渠	槽	樁		霖
faf0	櫟	櫟	櫟	櫟	瑟	汜	汜	沆	沆	泚	洞	涇	涇			

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	a	b	c	d	e	f
fb40	泣	滓	淚	清	淚	森	洵	湜	涕	漢	澗	澈	漸	瀋	澄	瀆
fb50	瀨	炅	炫	熙	焜	煥	輝	灝	燁	燾	玃	玃	玃	玃	玃	玃
fb60	珣	珥	珙	珙	珙	琇	琇	琇	琇	琇	琇	琇	琇	琇	琇	琇
fb70	皂	皛	皛	皛	皛	皛	皛	皛	皛	皛	皛	皛	皛	皛	皛	皛
fb80	祥	禔	福	禔	皛	皛	皛	皛	皛	皛	皛	皛	皛	皛	皛	皛
fb90	罇	羨	羽	茁	芋	茂	菇	萃	菓	蒴	蕙	蕙	蕙	蕙	蕙	蕙
fba0	牲	螞	喪	詡	詡	詡	詡	詡	詡	詡	詡	詡	詡	詡	詡	詡
bbb0	赶	赶	軋	返	逸	遼	郎	都	鄉	鄧	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞
bbc0	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞
bbd0	銷	鋁	鋁	鋁	鋁	鋁	鋁	鋁	鋁	鋁	鋁	鋁	鋁	鋁	鋁	鋁
bbe0	鋁	鋁	鋁	鋁	鋁	鋁	鋁	鋁	鋁	鋁	鋁	鋁	鋁	鋁	鋁	鋁
bbf0	鋁	鋁	青	青	青	青	青	青	青	青	青	青	青	青	青	青

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	a	b	c	d	e	f
fc40	鰐	鰐	鰐	鰐	鰐	鰐	鰐	鰐	鰐	鰐	鰐	鰐	鰐	鰐	鰐	鰐
fc50																
fc60																
fc70																
fc80																
fc90																
fca0																
fcb0																
fcc0																
ecd0																
fce0																
fcf0																

## 付表:非漢字部分縦書き用

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	a	b	c	d	e	f
8140		’	°	’	°	’	°	’	°	’	°	’	°	’	°	’
8150	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8160	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8170	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8180	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8190	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
81a0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
81b0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
81c0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
81d0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
81e0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
81f0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	a	b	c	d	e	f
8240																0
8250	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
8260	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z						
8270	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	
8280	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z					
8290	あ	い	う	え	お	か	き	く	け							
82a0	こ	さ	し	す	せ	そ	ぞ	だ	ぢ							
82b0	ち	つ	づ	て	で	と	ど	な	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ		
82c0	び	び	ぶ	ぶ	ぶ	へ	べ	べ	ぼ	ぼ	ま	み	む	め		
82d0	ひ	び	ぶ	ぶ	ぶ	へ	べ	べ	ぼ	ぼ	ま	み	む	め		
82e0	ち	ち	ち	ち	ち	ち	ち	ち	ち	ち	ち	ち	ち	ち	ち	ち
82f0	を	ん														

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	a	b	c	d	e	f
8340	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	タ
8350	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ					
8360	パ	ピ	プ	ヘ	ベ	ホ	ボ	マ	メ							
8370	ム	ミ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ				
8380	ヅ	ヅ	ヅ	ヅ	ヅ	ヅ	ヅ	ヅ	ヅ	ヅ	ヅ	ヅ	ヅ	ヅ	ヅ	ヅ
8390	井	工	上	下	中	大	小	高	低	長	短	大	小	大	小	大
83a0	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
83b0	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	]	{	}	~	^	_
83c0	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
83d0	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω									
83e0																
83f0																

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	a	b	c	d	e	f
8440	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
8450	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	]	{	}	~	^
8460	Я															
8470	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n		
8480	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z				
8490	ю	я														
84a0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
84b0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
84c0																
84d0																
84e0																
84f0																

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	a	b	c	d	e	f
8640																
8650																
8660																
8670																
8680																
8690																
86a0																
86b0																
86c0																
86d0																
86e0																
86f0																

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	a	b	c	d	e	f
8740	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
8750	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	㉛	㉜
8760	㉝	㉞	㉟	㊱	㊲	㊳	㊴	㊵	㊶	㊷	㊸	㊹	㊺	㊻	㊼	㊽
8770	㊾	㊿	㎏	㎏	㎏	㎏	㎏	㎏	㎏	㎏	㎏	㎏	㎏	㎏	㎏	㎏
8780	㎏	㎏	㎏	㎏	㎏	㎏	㎏	㎏	㎏	㎏	㎏	㎏	㎏	㎏	㎏	㎏
8790	㎏	㎏	㎏	㎏	㎏	㎏	㎏	㎏	㎏	㎏	㎏	㎏	㎏	㎏	㎏	㎏
87a0	㎏	㎏	㎏	㎏	㎏	㎏	㎏	㎏	㎏	㎏	㎏	㎏	㎏	㎏	㎏	㎏
87b0																
87c0																
87d0																
87e0																
87f0																

# OCRキャラクタ・コード表

## OCR-AK

b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
b7	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	
b6	0	0	1	1	0	0	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	1	1		
b5	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	1		
b4	b3	b2	b1		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F			
0	0	0	0	0	0			0		P						-	9	ミ					
0	0	0	1	1				1	A	Q						-	7	チ	ム				
0	0	1	0	0				"	2	B	R					「	イ	ツ	メ				
0	0	1	1	1				3								」	ウ	7	エ				
0	1	0	0	0				4								「	エ	ト	7				
0	1	0	1	1				5	2	S	E	U				-	8	7	ム				
0	1	1	0	0				6															
0	1	1	1	1				7															
1	0	0	0	0				8															
1	0	0	1	1				9															
1	0	1	0	0				A	*	:	J	Z				x	コ	ハ	レ				
1	0	1	1	1				B	+	「	K					#	9	ヒ	ロ				
1	1	0	0	0				C	+	」	L	4				+	シ	7	7				
1	1	0	1	1				D	-	=	Π	4				ユ	λ	7	ン				
1	1	1	0	0				E	-	」	N					+	ヒ	メ	+				
1	1	1	1	1				F	/	7	0					ッ	ソ	マ	+				

\* OCR-AKのフォント番号は92です。

## OCR-BK

b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
b7	0	0	0	0	0	0	0																
b6	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
b5	0	0	1	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	1	1
b4	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	1
b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	0	0	0	0	0	0	0																
0	0	0	0	1	1	1	1																
0	0	1	0	1	1	0	0																
0	0	1	1	1	1	1	0																
0	1	0	0	0	0	0	0																
0	1	0	1	1	1	0	0																
0	1	1	0	0	0	0	0																
0	1	1	1	1	1	1	1																
1	0	0	0	0	0	0	0																
1	0	0	1	1	1	1	0																
1	0	1	0	0	0	0	1																
1	0	1	1	1	1	1	0																
1	1	0	0	0	0	0	0																
1	1	0	1	1	1	1	0																
1	1	1	0	0	0	0	1																
1	1	1	1	1	1	1	1																

\* OCR-BKのフォント番号は93です。

## OCR-K

				b9	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1
				b7	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	1	1	1	1
				b6	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1
				b5	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1
b4	b3	b2	b1		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	0	0	0	0				-	9	ミ										
0	0	0	1	1				-	7	フ	ル									
0	0	1	0	2				フ	イ	ツ	メ									
0	0	1	1	3				リ	ウ	7	ミ									
0	1	0	0	4				フ	エ	ト	ト									
0	1	0	1	5				-	イ	7	ル									
0	1	1	0	6				7	ル	コ	ヨ									
0	1	1	1	7				7	ト	ヌ	ウ									
1	0	0	0	8				イ	ク	メ	リ									
1	0	0	1	9				ウ	7	ノ	ル									
1	0	1	0	A				エ	コ	ハ	レ									
1	0	1	1	B				7	7	ヒ	ロ									
1	1	0	0	C				フ	シ	7	7									
1	1	0	1	D				エ	ヌ	ハ	ン									
1	1	1	0	E				メ	ヒ	ホ	ハ									
1	1	1	1	F				7	7	7	ホ									

\* OCR-Kのフォント番号は89です。

# 新/旧 JIS コード対応表

漢字コードには旧 JIS (1978 年版) と新 JIS (1983 年版) があります。本プリンタは工場出荷時には新 JIS コードに対応するように設定されていますが、プリスクライプ 2e FRPO K6 コマンドのパラメータを変更することによって (FRPO K6, 0; → FRPO K6, 1;)、旧 JIS コードにも対応させることができます。第 7 章「ファームウェア・パラメータ」参照。）

※表の見方：表中同じコードの文字で、左側 (78) が旧 JIS モードでの文字、右側 (83) が新 JIS モードでの文字です。

コード	78	83	コード	78	83	コード	78	83	コード	78	83	コード	78	83
3022	啞	啞	3032	芦	芦	3033	鰺	鰺	303B	飴	飴	306E	溢	溢
3071	茨	茨	3073	鰯	鰯	307C	淫	淫	312A	迂	迂	3133	嘘	嘘
3135	爵	爵	3139	厩	厩	313C	閏	閏	313D	噂	噂	3142	餌	餌
316B	焰	焰	3228	襖	襖	3229	鶯	鶯	322A	鷗	鷗	3260	迦	迦
3267	牙	牙	327A	恢	恢	327D	拐	拐	3322	晦	晦	3342	蠣	蛎
3349	攪	攪	3365	喝	喝	336B	葛	葛	3373	鞆	鞆	3376	竈	竈
337A	囁	囁	3442	澗	澗	3443	灌	灌	344D	翰	翰	3452	諫	諫
3465	翫	翫	352B	徽	徽	3540	祇	祇	3562	汲	汲	3568	笈	笈
3622	俠	俠	362A	卿	卿	3642	饗	饗	3646	堯	堯	364F	僅	僅
366D	軀	軀	3674	喰	喰	367B	櫛	櫛	367D	屑	屑	3724	靴	靴
3737	祁	祁	3745	慧	慧	374E	稽	稽	3752	繫	繫	3755	荊	荊
375B	頸	頸	3764	隙	隙	3771	倦	倦	3779	嫌	嫌	377E	捲	捲
377D	拳	拳	3834	鹼	鹼	3841	諺	諺	392B	巷	巷	3937	昂	昂
3942	溝	溝	395C	礪	礪	396D	麴	麴	3974	鵠	鵠	3979	飫	飫
3A53	采	采	3A67	榭	榭	3A74	柵	柵	3B27	薩	薩	3B2A	鯖	鯖
3B2C	鑄	鑄	3B39	珊	珊	3B41	餐	餐	3C38	叱	叱	3C48	屢	屢
3C49	藜	藜	3C57	遮	遮	3C5D	杓	杓	3C5E	灼	灼	3D2B	繡	繡
3D36	酋	酋	3D6C	曙	曙	3D6D	渚	渚	3D72	薯	薯	3D73	蒭	蒭
3E25	哨	哨	3E33	廠	廠	3E3F	梢	梢	3E55	蔣	蔣	3E5F	醬	醬
3E64	鞘	鞘	3F2A	蝕	蝕	3F59	靱	靱	3F60	逗	逗	3F69	翠	翠
4022	摺	摺	4042	逝	逝	4066	蟬	蟬	4071	撰	撰	4072	栓	栓
4079	煎	煎	407A	煽	煽	407C	穿	穿	407D	箭	箭	4127	詮	詮
4128	賤	賤	4139	噌	噌	414C	遡	遡	414F	創	創	415F	搔	搔
4169	瘦	瘦	4237	掄	掄	423D	遜	遜	424D	驪	驪	425C	腿	腿
4263	黛	黛	426F	啄	啄	4275	濯	濯	4276	琢	琢	427D	蛸	蛸
4327	巽	巽	4329	辿	辿	432A	棚	棚	432D	鱈	鱈	432E	樽	樽
433D	簞	簞	4370	註	註	4375	潞	潞	437C	凋	凋	443D	抄	抄
4448	槌	槌	444A	鎚	鎚	444D	塚	塚	444F	摑	摑	445B	壺	壺

コード	78	83	コード	78	83	コード	78	83	コード	78	83	コード	78	83
4522	鄭	鄭	4527	擢	擢	452E	溺	溺	4536	填	填	453F	顛	顛
4548	堵	堵	454B	屠	屠	4551	菟	菟	4552	賭	賭	4557	礪	礪
4564	塘	塘	456E	檣	檣	4573	濤	濤	4578	禱	禱	463E	錫	錫
4642	瀆	洸	4654	滯	滯	4655	噸	噸	465B	遁	遁	465C	頓	頓
4661	那	那	4666	謎	謎	4667	灘	灘	466A	檣	檣	4676	邇	迓
4729	襴	襴	472A	衤	衤	4739	囊	囊	4757	牌	牌	4767	這	這
4768	蠅	蠅	4769	秤	秤	476D	剝	剝	4824	箸	箸	482E	潑	澆
4830	醞	醞	4840	叛	叛	4854	挽	挽	4862	扉	扉	4875	樋	樋
4922	柶	柶	4923	稗	稗	492F	逼	逼	4930	檜	桧	4932	媛	媛
4935	謬	謬	4940	廟	廟	494E	頻	頻	4951	頻	頻	4A43	蔽	蔽
4A4D	瞽	瞽	4A53	篇	篇	4A5A	婉	婉	4A79	庖	庖	4B22	泡	泡
4B29	蓬	蓬	4B4B	頰	頰	4B6A	楨	楨	4B70	鯽	鯽	4B78	迄	迄
4B79	儘	俚	4C4D	麵	麵	4C59	儲	儲	4C5F	餅	餅	4C62	粿	粿
4C79	藪	藪	4C7A	鑢	鑢	4C7C	愈	愈	4C7E	癒	癒	4D32	猷	猷
4D50	熔	熔	4D54	耀	耀	4D5A	遙	遙	4D69	萊	萊	4E4B	遼	遼
4E7A	漣	漣	4E7B	煉	煉	4E7C	簾	簾	4F21	蓮	蓮	4F31	榔	榔
4F36	籠	籠	4F39	蠟	蠟	5056	俚	儘	5122	僂	僂	513D	兔	兔
5147	冉	冉	514B	晃	晃	514D	冤	冤	5330	吟	吟	533A	唢	唢
5350	嗤	嗤	535E	嘲	嘲	536B	噉	噉	536C	嚮	嚮	5444	棚	棚
5445	堙	堙	5464	壺	壺	546C	刂	刂	553D	媾	媾	5563	冤	冤
5578	尨	尨	5622	屏	屏	5672	幣	幣	567D	廐	廐	567E	廐	廐
5824	悅	悅	5928	扁	扁	5960	振	振	596C	搆	搆	5978	攪	攪
5A39	攢	攢	5A4d	斃	斃	5A7A	暨	暨	5B45	杓	杓	5B4A	枊	枊
5B58	桧	桧	5B6B	椰	椰	5B6D	檣	檣	5B74	桤	桤	5D61	氈	氈
5E39	濤	濤	5E50	湮	湮	5E75	灌	灌	5E76	滬	滬	5F73	燭	燭
6026	曇	曇	605F	玆	玆	6076	瑤	瑤	612B	甄	甄	6130	蓑	蓑
6131	褒	褒	622B	皓	皓	6268	砭	砭	626A	砺	礪	626F	礪	礪
634A	稱	稱	6354	穉	穉	6359	窗	窗	635E	竈	竈	6439	箴	箴
6440	籌	籌	6446	箴	箴	6464	𦏧	𦏧	646E	粳	糧	6539	緇	緇
653B	紫	紫	6546	緋	緋	6646	翔	翔	6649	翮	翮	6764	𦏧	𦏧
6769	芍	芍	6772	苒	苒	6834	莫	莫	684D	范	范	683B	苾	苾
6874	蔗	蔗	6922	苾	蓁	692E	藪	藪	693C	藜	藜	695A	蛎	蠣
697E	編	編	6A24	蠅	蠅	6A27	螂	螂	6A3C	蟬	蟬	6A3D	蟬	蟬
6A6F	編	編	6B32	靚	靚	6B5D	諫	諫	6B66	諠	諠	6B76	諱	諱
6C4D	賤	賤	6C69	跚	蹣	6C74	跟	跟	6D4E	輓	輓	6D6C	迪	迪
6D6E	迓	邇	6E29	遑	遑	6E3D	扈	扈	6E57	覺	覺	6F65	閭	閭
7033	睢	睢	7045	雷	雷	7051	靠	靠	7057	鞣	鞣	7074	頸	頸
7075	頤	頤	7159	騙	騙	722D	圖	圖	723C	鈐	鈐	724D	鈐	鈐
724E	鰓	鰓	7274	鶯	鶯	7351	麪	麪	7352	麪	麪	737D	龜	龜



## PCL-Jコード表

- この表では非漢字部分は横書き文字を示しています。縦書き文字についてはD-40ページの付表をご参照ください。
- f000～f7ffコードには文字が定義されていないため、本表では省略しています。これらのコードを指定した場合は空白が出力されます。

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	
8000																																	
8020		!	"	#	\$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?	
8040	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	¥	]	^	_	
8060	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{		}	~	.	
8080																																	
80a0		。	「	」	、	・	ヲ	ア	イ	ウ	エ	オ	ヤ	ユ	ヨ	ツ	ー	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	
80c0	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ン	ゝ	°	
80e0																																	
8100																																	
8120																																	
8140		、	。	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	—		、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、		
8160	~			...	..	'	'	"	"	(	)	{	}	[	]	{	}	<	>	《	》	「	」	『	』	【	】	+	-	±	×		
8180	÷	=	≠	<	>	≤	≥	∞	∴	♂	♀	°	'	"	℃	¥	\$	¢	£	%	#	&	*	@	§	☆	★	○	●	◎	◇	◆	
81a0	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	=													∈	∋	⊆	⊇	⊂	⊃	⊄	
81c0									∧	∨	¬	⇒	⇔	∇	∃												∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	
81e0	≡	≪	≫	√	∞	∞	∴	∫	∫								Å	%	#	b	♪	†	‡	¶									
8200																																	
8220																																	
8240																0	1	2	3	4	5	6	7	8	9								
8260	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z							
8280		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z						あ
82a0	あ	い	う	う	え	え	お	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た	だ	ち		
82c0	ち	っ	つ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	び	ひ	び	び	ふ	ぶ	ぶ	へ	べ	べ	ほ	ぼ	ぼ	ま	み	む	め	
82e0	も	や	や	ゆ	ゆ	よ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	わ	ゐ	ゑ	を	ん															
8300																																	
8320																																	
8340	ア	アイ	イ	ウ	ウ	エ	エ	オ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ	ダ		
8360	チ	ヂ	ツ	ツ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ	ヒ	ビ	フ	ブ	ブ	ヘ	ベ	ベ	ホ	ボ	ボ	マ	ミ				
8380	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ユ	ヨ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ワ	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	カ	ケ										A	
83a0	B	Γ	Δ	E	Z	H	Θ	I	K	Λ	M	N	Ξ	O	Π	P	Σ	T	T	Φ	X	Ψ	Ω									α	
83c0	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω										
83e0																																	

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
8400																																
8420																																
8440	А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э	Ю
8460	Я																а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н	
8480	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э	ю	я														
84a0		┐	└	┌	└	┐	┌	┐	└	└	┐	┐	└	└	┐	┐	┐	┐	└	└	┐	┐	└	└	┐	┐	└	└	┐	┐	└	
84c0																																
84e0																																
8500																																
8520																																
8540																																
8560																																
8580																																
85a0																																
85c0																																
85e0																																
8600																																
8620																																
8640																																
8660																																
8680																																
86a0																																
86c0																																
86e0																																
8700																																
8720																																
8740	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X	ミ	
8760	キロ	センチ	メートル	グラム	トン	アル	タール	ポンド	ワット	デシ	ドル	セント	分	秒	ミリ	センチ	mm	cm	km	mg	kg	cc	m²								平方	
8780	”	”	No.	K.K.	TEL	上	中	下	左	右	株	有	代	理	人	和	≡	≡	∫	∫	Σ	√	⊥	∠	∠	∠	∠	∠	∠	∠	∠	
87a0																																
87c0																																
87e0																																

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
8800																																
8820																																
8840																																
8860																																
8880																															亜	
88a0	唾	娃	阿	哀	愛	挨	始	逢	葵	茜	穉	惡	握	渥	旭	葦	鯨	梓	庄	幹	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾	鮎	或	粟	裕	
88c0	安	庵	按	暗	案	聞	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	困	夷	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃	菱	衣	
88e0	謂	違	遣	医	井	亥	域	育	郁	磯	一	忝	溢	逸	稻	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭			
8900																																
8920																																
8940	院	陰	隱	韻	吋	右	宇	烏	羽	迂	雨	卯	鵲	窺	丑	確	白	渦	噓	唄	鬱	蔚	鰻	姥	既	浦	瓜	閨	噂	云	運	
8960	荏	餌	叡	營	嬰	影	映	曳	榮	永	泳	洩	瑛	盈	穎	穎	英	衛	詠	銳	液	疫	益	馱	悅	謁	越	閨	榷	厭	運	
8980	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	治	演	炎	焰	瑛	燕	猿	緣	艷	苑	菌	遠	鉛	鴛	益	馱	悅	謁	越	閨	榷	厭	運	
89a0	旺	橫	歐	殿	王	翁	襖	鴛	鳴	岡	沖	架	歌	億	屋	憶	臆	桶	牡	乙	俺	卸	恩	溫	汚	謁	越	閨	榷	厭	運	
89c0	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	果	架	歌	億	屋	憶	臆	桶	牡	乙	俺	卸	恩	溫	汚	謁	越	閨	榷	厭	運	
89e0	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕	火	珂	解	回	塊	壤	廻	快	怪	悔	恢	懷	戒	拐	改			
8a00																																
8a20																																
8a40	魁	晦	械	海	灰	界	皆	繪	芥	蟹	開	階	貝	凱	効	外	咳	害	崖	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	湮	馨	蛙	
8a60	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓	括	攪	格	核	殼	獲	確	穫	覺	角	赫	較	郭	闊	隔	革	學	岳	該	額	骸	湮	馨	蛙	
8a80	檀	梔	鉤	渴	割	喝	恰	括	活	渴	滑	葛	褐	轄	且	鯨	叶	赫	較	郭	闊	隔	革	學	岳	該	額	骸	湮	馨	蛙	
8aa0	刈	苧	鉤	乾	侃	冠	寒	刊	勘	渴	滑	葛	褐	轄	且	鯨	叶	赫	較	郭	闊	隔	革	學	岳	該	額	骸	湮	馨	蛙	
8ac0	潤	淮	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勘	渴	滑	葛	褐	轄	且	鯨	叶	赫	較	郭	闊	隔	革	學	岳	該	額	骸	湮	馨	蛙	
8ae0	癌	眼	岩	乾	侃	冠	寒	刊	勘	渴	滑	葛	褐	轄	且	鯨	叶	赫	較	郭	闊	隔	革	學	岳	該	額	骸	湮	馨	蛙	
8b00																																
8b20																																
8b40	機	婦	毅	氣	汽	畿	祈	季	稀	紀	微	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎	鬼	龜	偽	儀	妓	宜	戲	技	擬	欺	犧	祇	
8b60	義	蟻	誼	議	掬	鞠	鞠	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却	客	脚	虐	逆	丘	久	休	戲	技	擬	欺	犧	祇		
8b80	朽	求	汲	泣	灸	鞠	究	窮	笈	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却	客	脚	虐	逆	丘	久	休	戲	技	擬	欺	犧	祇		
8ba0	俠	僑	兇	競	共	凶	協	巨	卿	級	糾	給	旧	牛	去	居	巨	拒	拋	拳	渠	虛	許	休	戲	技	擬	欺	犧	祇		
8bc0	饗	驚	仰	凝	堯	曉	業	局	曲	叫	喬	境	峽	強	彊	怯	恐	恭	挾	教	欣	況	狂	休	戲	技	擬	欺	犧	祇		
8be0	金	吟	銀	九	俱	句	区	狗	玖	矩	苦	軀	驅	駟	具	愚	愚	喰	喰	欣	況	狂	休	戲	技	擬	欺	犧	祇			

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
8c00																																
8c20																																
8c40	掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	衆	栗	繰	桑	歛	敷	君	薫	訓	群	軍	郡	卦	袈	邪	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型	
8c60	形	徑	惠	慶	慧	憩	揭	携	敬	景	桂	溪	畦	稽	系	經	繼	繁	野	荖	荊	蚩	計	詣	警	輕	頸	鷄	芸	迎	鯨	
8c80	劇	戟	擊	激	隙	析	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件	儉	倦	健	兼	券	劍	喧	圈	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲	
8ca0	權	牽	犬	獻	研	硯	絹	果	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	險	頭	驗	餒	元	原	幻	誇	弦	減	源	玄	現	絃	言	午	
8cc0	限	乎	個	古	呼	固	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐	糊	袴	候	胡	菰	虎	誇	跨	鉗	雇	顧	鼓	互			
8ce0	吳	吾	娛	後	御	悟	梧	櫓	瑚	碁	語	誤	護	餉	乞	鯉	交	佼	侯	候	倅	光	公	功	効	勾	厚	口	向			
8d00																																
8d20																																
8d40	后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	庠	庚	康	弘	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	浩	
8d60	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	醇	鈇	硃	鋼	閤	此	
8d80	項	香	高	鴻	剛	劫	号	合	拷	拷	濠	豪	考	趨	肱	刻	告	航	穀	酷	鵠	黑	貢	購	郊	醇	鈇	硃	鋼	閤	此	
8da0	頃	今	困	坤	壘	婚	恨	懇	昏	昆	根	混	混	痕	紺	良	魂	國	佐	叉	又	鵠	左	差	腰	甌	忽	砂	詐	鎖	罪	
8dc0	座	挫	債	催	再	最	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	裁	昨	濟	災	些	犀	碎	碎	策	索	錯	錯	錯	錯	錯	錯	錯	錯	
8de0	財	冴	坂	阪	堺	榊	肴	咲	崎	埼	鷺	作	削	搾	搾	昨	朔	柵	窄	窄	策	索	錯	錯	錯	錯	錯	錯	錯	錯	錯	
8e00																																
8e20																																
8e40	察	撝	撮	擦	札	殺	薩	雜	阜	鯖	捌	錯	鮫	皿	晒	三	傘	參	山	慘	撒	散	棧	燦	珊	產	算	纂	蠶	讚	贊	
8e60	餐	斬	暫	殘	仕	仔	伺	使	刺	司	史	嗣	鮫	皿	晒	三	傘	參	山	慘	撒	散	棧	燦	珊	產	算	纂	蠶	讚	贊	
8e80	死	氏	獅	祉	私	糸	紙	紫	肢	脂	至	視	鮫	皿	晒	三	傘	參	山	慘	撒	散	棧	燦	珊	產	算	纂	蠶	讚	贊	
8ea0	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	時	辭	鮫	皿	晒	三	傘	參	山	慘	撒	散	棧	燦	珊	產	算	纂	蠶	讚	贊	
8ec0	実	蔀	篠	篠	柴	芝	屢	蕊	綿	舍	寫	射	珠	種	腫	趣	酒	儒	者	謝	車	呪	授	樹	需	尺	収	周				
8ee0	錫	若	寂	弱	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種	腫	趣	酒	儒	者	謝	車	呪	授	樹	需	尺	収	周				
8f00																																
8f20																																
8f40	宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繡	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴	輯	遇	酋	酬	集	醜	什	住	充	十	戎	柔	
8f60	汁	洩	獸	縱	重	銃	叔	鳳	宿	淑	祝	縮	肅	塾	熟	衆	襲	讐	蹴	輯	遇	酋	酬	集	醜	什	住	充	十	戎	柔	
8f80	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処	初	祝	縮	肅	塾	熟	衆	襲	讐	蹴	輯	遇	酋	酬	集	醜	什	住	充	十	戎	柔	
8fa0	匠	升	召	純	巡	遵	醇	順	処	初	祝	縮	肅	塾	熟	衆	襲	讐	蹴	輯	遇	酋	酬	集	醜	什	住	充	十	戎	柔	
8fc0	沼	消	涉	湘	燒	焦	照	症	省	硝	礁	祥	稱	章	常	衆	襲	讐	蹴	輯	遇	酋	酬	集	醜	什	住	充	十	戎	柔	
8fe0	鐘	障	鞘	上	丈	丞	乘	冗	刺	城	場	壤	娘	常	情	擾	擾	擾	擾	擾	擾	擾	擾	擾	擾	擾	擾	擾	擾	擾	擾	

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
9000																																
9020																																
9040	拭	植	殖	燭	織	職	色	舐	食	舐	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寢	審	心	慎	振	新	晉	森	榛	浸	深	申	疹	真	神
9060	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬	尋	甚	嵩	腎	訊	迅	陣	鞠	筭	誼	須	酢	凶	厨	
9080	逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粹	翠	衰	遂	醉	錐	錘	隨	壬	髓	崇	正	數	枢	趨	難	据	杉	楣	菅	雀	裾	登	
90a0	摺	寸	世	瀨	畝	是	凄	制	勢	姓	征	性	成	政	整	星	瑞	棲	栖	責	清	牲	生	盛	精	聖	相	頗	雀	裾	登	
90c0	逝	醒	青	靜	齊	稅	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積	晴	績	脊	賁	赤	跡	蹟	切	拙	聲	西	誠	誓	節		
90e0	說	雪	絕	舌	蟬	仙	先	千	占	宣	專	尖	川	戰	扇	撰	栓	梅	泉	淺	洗	染	潛	煎	旋	穿	線					
9100																																
9120																																
9140	纖	羨	腺	舛	船	薦	詮	賤	踐	選	遷	銑	閃	鮮	前	善	漸	然	全	禪	繕	膳	糲	贈	塑	咀	措	曾	楚	狙		
9160	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	組	蘇	訴	阻	遡	僧	創	雙	叢	倉	喪	壯	奏	爽	宋	層	匣	惣	想	搜	曾	楚	狙		
9180	操	早	曹	巢	槍	槽	漕	燥	爭	瘦	相	窓	僧	綜	聰	草	莊	葬	蒼	藻	裝	走	送	尊	鎗	霜	搜	掃	搔	藏		
91a0	藏	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	俗	綜	聰	族	統	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	像	增	憎	藏		
91c0	訖	唾	墮	妥	情	打	舵	舵	題	陀	駄	驛	堆	耐	宅	帛	待	怠	態	戴	替	替	泰	滯	胎	腿	他	多	汰	逮		
91e0	隊	黛	鯛	代	台	大	第	醍	題	鷹	淹	卓	啄	宅	托	托	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	諾	茸	蛸	只					
9200																																
9220																																
9240	叩	但	達	辰	奪	脫	巽	豎	迎	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	卑	嘆	坦	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	綻	耽		
9260	蛋	誕	鍛	団	壇	彈	斷	暖	檀	段	男	談	値	知	地	弛	恥	智	池	担	稚	置	歎	涎	遲	築	畜	筆	綻	耽		
9280	逐	秩	窒	茶	嫡	着	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷	卑	耐	鑄	痴	樗	猪	致	蚰	貯	築	畜	筆	綻	耽		
92a0	帳	庁	弔	張	彫	徵	懲	挑	暢	朝	潮	牒	町	眺	聰	脹	卑	蝶	駐	痂	樗	超	致	芋	貯	築	畜	筆	綻	耽		
92c0	賃	鎮	弔	陳	壁	椎	槌	追	鎚	痛	通	塚	拇	掴	悌	抵	提	柘	調	痂	樗	超	致	芋	貯	築	畜	筆	綻	耽		
92e0	亨	低	停	偵	剗	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟	悌	抵	提	柘	調	痂	樗	超	致	芋	貯	築	畜	筆	綻	耽		
9300																																
9320																																
9340	邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴	的	笛	適	鎬	溺	哲	徹	撤	轍	迭	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	顛	點	
9360	伝	殿	澱	田	電	鬼	吐	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟	賭	途	都	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	顛	點	
9380	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	堵	嶋	悼	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟	賭	途	都	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	顛	點	
93a0	蕩	藤	討	膳	豆	踏	逃	透	鐙	陶	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟	賭	途	都	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	顛	點	
93c0	澆	特	督	禿	篤	毒	獨	読	栃	橡	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟	賭	途	都	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	顛	點	
93e0	内	乍	風	薙	謎	灘	捺	鍋	檜	馴	緇	暎	楠	軟	難	汝	汝	二	尼	式	迹	甸	賑	肉	虹	甘	日	乳	入	奈	那	

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
9400																																
9420																																
9440	如	尿	韭	任	妊	忍	認	濡	襦	祢	寧	葱	貓	熱	年	念	捻	燃	燃	粘	乃	酒	之	埜	囊	惱	濃	納	能	腦	農	
9460	視	蚤	巴	把	播	霸	杷	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	庖	拌	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	倍	培	梅	函	
9480	煤	煤	狼	買	壳	賠	陪	這	蠅	秤	矧	荻	伯	剥	博	拍	柏	泊	箔	粕	盃	薄	迫	曝	漠	爆	縛	縛	駁	帆		
94a0	箱	砒	箸	肇	筭	爐	肌	肌	烟	阜	八	鉢	洗	兇	醜	髮	伐	罰	挽	閥	鳩	嘶	塙	蛤	隼	伴	判	莫	反	悲		
94c0	搬	斑	板	汜	汎	版	班	班	畔	繁	般	藩	販	範	采	煩	煩	飯	挽	番	盤	磬	磬	蚤	匪	卑	否	妃	彼			
94e0	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被	誹	費	避	非	飛	樋	簍	尾	微	枇	毘	毘	眉	美				
9500																																
9520																																
9540	鼻	終	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱	肘	弼	必	畢	筆	逼	松	姪	媛	紐	百	謬	依	彪	標	水	漂	瓢	票	表	評	廟	
9560	描	病	秒	苗	鎚	蒜	蛭	誼	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	實	頻	敏	瓶	不	付	埠	夫	婦	富	富	布	府	扶	敷		
9580	斧	普	浮	父	符	膚	芙	譜	鰭	負	賦	赴	阜	附	侮	撫	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	荳	露	伏	復	幅	福		
95a0	腹	複	覆	淵	弗	沸	仏	物	碧	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮	粉	糞	紛	雰	文	閒	丙	併	兵	幣	弊	柄		
95c0	並	蔽	閉	陸	米	辟	壁	癖	碧	別	母	瞥	蔑	篋	偏	變	片	篇	編	邊	返	遍	便	勉	挽	弁	鞭	保	鋪	圃		
95e0	步	甫	補	輔	穗	募	慕	戊	暮	暮		簿	菩	倣	俸	包	呆	報	奉	寶	峰	峯	崩	庖	抱	放	方	朋				
9600																																
9620																																
9640	法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	褒	訪	豐	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	望	某	
9660	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	銓	防	吠	頰	北	僕	卜	墨	撲	朴	牧	睦	穆	釧	勃	沒	殆	堀	幌	忙	本	凡	盆	棒	
9680	摩	磨	魔	麻	埋	妹	昧	枚	每	哩	頰	幕	膜	枕	鮪	枉	鮪	樹	亦	又	抹	末	沒	沫	迄	倨	奔	麿	慢	漫		
96a0	蔓	味	未	魅	已	箕	岬	密	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	耗	民	眠	務	夢	牟	霧	霧	驚	嬌	爾	萬	名	命	盟	戾		
96c0	迷	銘	鳴	姪	牝	滅	免	綿	緬	緬	面	麵	摸	模	茂	妄	孟	毛	猛	盲	網	耗	耗	儲	木	默	目	愈	餅	尤		
96e0	糲	賁	問	悶	紋	門	匆	也	冶	夜	爺	耶	野	弥	矢	厄	役	約	葉	識	躍	靖	柳	藪	鏹	愉	愈	油	癒			
9700																																
9720																																
9740	論	輪	唯	佑	優	勇	宥	幽	悠	憂	揖	有	柚	湧	湧	猶	猷	由	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	予	余	与	譽	
9760	輿	預	傭	幼	妖	庸	揚	搖	擁	曜	楊	樣	洋	溶	溶	用	猷	羊	耀	葉	蓉	要	謠	踊	遙	陽	養	慾	抑	瘠		
9780	沃	浴	翌	翼	淀	螺	裸	來	萊	賴	雷	洛	絡	落	落	亂	窳	嵐	欄	濫	藍	蘭	覽	利	履	李	黎	理	寮	料		
97a0	裏	裡	里	離	陸	率	立	葦	掠	賴	劉	流	溜	疏	疏	粒	粒	淋	龍	濫	藍	慮	旅	虜	了	僚	兩	凌	令			
97c0	梁	涼	獵	療	瞭	稜	良	諒	遼	量	陵	領	力	綠	綠	厘	列	淋	麟	琳	臨	臨	麟	麟	煉	璵	累	聯				
97e0	伶	冷	冷	勵	嶺	玲	禮	苓	鈴	隸	零	靈	麗	齡	曆	歷	列	劣	烈	裂	廉	戀	憐	憐	漣	煉	練	聯				

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
9800																																
9820																																
9840	蓮	連	鍊	呂	魯	櫓	妒	賂	路	露	勞	婁	廊	弄	朗	樓	榔	浪	漏	牢	狼	籠	老	聾	蟬	郎	六	麓	祿	肋	錄	論
9860	倭	和	話	歪	賄	脇	惑	梓	鷺	互	亘	鰐	訛	藁	蕨	梳	灣	碗	腕													
9880																																
98a0	丐	丕	个	卅	丂	井	丿	乂	乖	乘	亂	丿	豫	事	舒	式	于	亞	亟	一	亢	京	毫	亶	从	仍	仄	仆	仂	仗	仞	
98c0	仞	价	伉	佚	估	佛	伺	佗	佇	佖	俾	侏	佗	佻	佩	佰	侑	佯	來	侑	僉	俦	倝	倝	倝	倝	倝	倝	倝	倝	倝	
98e0	倝	倝	倝	倝	倝	倝	倝	倝	倝	倝	倝	倝	倝	倝	倝	倝	倝	倝	倝	倝	倝	倝	倝	倝	倝	倝	倝	倝	倝	倝	倝	
9900																																
9920																																
9940	僉	僉	傳	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	儕	儕	儕	儕	儕	儕	儕	儕	儕	儕	儕	儕	儕	儕	儕	
9960	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	儕	儕	儕	儕	儕	儕	儕	儕	儕	儕	儕	儕	儕	儕	儕	
9980	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	儕	儕	儕	儕	儕	儕	儕	儕	儕	儕	儕	儕	儕	儕	儕	
99a0	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	儕	儕	儕	儕	儕	儕	儕	儕	儕	儕	儕	儕	儕	儕	儕	
99c0	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	儕	儕	儕	儕	儕	儕	儕	儕	儕	儕	儕	儕	儕	儕	儕	
99e0	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	儕	儕	儕	儕	儕	儕	儕	儕	儕	儕	儕	儕	儕	儕	儕	
9a00																																
9a20																																
9a40	咫	哂	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	
9a60	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	
9a80	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	
9aa0	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	
9ac0	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	
9ae0	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	
9b00																																
9b20																																
9b40	奸	妁	妝	倭	倭	妣	姐	姆	姨	姜	妍	姪	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娉	姪	姪	姪	姪	姪	姪	姪	姪	姪	姪	媽	媽	
9b60	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	
9b80	它	它	它	它	它	它	它	它	它	它	它	它	它	它	它	它	它	它	它	它	它	它	它	它	它	它	它	它	它	它	它	
9ba0	屏	屏	屏	屏	屏	屏	屏	屏	屏	屏	屏	屏	屏	屏	屏	屏	屏	屏	屏	屏	屏	屏	屏	屏	屏	屏	屏	屏	屏	屏	屏	
9bc0	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	
9be0	厄	厄	厄	厄	厄	厄	厄	厄	厄	厄	厄	厄	厄	厄	厄	厄	厄	厄	厄	厄	厄	厄	厄	厄	厄	厄	厄	厄	厄	厄	厄	



	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
9c00																																
9c20																																
9c40	廖	廣	廝	廚	塵	廢	廡	廨	廩	廬	廪	廴	廽	廼	廾	廿	弃	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	
9c60	象	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	
9c80	怙	恂	恂	恂	恂	恂	恂	恂	恂	恂	恂	恂	恂	恂	恂	恂	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	
9ca0	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	
9cc0	愠	愠	愠	愠	愠	愠	愠	愠	愠	愠	愠	愠	愠	愠	愠	愠	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	
9ce0	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	
9d00																																
9d20																																
9d40	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	
9d60	拜	拜	拜	拜	拜	拜	拜	拜	拜	拜	拜	拜	拜	拜	拜	拜	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛
9d80	振	振	振	振	振	振	振	振	振	振	振	振	振	振	振	振	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛
9da0	擒	擒	擒	擒	擒	擒	擒	擒	擒	擒	擒	擒	擒	擒	擒	擒	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛
9dc0	攷	攷	攷	攷	攷	攷	攷	攷	攷	攷	攷	攷	攷	攷	攷	攷	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛
9de0	杏	杏	杏	杏	杏	杏	杏	杏	杏	杏	杏	杏	杏	杏	杏	杏	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛
9e00																																
9e20																																
9e40	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄
9e60	杼	杼	杼	杼	杼	杼	杼	杼	杼	杼	杼	杼	杼	杼	杼	杼	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄
9e80	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄
9ea0	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄
9ec0	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄
9ee0	樅	樅	樅	樅	樅	樅	樅	樅	樅	樅	樅	樅	樅	樅	樅	樅	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄
9f00																																
9f20																																
9f40	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩
9f60	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩
9f80	磨	磨	磨	磨	磨	磨	磨	磨	磨	磨	磨	磨	磨	磨	磨	磨	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩
9fa0	泛	泛	泛	泛	泛	泛	泛	泛	泛	泛	泛	泛	泛	泛	泛	泛	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩
9fc0	涪	涪	涪	涪	涪	涪	涪	涪	涪	涪	涪	涪	涪	涪	涪	涪	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩
9fe0	游	游	游	游	游	游	游	游	游	游	游	游	游	游	游	游	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩

**D-34**

[illegible]

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
e800																																
e820																																
e840	鎚	錢	錚	鋳	鋳	鋳	鋳	鋳	鋳	鋳	鋳	鋳	鋳	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	
e860	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	
e880	閼	閼	閼	閼	閼	閼	閼	閼	閼	閼	閼	閼	閼	閼	閼	閼	閼	閼	閼	閼	閼	閼	閼	閼	閼	閼	閼	閼	閼	閼	閼	
e8a0	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	
e8c0	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	
e8e0	褐	褐	褐	褐	褐	褐	褐	褐	褐	褐	褐	褐	褐	褐	褐	褐	褐	褐	褐	褐	褐	褐	褐	褐	褐	褐	褐	褐	褐	褐	褐	
e900																																
e920																																
e940	顚	顚	顚	顚	顚	顚	顚	顚	顚	顚	顚	顚	顚	顚	顚	顚	顚	顚	顚	顚	顚	顚	顚	顚	顚	顚	顚	顚	顚	顚	顚	
e960	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	
e980	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	
e9a0	鬆	鬆	鬆	鬆	鬆	鬆	鬆	鬆	鬆	鬆	鬆	鬆	鬆	鬆	鬆	鬆	鬆	鬆	鬆	鬆	鬆	鬆	鬆	鬆	鬆	鬆	鬆	鬆	鬆	鬆	鬆	
e9c0	鯊	鯊	鯊	鯊	鯊	鯊	鯊	鯊	鯊	鯊	鯊	鯊	鯊	鯊	鯊	鯊	鯊	鯊	鯊	鯊	鯊	鯊	鯊	鯊	鯊	鯊	鯊	鯊	鯊	鯊	鯊	
e9e0	鰲	鰲	鰲	鰲	鰲	鰲	鰲	鰲	鰲	鰲	鰲	鰲	鰲	鰲	鰲	鰲	鰲	鰲	鰲	鰲	鰲	鰲	鰲	鰲	鰲	鰲	鰲	鰲	鰲	鰲		
ea00																																
ea20																																
ea40	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠		
ea60	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠		
ea80	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠		
ea00	檣	檣	檣	檣	檣	檣	檣	檣	檣	檣	檣	檣	檣	檣	檣	檣	檣	檣	檣	檣	檣	檣	檣	檣	檣	檣	檣	檣	檣	檣	檣	
eac0																																
eae0																																
eb00																																
eb20																																
eb40																																
eb60																																
eb80																																
eba0																																
ebc0																																
ebe0																																

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
ec00																																
ec20																																
ec40																																
ec60																																
ec80																																
eca0																																
ecc0																																
ece0																																
ed00																																
ed20																																
ed40	續	襲	鎡	銑	葩	倍	妬	昱	精	銀	昇	彌	亅	乞	任	公	仔	但	必	佞	仇	侔	佞	佞	佞	佞	佞	佞	儼	儼	儼	
ed60	僞	僞	僞	僞	僞	僞	僞	僞	僞	僞	僞	僞	僞	僞	僞	僞	僞	僞	僞	僞	僞	僞	僞	僞	僞	僞	僞	僞	僞	僞	僞	
ed80	塚	增	壙	爰	參	洽	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	舛	
eda0	恕	悅	慙	愀	惕	愀	愀	愀	愀	愀	愀	愀	愀	愀	愀	愀	愀	愀	愀	愀	愀	愀	愀	愀	愀	愀	愀	愀	愀	愀	愀	
edc0	暄	嘻	曹	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	
ede0	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	
ee00																																
ee20																																
ee40	狻	狻	狻	狻	狻	狻	狻	狻	狻	狻	狻	狻	狻	狻	狻	狻	狻	狻	狻	狻	狻	狻	狻	狻	狻	狻	狻	狻	狻	狻	狻	
ee60	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	
ee80	董	藹	藹	藹	藹	藹	藹	藹	藹	藹	藹	藹	藹	藹	藹	藹	藹	藹	藹	藹	藹	藹	藹	藹	藹	藹	藹	藹	藹	藹	藹	
eea0	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵
eec0	鎬	鎬	鎬	鎬	鎬	鎬	鎬	鎬	鎬	鎬	鎬	鎬	鎬	鎬	鎬	鎬	鎬	鎬	鎬	鎬	鎬	鎬	鎬	鎬	鎬	鎬	鎬	鎬	鎬	鎬	鎬	鎬
eee0	高	高	高	高	高	高	高	高	高	高	高	高	高	高	高	高	高	高	高	高	高	高	高	高	高	高	高	高	高	高	高	高
ef00																																
ef20																																
ef40																																
ef60																																
ef80																																
efa0																																
efc0																																
efe0																																

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
f800																																
f820																																
f840																																
f860																																
f880																																
f8a0																																
f8c0																																
f8e0																																
f900																																
f920																																
f940																																
f960																																
f980																																
f9a0																																
f9c0																																
f9e0																																
fa00																																
fa20																																
fa40	i	ii	iii	iv	v	vi	vii	viii	ix	x	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X	「	丨	丿	乚	ㄣ	ㄤ	ㄥ	ㄨ	ㄩ	ㄣ	ㄤ	
fa60	葩	倍	炆	昱	精	銀	昇	彌	！	乞	任	公	仔	但	必	佞	仇	佻	侔	侔	俚	僕	僕	倜	倜	倜	倜	倜	倜	倜	倜	
fa80	癩	宜	冶	風	劦	九	劦	劦	劦	劦	劦	劦	劦	劦	劦	劦	劦	劦	劦	劦	劦	劦	劦	劦	劦	劦	劦	劦	劦	劦	劦	
faa0	參	尙	尙	尙	尙	尙	尙	尙	尙	尙	尙	尙	尙	尙	尙	尙	尙	尙	尙	尙	尙	尙	尙	尙	尙	尙	尙	尙	尙	尙	尙	
fac0	惕	愠	惛	惛	惛	惛	惛	惛	惛	惛	惛	惛	惛	惛	惛	惛	惛	惛	惛	惛	惛	惛	惛	惛	惛	惛	惛	惛	惛	惛	惛	
fae0	朗	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	
fb00																																
fb20																																
fb40	泣	滓	淙	清	流	森	洵	湜	湜	湜	湜	湜	湜	湜	湜	湜	湜	湜	湜	湜	湜	湜	湜	湜	湜	湜	湜	湜	湜	湜	湜	
fb60	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	
fb80	祥	禔	福	禔	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	
fba0	牲	螭	裴	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	
fbc0	鈔	鈔	鈔	鈔	鈔	鈔	鈔	鈔	鈔	鈔	鈔	鈔	鈔	鈔	鈔	鈔	鈔	鈔	鈔	鈔	鈔	鈔	鈔	鈔	鈔	鈔	鈔	鈔	鈔	鈔	鈔	
fbe0	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸	

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
fc00																																
fc20																																
fc40	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢																			
fc60																																
fc80																																
fca0																																
fcc0																																
fce0																																
fd00																																
fd20																																
fd40																																
fd60																																
fd80																																
fda0																																
fdc0																																
fde0																																
fe00																																
fe20																																
fe40																																
fe60																																
fe80																																
fea0																																
fec0																																
fee0																																
ff00																																
ff20																																
ff40																																
ff60																																
ff80																																
ffa0																																
ffc0																																
ffe0																																

## 付表：非漢字部分縦書き用

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	
8000																	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?	
8020		!	"	#	\$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	¥	]	^	_	
8040	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	¥	]	^	_	
8060	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{		}	~	.	
8080																																	
80a0		。	「	」	、	・	ヲ	ァ	ィ	ゥ	ヱ	ォ	ャ	ュ	ョ	ッ	ー	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	
80c0	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ン	ゝ	°	
80e0																																	
8100																																	
8120																																	
8140		´	°	´	´	´	´	´	´	´	´	´	´	´	´	´	—	—	ノ	ヅ	ス	ス	≡	全	々	々	〇	—	—	—	／	／	
8160	ゝ	≡	—	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	{	<	>	《	》	「	」	『	』	【	】	+	—	—	—	／	
8180	÷	≡	≡	∇	∇	∇	∇	∇	∇	∇	∇	∇	∇	∇	∇	∇	\$	¢	£	¥	¢	¢	¢	¢	¢	¢	¢	¢	¢	¢	¢	¢	
81a0	□	■	△	▲	▽	▶	※	〒	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	
81c0																																	
81e0	≡	≡	≡	√	8	8	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	Å	‰	#	b	♪	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	
8200																																	
8220																																	
8240																	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9							
8260	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z							
8280		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z						あ
82a0	あ	い	い	う	う	え	え	お	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ	こ	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た	だ	ち	
82c0	ぢ	つ	つ	づ	て	で	と	ど	り	に	ぬ	ね	の	は	ば	ば	ひ	び	び	ふ	ぶ	ぶ	へ	べ	べ	ほ	ぼ	ぼ	ま	み	む	め	
82e0	も	や	や	ゆ	ゆ	よ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	わ	ゐ	ゑ	を	ん															
8300																																	
8320																																	
8340	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ	エ	エ	オ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	ケ	ケ	パ	パ	ヒ	ヒ	コ	コ	サ	ザ	シ	シ	ス	ス	セ	セ	ダ	
8360	チ	チ	ツ	ツ	ツ	テ	テ	ト	ナ	ナ	ニ	ガ	キ	ギ	ク	ケ	パ	パ	ヒ	ヒ	コ	コ	サ	ザ	シ	シ	ス	ス	セ	セ	ダ		
8380	ム	メ	メ	ヤ	ヤ	ユ	ユ	エ	エ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	ケ	パ	パ	ヒ	ヒ	コ	コ	サ	ザ	シ	シ	ス	ス	セ	セ	ダ		
83a0	B	T	Δ	E	Z	H	Θ	I	K	Λ	M	N	L	E	O	Π	P	Σ	T	T	Φ	X	ψ	Ω								α	
83c0	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω										
83e0																																	



	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
8400																																
8420																																
8440	А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э	Ю
8460	Я																а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н	ю
8480	—	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э	ю	я														
84a0	—	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э	ю	я														
84c0																																
84e0																																
8500																																
8520																																
8540																																
8560																																
8580																																
85a0																																
85c0																																
85e0																																
8600																																
8620																																
8640																																
8660																																
8680																																
86a0																																
86c0																																
86e0																																
8700																																
8720																																
8740	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	㉛	
8760	“	”	No.	KK	TEL	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	㉛
8780	“	”	No.	KK	TEL	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	㉛
87a0																																
87c0																																
87e0																																



# 索 引

## A

ATTENTIONインジケータ 2-5

## C

CD-ROM 1-5, 1-21

## D

DATAインジケータ 2-5

## E

Ecoprint 2-36

## F

FRPOコマンド 7-1

## K

KIR(Kyocera Image Refinement) 2-34

KPM ix

## M

MPトレイ モード 2-17

MPトレイ 1-7, 1-26

MPS機能 2-23

## O

ON LINEインジケータ 2-5

## R

RAM ディスク 2-23

RS-232C 2-3, C-6

## S

S-RAMカード 1-30, 2-42

Self test 2-3

## T

TIFF(Tagged Image File Format) 6-16

## V

VMB 2-25

## W

Windows 1-20

## あ

アース 1-19

厚紙 1-16

## い

一般的な問題 5-2

移動 1-6

印字キャンセル 2-11

印字濃度 2-34

印字範囲の補正 2-41

印字品質の問題 5-3

インタフェース C-1, 2-16

インタフェース・コネクタ 1-18

インタフェース表示 2-3

## え

エコプリント(Ecoprint) 2-36

エミュレーション 2-20, 2-16

エラー・メッセージ一覧表 5-9

## お

欧文文字コードセット 3-10

オプション・インタフェース 2-3

温度と湿度 1-2

オンライン 2-11

## か

開梱手順 1-5

解像度 2-3

解像度表示 2-3

カセット キリカエ 2-17

カセット・モード 1-26

仮想メールボックス 2-25

カミ ノ アツサ 2-17

紙詰まりの処置 5-12

環境条件 1-2

## き

キャップ 1-11, 1-17

給紙カセット選択 2-10

京セラ・プリントモニタ(KPM) ix

## く

組立と接続 1-9

クリーニング・ノブ 1-8, 4-7

クリーニング用布 4-2, 4-10

グリッド・クリーナ 4-8

## け

現像ユニット 1-10

現像ユニット輸送用保護パッ

ケージ 1-5

## こ

コピー マイスウ 2-16

コピー枚数表示 2-4

コントロール・キー 2-6

コントロール・パネル 2-2

梱包内容 1-5

## さ

最低設置寸法 1-3

サイド・カバー 1-7

## し

ジドウ カイページチュウ 2-3

自動カセット切り替え 2-29

シバラク オマチクダサイ 2-3

周囲空間 1-3  
 縮小印字 2-21  
 受信データのダンプ 2-33  
 上部カバー 1-9  
 シリアル・インタフェース  
     1-19, 2-19, C-6  
 シンボル・インジケータ 2-5

## す

スケーラブル・フォント 3-2  
 ステータス・ページ 1-20  
 ステータス・ページの印字 2-12  
 スリープ・タイマ 2-32

## せ

清掃 4-7  
 設置環境 1-2  
 設置場所 1-2

## そ

ソノタ 2-18

## た

ダンプ 2-33

## ち

チャージャ・ユニット 4-7

## て

データ ショリチュウデス 2-3  
 適正紙 B-3  
 手差しモード 1-26  
 テスト 1-20  
 電源 1-3  
 電源コード 1-19  
 転写ローラ 4-10  
 転送モード 2-19

## と

特殊紙 B-6  
 トナー・キット 4-2  
 トナー・コンテナ 1-10, 4-2  
 トナー・コンテナの交換 4-2

## な

内蔵フォント一覧 3-3

## は

バーコード 6-4  
 バーチャル・メールボックス 2-27  
 廃棄トナー・ボトル 1-11  
 廃棄用ポリ袋 4-2  
 排紙トレイ選択 2-9  
 破線パターン 6-8  
 パネル・インジケータ一覧表 5-5  
 パラレル・インタフェース  
     1-19, 2-3, 2-19, C-2  
 パラレル・インタフェースピン割  
     り当て C-2

## ひ

ビットマップ・フォント 3-2

## ふ

ファームウェア・パラメータ 7-1  
 封筒 1-29  
 フェイスアップ排紙トレイ 1-18  
 フォント 3-1  
 フォームフィード 2-15  
 フォント 2-16  
 ブザー 2-39, 2-40  
 フラッシュ・メモリカード 1-30  
 フラッシュメモリ・カード 2-42  
 プリスクライプ2eコマンド 6-1  
 プリンタ・ドライバ 1-21  
 プリント デキマス 2-3  
 プリント ホウコウ 2-16  
 プロトコル C-8

## へ

ページガ ノコッテイマス 2-3  
 ペーパー・ランプ 4-10

## ほ

保護シール 1-10

## め

メインチャージャ・ユニット 4-7  
 メモリ・カード 1-30, 2-17, 2-42  
 メモリカード・スロット 1-30  
 メモリ・チップ  
     装着用ソケット 1-34  
 メンテナンス・メッセージ  
     一覧表 5-6

## も

モード選択メニュー 2-16

## ゆ

優先モード 1-26

## よ


用紙 B-2  
 用紙サイズエラー制御 2-30  
 用紙サイズ表示 2-4  
 用紙のカール B-5  
 用紙の基本仕様 B-2  
 用紙の寸法 B-3

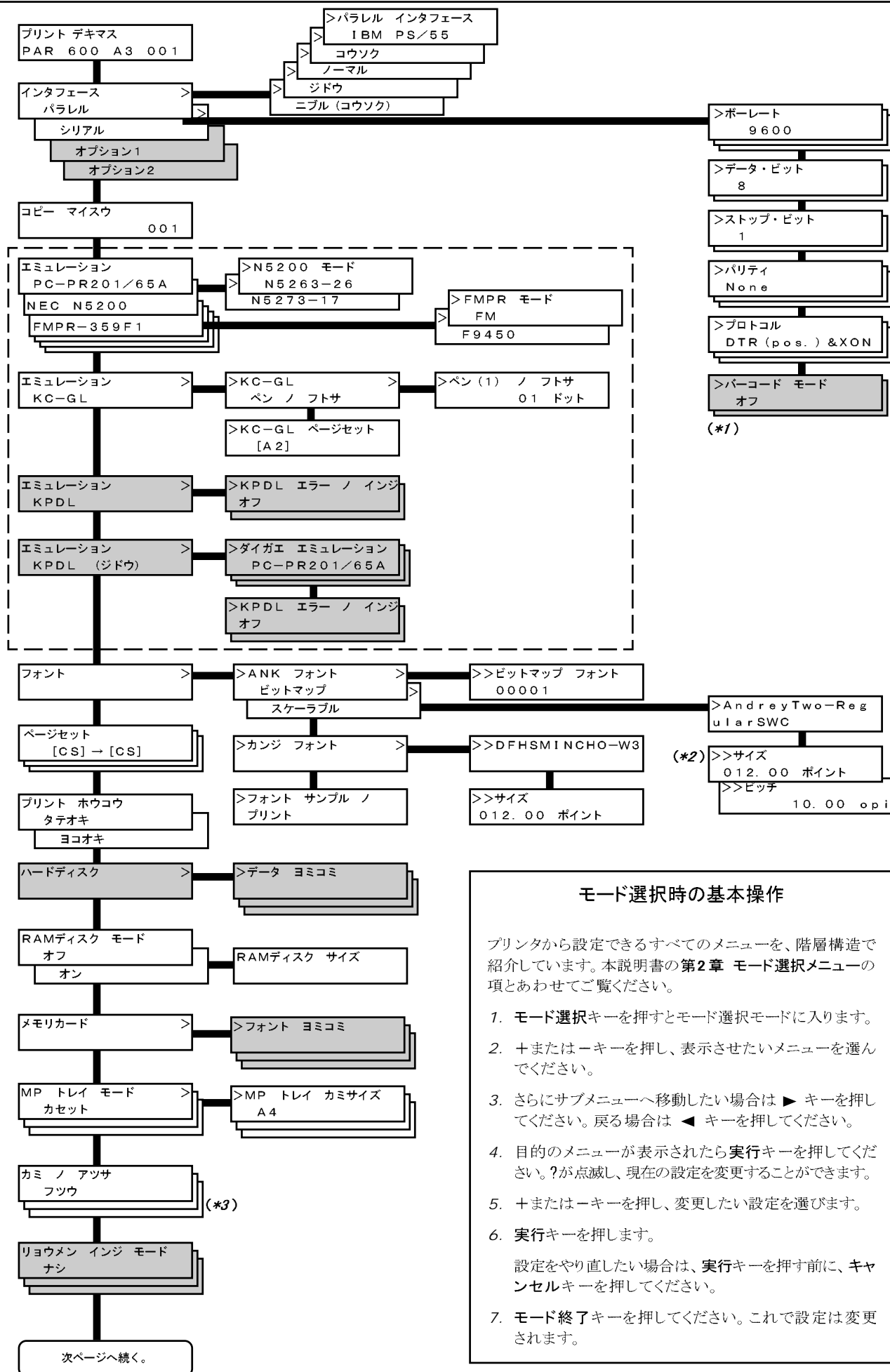
## り

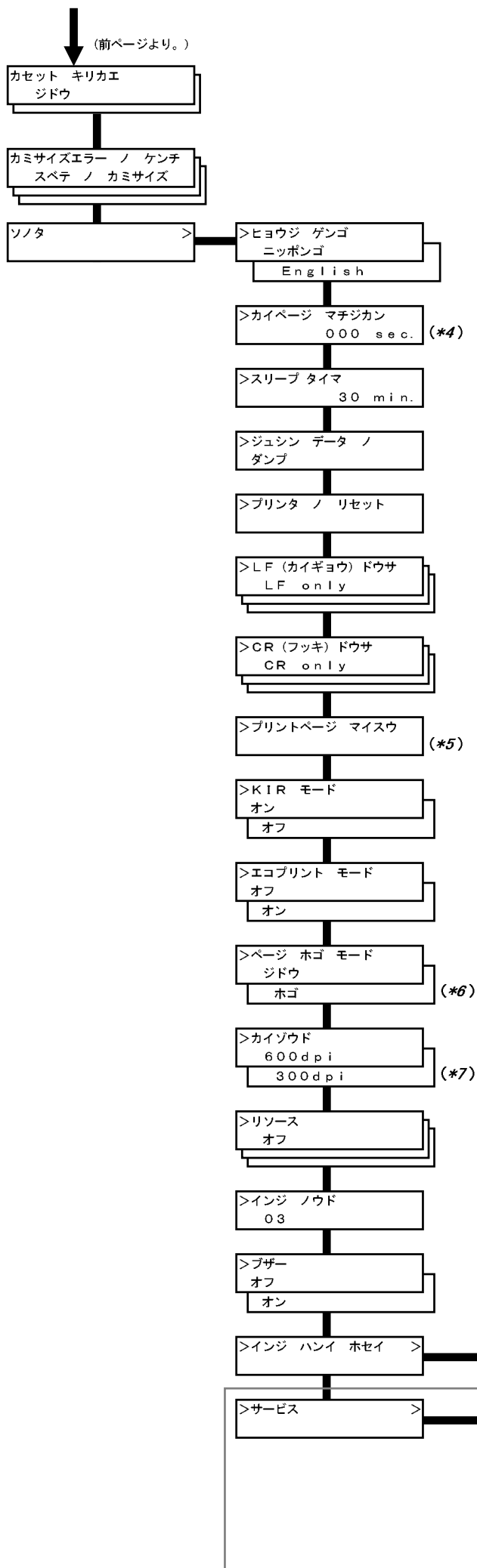
リソース保護 2-37  
 リョウメンインジ モード 2-17

## れ

レジスト・ローラ 4-10

: アミかけされているメニューは、該当するオプションやメモリ・カードを装着した場合に表示されます。





\*1: オプションのハードディスクユニットを装着する必要があります。

\*2: サイズ表示はCourierやLetterGothicフォント選択時には表示されません。これらのピッチ固定フォントでは>ピッチが表示されます。

\*3: 薄めの用紙、厚めの用紙、OHPシートや官製ハガキ、または特殊な厚紙に印字する場合は設定を変えて印字してみてください。(B-2ページ)

\*4: プリンタはデータを受け取ったあと、コンピュータからデータが終了した情報がないと、最後のページを印字しないで一定時間待機します。あらかじめ設定された待ち時間を経過すると、自動的に改ページします。この待ち時間は5秒単位で最大495秒まで設定することができます。

\*5: 現在までの総印字枚数です。ただし、B4サイズ以上の用紙については、1枚印字すると2枚として計算します。

\*6: 初期設定はジドウになっていますが、このメニューは通常表示されません。プリンタのメモリ不足に起因して、プリントオーバーラン カイジョ ヲ オシテクダサイのエラーが発生した場合、ページ保護モードは強制的にオンになります。しかしプリンタのメモリ効率を良好に保つために、必ずジドウに設定を戻しておいてください。

\*7: 印字する解像度を設定します。

\*8: これらのメニューはサービスマン用です。お客様が操作する必要はありません。



## お客様相談窓口のご案内

京セラミタ製品についてのお問い合わせは、下記のナビダイヤルへご連絡ください。全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

# 京セラ ミタ株式会社 京セラ ミタジャパン株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-9-15 TEL 03-3279-2112

お客様  
相談窓口



# 0570-046562

受付時間  
● 9:00~12:00 ● 13:00~17:00  
(但し、土曜日、日曜日及び祝日は除く)

市内通話料でOK  
ナビダイヤル 市内通話料金でご利用いただけます。

札幌	011-862-2631	富山	0764-24-3531
仙台	022-232-3225	大阪	06-6764-3210
さいたま	048-666-4515	神戸	078-651-7500
東京	03-3279-2050	高松	087-861-3861
横浜	045-471-0248	広島	082-295-2001
名古屋	052-582-7413	福岡	092-441-2721

京セラミタの情報は、インターネットでご覧いただけます。 <http://www.kyoceramita.co.jp/jp>

2002.2